

# 平成19年度 新宿区区政モニターアンケート



平成20年3月  
新宿区 区長室区政情報課

# 目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果	9
<第1回>	11
1 新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～	13
新宿区次世代育成支援計画の周知度	13
子育てについて	15
子育て支援に関する地域活動	19
安心して子育てができる環境	25
2 ごみの発生抑制と新しい分別方法	30
レジ袋の削減	30
家庭ごみの有料化	35
資源・ごみの分別方法の変更	39
3 震災に備えて	49
家屋について	49
耐震診断	51
耐震補強工事	55
家具転倒防止器具の取り付け	59
それ以外の取り組み	62
4 コールセンターの開設に向けて	65
身近な情報の入手方法	65
問合せをしたい身近な情報	68
問合せの意向	71
開設日、開設時間帯	73
問合せをしたい項目	76
5 区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ	78
区ホームページ	78
区民の意見を聴くしくみ	83

<第2回> .....	89
1 公園利用について .....	91
公園の利用 .....	91
公園の満足度 .....	97
公園の不満点 .....	99
公園を利用しない理由 .....	101
望ましい公園 .....	103
2 公衆トイレについて .....	104
公衆トイレの利用 .....	104
公衆トイレを利用しない理由 .....	106
公衆トイレの形式 .....	108
3 歌舞伎町ルネッサンスの推進について .....	113
歌舞伎町への来街意向 .....	113
歌舞伎町へ行ってみたい理由 .....	116
歌舞伎町へ行きたくない理由 .....	118
以前と比較した歌舞伎町の印象 .....	120
“大衆文化の創造と発信のまち” となるために有効な取り組み .....	125
4 区民に望まれる図書館 .....	131
区立図書館の利用 .....	131
図書館の将来像 .....	137
地域の図書館の運営 .....	139
5 新宿区職員の人材育成（求められる職員像）について .....	143
区の窓口の利用について .....	143
区の電話対応について .....	152
求められる職員像 .....	158

<第3回> .....	161
1 「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～ .....	163
基本目標Ⅰ 区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち .....	163
コミュニティへの参加 .....	163
基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち .....	166
人権意識 .....	166
男女共同参画 .....	167
健康 .....	169
生涯学習 .....	171
地域連携による教育 .....	172
基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち .....	173
地域福祉 .....	173
障害福祉 .....	174
生きがい .....	175
防災対策 .....	177
安全な日常生活 .....	180
安心な消費生活 .....	182
基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち .....	183
安全で快適な道路 .....	183
基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち .....	185
美しいまちづくり .....	185
地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりへの意識 .....	187
基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち .....	188
文化・芸術 .....	188
参考 区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画・成果指標」の項目 .....	193
2 成年後見制度 .....	194
成年後見制度の認知度 .....	194
Ⅲ 資料（調査票） .....	205
第1回 .....	207
第2回 .....	227
第3回 .....	243

# I 調査の概要

- 1 調査の目的 今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、区政モニター及びアンケート区政モニターを対象とした区政に関するアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とする。
- 2 調査対象者 第1回 アンケート区政モニター 563名  
第2回 アンケート区政モニター 561名  
第3回 アンケート区政モニター 561名
- 3 調査のテーマ 第1回 ①新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～  
②ごみの発生抑制と新しい分別方法  
③震災に備えて  
④コールセンターの開設に向けて  
⑤区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ  
第2回 ①公園利用について  
②公衆トイレについて  
③歌舞伎町ルネッサンスの推進について  
④区民に望まれる図書館  
⑤新宿区職員の人材育成（求められる職員像）について  
第3回 ①「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～  
②成年後見制度
- 4 実施年月日 第1回 平成19年7月3日から7月17日まで  
第2回 平成19年8月31日から9月14日まで  
第3回 平成19年9月28日から10月12日まで
- 5 回答者数 第1回 送付数 563  
回答数 496  
回収率 88.1%  
第2回 送付数 561  
回答数 496  
回収率 88.4%  
第3回 送付数 561  
回答数 474  
回収率 84.5%

6 回答者属性

【第1回調査】

(1) 性別

	回答数	比率
1 男性	215	43.3
2 女性	280	56.5
無回答	1	0.2
計	496	100.0%

(2) 年齢

	回答数	比率		回答数	比率
1 18~24歳	17	3.4	7 50~54歳	38	7.7
2 25~29歳	25	5.0	8 55~59歳	52	10.5
3 30~34歳	42	8.5	9 60~64歳	48	9.7
4 35~39歳	56	11.3	10 65~69歳	37	7.5
5 40~44歳	57	11.5	11 70~74歳	52	10.5
6 45~49歳	43	8.7	12 75歳以上	29	5.8
			計	496	100.0%

(3) 職業

	回答数	比率		回答数	比率
1 商工・サービス業の自営	25	5.0	8 サービス職・技能職・労務職	44	8.9
2 商工・サービス業の家族従業者	17	3.4	9 パート・アルバイト	35	7.1
3 自由業（医師、弁護士等）	22	4.4	10 専業主婦（主夫）	88	17.7
4 会社・団体役員	31	6.3	11 学生	15	3.0
5 会社・団体管理職（部課長以上）	35	7.1	12 その他	17	3.4
6 専門技術職	37	7.5	13 無職	76	15.3
7 事務職	52	10.5	無回答	2	0.4
			計	496	100.0%

(4) 世帯

	回答数	比率		回答数	比率
1 単身者	143	28.8	6 子どもがいる（上が学校を卒業）	50	10.1
2 子どもがいない夫婦	73	14.7	7 生計を別にした子どもがいる	101	20.4
3 子どもがいる（上が小学校入学前）	37	7.5	8 その他	11	2.2
4 子どもがいる（上が小・中学生）	42	8.5	無回答	6	1.2
5 子どもがいる（上が高・大学生）	33	6.7	計	496	100.0%

(5) 居住形態

	回答数	比率		回答数	比率
1 一戸建て（持ち家）	186	37.5	6 都営・区営住宅	24	4.8
2 一戸建て（借家。一戸建て社宅も含む）	6	1.2	7 公務員宿舎	7	1.4
3 分譲マンション	129	26.0	8 間借り・住込み	3	0.6
4 民間の賃貸アパート・マンション（借上げの社宅も含む）	123	24.8	9 その他	10	2.0
5 公団・公社の賃貸住宅	6	1.2	無回答	2	0.4
			計	496	100.0%

(6) 居住地域

	回答数	比率		回答数	比率
1 四谷	60	12.1	6 戸塚	60	12.1
2 筆筈町	66	13.3	7 落合第一	48	9.7
3 榎町	66	13.3	8 落合第二	53	10.7
4 若松町	46	9.3	9 柏木	38	7.7
5 大久保	44	8.9	10 角筈・区役所	15	3.0
			計	496	100.0%

(7) ライフステージ

	回答数	比率		回答数	比率
1 独身期	67	13.5	5 家族成熟期	78	15.7
2 家族形成期	67	13.5	6 高齢期	118	23.8
3 家族成長前期	42	8.5	7 その他	91	18.3
4 家族成長後期	33	6.7	計	496	100.0%

## 【第2回調査】

### (1) 性別

	回答数	比率
1 男性	218	44.0
2 女性	276	55.6
無回答	2	0.4
計	496	100.0%

### (2) 年齢

	回答数	比率		回答数	比率
1 18~24歳	16	3.2	7 50~54歳	37	7.5
2 25~29歳	24	4.8	8 55~59歳	56	11.3
3 30~34歳	47	9.5	9 60~64歳	46	9.3
4 35~39歳	52	10.5	10 65~69歳	38	7.7
5 40~44歳	57	11.5	11 70~74歳	49	9.9
6 45~49歳	42	8.5	12 75歳以上	32	6.5
			計	496	100.0%

### (3) 職業

	回答数	比率		回答数	比率
1 商工・サービス業の自営	29	5.8	8 サービス職・技能職・労務職	50	10.1
2 商工・サービス業の家族従業者	10	2.0	9 パート・アルバイト	41	8.3
3 自由業（医師、弁護士等）	25	5.0	10 専業主婦（主夫）	85	17.1
4 会社・団体役員	29	5.8	11 学生	14	2.8
5 会社・団体管理職（部課長以上）	40	8.1	12 その他	12	2.4
6 専門技術職	37	7.5	13 無職	73	14.7
7 事務職	51	10.3	計	496	100.0%

### (4) 世帯

	回答数	比率		回答数	比率
1 単身者	133	26.8	6 子どもがいる（上が学校を卒業）	43	8.7
2 子どもがいない夫婦	79	15.9	7 生計を別にした子どもがいる	110	22.2
3 子どもがいる（上が小学校入学前）	42	8.5	8 その他	10	2.0
4 子どもがいる（上が小・中学生）	41	8.3	無回答	3	0.6
5 子どもがいる（上が高・大学生）	35	7.1	計	496	100.0%

### (5) 居住地域

	回答数	比率		回答数	比率
1 四谷	59	11.9	6 戸塚	62	12.5
2 筆筈町	64	12.9	7 落合第一	48	9.7
3 榎町	69	13.9	8 落合第二	51	10.3
4 若松町	45	9.1	9 柏木	34	6.9
5 大久保	47	9.5	10 角筈・区役所	17	3.4
			計	496	100.0%

### (6) ライフステージ

	回答数	比率		回答数	比率
1 独身期	63	12.7	5 家族成熟期	72	14.5
2 家族形成期	73	14.7	6 高齢期	119	24.0
3 家族成長前期	41	8.3	7 その他	93	18.8
4 家族成長後期	35	7.1	計	496	100.0%

## 【第3回調査】

### (1) 性別

	回答数	比率
1 男性	205	43.2
2 女性	268	56.5
無回答	1	0.2
計	474	100.0%

### (2) 年齢

	回答数	比率		回答数	比率
1 18~24歳	13	2.7	7 50~54歳	37	7.8
2 25~29歳	20	4.2	8 55~59歳	51	10.8
3 30~34歳	43	9.1	9 60~64歳	45	9.5
4 35~39歳	52	11.0	10 65~69歳	35	7.4
5 40~44歳	54	11.4	11 70~74歳	48	10.1
6 45~49歳	41	8.6	12 75歳以上	35	7.4
			計	474	100.0%

### (3) 職業

	回答数	比率		回答数	比率
1 商工・サービス業の自営	23	4.9	8 サービス職・技能職・労務職	43	9.1
2 商工・サービス業の家族従業者	12	2.5	9 パート・アルバイト	38	8.0
3 自由業（医師、弁護士等）	23	4.9	10 専業主婦（主夫）	87	18.4
4 会社・団体役員	30	6.3	11 学生	13	2.7
5 会社・団体管理職（部課長以上）	36	7.6	12 その他	13	2.7
6 専門技術職	33	7.0	13 無職	74	15.6
7 事務職	48	10.1	無回答	1	0.2
			計	474	100.0%

### (4) 世帯

	回答数	比率		回答数	比率
1 単身者	124	26.2	6 子どもがいる（上が学校を卒業）	38	8.0
2 子どものない夫婦	75	15.8	7 生計を別にした子どもがいる	116	24.5
3 子どもがいる（上が小学校入学前）	38	8.0	8 その他	8	1.7
4 子どもがいる（上が小・中学生）	40	8.4	無回答	1	0.2
5 子どもがいる（上が高・大学生）	34	7.2	計	474	100.0%

### (5) 同居高齢者の有無

	回答数	比率
1 いる	143	30.2
2 いない	322	67.9
無回答	9	1.9
計	474	100.0%

### (6) 居住地域

	回答数	比率		回答数	比率
1 四谷	60	12.7	6 戸塚	58	12.2
2 筆筈町	62	13.1	7 落合第一	42	8.9
3 榎町	63	13.3	8 落合第二	52	11.0
4 若松町	44	9.3	9 柏木	35	7.4
5 大久保	43	9.1	10 角筈・区役所	15	3.2
			計	474	100.0%

### (7) ライフステージ

	回答数	比率		回答数	比率
1 独身期	55	11.6	5 家族成熟期	69	14.6
2 家族形成期	70	14.8	6 高齢期	118	24.9
3 家族成長前期	40	8.4	7 その他	88	18.6
4 家族成長後期	34	7.2	計	474	100.0%

## 7 報告書の見方

本報告書を読む際には、次の点に留意してください。

- (1) 比率は全て百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 分析軸の項目は、無回答があるため、全体のnとそれぞれの合計のnが合わない場合がある。
- (5) 図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
- (6) nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は、注意を要する。
- (7) ライフステージの名称、及び内容は以下のとおりである。

独身期 : 40歳未満の独身者

家族形成期 : 40歳未満の子どものない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期 : 一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期 : 一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期 : 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人（生計を別にした子どもがいる人を含む）

高齢期 : 65歳以上の人（生計を別にした子どもがいる人を含む）

その他 : 40歳から64歳の独身者、40歳から64歳の子どものない夫婦など

- (8) 統計の数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとしている。

例	表現
80.1~80.9%	約8割
81.0~82.9%	8割強
83.0~84.9%	8割台半ば近く
85.0~85.9%	8割台半ば
86.0~87.9%	8割台半ばを超え
88.0~88.9%	9割近く
89.0~89.9%	9割弱

- (9) 本報告書の第3回調査では「新宿区総合計画・成果指標」を参考で表記している。現状のデータ出典が「新宿区区民意識調査」のものは※で注記している。

## II 調查結果

# 第1回

<テーマ>

新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～

ごみの発生抑制と新しい分別方法

震災に備えて

コールセンターの開設に向けて

区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ



# 1 新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～

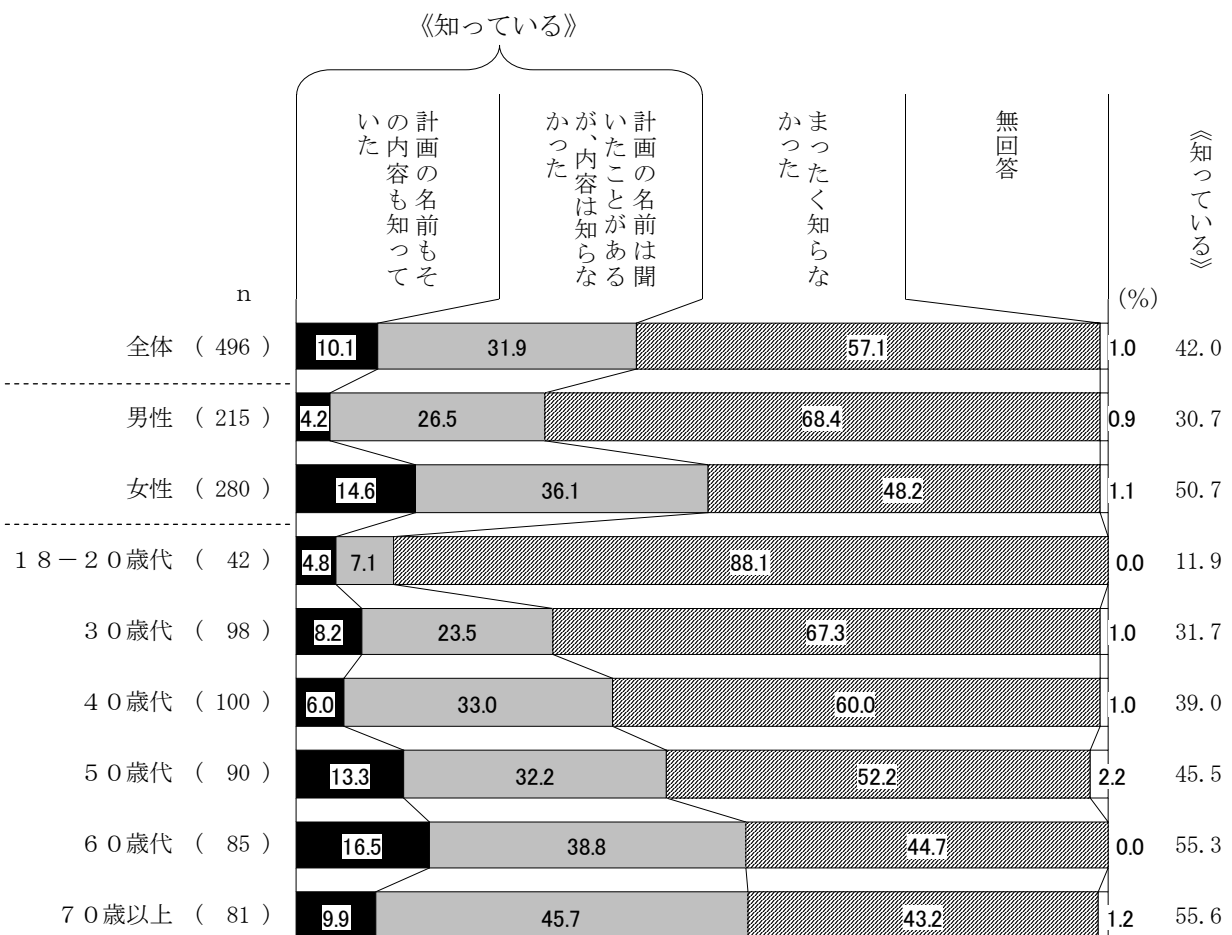
## <新宿区次世代育成支援計画の周知度>

(1) 新宿区次世代育成支援計画の周知度

◎ 新宿区次世代育成支援計画を《知っている》人は4割強

問1 あなたは、「新宿区次世代育成支援計画」を知っていましたか。(〇は1つ)		
(n=496)		
1	計画の名前もその内容も知っていた	10.1%
2	計画の名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった	31.9
3	まったく知らなかった	57.1
	無回答	1.0

図1-1 新宿区次世代育成支援計画の周知度(性別・年代別)

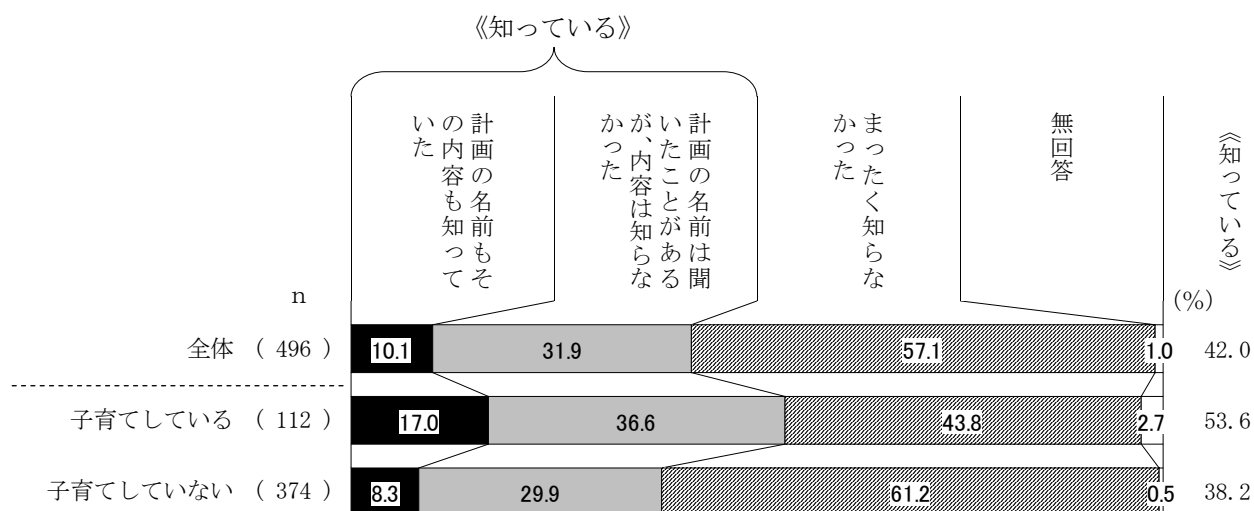


新宿区次世代育成支援計画の周知度は、「計画の名前もその内容も知っていた」（10.1%）と「計画の名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった」（31.9%）を合わせた《知っている》（42.0%）が4割強となっている。一方、「まったく知らなかった」（57.1%）は5割台半ばを超えている。

性別でみると、《知っている》は、女性（50.7%）の方が男性（30.7%）よりも高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は、男性（68.4%）の方が女性（48.2%）よりも高くなっている。

年代別でみると、《知っている》は、年代が上がるにつれ高く、60歳代（55.3%）、70歳以上（55.6%）で5割台半ばを超える。（図1-1）

図1-2 新宿区次世代育成支援計画の周知度（子育ての有無別）



子育ての有無別でみると、《知っている》は、“子育てしている”（53.6%）の方が“子育てしていない”（38.2%）よりも高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は、“子育てしていない”（61.2%）の方が“子育てしている”（43.8%）よりも高くなっている。（図1-2）

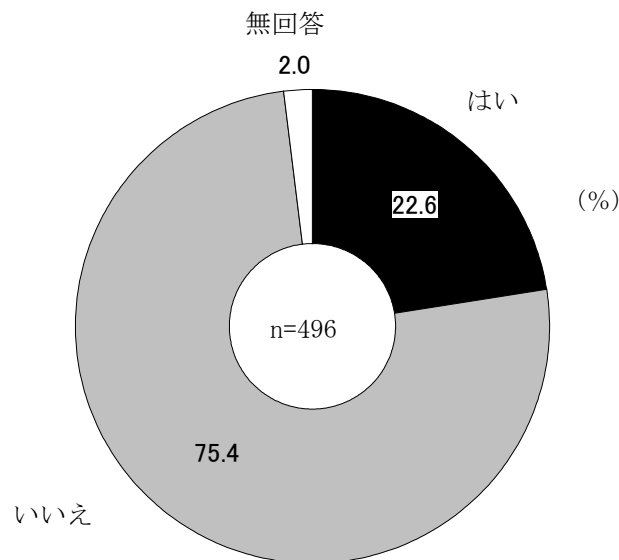
## <子育てについて>

### (1) 子育ての有無

◎ 子育てしている人は2割強。子育てしていない人は7割台半ばを超える

問2 現在、子育て（0歳から15歳までの子ども）をしていますか。（○は1つ）			
（n=496）			
1	はい	→（問2-1、問2-2へ）	22.6%
2	いいえ	→（問3へ）	75.4
	無回答		2.0

図1-3 子育ての有無



現在、子育てをしているかどうかをたずねたところ、「はい」（22.6%）が2割強で、「いいえ」（75.4%）が7割台半ばと多数を占める。（図1-3）

(2) 子育てがつらいと感じること

◎ 《子育てがつらいと感じる》は1割強

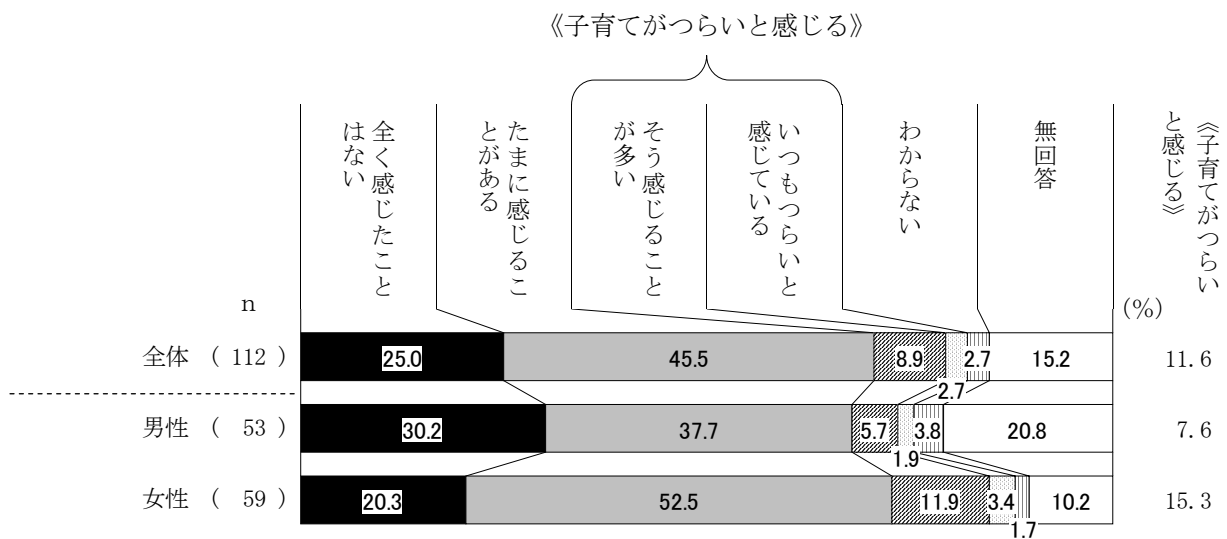
(問2で「1 はい」に○をされた方におたずねします)

問2-1 子育てがつらいと感じることがありますか。(○は1つ)

(n=112)

1	全く感じたことはない	25.0%
2	たまに感じることもある	45.5
3	そう感じることが多い	8.9
4	いつもつらいと感じている	2.7
5	わからない	2.7
	無回答	15.2

図1-4 子育てがつらいと感じること (性別)



子育てがつらいと感じることについて、「そう感じることが多い」(8.9%)と「いつもつらいと感じている」(2.7%)を合わせた《子育てがつらいと感じる》(11.6%)は1割強となっている。

「たまに感じることもある」(45.5%)が4割台半ばと最も多く、「全く感じたことはない」(25.0%)が2割台半ばとなっている。(図1-4)

(3) 子育て家庭をサポートする事業の利用意向

- ◎ 今後利用したいものでは「児童館」「区立公園でのプレイパーク（冒険遊び場）活動」「子ども図書館」の3項目が突出

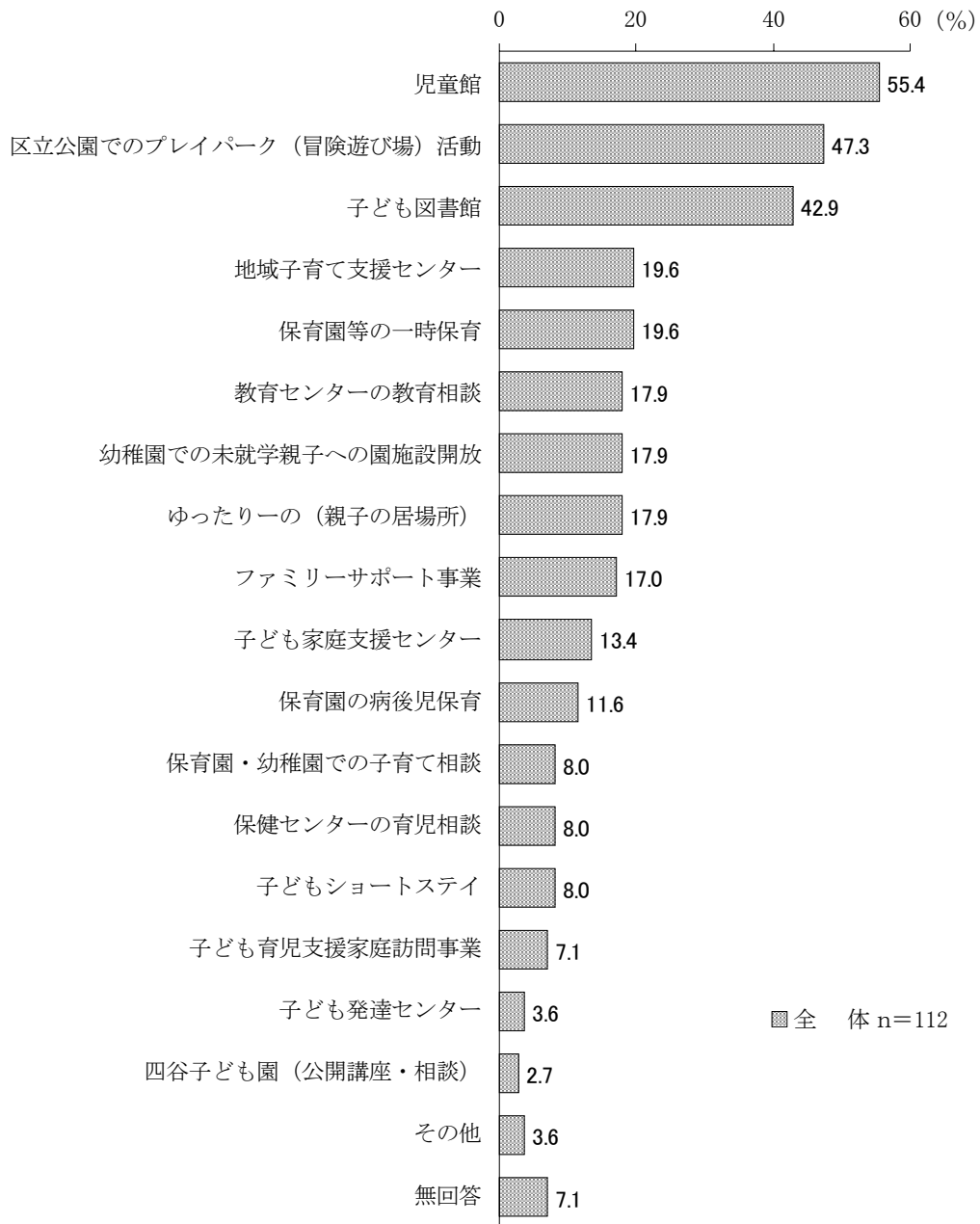
(問2で「1 はい」に○をされた方におたずねします)

問2-2 あなたやあなたのご家族が、今後、利用したいものはどれですか（現在利用しているものも含む）。（○はいくつでも）

(n=112)

1	子ども家庭支援センター	13.4%
2	地域子育て支援センター	19.6
3	保育園・幼稚園での子育て相談	8.0
4	子ども発達センター	3.6
5	教育センターの教育相談	17.9
6	保健センターの育児相談	8.0
7	四谷子ども園（公開講座・相談）	2.7
8	子ども育児支援家庭訪問事業	7.1
9	ファミリーサポート事業	17.0
10	保育園等の一時保育	19.6
11	保育園の病後児保育	11.6
12	子どもショートステイ	8.0
13	児童館	55.4
14	子ども図書館	42.9
15	幼稚園での未就学親子への園施設開放	17.9
16	区立公園でのプレイパーク（冒険遊び場）活動	47.3
17	ゆったりーの（親子の居場所）	17.9
18	その他	3.6
	無回答	7.1

図1-5 子育て家庭をサポートする事業の利用意向（複数回答）



子育て家庭をサポートする事業の利用意向としては、「児童館」（55.4%）が5割台半ばで最も高く、次いで、「区立公園でのプレイパーク（冒険遊び場）活動」（47.3%）が4割台半ばを超える。また、「子ども図書館」（42.9%）が4割強となっている。（図1-5）

## <子育て支援に関する地域活動>

### (1) 子育て支援に関する地域活動の状況

◎ 《活動経験あり》が1割強、「活動したいと思っているが、活動していない」が4割台半ば近く。一方、「活動したいと思わない」が約4割

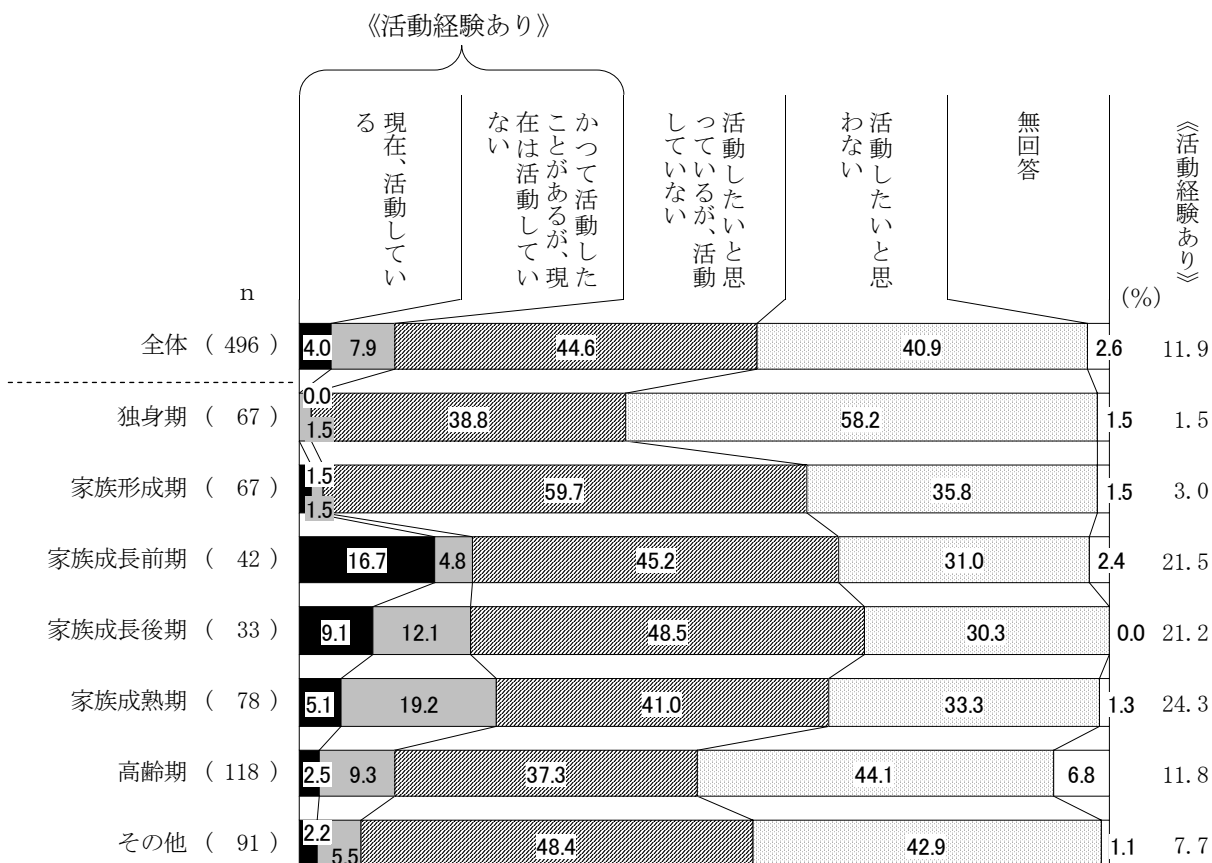
(すべての方におたずねします)

問3 あなたは、子育て支援に関する活動をしていますか。(〇は1つ)

(n=496)

1	現在、活動している	} (問3-1へ)	4.0%
2	かつて活動したことがあるが、現在は活動していない		7.9
3	活動したいと思っているが、活動していない	→ (問3-2へ)	44.6
4	活動したいと思わない	→ (問4へ)	40.9
	無回答		2.6

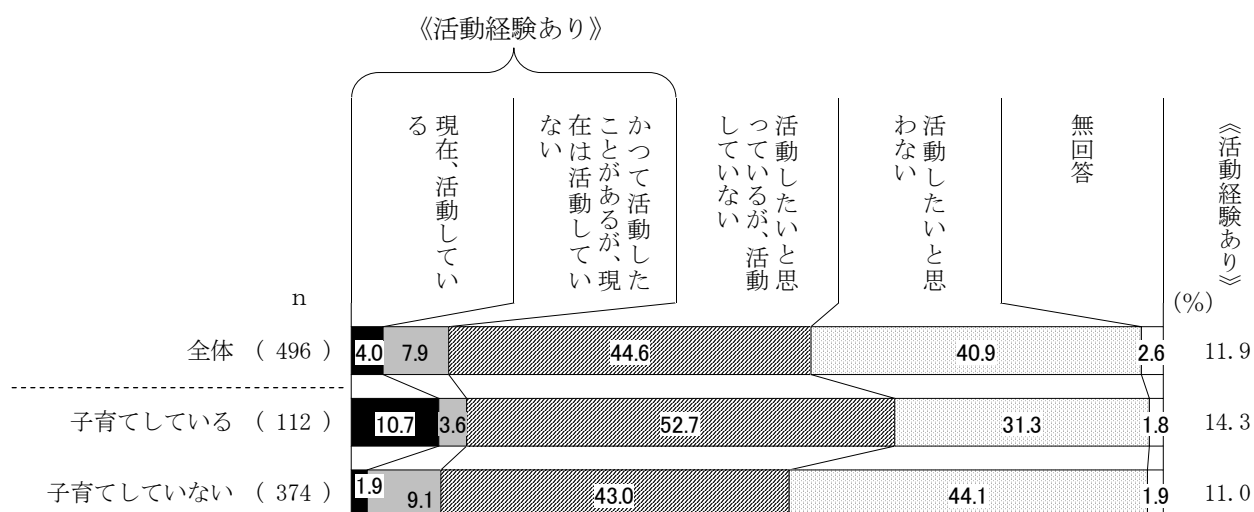
図1-6 子育て支援に関する地域活動の状況(ライフステージ別)



子育て支援に関する地域活動の状況としては、「現在、活動している」(4.0%)と「かつて活動したことがあるが、現在は活動していない」(7.9%)を合わせた、《活動経験あり》が1割強となっている。一方、「活動したいと思っているが、活動していない」(44.6%)が4割台半ば近く、「活動したいと思わない」(40.9%)が約4割となっている。

ライフステージ別でみると、《活動経験あり》は家族成長前期(21.5%)、家族成長後期(21.2%)、家族成熟期(24.3%)で2割を超え高い。一方、「活動したいと思わない」は独身期(58.2%)、高齢期(44.1%)、その他(42.9%)で高い。(図1-6)

図1-7 子育て支援に関する地域活動の状況(子育ての有無別)



子育ての有無別でみると、《活動経験あり》は、“子育てしている”(14.3%)の方が“子育てしていない”(11.0%)よりも高くなっている。一方、「活動したいと思わない」は、“子育てしていない”(44.1%)の方が“子育てしている”(31.3%)よりも高くなっている。(図1-7)

## (2) 地域活動の内容

- ◎ 「学校でのPTA・ボランティア」、「事件や犯罪防止のための安全パトロール」が上位2項目

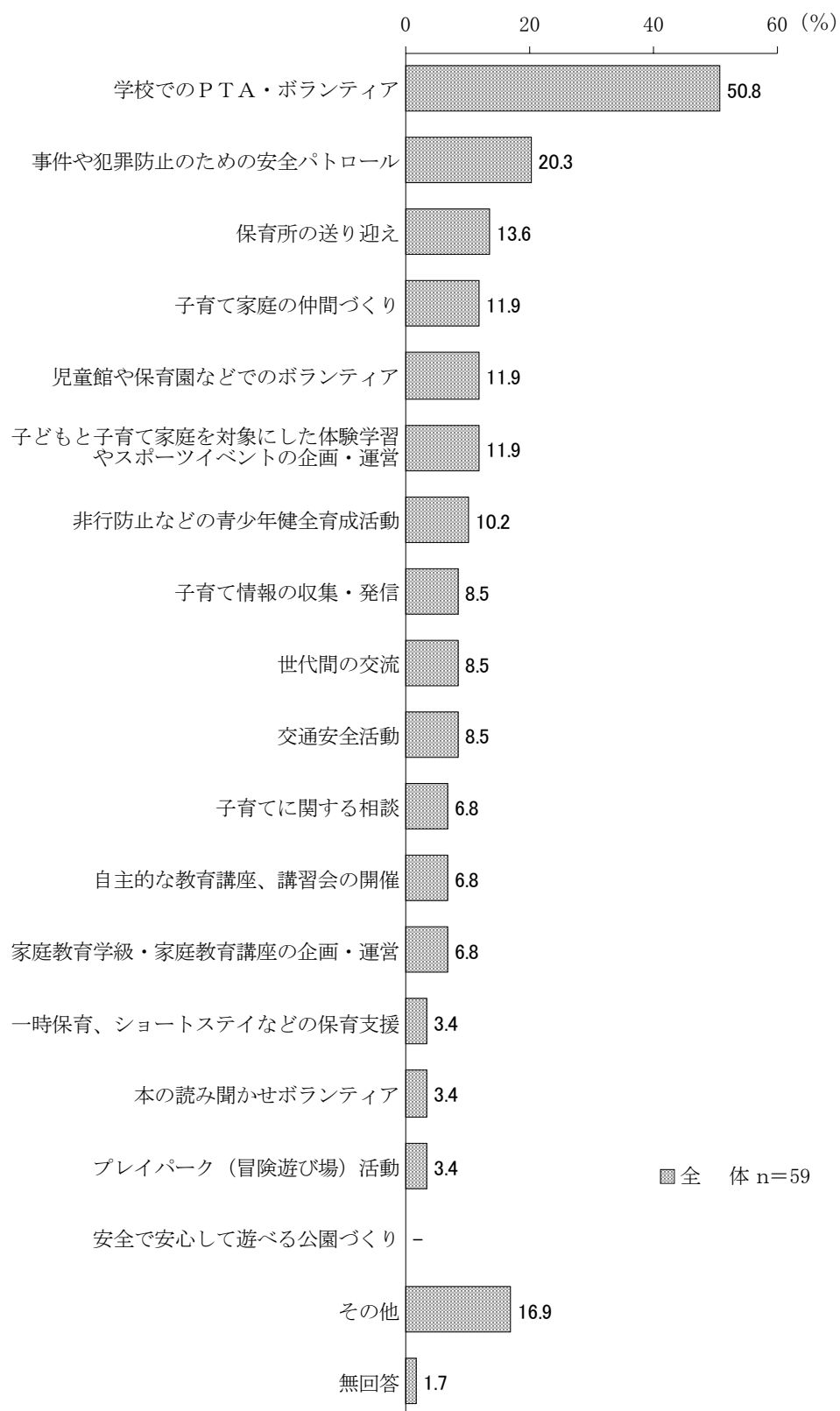
(問3で「1 現在、活動している」「2 かつて活動したことがあるが、現在は活動していない」に○をされた方におたずねします)

問3-1 それはどんな活動ですか。(○はいくつでも)

(n=59)

1	一時保育、ショートステイなどの保育支援	3.4%
2	保育所の送り迎え	13.6
3	子育てに関する相談	6.8
4	子育て情報の収集・発信	8.5
5	子育て家庭の仲間づくり	11.9
6	世代間の交流	8.5
7	児童館や保育園などでのボランティア	11.9
8	学校でのPTA・ボランティア	50.8
9	本の読み聞かせボランティア	3.4
10	自主的な教育講座、講習会の開催	6.8
11	子どもと子育て家庭を対象にした体験学習やスポーツイベントの企画・運営	11.9
12	家庭教育学級・家庭教育講座の企画・運営	6.8
13	安全で安心して遊べる公園づくり	-
14	プレイパーク(冒険遊び場)活動	3.4
15	非行防止などの青少年健全育成活動	10.2
16	事件や犯罪防止のための安全パトロール	20.3
17	交通安全活動	8.5
18	その他	16.9
	無回答	1.7

図 1 - 8 地域活動の内容（複数回答）



地域活動の内容としては、「学校でのPTA・ボランティア」、「事件や犯罪防止のための安全パトロール」が上位2項目となっている。（図1-8）

### (3) 活動したいが、活動していない理由

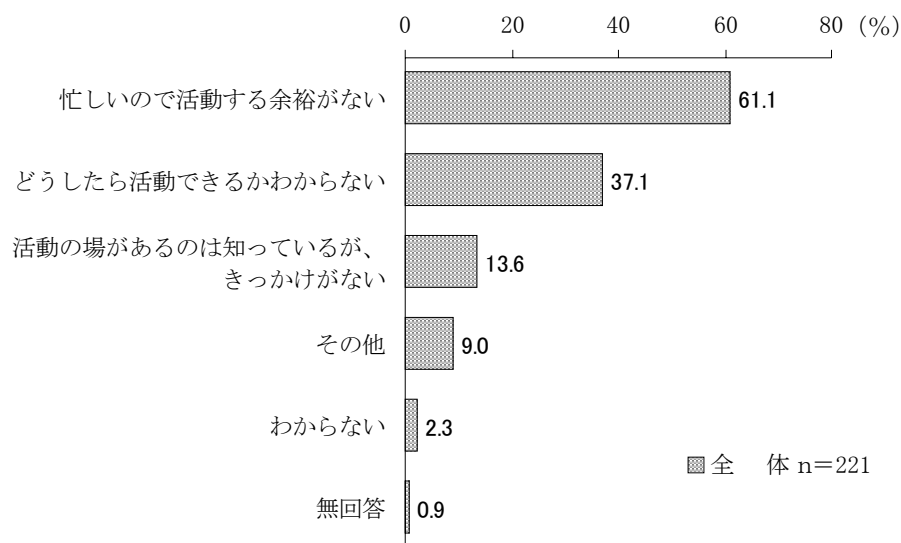
#### ◎ 「忙しいので活動する余裕がない」が6割強で最も高い

(問3で「3 活動したいと思っているが、活動していない」に○をされた方におたずねします)  
問3-2 活動したいが、活動していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=221)

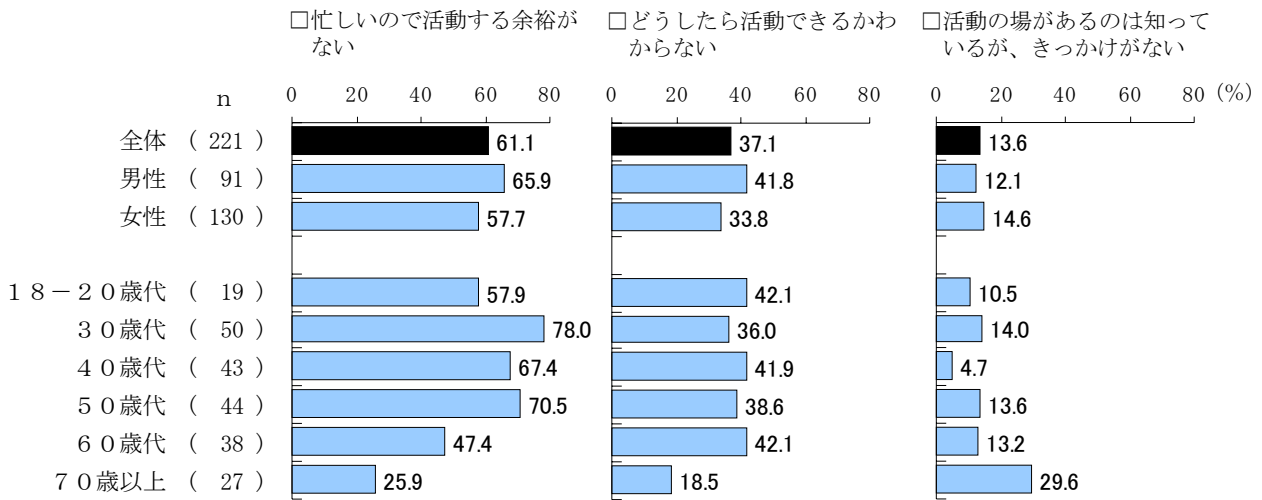
1	どうしたら活動できるかわからない	37.1%
2	活動の場があるのは知っているが、きっかけがない	13.6
3	忙しいので活動する余裕がない	61.1
4	その他	9.0
5	わからない	2.3
	無回答	0.9

図1-9 活動したいが、活動していない理由(複数回答)



活動したいが、活動していない理由としては、「忙しいので活動する余裕がない」(61.1%)が6割強で最も高い。次いで、「どうしたら活動できるかわからない」(37.1%)が3割台半ばを超え、「活動の場があるのは知っているが、きっかけがない」(13.6%)が1割台半ば近くとなっている。(図1-9)

図1-10 活動したいが、活動していない理由（性別・年代別）上位3項目



上位3項目について、性別で見ると、上位2項目は男性の方が女性よりも高くなっている。

年代別で見ると、「忙しいので活動する余裕がない」は、30歳代（78.0%）、40歳代（67.4%）、50歳代（70.5%）で6割台半ばを超え高くなっている。（図1-10）

## <安心して子育てができる環境>

### (1) 安心して子育てができる環境の評価

- ◎ 『子育てしやすい子育て支援サービスが充実している』では「そう思う」が比較的高い
- ◎ 『子育てしやすい遊び場などの環境が整っている』『子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている』『子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している』では「そう思わない」が高くなっている

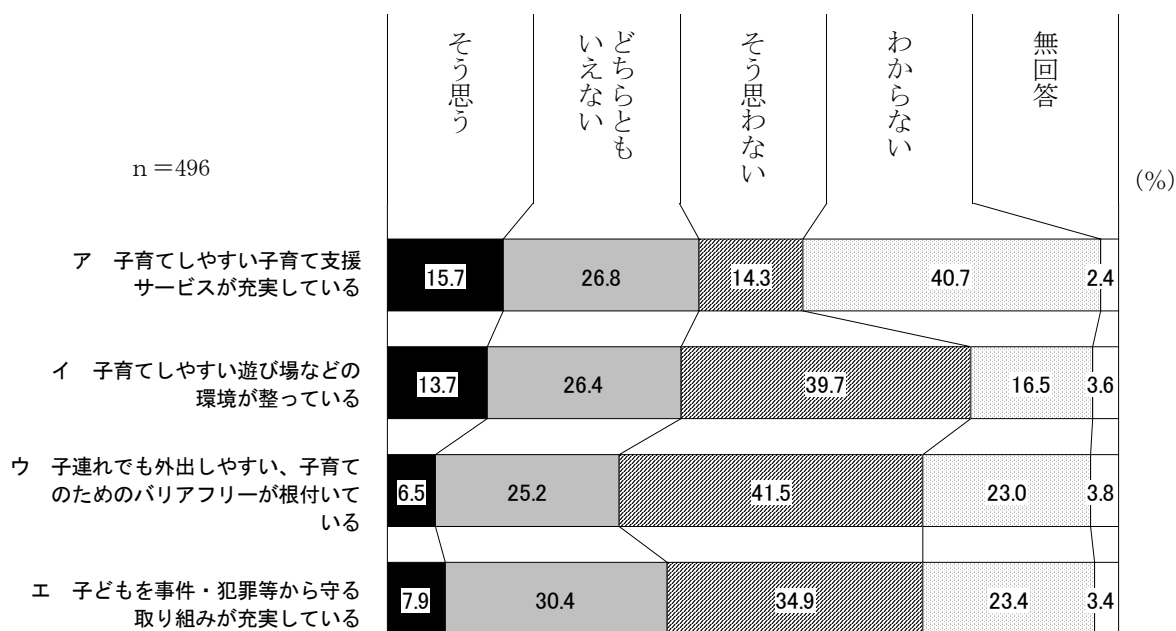
(すべての方におたずねします)

問4 新宿区は安心して子育てができるまちだと思いますか。

ア～エそれぞれについてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

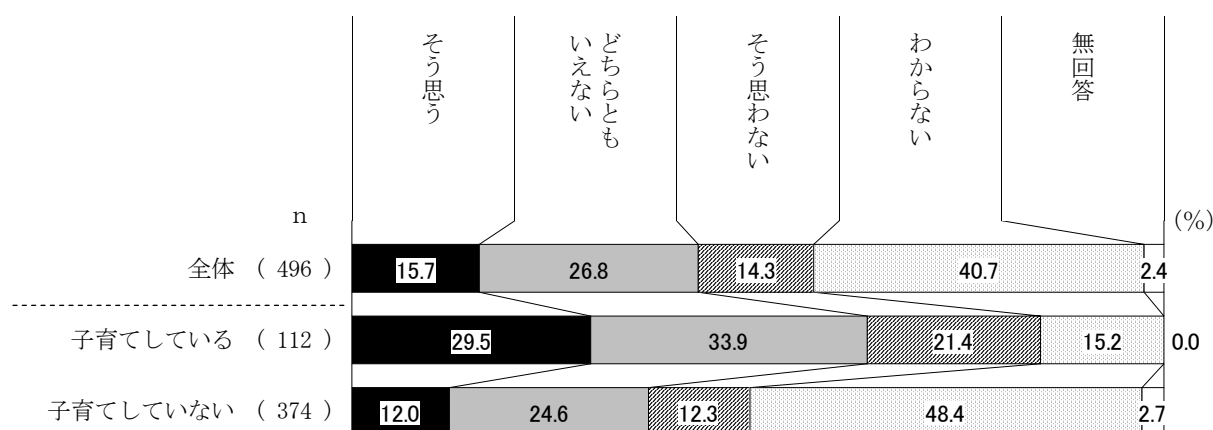
(n=496)	そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	わからない	無回答
ア 子育てしやすい子育て支援サービスが充実している	15.7%	26.8	14.3	40.7	2.4
イ 子育てしやすい遊び場などの環境が整っている	13.7	26.4	39.7	16.5	3.6
ウ 子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている	6.5	25.2	41.5	23.0	3.8
エ 子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している	7.9	30.4	34.9	23.4	3.4

図1-11 安心して子育てができる環境の評価



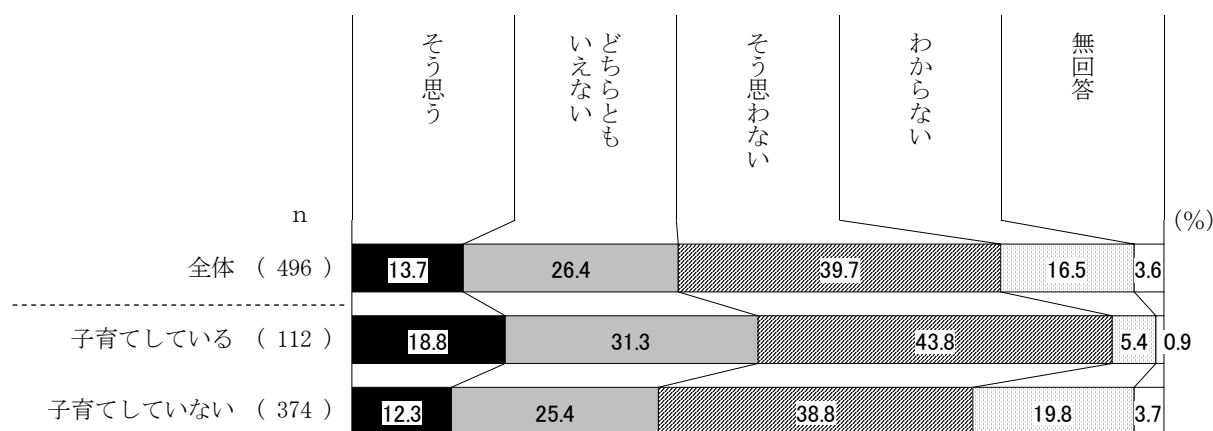
安心して子育てができる環境の評価としては、『子育てしやすい子育て支援サービスが充実している』では、「そう思う」(15.7%)が1割台半ばとなっている。『子育てしやすい遊び場などの環境が整っている』、『子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている』、『子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している』では、「そう思わない」が3割台半ばから4割と高く、特に『子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている』、『子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している』では、「そう思う」は1割未満で低い。(図1-11)

図1-12 安心して子育てができる環境の評価(子育ての有無別)  
ア 子育てしやすい子育て支援サービスが充実している



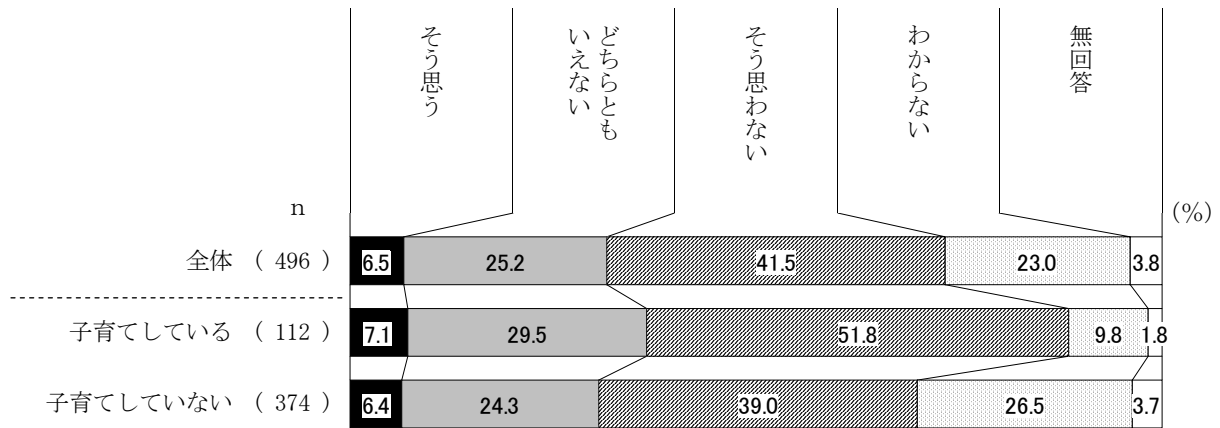
『子育てしやすい子育て支援サービスが充実している』について、子育ての有無別でみると、“子育てしている”では「そう思う」(29.5%)が3割弱に対し、“子育てをしていない”(12.0%)では1割強となっている。「わからない」は、“子育てしている”(15.2%)に比べ、“子育てをしていない”(48.4%)が圧倒的に高い。(図1-12)

図1-13 安心して子育てができる環境の評価(子育ての有無別)  
イ 子育てしやすい遊び場などの環境が整っている



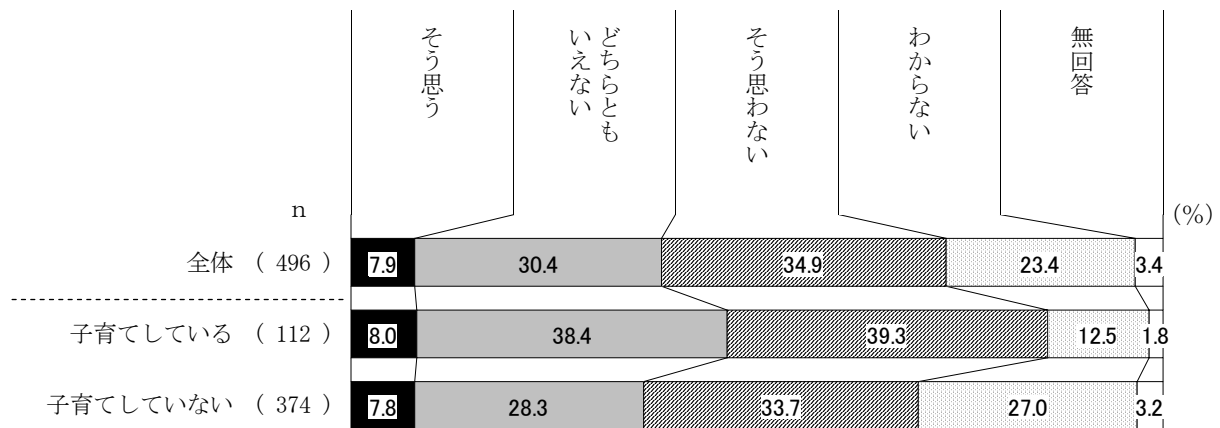
『子育てしやすい遊び場などの環境が整っている』について、子育ての有無別でみると、“子育てしている”では“子育てをしていない”に比べ「そう思わない」(43.8%)が4割台半ば近くと高くなっている。(図1-13)

図1-14 安心して子育てができる環境の評価（子育ての有無別）  
 ウ 子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている



『子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている』について、子育ての有無別でみると、“子育てしている”では「そう思わない」（51.8%）が5割強である。“子育てしていない”では、「わからない」（26.5%）が2割台半ばを超える。（図1-14）

図1-15 安心して子育てができる環境の評価（子育ての有無別）  
 エ 子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している



『子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している』について、子育ての有無別でみると、“子育てしている”では「そう思わない」（39.3%）が4割弱である。“子育てをしていない”では、「わからない」（27.0%）が2割台半ばを超える。（図1-15）

(2) 安心して子育てができる環境づくりに必要なもの

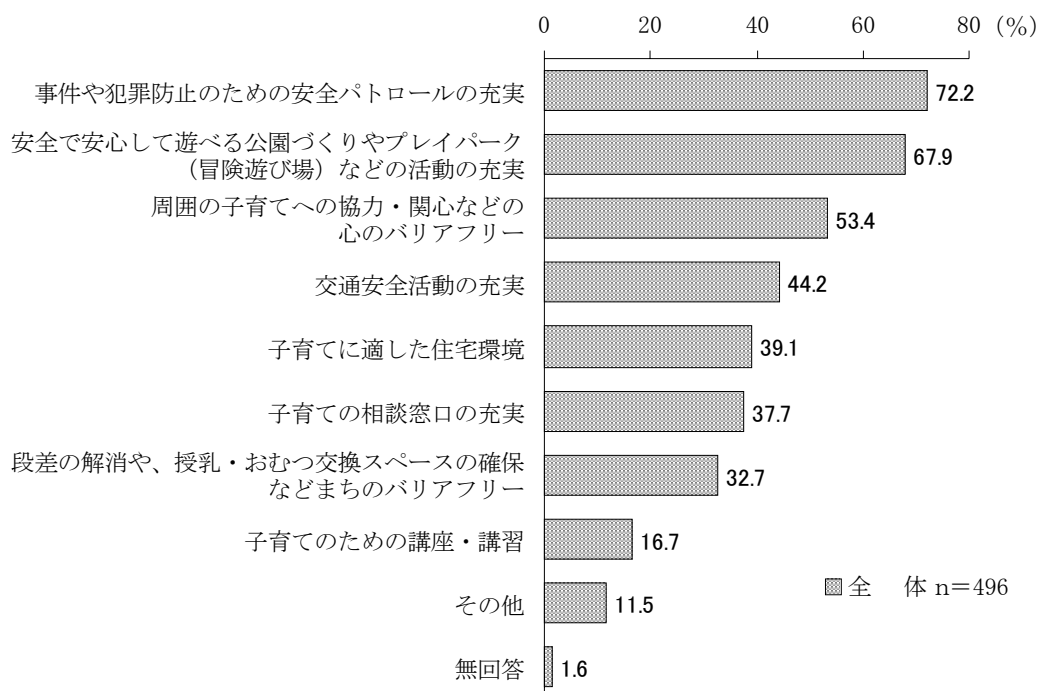
◎ 「事件や犯罪防止のための安全パトロールの充実」、「安全で安心して遊べる公園づくりやプレイパーク（冒険遊び場）などの活動の充実」が上位2項目

問5 安心して子育てができる環境づくりのために、あなたが必要だと思うものは何ですか。  
（〇は5つまで）

（n=496）

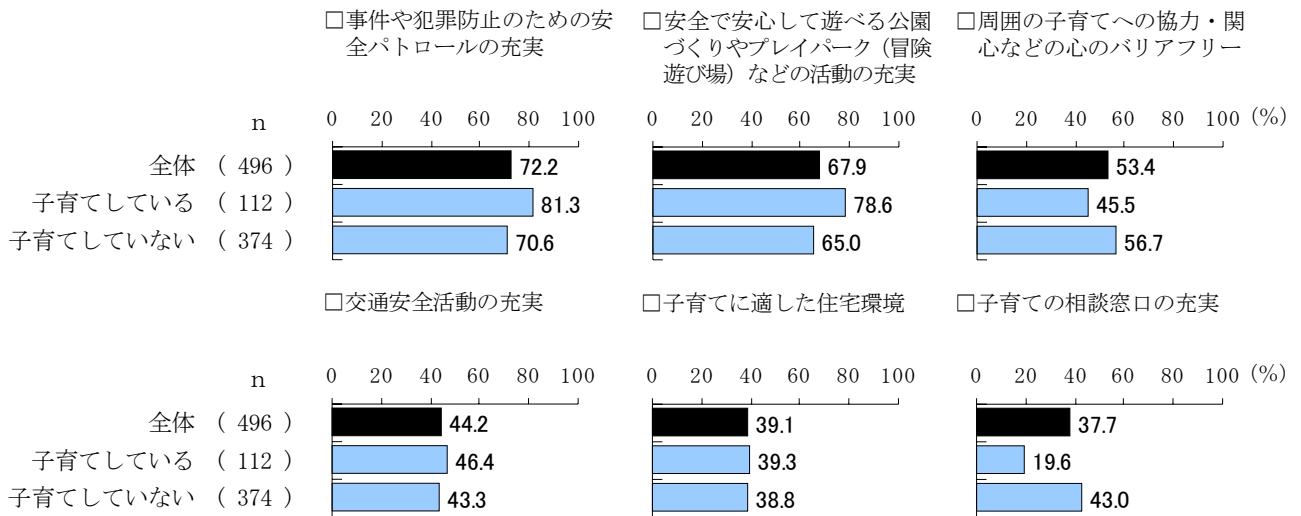
1	段差の解消や、授乳・おむつ交換スペースの確保などまちのバリアフリー	32.7%
2	周囲の子育てへの協力・関心などの心のバリアフリー	53.4
3	子育てに適した住宅環境	39.1
4	子育ての相談窓口の充実	37.7
5	子育てのための講座・講習	16.7
6	安全で安心して遊べる公園づくりやプレイパーク（冒険遊び場）などの活動の充実	67.9
7	事件や犯罪防止のための安全パトロールの充実	72.2
8	交通安全活動の充実	44.2
9	その他	11.5
	無回答	1.6

図1-16 安心して子育てができる環境づくりに必要なもの（複数回答）



安心して子育てができる環境づくりに必要なものとしては、「事件や犯罪防止のための安全パトロールの充実」（72.2%）が7割強で最も高く、次いで、「安全で安心して遊べる公園づくりやプレイパーク（冒険遊び場）などの活動の充実」（67.9%）が6割台半ばを超えている。「周囲の子育てへの協力・関心などの心のバリアフリー」（53.4%）が5割台半ば近くで続く。（図1-16）

図1-17 安心して子育てができる環境づくりに必要なもの（子育ての有無別）上位6項目



上位6項目について、子育ての有無別でみると、「事件や犯罪防止のための安全パトロールの充実」と「安全で安心して遊べる公園づくりやプレイパーク（冒険遊び場）などの活動の充実」は、“子育てしていない”に比べ“子育てしている”の方が高くなっている。「周囲の子育てへの協力・関心などの心のバリアフリー」と「子育ての相談窓口の充実」は、“子育てしていない”の方が“子育てしている”よりも高くなっている。（図1-17）

## 2 ごみの発生抑制と新しい分別方法

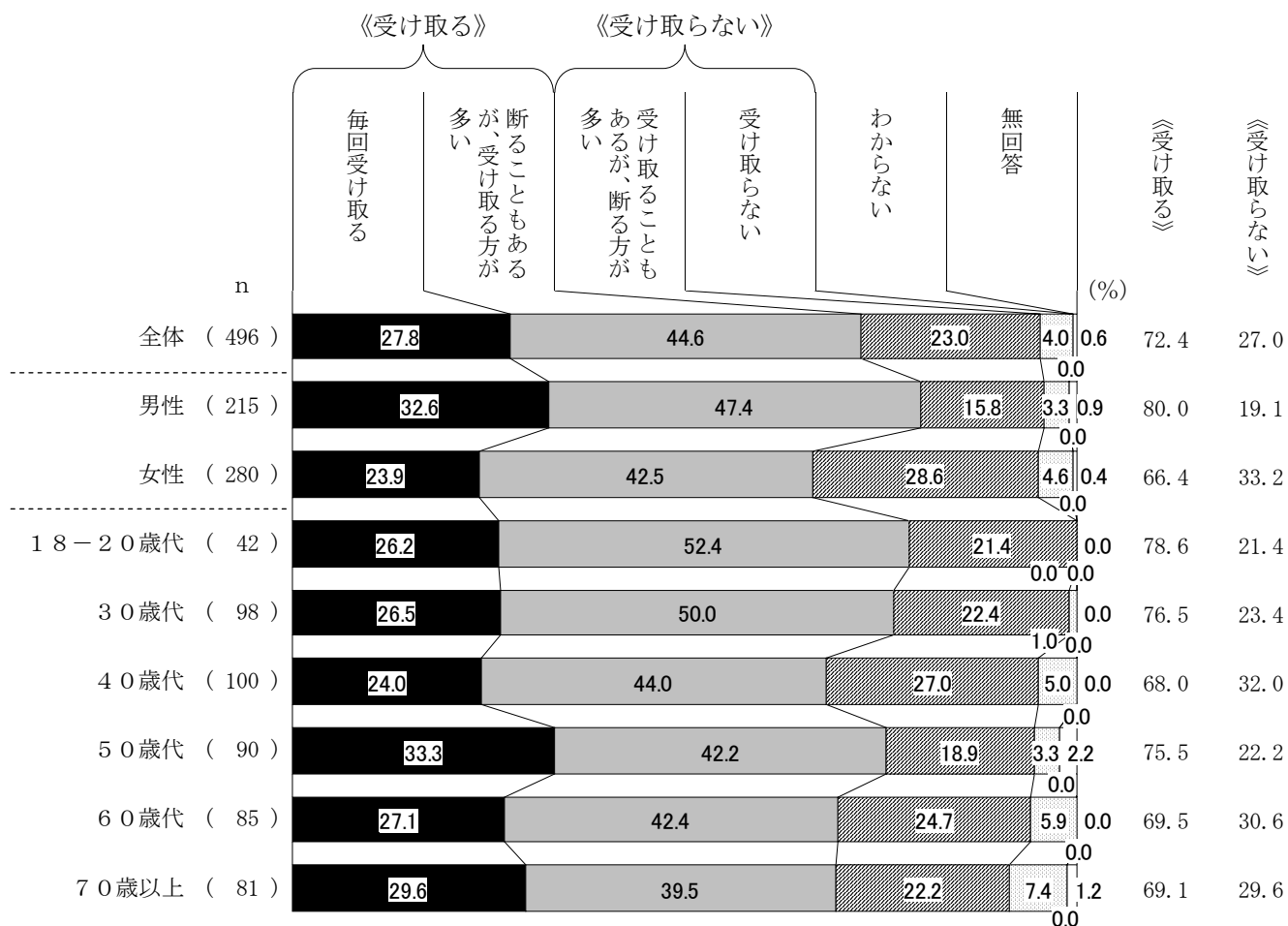
### <レジ袋の削減>

#### (1) レジ袋の受け取り

◎ 《受け取る》人が7割強、一方《受け取らない》人は2割台半ばを超える

問6 買い物をした時、あなたはレジ袋を受け取りますか。(○は1つ)		
(n=496)		
1 毎回受け取る	} (問6-1、問6-2へ)	27.8%
2 断ることもあるが、受け取る方が多い		44.6
3 受け取ることもあるが、断る方が多い		23.0
4 受け取らない		4.0
5 わからない		-
無回答		0.6

図1-18 レジ袋の受け取り(性別・年代別)



レジ袋の受け取りは、「毎回受け取る」（27.8%）と「断ることもあるが、受け取る方が多い」（44.6%）を合わせた、《受け取る》（72.4%）が7割強である。一方、「受け取ることもあるが、断る方が多い」（23.0%）と「受け取らない」（4.0%）を合わせた《受け取らない》（27.0%）は2割台半ばを超える。

性別でみると、《受け取らない》は、女性（33.2%）の方が男性（19.1%）よりも高くなっている。

年代別でみると、《受け取る》は、18-20歳代（78.6%）、30歳代（76.5%）、50歳代（75.5%）で7割台半ばを超えて高くなっている。《受け取らない》は、40歳代（32.0%）、60歳代（30.6%）、70歳以上（29.6%）で3割前後と比較的高い。（図1-18）

## (2) レジ袋を受け取る理由

### ◎ 「ごみ袋などとして使うため」が6割台半ばで突出

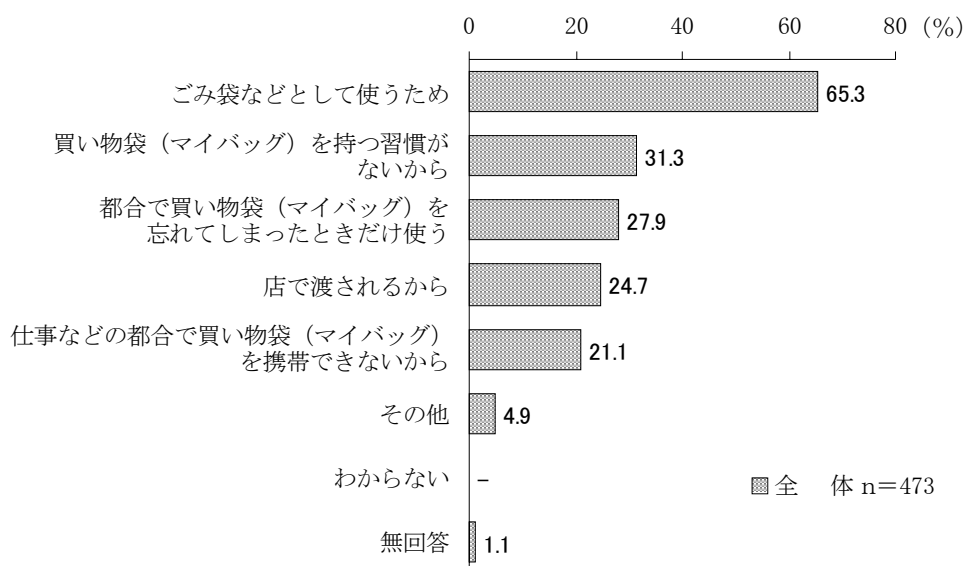
(問6で「1 毎回受け取る」「2 断ることもあるが、受け取る方が多い」「3 受け取ることもあるが断る方が多い」に○をされた方におたずねします)

問6-1 レジ袋を受け取る理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=473)

1	買い物袋(マイバッグ)を持つ習慣がないから	31.3%
2	仕事などの都合で買い物袋(マイバッグ)を携帯できないから	21.1
3	都合で買い物袋(マイバッグ)を忘れてしまったときだけ使う	27.9
4	ごみ袋などとして使うため	65.3
5	店で渡されるから	24.7
6	その他	4.9
7	わからない	-
	無回答	1.1

図1-19 レジ袋を受け取る理由(複数回答)



レジ袋を受け取る理由としては、「ごみ袋などとして使うため」(65.3%)が6割台半ばで最も高い。「買い物袋(マイバッグ)を持つ習慣がないから」(31.3%)、「都合で買い物袋(マイバッグ)を忘れてしまったときだけ使う」(27.9%)が3割前後でそれに続く。(図1-19)

(3) レジ袋が有料化された場合の対応

◎ 「買い物袋（マイバッグ）を持っていく」が約7割で多数を占める

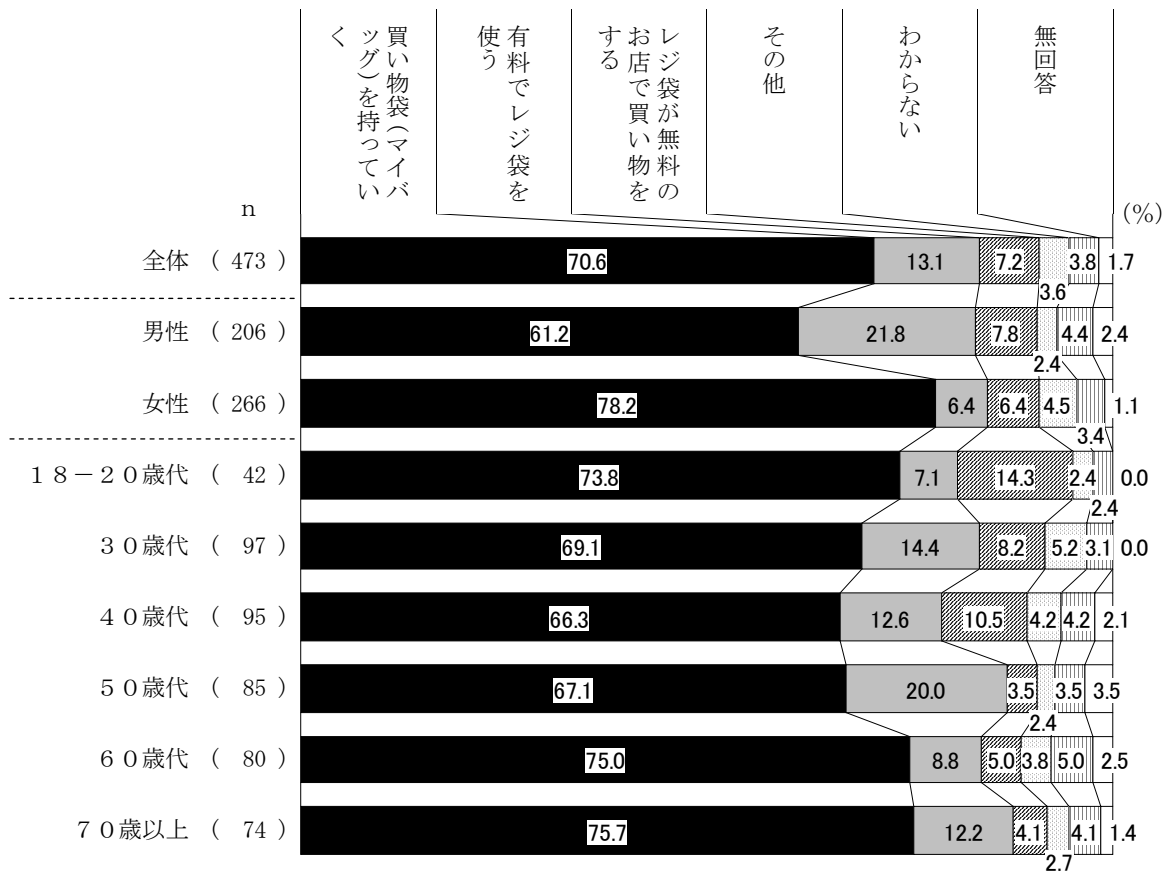
(問6で「1 毎回受け取る」「2 断ることもあるが、受け取る方が多い」「3 受け取ることもあるが断る方が多い」に○をされた方におたずねします)

問6-2 レジ袋削減を目的に、レジ袋を有料化するスーパー等が増えていますが、よく利用するお店がレジ袋を有料化したら、あなたはどうしますか。(○は1つ)

(n=473)

1	買い物袋（マイバッグ）を持っていく	70.6%
2	有料でレジ袋を使う	13.1
3	レジ袋が無料のお店で買い物をする	7.2
4	その他	3.6
5	わからない	3.8
	無回答	1.7

図1-20 レジ袋が有料化された場合の対応（性別・年代別）



レジ袋が有料化された場合の対応としては、「買い物袋（マイバッグ）を持っていく」（70.6%）が約7割で多数を占めている。

性別でみると、「買い物袋（マイバッグ）を持っていく」は、女性（78.2%）の方が男性（61.2%）よりも高くなっている。一方、「有料でレジ袋を使う」は、男性（21.8%）の方が女性（6.4%）よりも高くなっている。

年代別でみると、「買い物袋（マイバッグ）を持っていく」は、どの年代でも6割台半ばを超え高くなっている。（図1-20）

## <家庭ごみの有料化>

### (1) 家庭ごみの有料化に対する考え方

◎ 「有料化すべきでない」が6割台半ば近くで最も多い

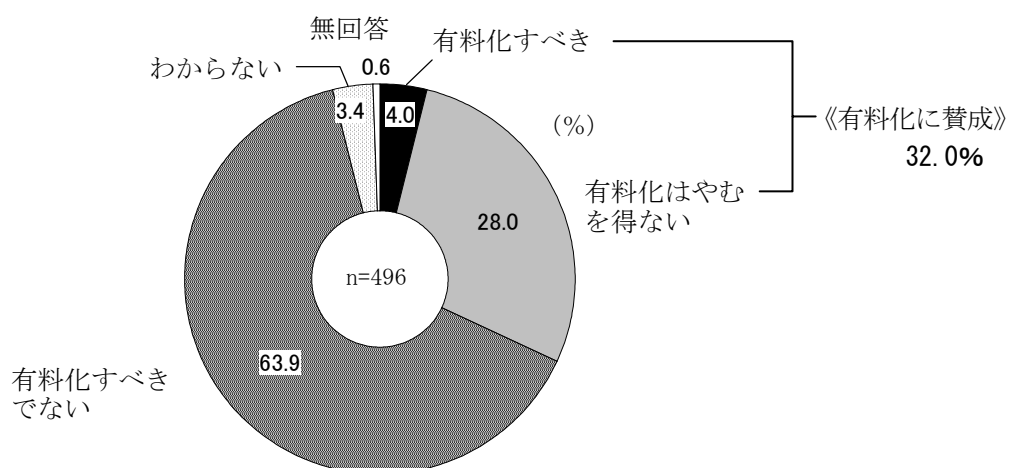
(すべての方におたずねします)

問7 ごみの減量施策として、家庭ごみの有料化を実施している自治体もありますが、あなたは、家庭ごみの有料化についてどう思いますか。(○は1つ)

(n=496)

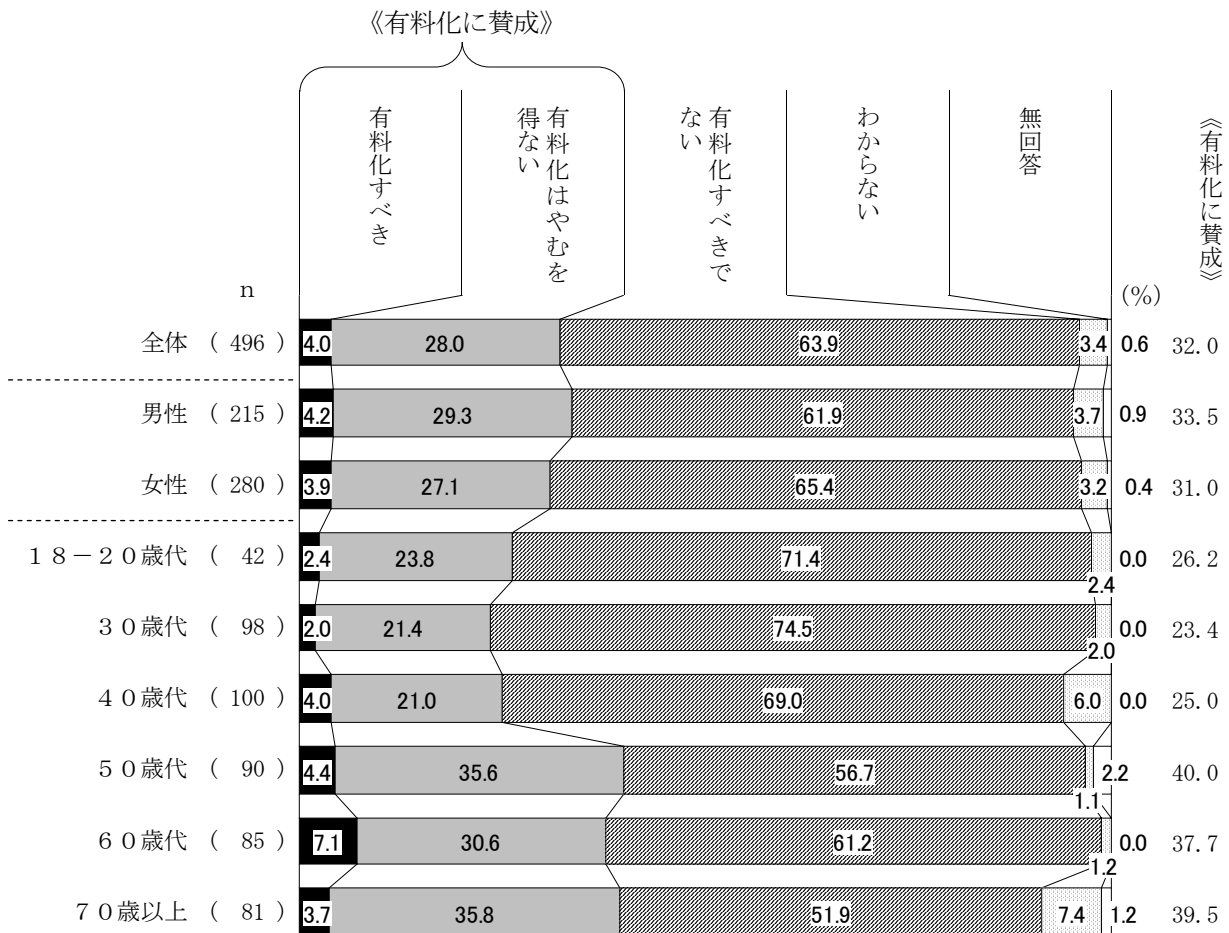
1	有料化すべき	} → (問7-1へ)	4.0%
2	有料化はやむを得ない		28.0
3	有料化すべきでない	→ (問7-2へ)	63.9
4	わからない	→ (問8へ)	3.4
	無回答		0.6

図1-21 家庭ごみの有料化に対する考え方



家庭ごみの有料化に対する考え方としては、「有料化すべき」(4.0%)と「有料化はやむを得ない」(28.0%)を合わせた《有料化に賛成》が3割強で、「有料化すべきでない」(63.9%)が6割台半ば近くと最も多くなっている。(図1-21)

図1-22 家庭ごみの有料化に対する考え方（性別・年代別）



性別で見ると、《有料化に賛成》は、男性（33.5%）の方が女性（31.0%）よりもわずかに高くなっている。一方、「有料化すべきでない」は、女性（65.4%）の方が男性（61.9%）よりもわずかに高くなっている。

年代別で見ると、「有料化すべきでない」は、18-20歳代（71.4%）、30歳代（74.5%）、40歳代（69.0%）で7割前後と高くなっている。一方、《有料化に賛成》は50歳代（40.0%）、60歳代（37.7%）、70歳以上（39.5%）で4割前後と高くなっている。（図1-22）

(2) 有料化に賛成の理由

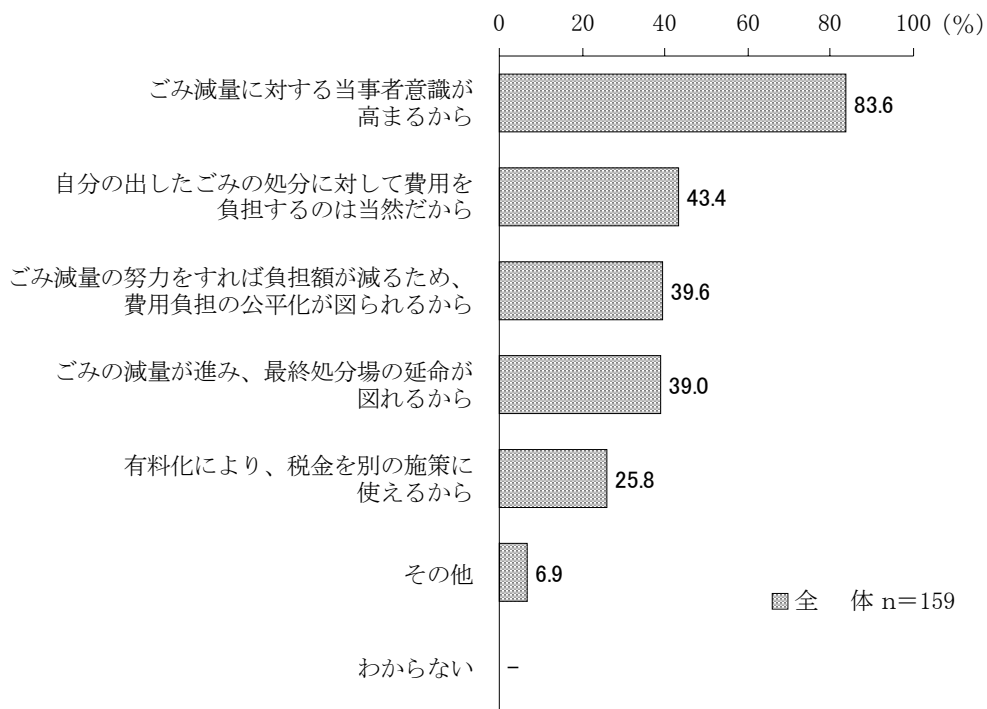
◎ 「ごみ減量に対する当事者意識が高まるから」が8割台半ば近くで最も高い

(問7で「1 有料化すべき」「2 有料化はやむを得ない」に○をされた方におたずねします)  
 問7-1 あなたが「有料化すべき」、「有料化はやむを得ない」と思う理由は何ですか。  
 (○はいくつでも)

(n=159)

1	ごみ減量に対する当事者意識が高まるから	83.6%
2	ごみの減量が進み、最終処分場の延命が図れるから	39.0
3	自分の出したごみの処分に対して費用を負担するのは当然だから	43.4
4	ごみ減量の努力をすれば負担額が減るため、費用負担の公平化が図られるから	39.6
5	有料化により、税金を別の施策に使えるから	25.8
6	その他	6.9
7	わからない	-

図1-23 有料化に賛成の理由(複数回答)



有料化に賛成の理由としては、「ごみ減量に対する当事者意識が高まるから」(83.6%)が8割台半ば近くで最も高い。次いで、「自分の出したごみの処分に対して費用を負担するのは当然だから」(43.4%)が4割台半ば近くとなっている。(図1-23)

(3) 有料化に反対の理由

◎ 「ごみの不法投棄が増えるから」が8割強で最も高い

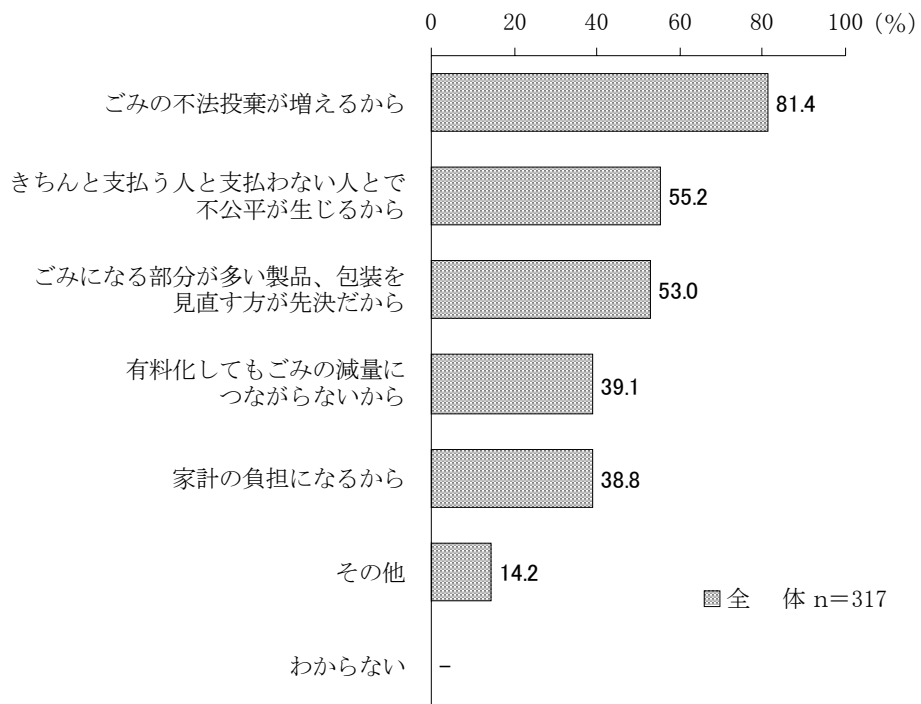
(問7で「3 有料化すべきでない」に○をされた方におたずねします)

問7-2 あなたが「有料化すべきでない」と思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=317)

1	有料化してもごみの減量につながらないから	39.1%
2	ごみの不法投棄が増えるから	81.4
3	きちんと支払う人と支払わない人とで不公平が生じるから	55.2
4	家計の負担になるから	38.8
5	ごみになる部分が多い製品、包装を見直す方が先決だから	53.0
6	その他	14.2
7	わからない	-

図1-24 有料化に反対の理由(複数回答)



有料化に反対の理由としては、「ごみの不法投棄が増えるから」(81.4%)が8割強で最も高い。次いで、「きちんと支払う人と支払わない人とで不公平が生じるから」(55.2%)が5割台半ば、「ごみになる部分が多い製品、包装を見直す方が先決だから」(53.0%)が5割台半ば近くとなっている。(図1-24)

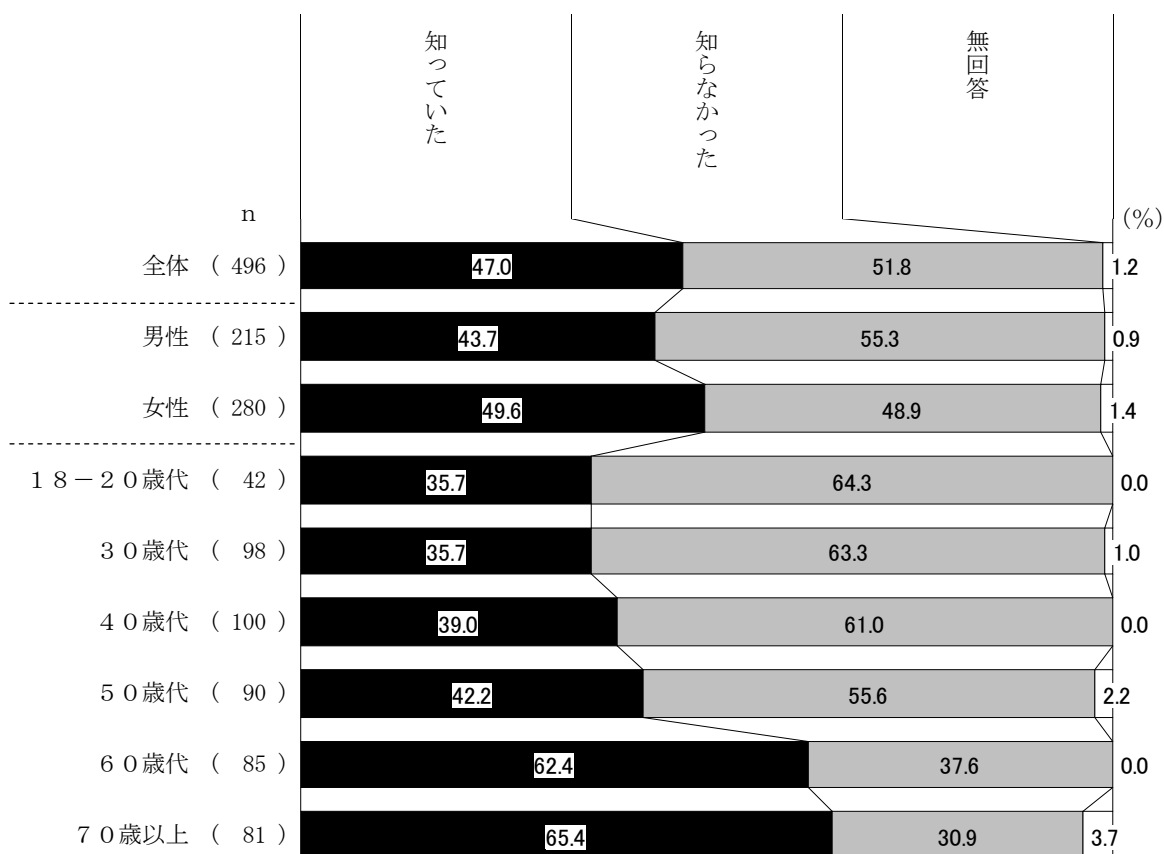
## <資源・ごみの分別方法の変更>

### (1) 資源・ごみの分別方法の変更の認知度

◎ 「知らなかった」が5割強で「知っていた」よりも高い

問8 あなたは容器包装プラスチックは資源、その他のプラスチック製品やごみ・皮革は可燃ごみとなることを知っていましたか。(○は1つ)		
(n=496)		
1	知っていた → (問8-1へ)	47.0%
2	知らなかった → (問9へ)	51.8
	無回答	1.2

図1-25 資源・ごみの分別方法の変更の認知度(性別・年代別)



資源・ごみの分別方法の変更の認知度としては、「知らなかった」(51.8%)が5割強で、「知っていた」(47.0%)よりも高い。

性別で見ると、「知っていた」は、女性(49.6%)の方が男性(43.7%)よりも高くなっている。

年代別で見ると、「知っていた」は、60歳代(62.4%)と70歳以上(65.4%)で6割を超え、高くなっている。一方、「知らなかった」は18-20歳代(64.3%)、30歳代(63.3%)、40歳代(61.0%)、50歳代(55.6%)で5割台半ばから6割と高い。(図1-25)

(2) 分別方法の変更を知った情報源

◎ 「区の広報紙」と「戸別配布されたチラシ（分け方・出し方を記載）」が上位2項目

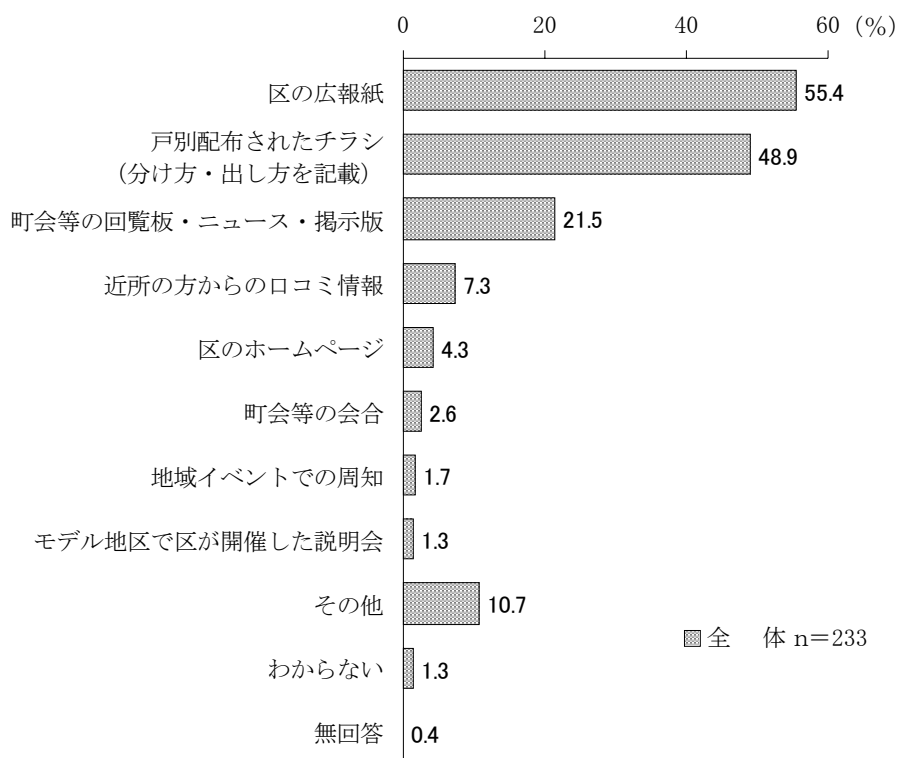
(問8で「1 知っていた」に○をされた方におたずねします)

問8-1 あなたはどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

(n=233)

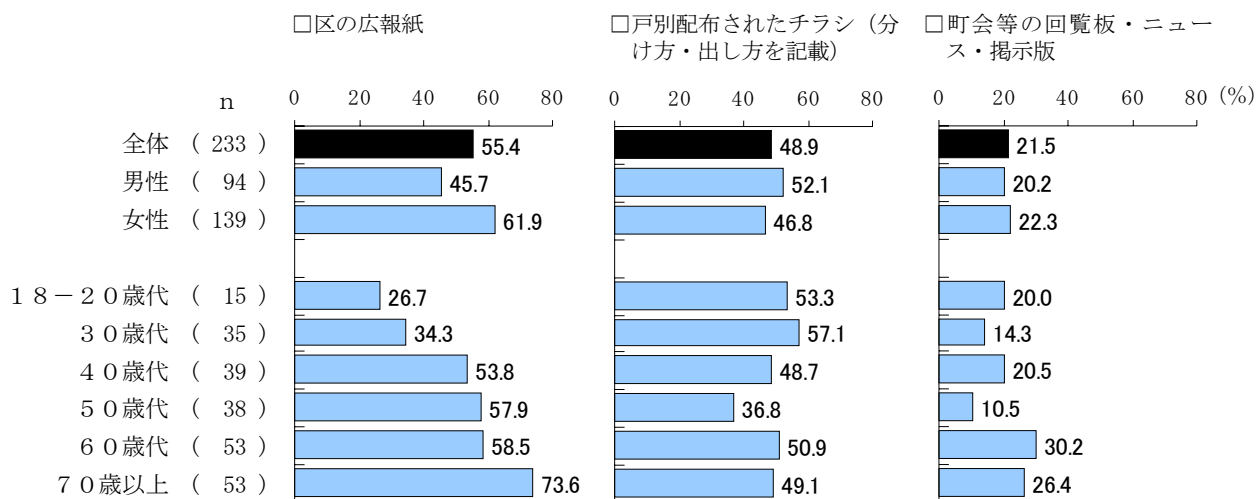
1	区の広報紙	55.4%
2	区のホームページ	4.3
3	戸別配布されたチラシ（分け方・出し方を記載）	48.9
4	モデル地区で区が開催した説明会	1.3
5	町会等の会合	2.6
6	町会等の回覧板・ニュース・掲示版	21.5
7	近所の方からの口コミ情報	7.3
8	地域イベントでの周知	1.7
9	その他	10.7
10	わからない	1.3
	無回答	0.4

図1-26 分別方法の変更を知った情報源（複数回答）



分別方法の変更を知った情報源としては、「区の広報紙」(55.4%)が5割台半ばで最も高く、「戸別配布されたチラシ(分け方・出し方を記載)」(48.9%)が5割近い。また、「町会等の回覧板・ニュース・掲示版」(21.5%)が2割強となっている。(図1-26)

図1-27 分別方法の変更を知った情報源(性別・年代別)上位3項目



上位3項目について、性別で見ると、「区の広報紙」は、女性(61.9%)の方が男性(45.7%)よりも高くなっている。逆に、「戸別配布されたチラシ(分け方・出し方を記載)」は、男性(52.1%)の方が女性(46.8%)よりも高くなっている。

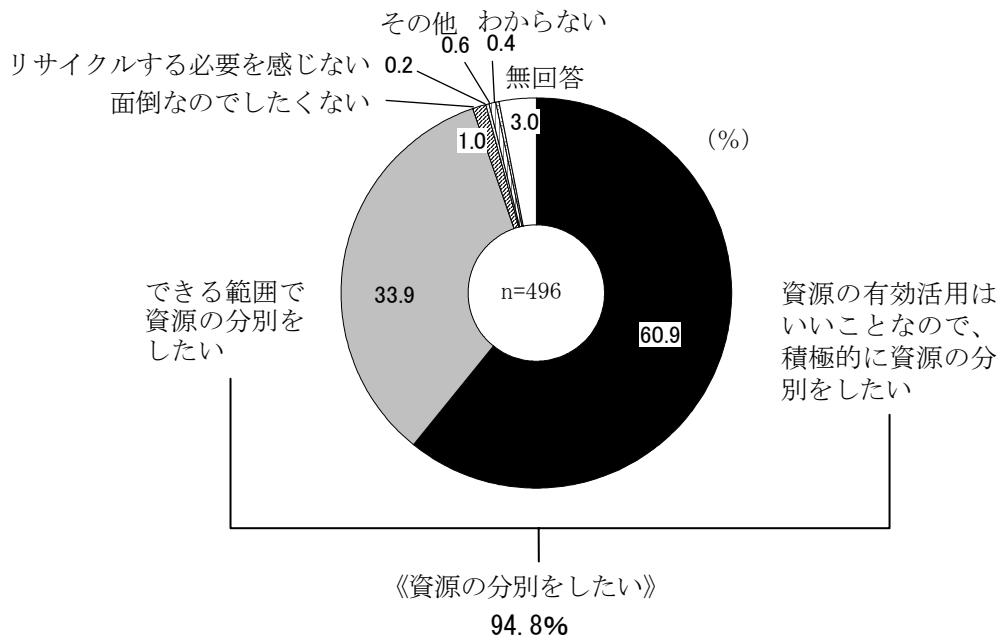
年代別で見ると、「区の広報紙」は年代が上がるにつれて高くなっており、70歳以上(73.6%)で7割台半ば近くで高い。「戸別配布されたチラシ(分け方・出し方を記載)」は50歳代を除く年代で5割前後と高い。(図1-27)

(3) 容器包装プラスチックの資源の分別意向

◎ 《資源の分別をしたい》が9割台半ば近く

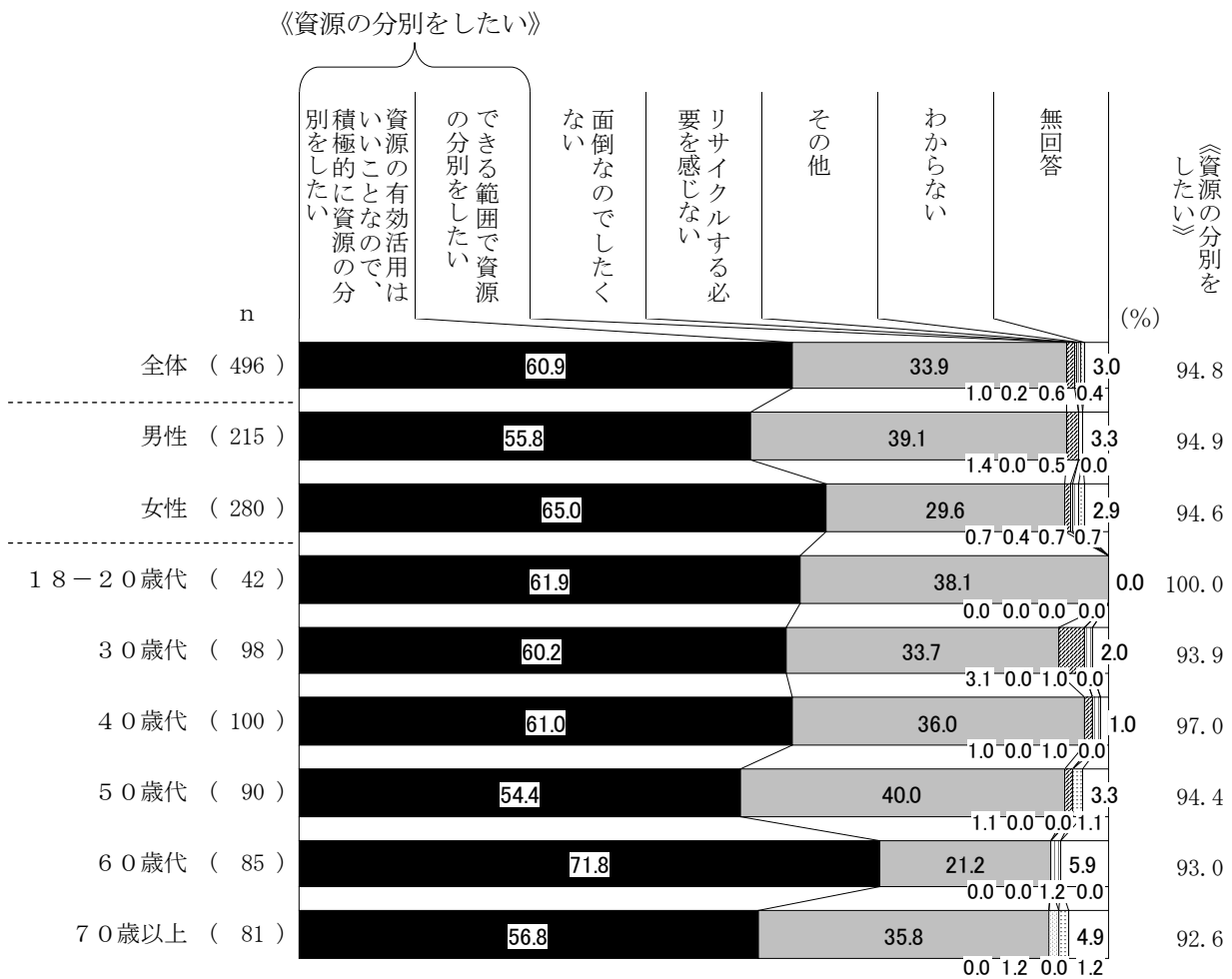
問9 あなたは、今後、容器包装プラスチックの資源回収が開始されたら、リサイクルしたいと思えますか。(○は1つ)		
(n=496)		
1	資源の有効活用はいいことなので、積極的に資源の分別をしたい	60.9%
2	できる範囲で資源の分別をしたい	33.9
3	面倒なのでしたくない	1.0
4	リサイクルする必要を感じない	0.2
5	その他	0.6
6	わからない	0.4
	無回答	3.0

図1-28 容器包装プラスチックの資源の分別意向



容器包装プラスチックの資源の分別意向としては、「資源の有効活用はいいことなので、積極的に資源の分別をしたい」(60.9%)と「できる範囲で資源の分別をしたい」(33.9%)を合わせた、《資源の分別をしたい》(94.8%)が9割台半ば近くである。(図1-28)

図1-29 容器包装プラスチックの資源の分別意向（性別・年代別）



性別で見ると、「資源の有効活用はいいことなので、積極的に資源の分別をしたい」は、女性（65.0%）の方が男性（55.8%）よりも高くなっている。一方、「できる範囲で資源の分別をしたい」は、男性（39.1%）の方が女性（29.6%）よりも高くなっている。

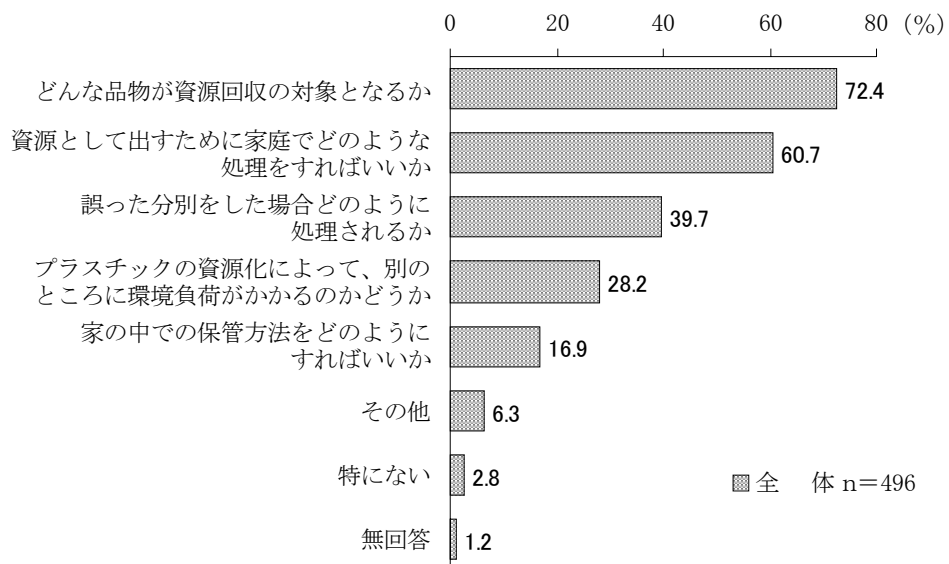
年代別で見ると、《資源の分別をしたい》は、全ての年代で9割を超え高くなっている。（図1-29）

(4) 容器包装プラスチックの資源の分別で知りたいこと

◎ 「どんな品物が資源回収の対象となるか」、「資源として出すために家庭でどのような処理をすればいいか」が上位2項目

問10 容器包装プラスチックの資源の分別を行うにあたって、あなたが知りたいことは何ですか。(〇はいくつでも)		
(n=496)		
1	資源として出すために家庭でどのような処理をすればいいか	60.7%
2	どんな品物が資源回収の対象となるか	72.4
3	家の中での保管方法をどのようにすればいいか	16.9
4	誤った分別をした場合どのように処理されるか	39.7
5	プラスチックの資源化によって、別のところに環境負荷がかかるのかどうか	28.2
6	その他	6.3
7	特にない	2.8
	無回答	1.2

図1-30 容器包装プラスチックの資源の分別で知りたいこと（複数回答）



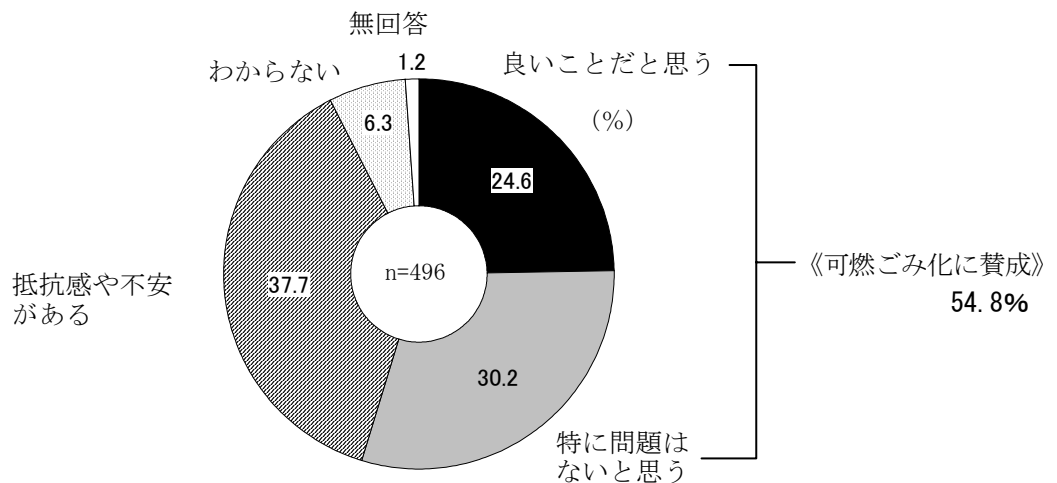
容器包装プラスチックの資源の分別で知りたいこととしては、「どんな品物が資源回収の対象となるか」(72.4%)が7割強で最も高く、次いで、「資源として出すために家庭でどのような処理をすればいいか」(60.7%)が約6割となっている。「誤った分別をした場合どのように処理されるか」(39.7%)が4割弱で続く。(図1-30)

(5) プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化について

◎ 《可燃ごみ化に賛成》が5割台半ば近く、「抵抗感や不安がある」が3割台半ばを超える

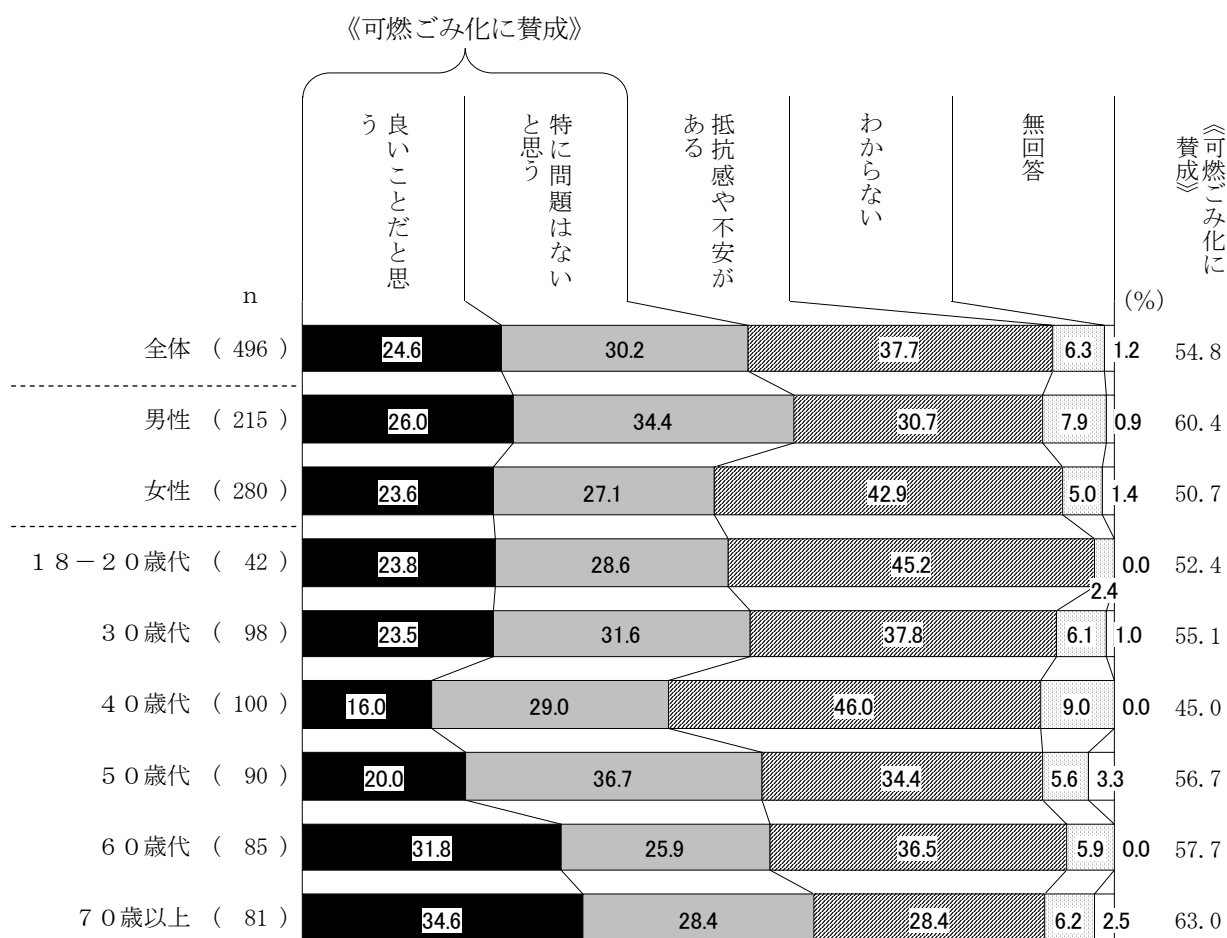
問11 あなたは、資源回収の対象とならないプラスチックとゴム・皮革製品は可燃ごみとなることについてどう感じますか。(○は1つ)			
(n=496)			
1	良いことだと思う	} → (問11-1へ)	24.6%
2	特に問題はないと思う		30.2
3	抵抗感や不安がある	→ (問11-2へ)	37.7
4	わからない		6.3
	無回答		1.2

図1-31 プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化について



プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化については、「良いことだと思う」(24.6%)と「特に問題はないと思う」(30.2%)を合わせた《可燃ごみ化に賛成》(54.8%)が5割台半ば近く、「抵抗感や不安がある」(37.7%)が3割台半ばを超えている。(図1-31)

図1-32 プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化について（性別・年代別）



性別でみると、《可燃ごみ化に賛成》は、男性（60.4%）の方が女性（50.7%）よりも高くなっている。一方、「抵抗感や不安がある」は、女性（42.9%）の方が男性（30.7%）よりも高くなっている。

年代別でみると、《可燃ごみ化に賛成》は、40歳代を除く全ての年代で5割を超える。（図1-32）

(6) プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に賛成の理由

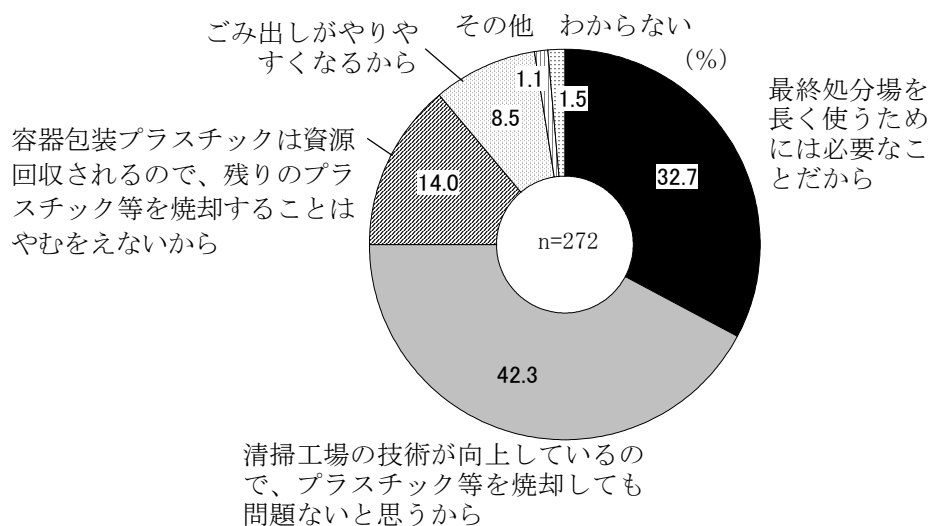
◎ 「清掃工場の技術が向上しているので、プラスチック等を焼却しても問題ないと思うから」が4割強

(問11で「1 良いことだと思う」「2 特に問題はないと思う」に○をされた方におたずねします)  
 問11-1 あなたが「良いことだと思う」、「特に問題はないと思う」理由は何ですか。  
 (○は1つ)

(n=272)

1	最終処分場を長く使うためには必要なことだから	32.7%
2	清掃工場の技術が向上しているので、プラスチック等を焼却しても問題ないと思うから	42.3
3	容器包装プラスチックは資源回収されるので、残りのプラスチック等を焼却することはやむをえないから	14.0
4	ごみ出しがやりやすくなるから	8.5
5	その他	1.1
6	わからない	1.5

図1-33 プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に賛成の理由



プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に賛成の理由としては、「清掃工場の技術が向上しているので、プラスチック等を焼却しても問題ないと思うから」(42.3%)が4割強と最も多い。次いで、「最終処分場を長く使うためには必要なことだから」(32.7%)が3割強となっている。(図1-33)

(7) プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に反対の理由

◎ 「プラスチック等の焼却について、安全性に不安を感じるから」が8割強を占める

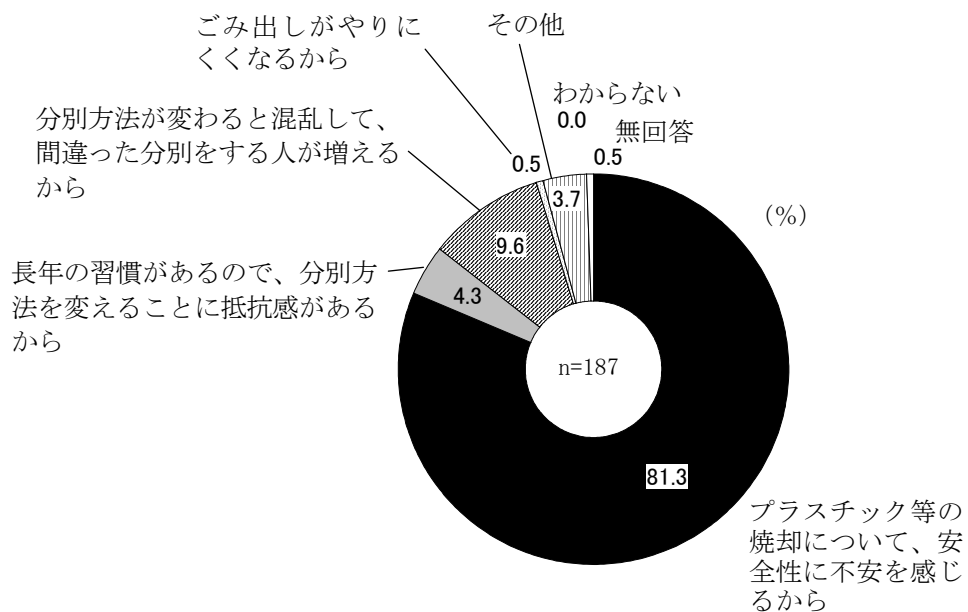
(問11で「3 抵抗感や不安がある」に○をされた方におたずねします)

問11-2 あなたが「抵抗感や不安がある」と感じる理由は何ですか。(○は1つ)

(n=187)

1	プラスチック等の焼却について、安全性に不安を感じるから	81.3%
2	長年の習慣があるので、分別方法を変えることに抵抗感があるから	4.3
3	分別方法が変わると混乱して、間違った分別をする人が増えるから	9.6
4	ごみ出しがやりにくくなるから	0.5
5	その他	3.7
6	わからない	-
	無回答	0.5

図1-34 プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に反対の理由



プラスチックとゴム・皮革製品の可燃ごみ化に反対の理由としては、「プラスチック等の焼却について、安全性に不安を感じるから」(81.3%)が8割強で多数を占めている。(図1-34)

### 3 震災に備えて

#### <家屋について>

(1) 家屋の建築年の認知状況と建築年

◎ 建築年を「知っている」が8割近く

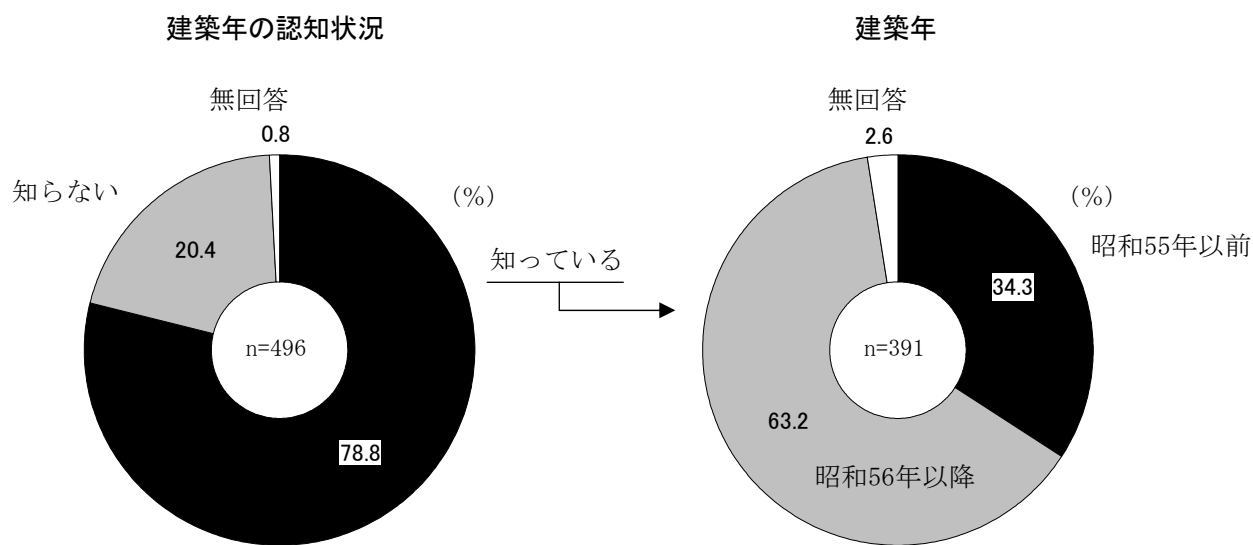
◎ 「昭和55年以前」が3割台半ば近く、「昭和56年以降」が6割台半ば近く

問12 あなたは、自分のお住まいの建物がいつ建てられたか知っていますか。(○は1つ)

(n=496)

1	知っている	78.8%	→	具体的な建築年を記入 (n=391)
2	知らない	20.4		
	無回答	0.8		

図1-35 家屋の建築年の認知状況と建築年



家屋の建築年の認知状況としては、「知っている」(78.8%)が8割近く、「知らない」(20.4%)が約2割となっている。

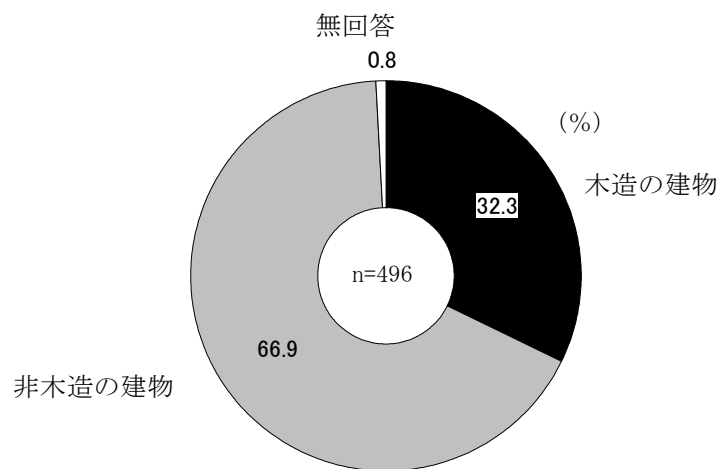
具体的な家屋の建築年を昭和56年改正の新耐震基準で分類すると、「昭和55年以前」(34.3%)が3割台半ば近く、「昭和56年以降」(63.2%)が6割台半ば近くとなっている。(図1-35)

(2) 家屋の建築構造

◎ 「非木造の建物」が6割台半ばを超える。一方、「木造の建物」は3割強

問12-1 あなたはお住まいの建物は、次のうちどちらですか。(○は1つ)		
(n=496)		
1	木造の建物	32.3%
2	非木造の建物	66.9
	無回答	0.8

図1-36 家屋の建築構造



家屋の建築構造としては、「木造の建物」(32.3%)が3割強、「非木造の建物」(66.9%)が6割台半ばを超えて最も多くなっている。(図1-36)

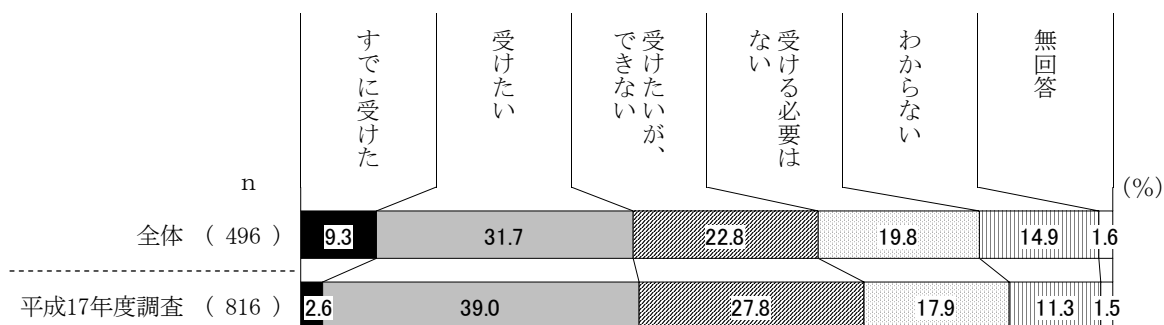
## <耐震診断>

### (1) 耐震診断の意向

◎ 「すでに受けた」が1割弱、「受けたい」が3割強

問13 あなたは、お住まいの建物について、耐震診断を受けたいと思いますか。(〇は1つ) (n=496)		
1	すでに受けた	9.3%
2	受けたい	31.7
3	受けたいが、できない	22.8
4	受ける必要はない	19.8
5	わからない	14.9
	無回答	1.6

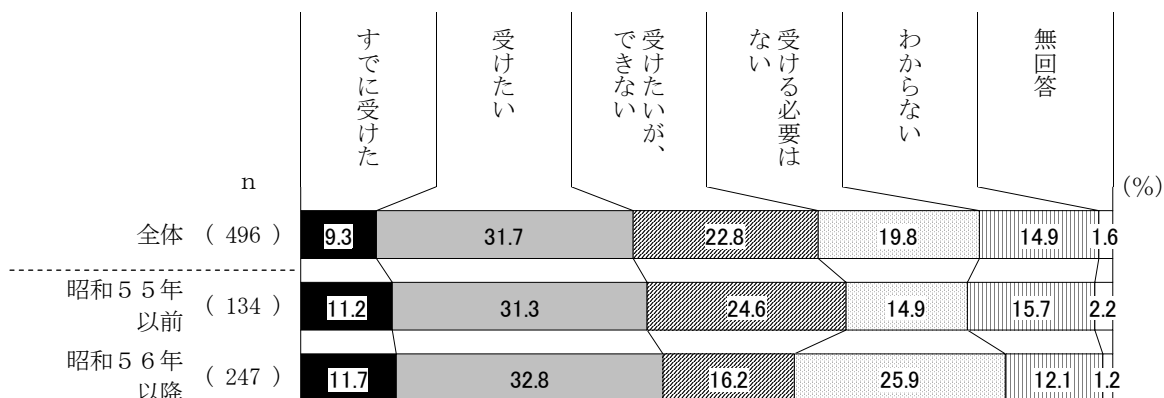
図1-37 耐震診断の意向(平成17年度区政モニターアンケートとの比較)



耐震診断の意向としては、「すでに受けた」(9.3%)が約1割で、「受けたい」(31.7%)が3割強と最も多くなっている。一方、「受けたいが、できない」(22.8%)が2割強、「受ける必要はない」(19.8%)が2割弱となっている。

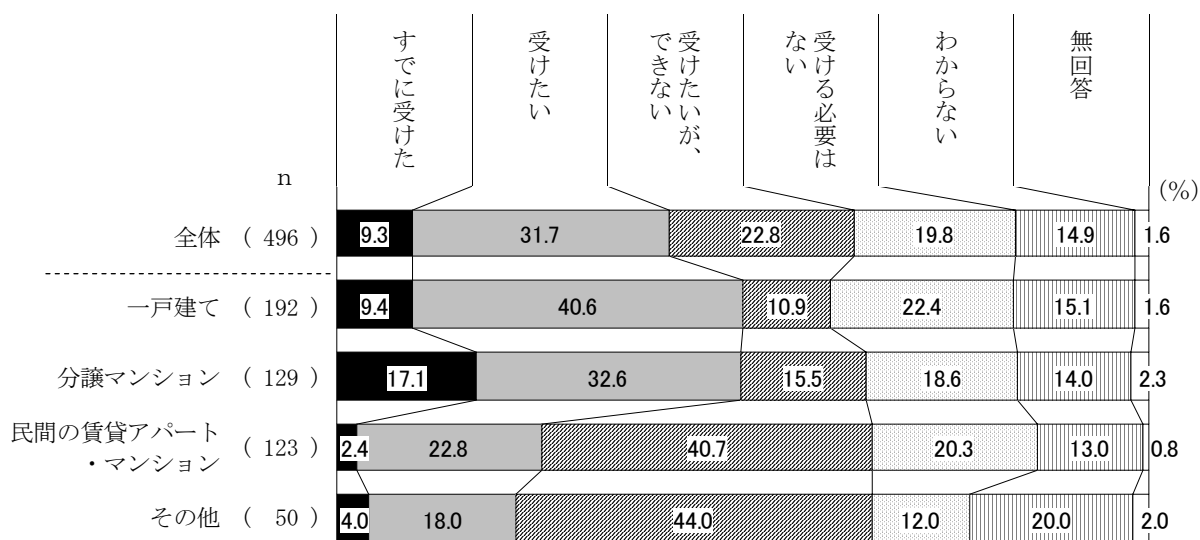
平成17年度の調査と比較すると、平成19年度調査では、「すでに受けた」は平成17年度調査(2.6%)と比べ高くなっている。「受けたい」は、平成19年度調査(31.7%)の方が平成17年度調査(39.0%)よりも低くなっている。(図1-37)

図1-38 耐震診断の意向（家屋の建築年別）



家屋の建築年別でみると、「受けたいが、できない」は、昭和55年以前（24.6%）で2割台半ばに近く、昭和56年以降（16.2%）よりも高くなっている。「受ける必要はない」は、昭和56年以降（25.9%）で2割台半ばにとどまっている。（図1-38）

図1-39 耐震診断の意向（住居形態別4区分）



住居形態別でみると、「すでに受けた」は、分譲マンション（17.1%）で1割台半ばを超えてその他の形態に比べて高い。「受けたい」は、一戸建て（40.6%）で約4割、分譲マンション（32.6%）で3割強である。一方、「受けたいが、できない」は、民間の賃貸アパート・マンション（40.7%）とその他（44.0%）で4割台と高い。「受ける必要はない」は一戸建て（22.4%）と民間の賃貸アパート・マンション（20.3%）で2割台となっている。（図1-39）

(2) 耐震診断を受けない理由

◎ 「集合住宅で自分の考えのみではできないから」が4割台半ばで最も高い

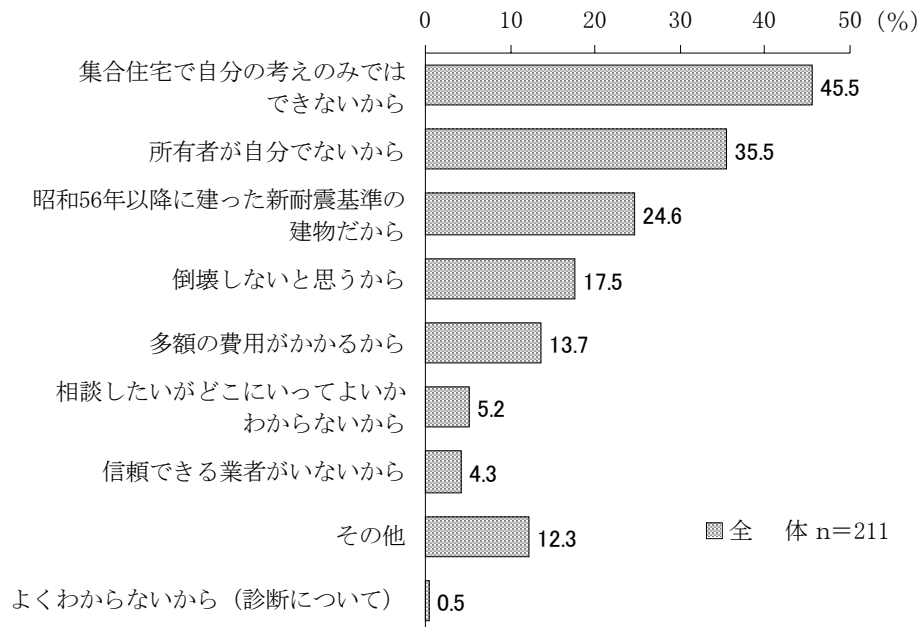
(問13で「3 受けたいが、できない」「4 受ける必要はない」に○をされた方におたずねします)

問13-1 耐震診断を受けない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=211)

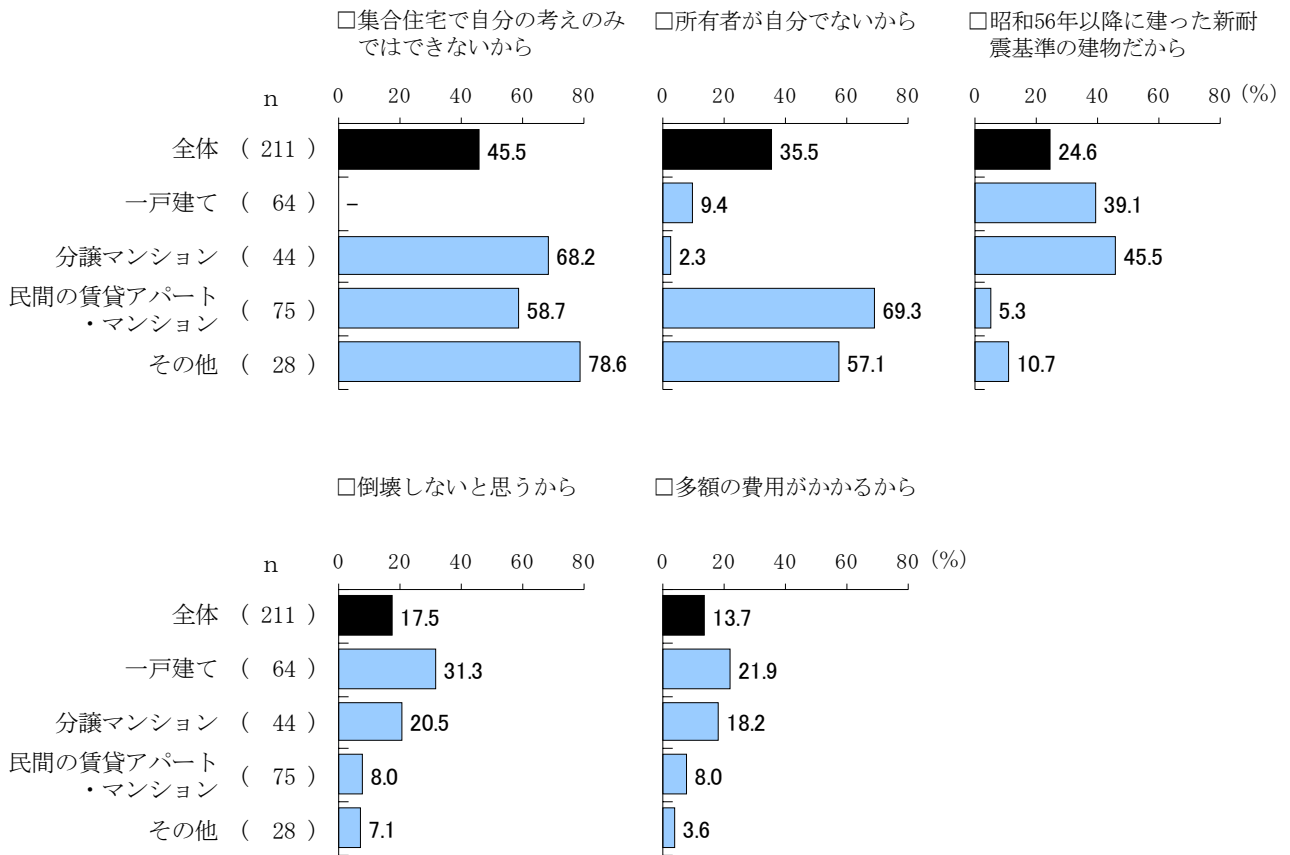
1	集合住宅で自分の考えのみではできないから	45.5%
2	所有者が自分でないから	35.5
3	昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから	24.6
4	多額の費用がかかるから	13.7
5	倒壊しないと思うから	17.5
6	信頼できる業者がないから	4.3
7	相談したいがどこにいったよいかわからないから	5.2
8	その他	12.3
9	よくわからないから (診断について)	0.5

図1-40 耐震診断を受けない理由 (複数回答)



耐震診断を受けない理由としては、「集合住宅で自分の考えのみではできないから」(45.5%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「所有者が自分でないから」(35.5%)が3割台半ばとなっている。「昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから」(24.6%)が2割台半ば近くで続く。(図1-40)

図1-41 耐震診断を受けない理由（住居形態別4区分）上位5項目



上位5項目について、住居形態別で見ると、「集合住宅で自分の考えのみではできないから」は、分譲マンションと民間の賃貸アパート・マンションで割合が高い。「所有者が自分でないから」は、民間の賃貸アパート・マンション（69.3%）で7割弱である。「昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから」は、分譲マンション（45.5%）で4割台半ば、一戸建て（39.1%）で4割弱である。「倒壊しないと思うから」は、一戸建て（31.3%）で3割強となっている。（図1-41）

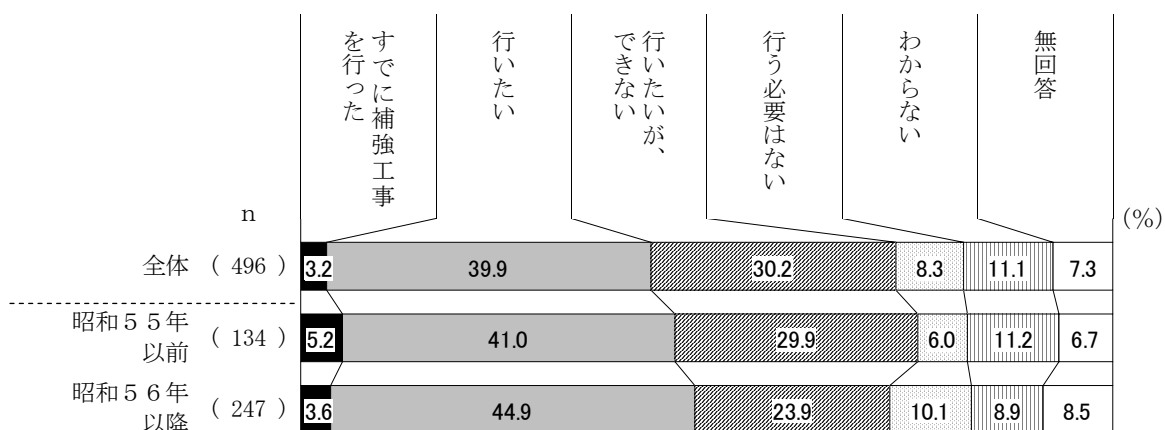
## <耐震補強工事>

### (1) 耐震補強工事の意向

◎ 「行いたい」が4割弱、「行いたいが、できない」が約3割

問14 お住まいの建物について、耐震診断の結果、耐震補強が必要だった場合に、あなたは補強工事を行いたいと思いますか。(○は1つ)	
(n=496)	
1 すでに補強工事を行った	3.2%
2 行いたい	39.9
3 行いたいが、できない	30.2
4 行う必要はない	8.3
5 わからない	11.1
無回答	7.3

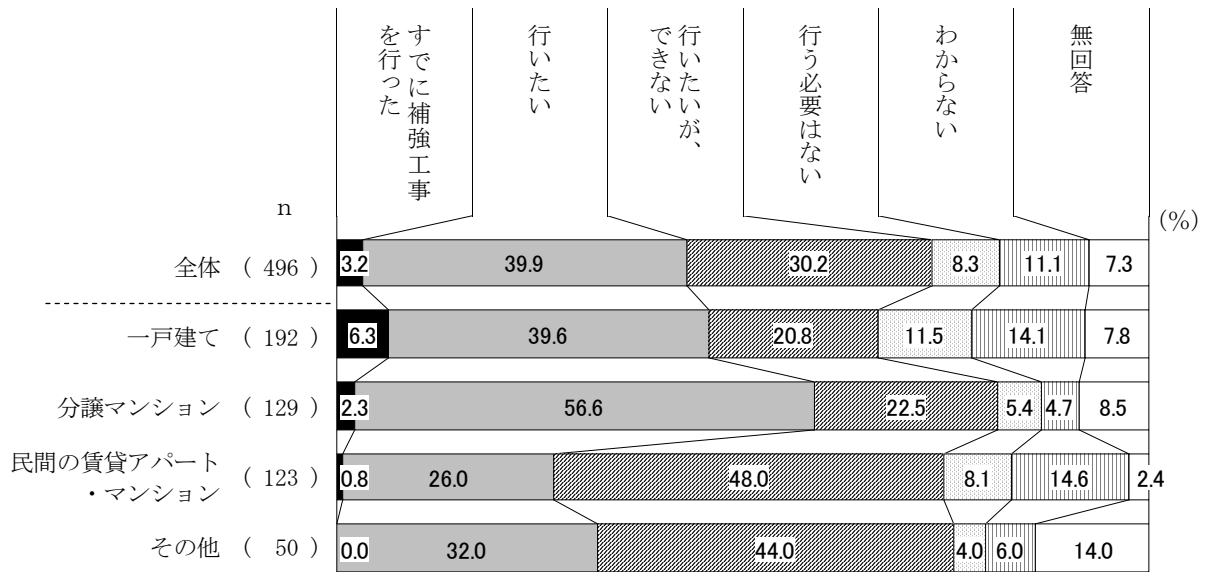
図1-42 耐震補強工事の意向(家屋の建築年別)



耐震補強工事の意向としては、「行いたい」(39.9%)が4割弱で最も多く、「行いたいが、できない」(30.2%)が約3割となっている。

家屋の建築年別で見ると、「行いたいが、できない」は、昭和55年以前(29.9%)の方が昭和56年以降(23.9%)よりも高くなっている。(図1-42)

図1-43 耐震補強工事の意向（住居形態別4区分）



住居形態別でみると、「すでに補強工事を行った」は、一戸建てで6.3%とそれ以外の住居形態に比べて高い。「行いたい」は、分譲マンション（56.6%）で5割台半ばを超え、一戸建て（39.6%）で4割弱である。一方、「行いたいですが、できない」は、民間の賃貸アパート・マンション（48.0%）とその他（44.0%）で4割台となっている。「行う必要はない」は一戸建て（11.5%）で1割強となっている。（図1-43）

(2) 耐震補強工事を行わない理由

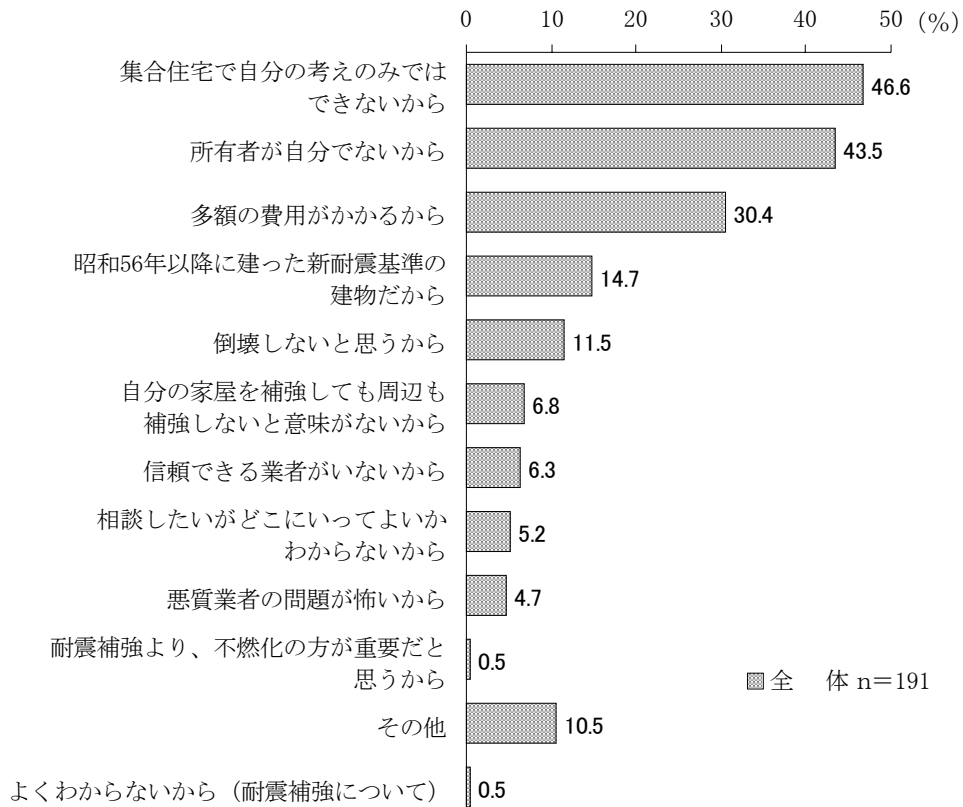
◎ 「集合住宅で自分の考えのみではできないから」と「所有者が自分でないから」が上位2項目

(問14で「3 行いたい、できない」「4 行う必要はない」に○をされた方におたずねします)  
問14-1 耐震補強工事を行わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=191)

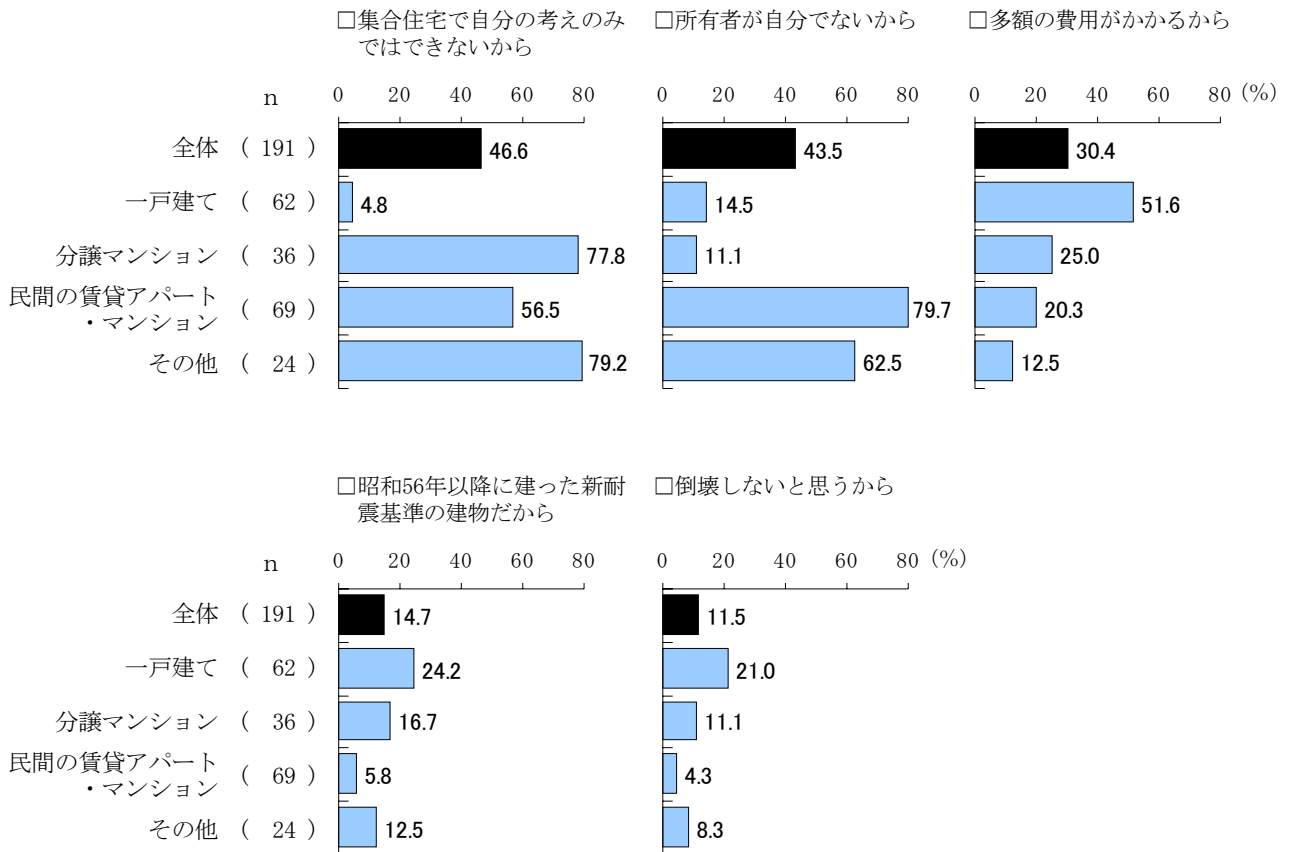
1	集合住宅で自分の考えのみではできないから	46.6%
2	所有者が自分でないから	43.5
3	昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから	14.7
4	多額の費用がかかるから	30.4
5	倒壊しないと思うから	11.5
6	信頼できる業者がないから	6.3
7	悪質業者の問題が怖いから	4.7
8	相談したいがどこにいったよいかわからないから	5.2
9	自分の家屋を補強しても周辺も補強しないと意味がないから	6.8
10	耐震補強より、不燃化の方が重要だと思うから	0.5
11	その他	10.5
12	よくわからないから(耐震補強について)	0.5

図1-44 耐震補強工事を行わない理由(複数回答)



耐震補強工事を行わない理由としては、「集合住宅で自分の考えのみではできないから」(46.6%)が4割台半ばを超えて最も高く、「所有者が自分でないから」(43.5%)が4割台半ば近い。また、「多額の費用がかかるから」(30.4%)が約3割となっている。(図1-44)

図1-45 耐震補強工事を行わない理由(住居形態別4区分)上位5項目



上位5項目について、住居形態別でみると、「集合住宅で自分の考えのみではできないから」は、分譲マンションと民間の賃貸アパート・マンションで割合が高い。「所有者が自分でないから」は、民間の賃貸アパート・マンション(79.7%)で8割弱である。「多額の費用がかかるから」は、一戸建て(51.6%)で5割強である。「昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから」と「倒壊しないと思うから」は、一戸建てで2割台と高くなっている。(図1-45)

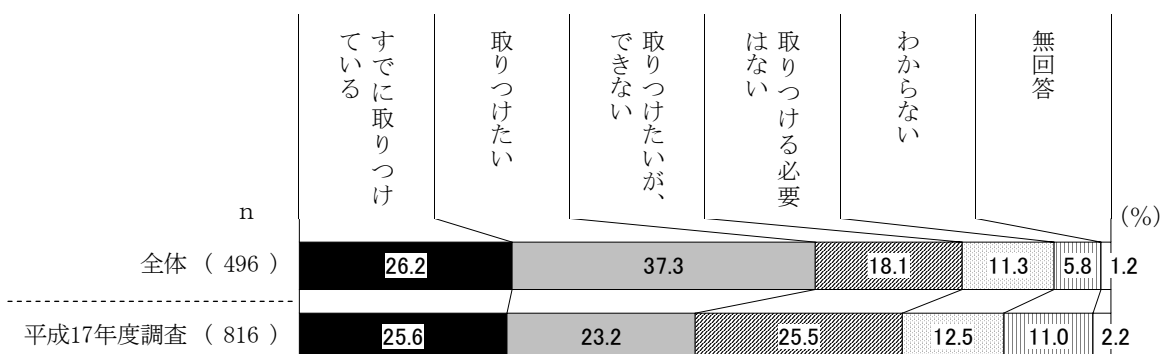
## <家具転倒防止器具の取り付け>

### (1) 家具転倒防止器具の取り付けの意向

◎ 「すでに取り付けている」が2割台半ばを超え、「取り付けたい」が3割台半ばを超える

問15 あなたは家具転倒防止器具を取り付けたいと思いますか。(〇は1つ)		
(n=496)		
1	すでに取り付けている	26.2%
2	取り付けたい	37.3
3	取り付けたいが、できない	18.1
4	取り付ける必要はない	11.3
5	わからない	5.8
	無回答	1.2

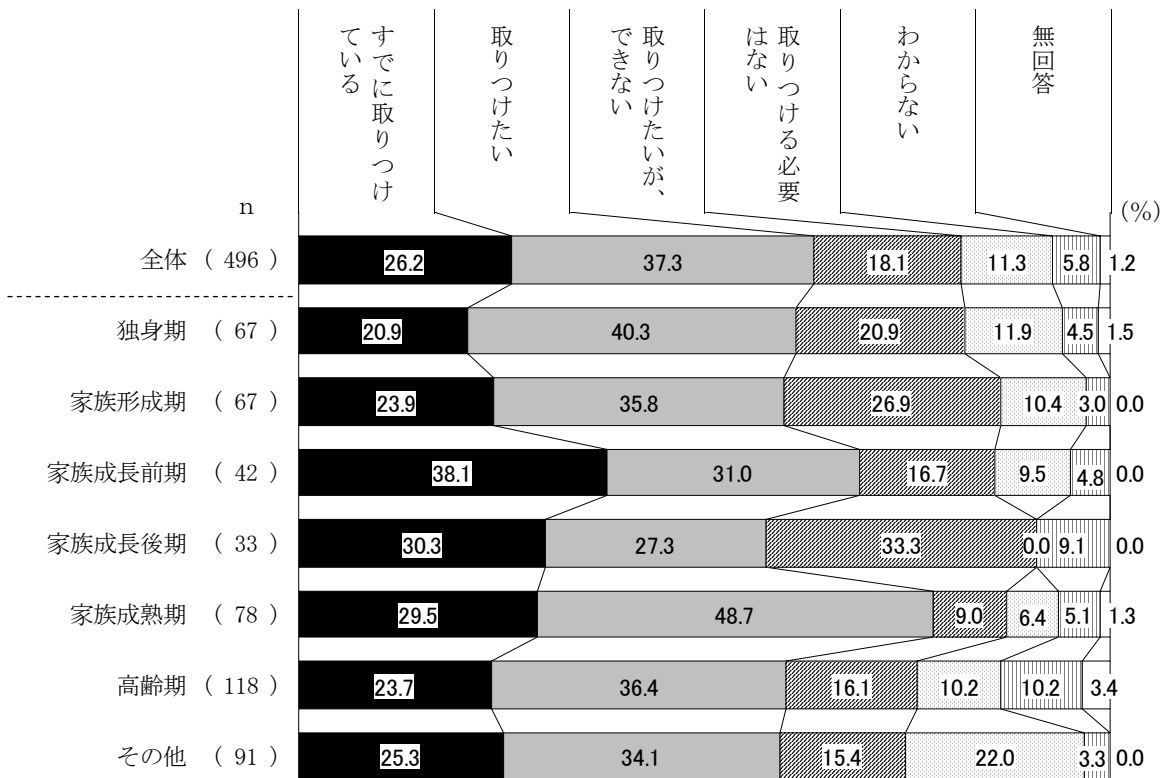
図1-46 家具転倒防止器具の取り付けの意向 (平成17年度区政モニターアンケートとの比較)



家具転倒防止器具の取り付けの意向としては、「すでに取り付けている」(26.2%)が2割台半ばを超え、「取り付けたい」(37.3%)が3割台半ばを超えている。一方、「取り付けたいが、できない」(18.1%)が2割近く、「取り付ける必要はない」(11.3%)が1割強となっている。

平成17年度の調査と比較すると、平成19年度調査では「取り付けたい」は、平成17年度調査(23.2%)と比べ高くなっている。「取り付けたいが、できない」は、平成17年度調査(25.5%)と比べ低くなっている。(図1-46)

図1-47 家具転倒防止器具の取り付けの意向（ライフステージ別）



ライフステージ別でみると、「すでに取っつけている」は、家族成長前期（38.1%）で4割近くで最も高い。「取っつけたい」は、家族成熟期（48.7%）で5割近くになっている。一方、「取っつけたいが、できない」は家族成長後期（33.3%）で3割台半ば近い。（図1-47）

(2) 家具転倒防止器具を取りつけていない理由

◎ 「家具や家屋に傷をつけるから」が3割台半ば近く最も高い

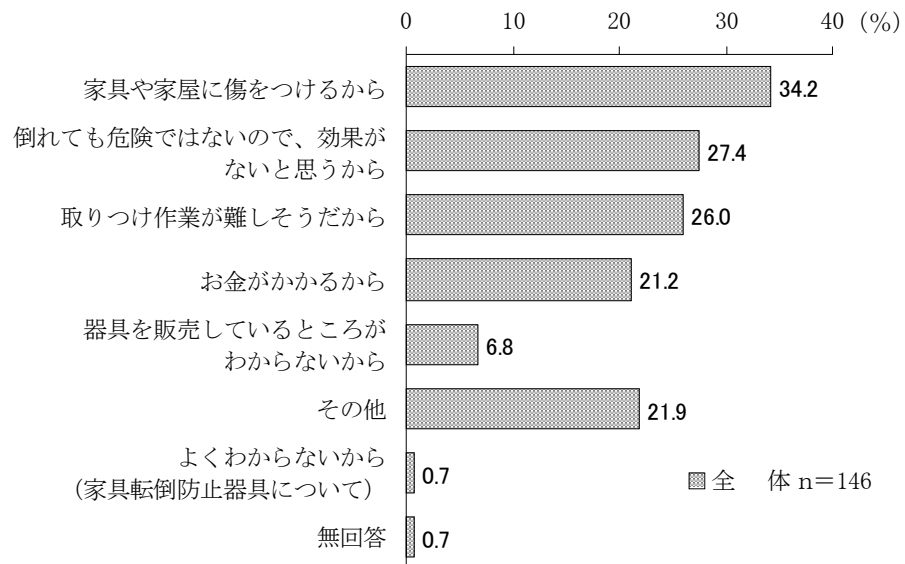
(問15で「3 取りつけたいが、できない」「4 取りつける必要はない」に○をされた方におたずねします)

問15-1 家具転倒防止器具を取りつけていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=146)

1 家具や家屋に傷をつけるから	34.2%
2 器具を販売しているところがわからないから	6.8
3 取りつけ作業が難しそうだから	26.0
4 お金がかかるから	21.2
5 倒れても危険ではないので、効果がないと思うから	27.4
6 その他	21.9
7 よくわからないから (家具転倒防止器具について)	0.7
無回答	0.7

図1-48 家具転倒防止器具を取りつけていない理由 (複数回答)



家具転倒防止器具を取りつけていない理由としては、「家具や家屋に傷をつけるから」(34.2%)が3割台半ば近くで最も高くなっている。次いで、「倒れても危険ではないので、効果がないと思うから」(27.4%)、「取りつけ作業が難しそうだから」(26.0%)がともに2割台半ばを超えている。

(図1-48)

## <それ以外の取り組み>

(1) 震災に備えて普段から取り組んでいること

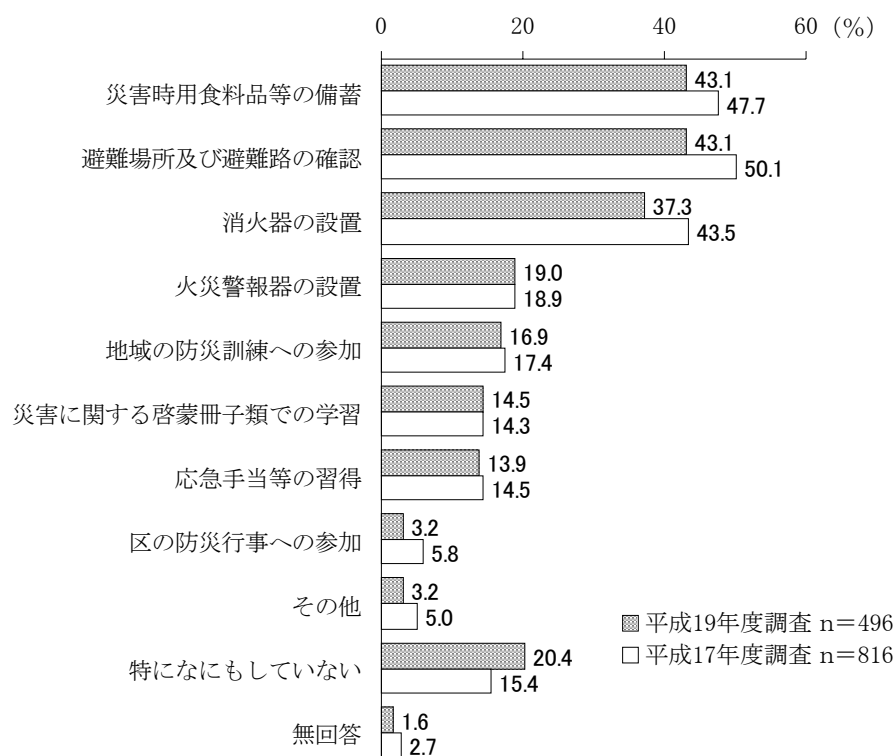
◎ 「災害時用食料品等の備蓄」と「避難場所及び避難路の確認」が4割台半ば近くで並ぶ

問16 耐震対策や家具転倒防止器具の取り付け以外に、あなたが普段から取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

(n=496)

1	地域の防災訓練への参加	16.9%
2	区の防災行事への参加	3.2
3	火災警報器の設置	19.0
4	消火器の設置	37.3
5	災害時用食料品等の備蓄	43.1
6	避難場所及び避難路の確認	43.1
7	応急手当等の習得	13.9
8	災害に関する啓蒙冊子類での学習	14.5
9	その他	3.2
10	特になにもしていない	20.4
	無回答	1.6

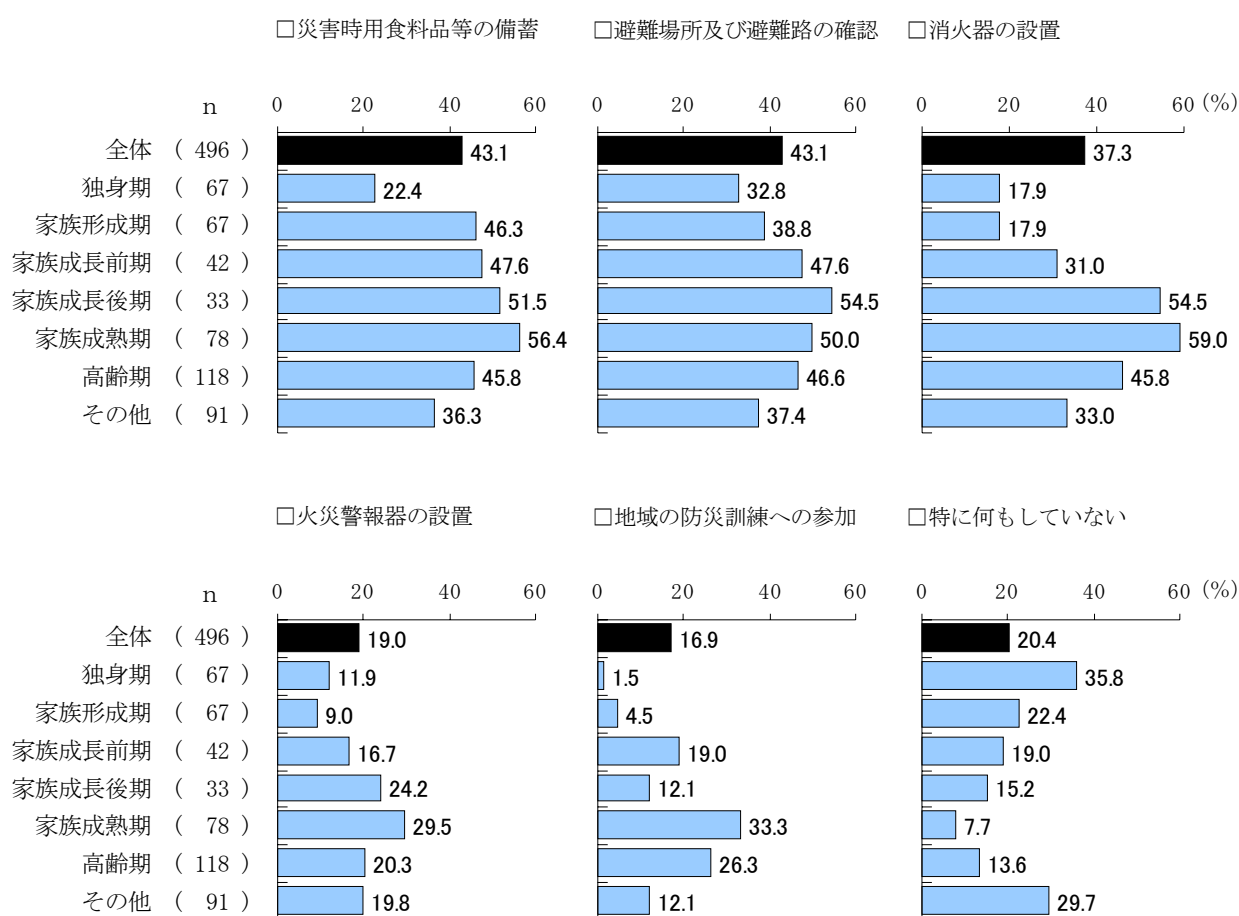
図1-49 震災に備えて普段から取り組んでいること  
(平成17年度区政モニターアンケートとの比較・複数回答)



震災に備えて普段から取り組んでいることとしては、「災害時用食料品等の備蓄」と「避難場所及び避難路の確認」（いずれも43.1%）が4割台半ば近くで最も高くなっている。次いで、「消火器の設置」（37.3%）が3割台半ばを超えている。「火災警報器の設置」（19.0%）が2割近く、「地域の防災訓練への参加」（16.9%）が1割台半ばを超えて続く。

平成17年度の調査と比較すると、平成19年度調査では「災害時用食料品等の備蓄」、「避難場所及び避難路の確認」、「消火器の設置」は平成17年度調査と比べ低くなっている。なお、「特になにもしていない」は、平成17年度調査（15.4%）よりも高くなっている。（図1-49）

図1-50 震災に備えて普段から取り組んでいること（ライフステージ別）  
上位5項目及び「特になにもしていない」



上位5項目と「特になにもしていない」について、ライフステージ別でみると、「災害時用食料品等の備蓄」、「避難場所及び避難路の確認」、「消火器の設置」は、家族成熟期と家族成長後期で5割台と高くなっている。「火災警報器の設置」は、家族成熟期（29.5%）で3割弱、「地域の防災訓練への参加」は、家族成熟期（33.3%）で3割台半ば近い。なお、「特になにもしていない」は、独身期（35.8%）で3割台半ばとなっている。（図1-50）

問17 その他、震災に備えてのご意見がありましたらご記入ください。

(主な意見の抜粋)

- 地域ごとの避難場所や緊急物資、食糧の支給場所などの周知を徹底してほしい。
- 震災時の都・区に対応を詳しく教えてほしい。
- 区として震災時の食糧の準備はどれくらいあるか知りたい。
- 災害時には一人暮らし高齢者の援助を配慮すべき。移動に介助が必要な人の調査も必要なのではないか。
- 震災時の帰宅難民が出た際の区の対策を知りたい。
- 防災訓練に参加したいが、いつどこでやっているのか分からない。
- 避難路・安全確認の方法等を緊急時に知る方法を知りたい。
- 地盤についての情報を提供してほしい。
- 高層ビルのオフィス街の震災対策も充実させてほしい。
- マンションでの防災訓練で参加者が少ないため訓練の効果が期待できない。
- 万一の場合、特にトイレ等の衛生面に問題が発生しないよう取り組んでほしい。
- 乳幼児でも避難生活が出来るように区として備えてほしい。(ミルクやオムツなど。)
- 震災時に、医師・歯科医師・看護師・保育士などがボランティア活動できるシステムがあれば、参加したいという有資格者は多いと思う。
- 災害時に家族と連絡が容易に出来るシステムを構築してほしい。
- 災害時に火事が発生しないよう対策を講じてほしい。狭い路地に古い木造家屋が密集する地域では、以前近所で火事が出た時も道路が狭く、大きい消防車がなかなか現場にたどりつけないという状況があった。
- 家具転倒防止器具を買ったが、高齢者は取り付けが大変。作業してくれる人が必要。
- 水・食料の非常時の配給場所を知りたい。また、学校・地域で災害時の対応などについて学びの機会を増やしてほしい。
- 通路のブロック塀などの危険をチェックしてほしい。
- 広域避難場所があまりにも遠すぎる。近くの学校・校庭を開放すべき。
- 地域で防災訓練を行っていると思うが集合住宅に住んでいるとそういう情報が入りにくい。
- 補強工事について、区に相談すれば、適当な業者を推薦するシステムをつくってほしい。
- 区内の細街道路の拡幅を推進してほしい。

## 4 コールセンターの開設に向けて

### <身近な情報の入手方法>

(1) 区政情報や地域情報について希望する入手手段

- ◎ 「区の広報紙」が6割台半ばを超え、「区のホームページ」「地域の掲示板」が4割台で続く

問18 あなたは、区政情報や地域に関する情報（イベントや商店街等の情報など）をどのような方法で入手できたら、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

(n=496)

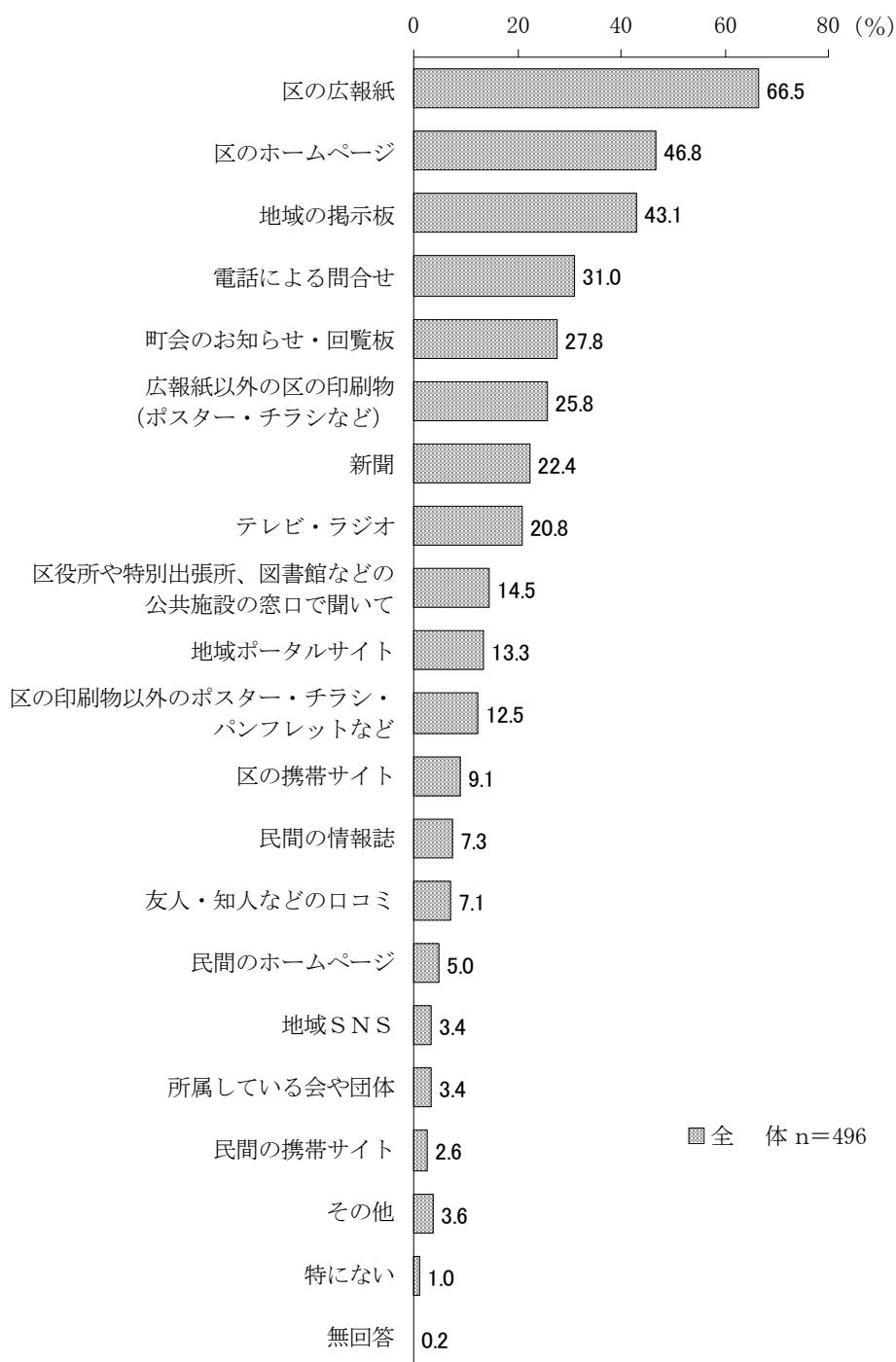
1	区の広報紙	66.5%
2	区のホームページ	46.8
3	電話による問合せ	31.0
4	区役所や特別出張所、図書館などの公共施設の窓口で聞いて	14.5
5	区の携帯サイト	9.1
6	広報紙以外の区の印刷物（ポスター・チラシなど）	25.8
7	区の印刷物以外のポスター・チラシ・パンフレットなど	12.5
8	町会のお知らせ・回覧板	27.8
9	地域の掲示板	43.1
10	地域ポータルサイト（※1）	13.3
11	地域SNS（※2）	3.4
12	民間の情報誌	7.3
13	民間のホームページ	5.0
14	民間の携帯サイト	2.6
15	所属している会や団体	3.4
16	友人・知人などの口コミ	7.1
17	テレビ・ラジオ	20.8
18	新聞	22.4
19	その他	3.6
20	特にない	1.0
	無回答	0.2

※1 地域ポータルサイト・・・地域に密着した交通、お店、公共施設など、さまざまな地域情報が集められたサイト。

※2 地域SNS・・・・・・・SNS（Social Networking Service）とは、インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス（サイト）。

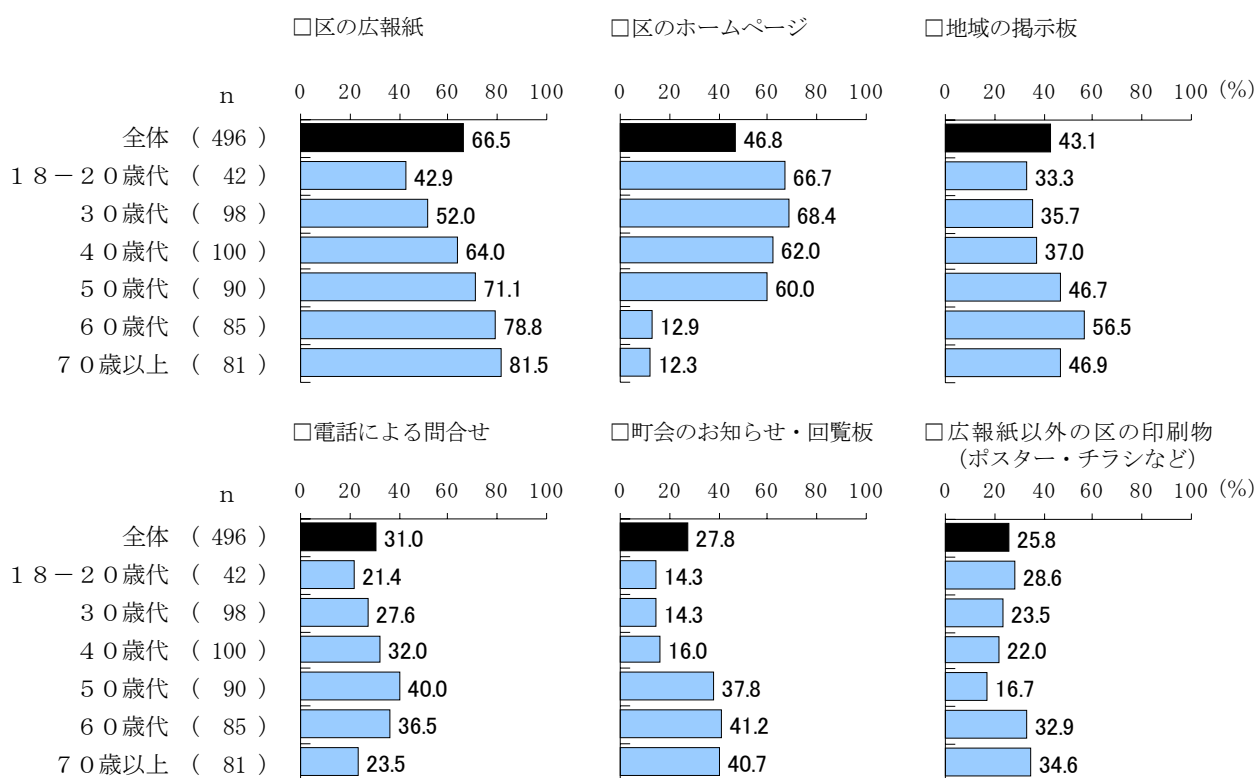
地域SNSは、行政情報、地域情報などを入手したりすることができる地域向けの交流・情報提供サービスで、地域の人々が交流や情報提供を行うために便利な機能を持つ。

図 1-51 区政情報や地域情報について希望する入手手段（複数回答）



区政情報や地域情報について希望する入手手段としては、「区の広報紙」（66.5%）が6割台半ばを超え最も高い。次いで、「区のホームページ」（46.8%）が4割台半ばを超え、「地域の掲示板」（43.1%）が4割台半ば近くとなっている。「電話による問合せ」（31.0%）が3割強で続く。（図1-51）

図1-52 区政情報や地域情報について希望する入手手段（年代別）上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「区のホームページ」は18-20歳代(66.7%)、30歳代(68.4%)、40歳代(62.0%)、50歳代(60.0%)で6割台と高くなっている。「区の情報紙」、「地域の掲示板」、「町会のお知らせ・回覧板」は50歳代、60歳代、70歳以上で割合が高い。「電話による問合せ」は50歳代(40.0%)、60歳代(36.5%)で4割前後と高くなっている。(図1-52)

## <問合せをしたい身近な情報>

(1) 問合せをしたい区政情報や地域情報

◎ 「保健・健康・医療」「保険・年金・税」が上位2項目

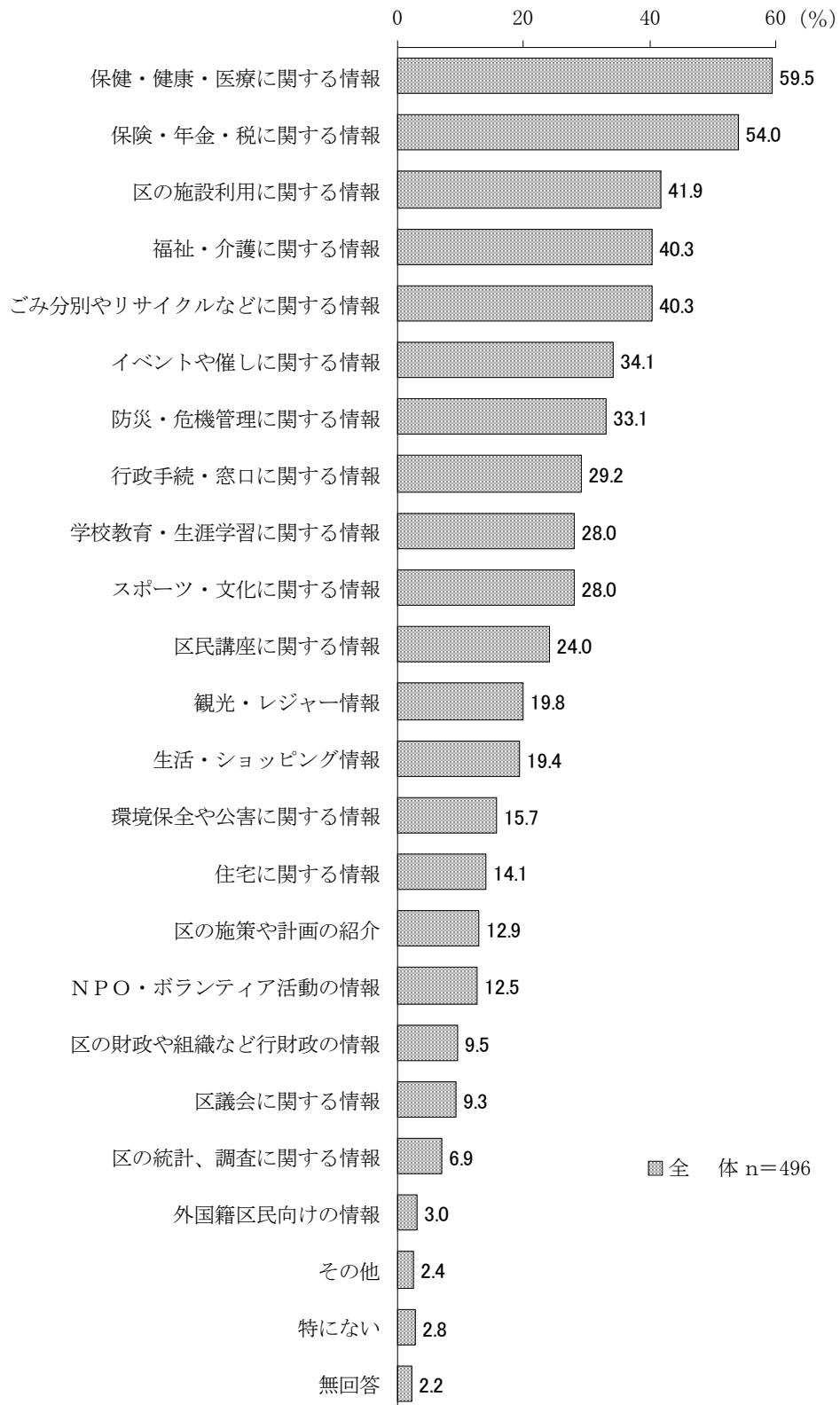
◎ 「区の施設利用」「福祉・介護」「ごみ分別やリサイクルなど」がそれに続く

問19 あなたが、普段、問合せをしたい区政情報や地域情報は何か。(〇はいくつでも)

(n=496)

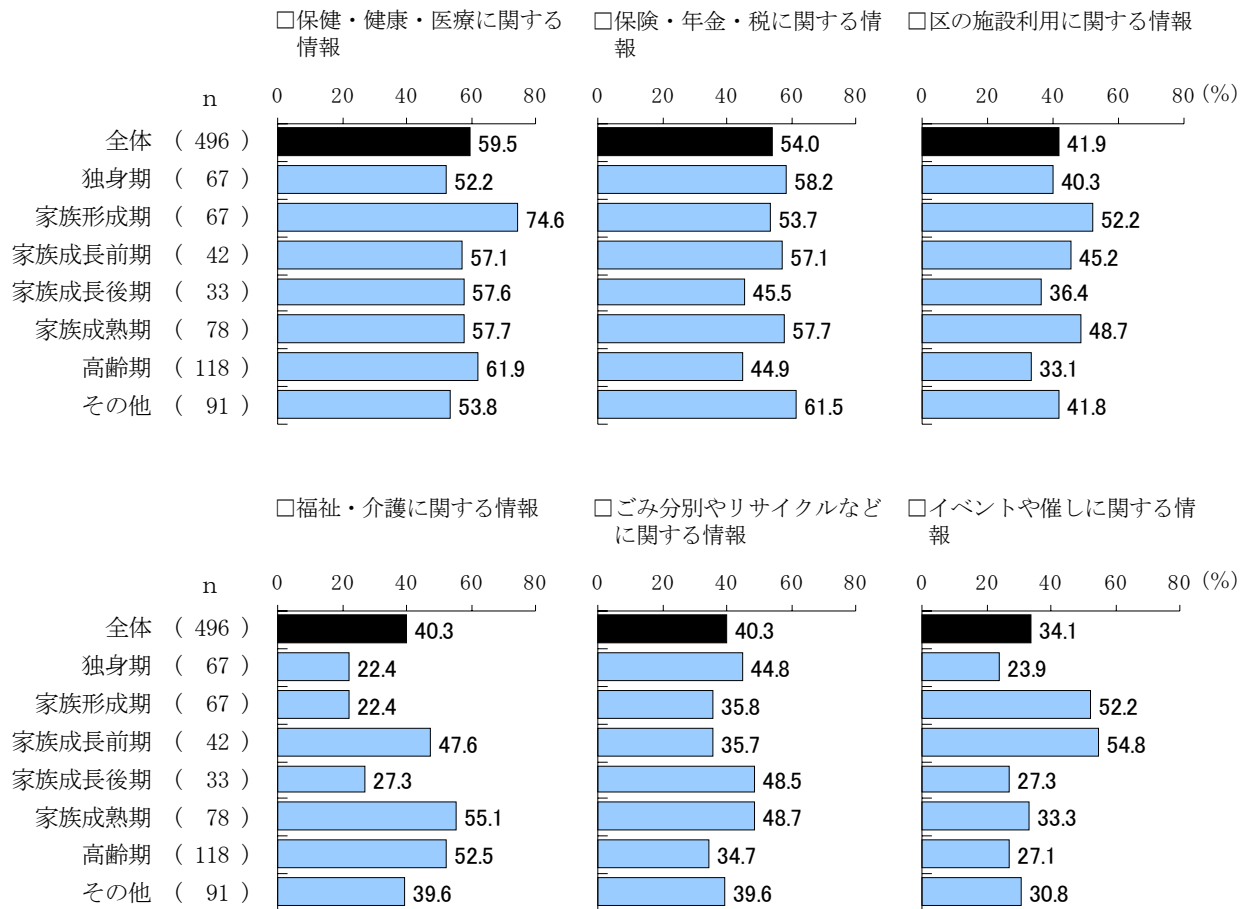
1	生活・ショッピング情報	19.4%
2	観光・レジャー情報	19.8
3	イベントや催しに関する情報	34.1
4	保険・年金・税に関する情報	54.0
5	保健・健康・医療に関する情報	59.5
6	福祉・介護に関する情報	40.3
7	学校教育・生涯学習に関する情報	28.0
8	スポーツ・文化に関する情報	28.0
9	防災・危機管理に関する情報	33.1
10	ごみ分別やリサイクルなどに関する情報	40.3
11	住宅に関する情報	14.1
12	環境保全や公害に関する情報	15.7
13	NPO・ボランティア活動の情報	12.5
14	区議会に関する情報	9.3
15	行政手続・窓口に関する情報	29.2
16	区民講座に関する情報	24.0
17	区の施設利用に関する情報	41.9
18	区の施策や計画の紹介	12.9
19	区の財政や組織など行財政の情報	9.5
20	区の統計、調査に関する情報	6.9
21	外国籍区民向けの情報	3.0
22	その他	2.4
23	特になし	2.8
	無回答	2.2

図 1-53 問合せをしたい区政情報や地域情報（複数回答）



問合せをしたい区政情報や地域情報としては、「保健・健康・医療に関する情報」（59.5%）が6割弱で最も高い。次いで、「保険・年金・税に関する情報」（54.0%）が5割台半ば近くとなっている。「区の施設利用に関する情報」（41.9%）が4割強、「福祉・介護に関する情報」と「ごみ分別やリサイクルなどに関する情報」（いずれも40.3%）が約4割で続く。（図1-53）

図1-54 問合せをしたい区政情報や地域情報（ライフステージ別）上位6項目



上位6項目について、ライフステージ別でみると、「保健・健康・医療に関する情報」と「保険・年金・税に関する情報」は、全てのライフステージで高くなっている。「福祉・介護に関する情報」は、家族成熟期（55.1%）と高齢期（52.5%）で5割台と高くなっている。「イベントや催しに関する情報」は、家族形成期（52.2%）と家族成長前期（54.8%）で5割台と高くなっている。（図1-54）

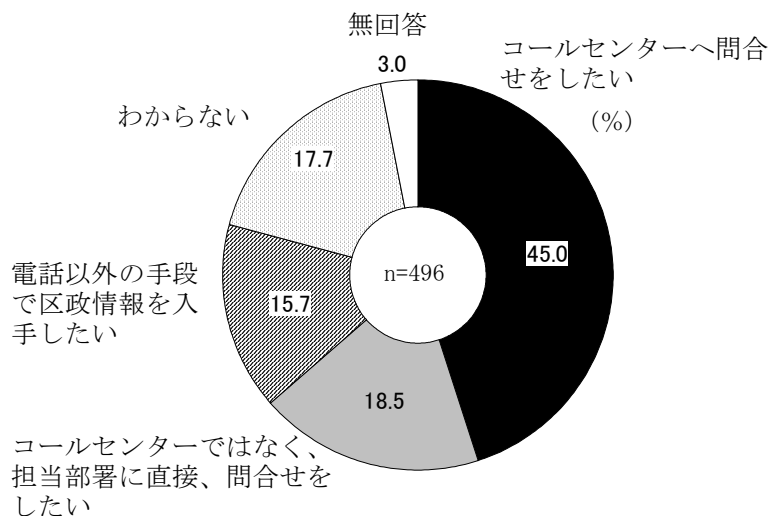
## <問合せの意向>

(1) コールセンターへの問合せの意向

◎ 「コールセンターへ問合せをしたい」が4割台半ばと最も多い

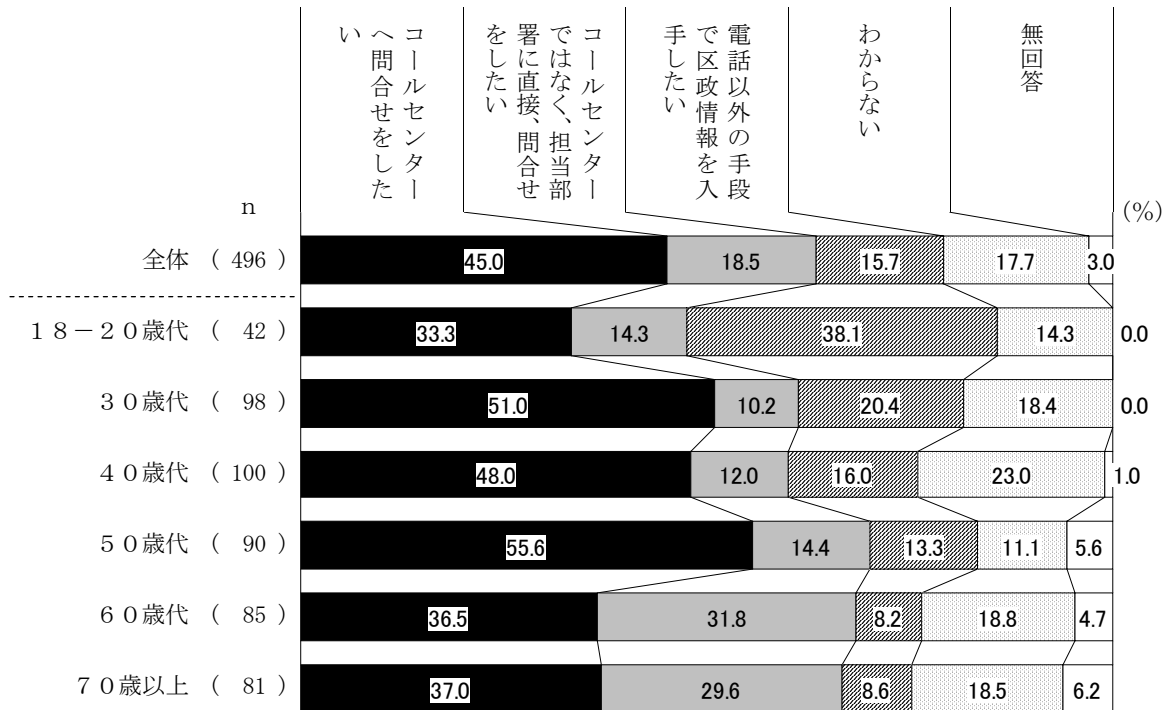
問20 コールセンターが開設された場合、あなたはお問合せをしたいと思えますか。		(○は1つ)
(n=496)		
1	コールセンターへ問合せをしたい	45.0%
2	コールセンターではなく、担当部署に直接、問合せをしたい	18.5
3	電話以外の手段で区政情報を入手したい	15.7
4	わからない	17.7
	無回答	3.0

図1-55 コールセンターへの問合せの意向



コールセンターへの問合せの意向としては、「コールセンターへ問合せをしたい」(45.0%)が4割台半ばと最も多い。次いで、「コールセンターではなく、担当部署に直接、問合せをしたい」(18.5%)が2割近くとなっている。(図1-55)

図1-56 コールセンターへの問合せの意向（年代別）



年代別で見ると、「コールセンターへ問合せをしたい」は、30歳代～50歳代で高く、50歳代（55.6%）で5割台半ばである。「コールセンターではなく、担当部署に直接、問合せをしたい」は、60歳代（31.8%）で3割強、70歳以上（29.6%）で3割近くその他の年代に比べて高い。「電話以外の手段で区政情報入手したい」は18-20歳代（38.1%）で4割近いが、年代が上がるほど減少する。（図1-56）

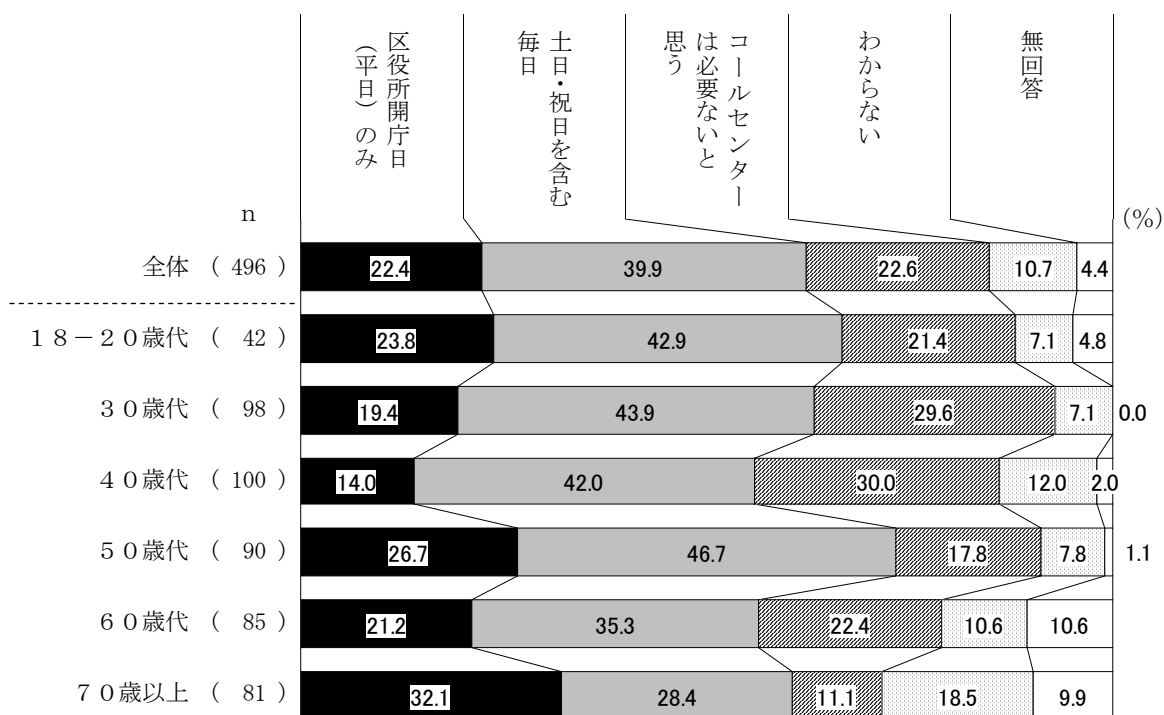
## <開設日、開設時間帯>

### (1) コールセンターの開設日、開設時間帯

- ◎ 開設日は「土日・祝日を含む毎日」が4割弱で最も多い
- ◎ 時間帯は開始が「8時30分（区役所開庁時間）から」が6割強、終了が「20時まで」が5割弱で最も多い

問21 あなたが適当だと思うコールセンターの開設日及び開設時間帯は、次のうちどれですか。				
ア 開設日について（○は1つ）（n=496）				
1	区役所開庁日（平日）のみ	}	（イ、ウへ）	22.4%
2	土日・祝日を含む毎日			39.9
3	コールセンターは必要ないと思う	}	（問22へ）	22.6
4	わからない			10.7
	無回答			4.4

図1-57 コールセンターの開設日（年代別）



コールセンターの開設日としては、「土日・祝日を含む毎日」（39.9%）が4割弱と最も多い。「区役所開庁日（平日）のみ」（22.4%）が2割強である。一方、「コールセンターは必要ないと思う」（22.6%）が2割強となっている。

年代別でみると、「区役所開庁日（平日）のみ」は、70歳以上（32.1%）で3割強である。「土日・祝日を含む毎日」は、50歳代（46.7%）で4割台半ばを超えている。一方、「コールセンターは必要ないと思う」は30歳代（29.6%）と40歳代（30.0%）でその他の年代に比べて高い。（図1-57）

(問21 アで「1 区役所開庁日(平日)のみ」「2 土日・祝日を含む毎日」に○をされた方におたずねします)

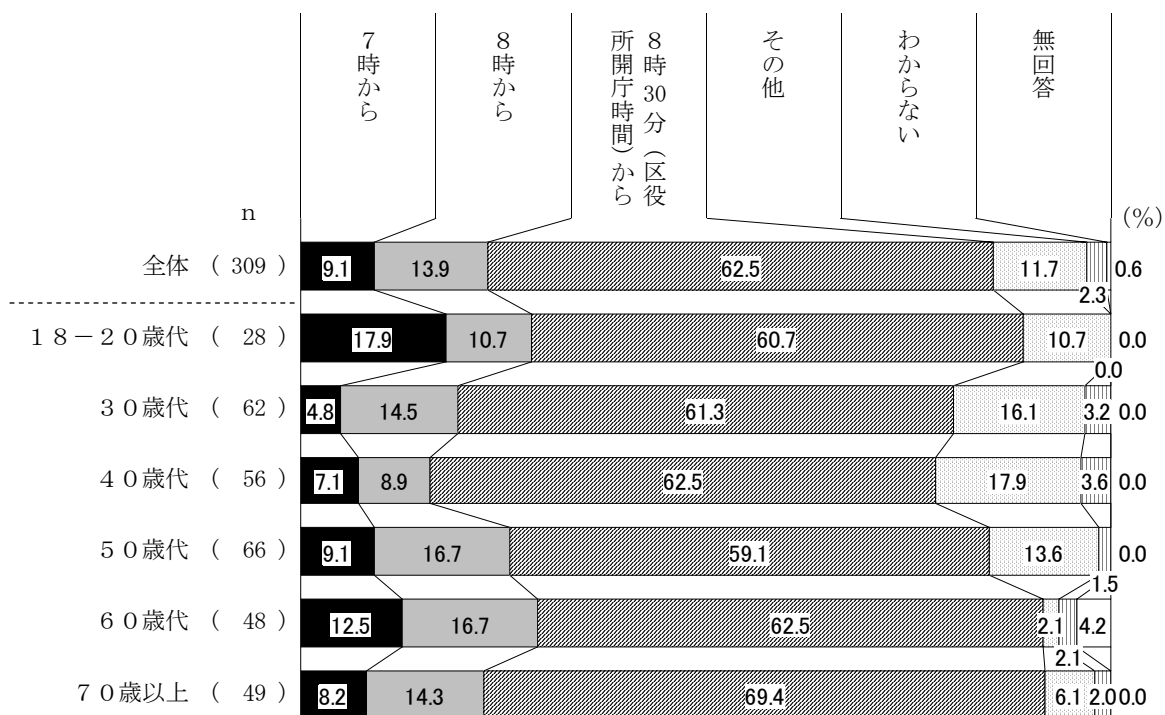
イ 開始時間について(○は1つ) (n=309)

1	7時から	9.1%
2	8時から	13.9
3	8時30分(区役所開庁時間)から	62.5
4	その他	11.7
5	わからない	2.3
	無回答	0.6

ウ 終了時間について(○は1つ) (n=309)

1	20時まで	49.5%
2	21時まで	21.7
3	22時まで	9.1
4	23時まで	9.1
5	その他	7.4
6	わからない	2.3
	無回答	1.0

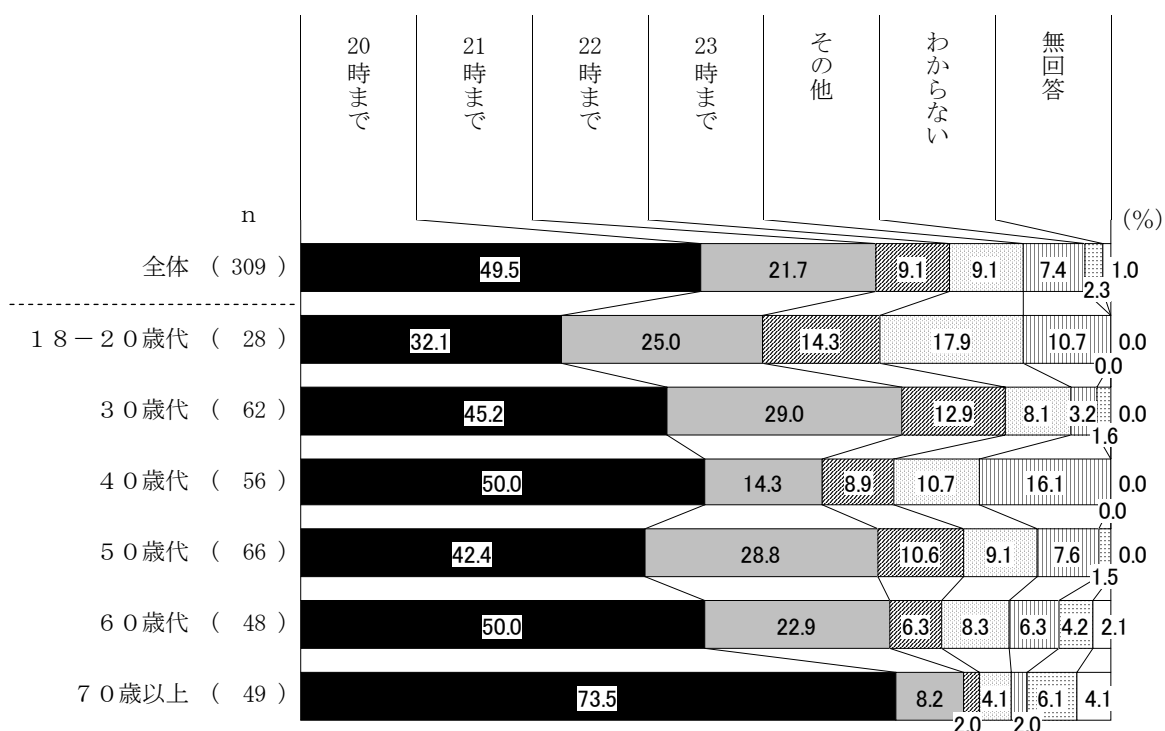
図1-58 コールセンターの開始時間(年代別)



コールセンターの開始時間としては、「8時30分（区役所開庁時間）から」（62.5%）が6割強と最も多く、次いで「8時から」（13.9%）が1割台半ば近くでそれに続く。

年代別でみると、「8時30分（区役所開庁時間）から」は、70歳以上（69.4%）で7割弱と高い。（図1-58）

図1-59 コールセンターの終了時間（年代別）



コールセンターの終了時間としては、「20時まで」（49.5%）が5割弱と最も多い。次いで、「21時まで」（21.7%）が2割強である。

年代別でみると、「20時まで」は、70歳以上（73.5%）で7割台半ば近くでその他の年代に比べて高い。（図1-59）

## <問合せをしたい項目>

問22 コールセンターで問合せをしたい、あるいは、ホームページに掲載してほしい項目がありましたらご記入ください。

(主な意見の抜粋)

<問合せしたい情報>

- 夜間医療・休日診療（歯科や眼科、耳鼻科など科目ごと）
- プラスチックの資源ゴミ、可燃ゴミについて
- 有料粗大ゴミの回収について
- 手続きができる場所について（本庁・特別出張所）
- 証明書の発行手続き
- 特別出張所の営業時間・延長日
- 戸籍に関する情報
- 年金や保険の情報
- 納税の手続き
- 確定申告の手続き
- 検診情報
- 福祉・介護情報
- 医療・障害・教育等の給付金等の相談部署
- 区の融資優待制度の情報
- 選択制になった小学校・中学校の選択状況や学力情報
- 建築・まちづくりに関する情報
- 区の施設の場所、利用方法
- 保養所の情報
- 地域の事件・事故情報
- 災害時の避難情報、台風や集中豪雨時の情報
- 区内の感染症（インフルエンザ・はしか）情報
- 神社や寺の情報
- NPO情報、ボランティア情報
- 区内のイベント情報
- 区民講座の情報

<その他のご意見>

- インターネットを利用していないのでコールセンターがあると助かる。
- 新宿の事なら何でも知っているというような、ホテルのコンシェルジュ的な役割のコールセンターになってほしい。
- 問合せに対しきちんと対応すること。「分りません」対応がないように。
- コールセンターの職員は専門家でないので問い合わせしても必要な情報がわからないのはいか心配である。
- 日本語のコールセンターより、外国語のほうが必要ではないか。
- コールセンターは人件費の無駄ではないか。ニーズがあるかどうか、ちゃんとマーケティングしてから導入してほしい。
- 仕事をしていると平日に問い合わせできなくて困る。区役所が終わった時間に対応してほしい。区役所が開庁している時間はコールセンターは特に必要ない。
- コールセンターは区役所が閉まっている時間帯にこそ必要。
- 多くある質問についてQ&Aの形でホームページに掲載してほしい。

## 5 区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ

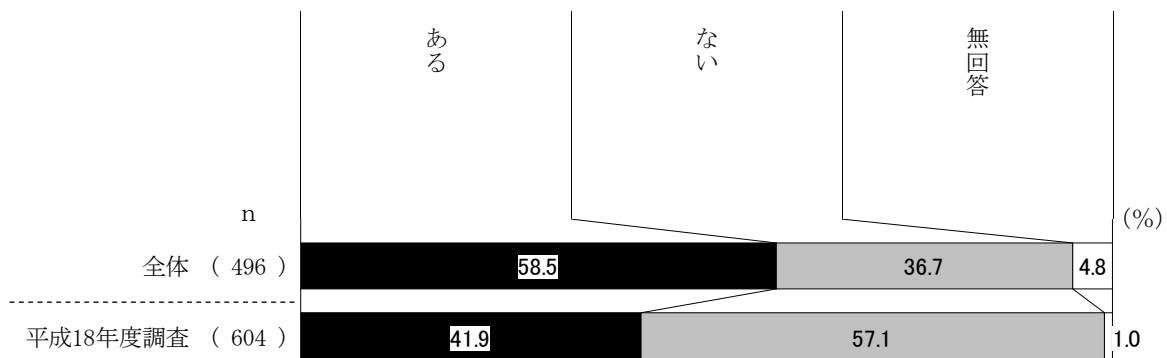
### <区ホームページ>

#### (1) 区ホームページの閲覧状況

◎ 閲覧したことが「ある」が6割近く

問23 あなたは、区のホームページを見たことがありますか。(〇は1つ)		
(n=496)		
1	ある	58.5%
2	ない	36.7
	無回答	4.8

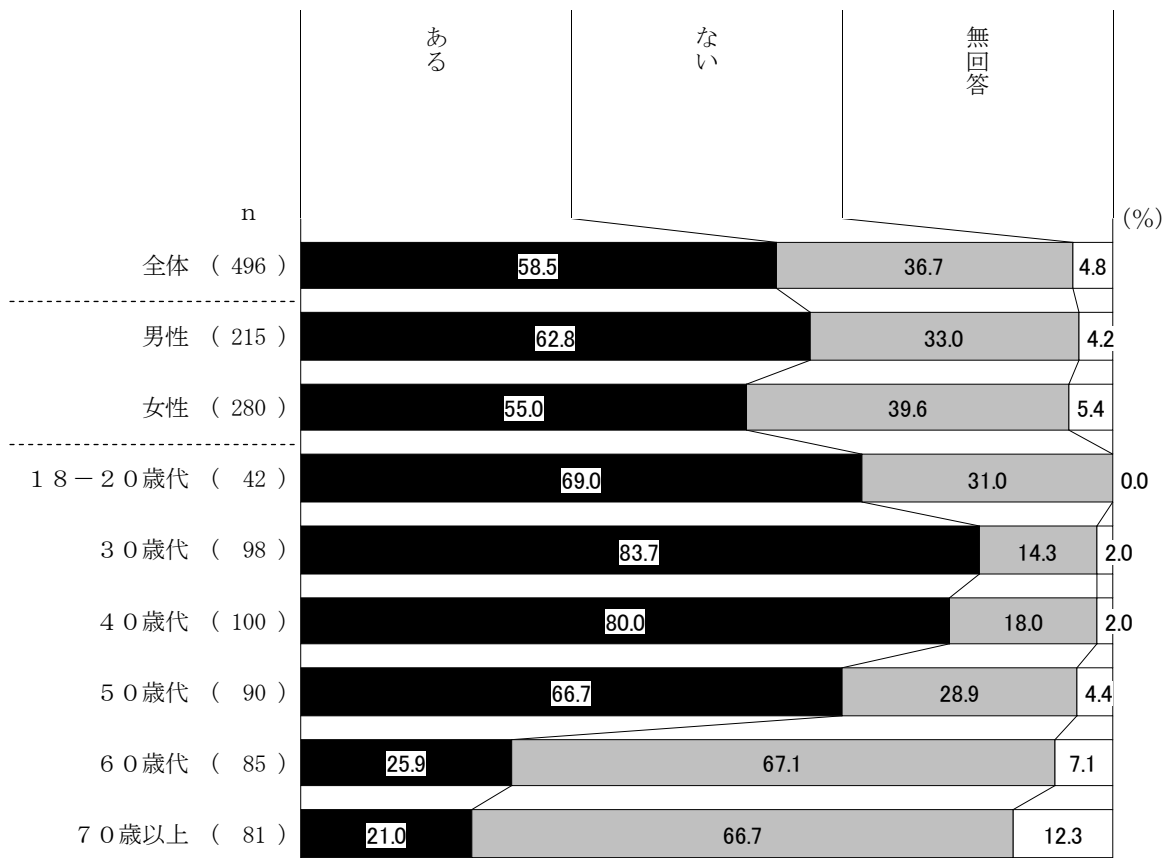
図1-60 区ホームページの閲覧状況（平成18年度区政モニターアンケートとの比較）



区ホームページの閲覧状況は、「ある」(58.5%)が6割近くに対し、「ない」(36.7%)が3割台半ばを超えている。

平成18年度の調査と比較すると、平成19年度調査では、閲覧したことが「ある」は、平成18年度(41.9%)と比べ高くなっている。(図1-60)

図1-61 区ホームページの閲覧状況（性別・年代別）



性別で見ると、閲覧したことが「ある」は、男性（62.8%）の方が女性（55.0%）よりも高くなっている。

年代別で見ると、閲覧したことが「ある」は、18-20歳代～50歳代全てで6割台半ばを超え、高くなっている。一方、「ない」は60歳代（67.1%）と70歳以上（66.7%）で6割台半ばを超え、その他の年代に比べて高い。（図1-61）

(2) 区ホームページへの評価

- ◎ 『ほしい情報の見つけやすさ』では「すぐに見つかった」が4割台半ばを超える
- ◎ 『内容』『掲載情報の量』『レイアウト』『使いやすさ』では「普通」が7割前後を占める
- ◎ 『掲載情報のわかりやすさ』では「普通」が6割台、「わかりやすい」と「わかりにくい」がともに2割弱

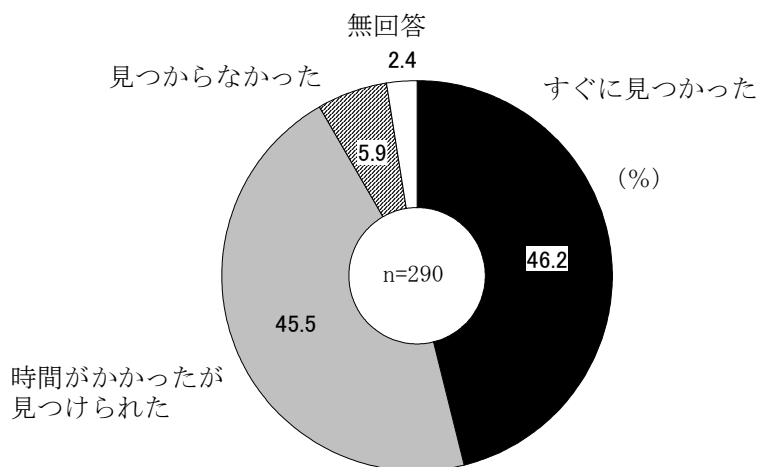
(インターネットをご利用の方は、区のホームページをご覧ください、その上でお答えください。  
インターネットをご利用でない方は、問25へお進みください)

問24 区のホームページをみて、どのように感じましたか。次のア～カのそれぞれについて、選んでください。(○はそれぞれ1つ)

(n=290)

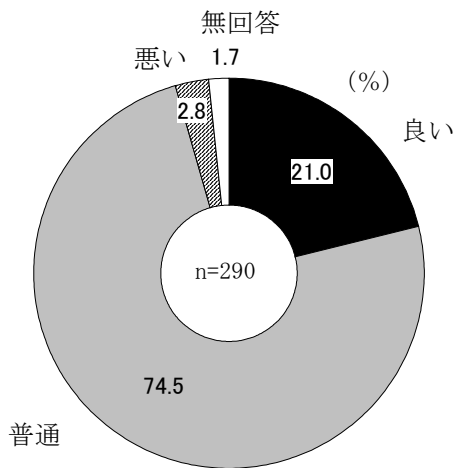
ア	ほしい情報の見つけやすさ	1	すぐに見つかった 46.2%	2	時間がかかったが見つけられた 45.5	3	見つからなかった 5.9	無回答 2.4
イ	内容	1	良い 21.0	2	普通 74.5	3	悪い 2.8	無回答 1.7
ウ	掲載情報の量	1	多い 22.1	2	普通 71.0	3	少ない 5.5	無回答 1.4
エ	掲載情報のわかりやすさ	1	わかりやすい 19.0	2	普通 61.0	3	わかりにくい 18.3	無回答 1.7
オ	レイアウト	1	良い 12.1	2	普通 68.3	3	悪い 18.6	無回答 1.0
カ	使いやすさ	1	良い 13.1	2	普通 71.4	3	悪い 14.5	無回答 1.0

図1-62 区ホームページへの評価  
ア ほしい情報の見つけやすさ



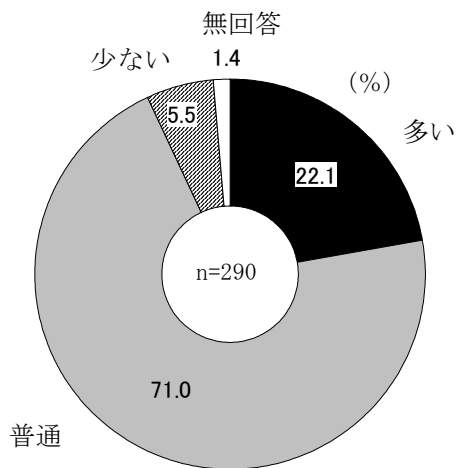
『ほしい情報の見つけやすさ』の評価は、「すぐに見つかった」(46.2%)が4割台半ばを超えて、「時間がかかったが見つけられた」(45.5%)がほぼ同率で並んでいる。(図1-62)

図 1-63 区ホームページへの評価  
イ 内容



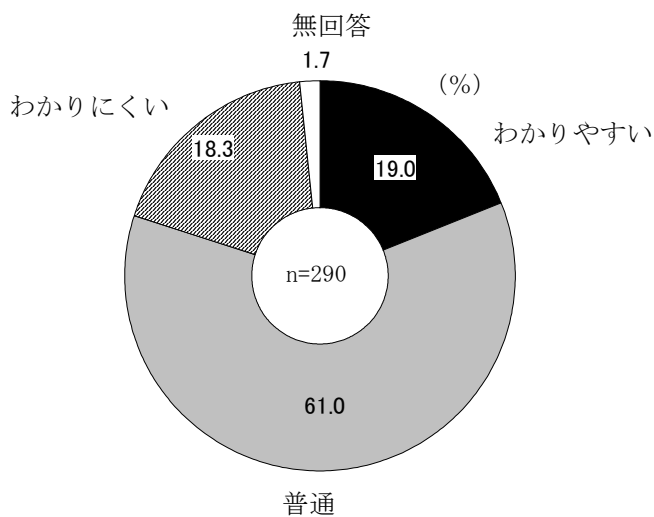
『内容』の評価は、「良い」(21.0%)が2割強、「普通」(74.5%)が7割台半ば近くで最も多い。(図1-63)

図 1-64 区ホームページへの評価  
ウ 掲載情報の量



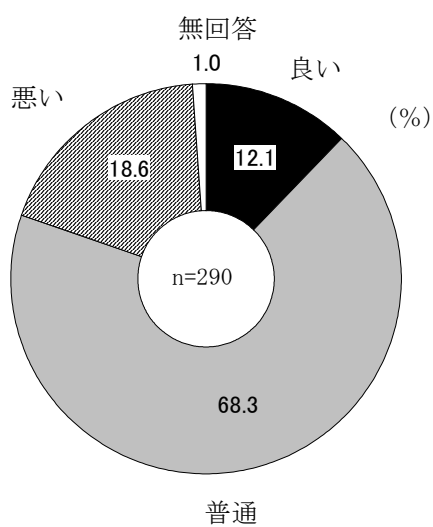
『掲載情報の量』の評価は、「多い」(22.1%)が2割強、「普通」(71.0%)が7割強で最も多い。(図1-64)

図 1-65 区ホームページへの評価  
エ 掲載情報のわかりやすさ



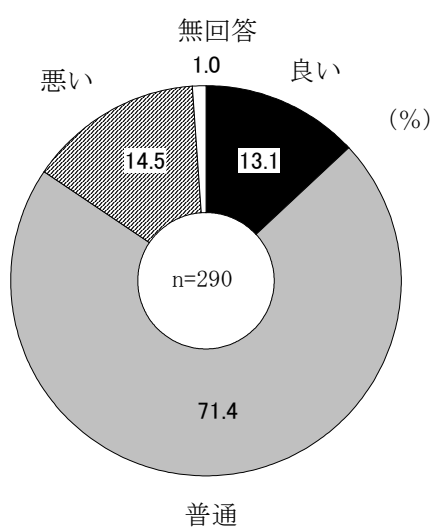
『掲載情報のわかりやすさ』の評価は、「普通」(61.0%)が6割強で最も多い。(図1-65)

図1-66 区ホームページへの評価  
オ レイアウト



『レイアウト』の評価は、「普通」(68.3%)が6割近くで最も多い。(図1-66)

図1-67 区ホームページへの評価  
カ 使いやすさ



『使いやすさ』の評価は、「普通」(71.4%)が7割強で最も多い。(図1-67)

## <区民の意見を聴くしくみ>

### (1) 区民の意見を聴くしくみの認知度

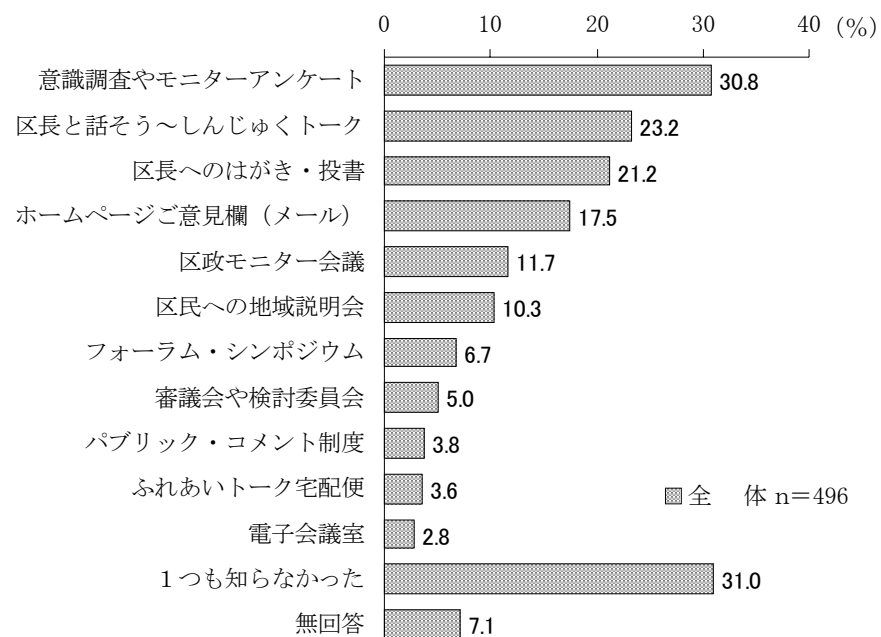
◎ 「意識調査やモニターアンケート」が約3割、「1つも知らなかった」が3割強

問25 区が行っている次の制度やしきみの中で、あなたが実際に見たり聞いたりしたことがあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

(n=496)

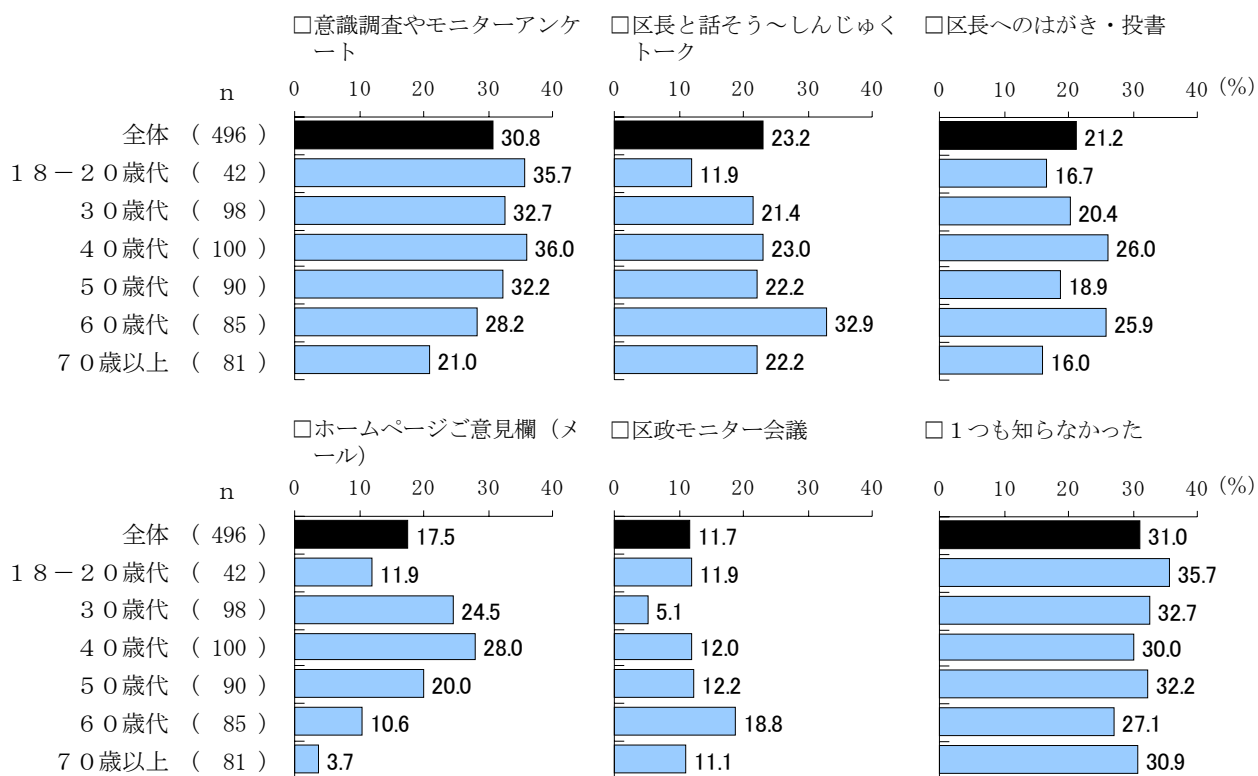
1	区長へのはがき・投書	21.2%
2	ホームページご意見欄(メール)	17.5
3	電子会議室	2.8
4	パブリック・コメント制度	3.8
5	意識調査やモニターアンケート	30.8
6	区政モニター会議	11.7
7	ふれあいトーク宅配便	3.6
8	区長と話そう～しんじゆくトーク	23.2
9	区民への地域説明会	10.3
10	フォーラム・シンポジウム	6.7
11	審議会や検討委員会	5.0
12	1つも知らなかった	31.0
	無回答	7.1

図1-68 区民の意見を聴くしくみの認知度(複数回答)



区民の意見を聴くしくみの認知度としては、「意識調査やモニターアンケート」(30.8%)が約3割となっている。次いで、「区長と話そう～しんじゅくトーク」(23.2%)が2割台半ば近く、「区長へのはがき・投書」(21.2%)が2割強となっている。一方、「1つも知らなかった」(31.0%)が3割強である。(図1-68)

図1-69 区民の意見を聴くしくみの認知度(年代別)上位5項目及び「1つも知らなかった」



上位5項目と「1つも知らなかった」について、年代別でみると、「意識調査やモニターアンケート」は18-20歳代～50歳代で3割台半ば前後となっている。「区長と話そう～しんじゅくトーク」は18-20歳代以外の年代で2割を超える。「ホームページご意見欄(メール)」は30歳代～50歳代で2割台であるが、70歳以上では1割未満である。(図1-69)

(2) 区民の意見を聴くしくみの参加（利用）意向

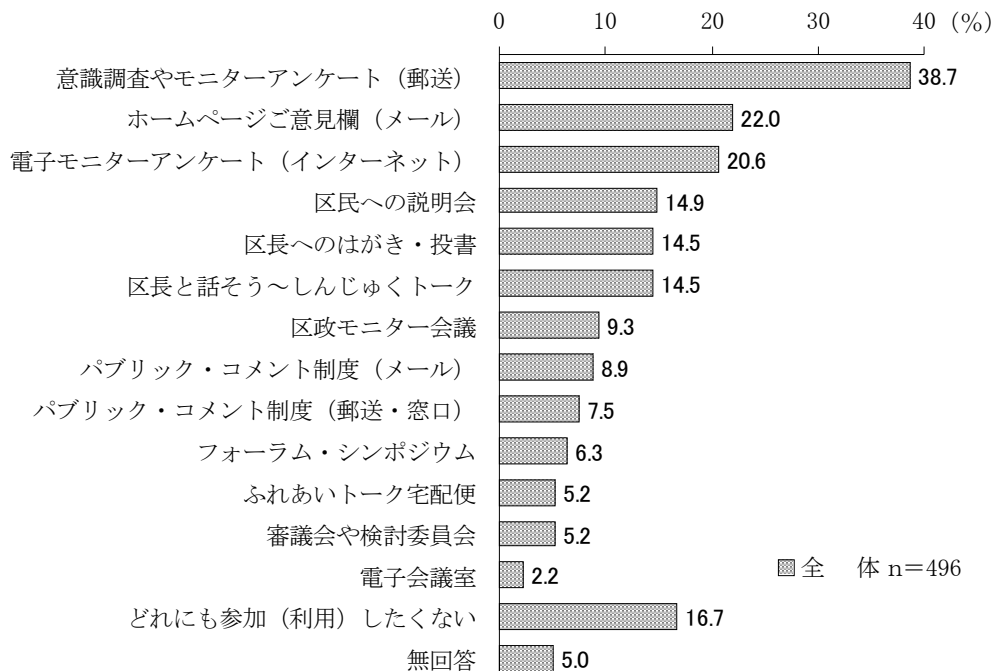
◎ 「意識調査やモニターアンケート（郵送）」が4割近くで最も高い

問26 今後、あなたが、利用したいあるいは参加したいと思うものはどれですか。  
(〇はいくつでも)

(n=496)

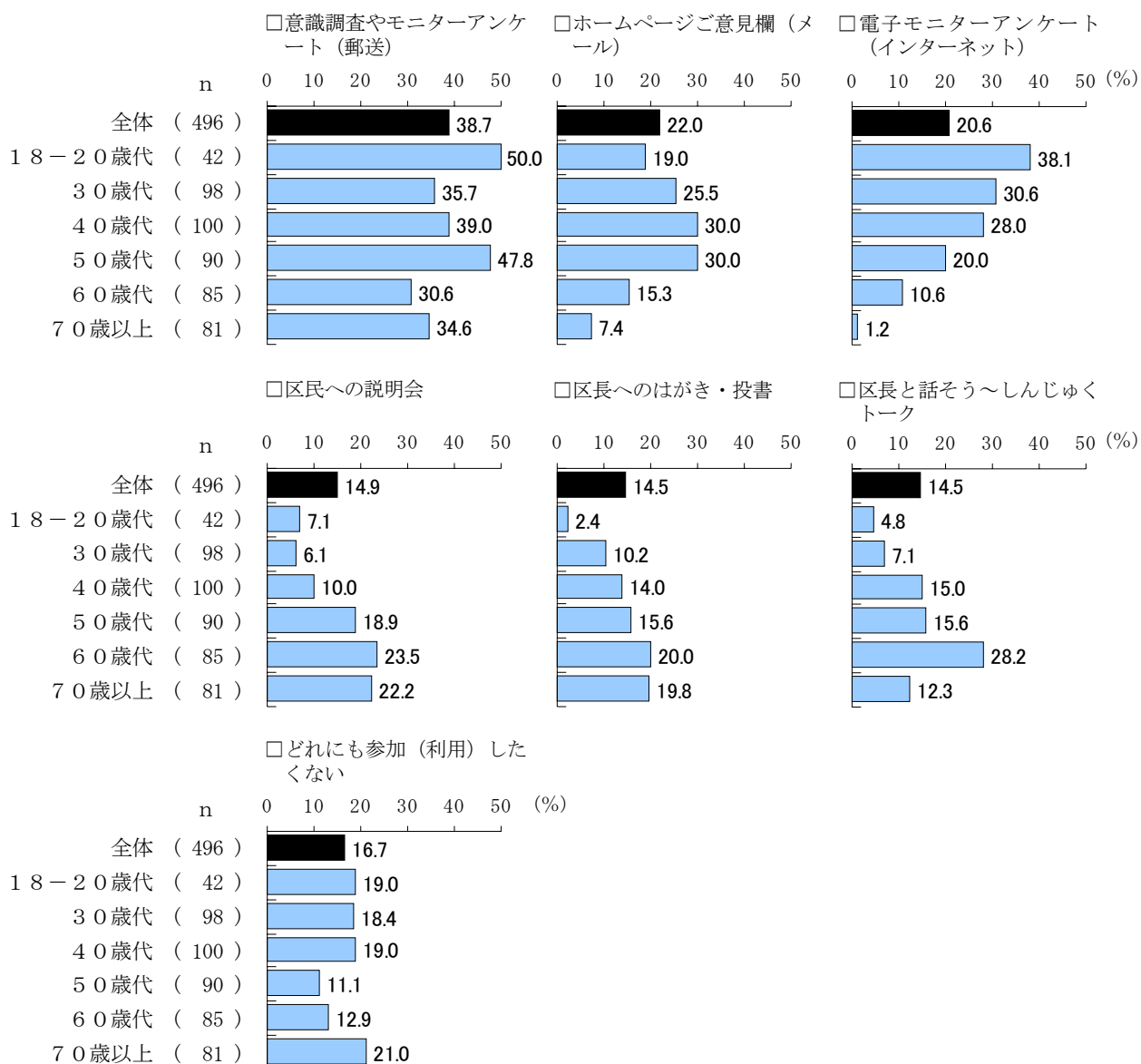
1	区長へのはがき・投書	14.5%
2	ホームページご意見欄（メール）	22.0
3	意識調査やモニターアンケート（郵送）	38.7
4	電子モニターアンケート（インターネット）	20.6
5	区政モニター会議	9.3
6	区長と話そう～しんじゅくトーク	14.5
7	フォーラム・シンポジウム	6.3
8	ふれあいトーク宅配便	5.2
9	電子会議室	2.2
10	パブリック・コメント制度（郵送・窓口）	7.5
11	パブリック・コメント制度（メール）	8.9
12	区民への説明会	14.9
13	審議会や検討委員会	5.2
14	どれにも参加（利用）したくない	16.7
	無回答	5.0

図1-70 区民の意見を聴くしくみの参加（利用）意向（複数回答）



区民の意見を聴くしくみの参加（利用）意向としては、「意識調査やモニターアンケート（郵送）」（38.7%）が4割近くで最も高い。次いで、「ホームページご意見欄（メール）」（22.0%）が2割強、「電子モニターアンケート（インターネット）」（20.6%）が約2割となっている。一方、「どれにも参加（利用）したくない」（16.7%）が1割台半ばを超えている。（図1-70）

図1-71 区民の意見を聴くしくみの参加（利用）意向（年代別）  
上位6項目及び「どれにも参加（利用）したくない」



上位6項目と「どれにも参加（利用）したくない」について、年代別でみると、「意識調査やモニターアンケート（郵送）」は全ての年代で3割を超えており、特に18-20歳代（50.0%）、50歳代（47.8%）で5割前後と高い。「ホームページご意見欄（メール）」は30歳代（25.5%）、40歳代と50歳代（ともに30.0%）で3割前後と比較的高い。「電子モニターアンケート（インターネット）」は18-20歳代（38.1%）で4割近くだが、年代が上がるほど減少する。また、「区民への説明会」、「区長へのはがき・投書」、「区長と話そう～しんじゅくトーク」はおおむね年代が上がるほど増加する。「どれにも参加（利用）したくない」は50歳代（11.1%）と60歳代（12.9%）を除く年代で2割前後となっている。（図1-71）

### (3) 参加（利用）したくない理由

#### ◎ 「参加する時間がない」が5割台半ばと最も高い

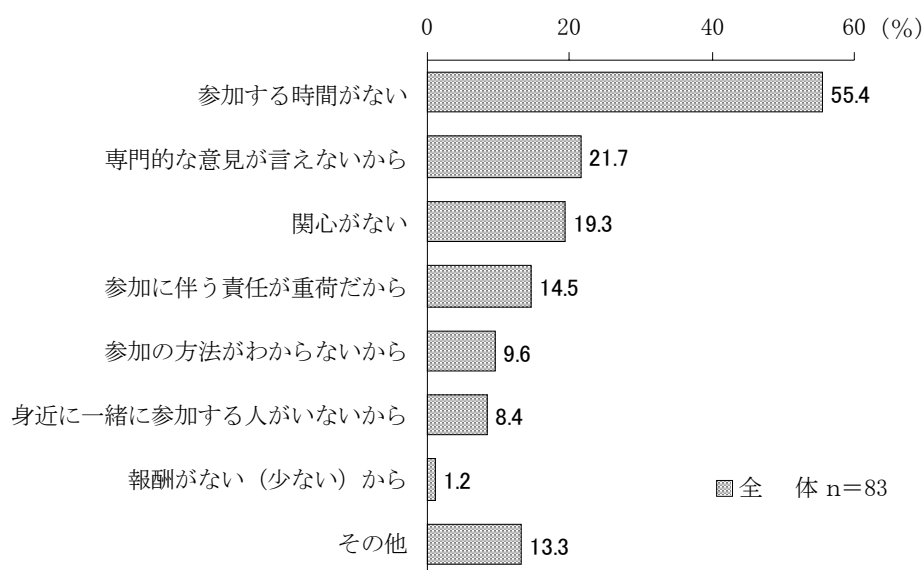
（問26で、「14 どれにも参加（利用）したくない」に○をされた方におたずねします）

問26-1 参加（利用）したくない主な理由は何ですか。（○は3つまで）

（n=83）

1	参加する時間がない	55.4%
2	関心がない	19.3
3	身近に一緒に参加する人がいないから	8.4
4	参加の方法がわからないから	9.6
5	参加に伴う責任が重荷だから	14.5
6	専門的な意見が言えないから	21.7
7	報酬がない（少ない）から	1.2
8	その他	13.3

図1-72 参加（利用）したくない理由（複数回答）



参加（利用）したくない理由としては、「参加する時間がない」（55.4%）が5割台半ばと最も高くなっている。次いで、「専門的な意見が言えないから」（21.7%）が2割強、「関心がない」（19.3%）が2割弱である。（図1-72）

# 第2回

<テーマ>

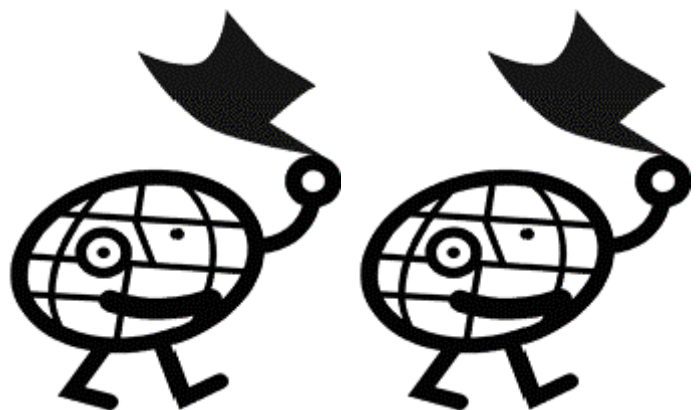
公園利用について

公衆トイレについて

歌舞伎町ルネッサンスの推進について

区民に望まれる図書館

新宿区職員の人材育成（求められる職員像）について



# 1 公園利用について

## <公園の利用>

### (1) 公園の利用状況

◎ 《利用する》が4割台半ばを超える

問1 あなたは、公園を利用していますか。区立公園に限らずお答えください。(○は1つ)		
(n=496)		
1 よく利用する	} → (問1-1へ)	14.5%
2 時々利用する		31.7
3 あまり利用しない	} → (問1-5へ)	22.2
4 ほとんど利用しない		29.6
無回答		2.0

図2-1 公園の利用状況

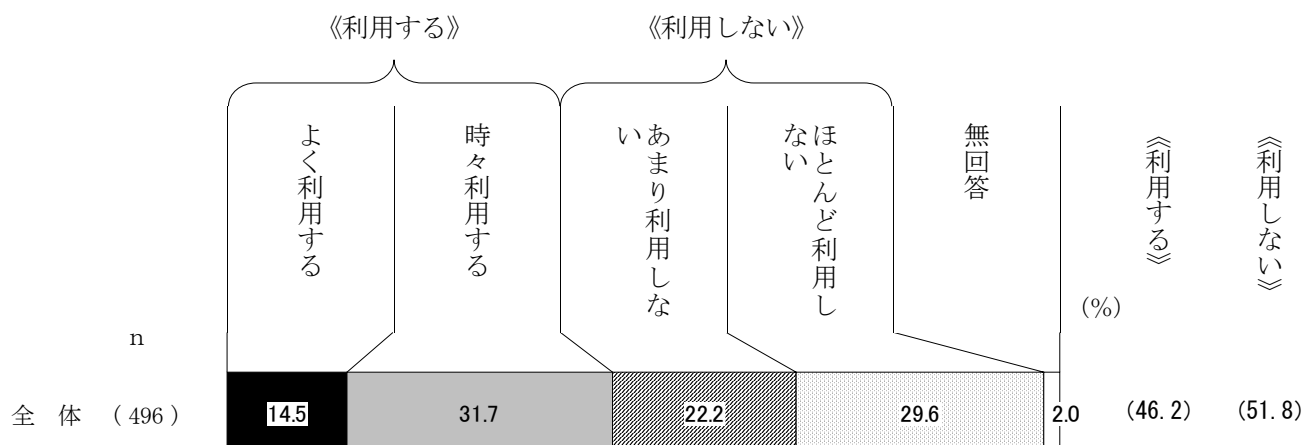
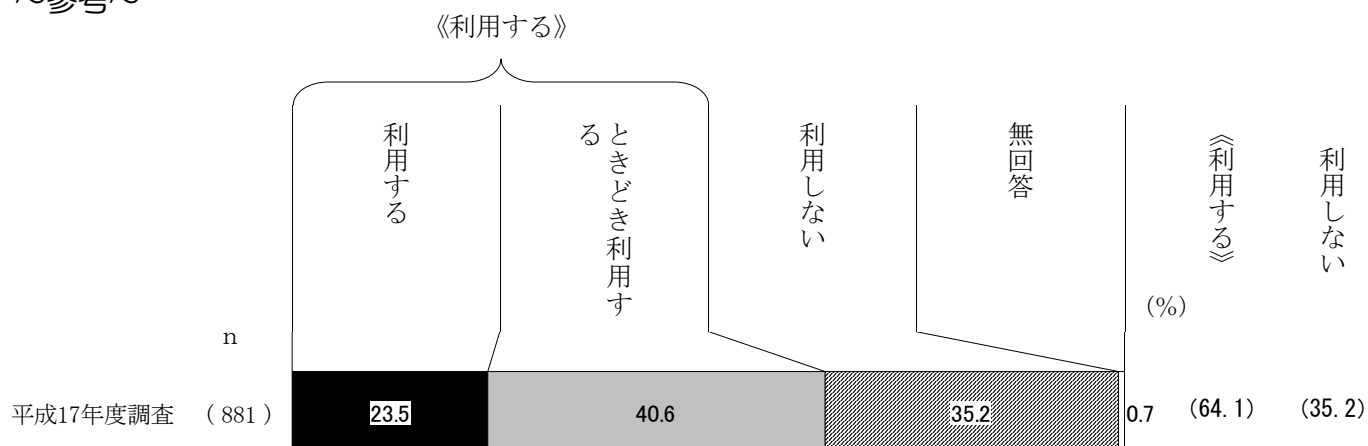


図2-2 平成17年度区政モニターアンケートでの結果

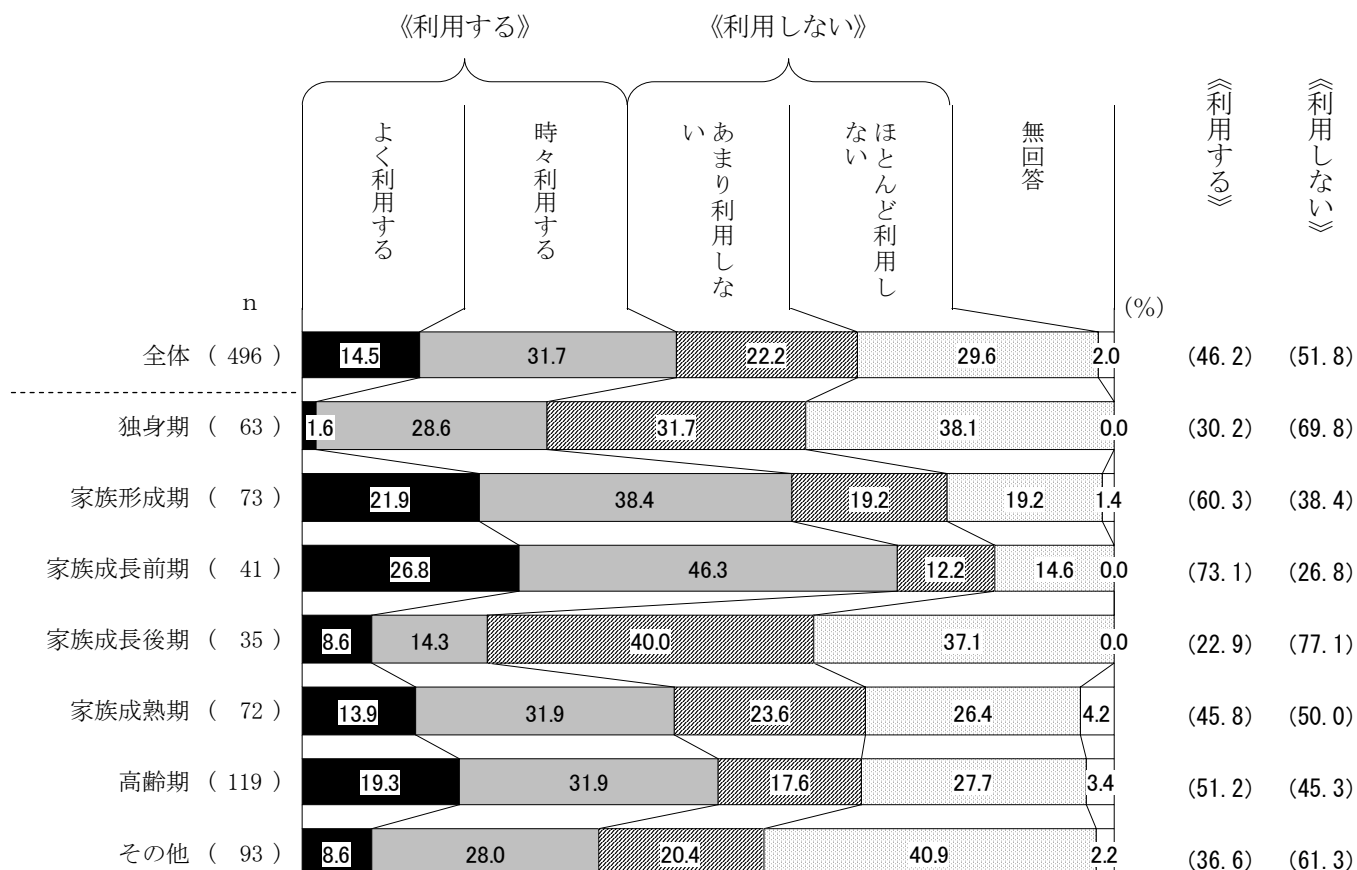
～参考～



公園の利用状況としては、「よく利用する」(14.5%)と「時々利用する」(31.7%)を合わせた《利用する》(46.2%)が4割台半ばを超える。一方、「あまり利用しない」(22.2%)と「ほとんど利用しない」(29.6%)を合わせた《利用しない》(51.8%)が5割強である。(図2-1)

平成17年度の調査と比較すると、選択肢の内容が違うため一概にはいえないが、平成19年度調査では《利用する》は、平成17年度調査(64.1%)と比べ低くなっている。(図2-2)

図2-3 公園の利用状況(ライフステージ別)



ライフステージ別でみると、《利用する》は家族成長前期(73.1%)が7割台半ば近く、家族形成期(60.3%)で約6割と高い。(図2-3)

(2) 利用する公園名

◎ 「戸山公園」「新宿御苑」「白銀公園」が、よく利用する公園の上位3公園である

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)

問1-1 あなたがよく利用する公園の名前をお書きください。(3つまで)

[記名式]

表2-1 利用する公園名(上位20位)

(n=235)

順位	利用する公園名	件数
1	戸山公園	54
2	新宿御苑	41
3	白銀公園	23
4	せせらぎの里	16
5	甘泉園公園	13
	北の丸公園	13
7	おとめ山公園	12
	新宿中央公園	12
	鶴巻南公園	12
10	江戸川公園	11
	落合公園	11
	代々木公園	11
13	哲学堂公園	10
14	北新宿公園	8
15	外濠公園	7
	落合中央公園	7
17	花園公園	6
	南元町公園	6
	矢来公園	6
20	戸塚公園	5
	光が丘公園	5
	新江戸川公園	5
	西戸山公園	5
	西落合公園	5
	日比谷公園	5

表 2 - 2 利用する公園名（地域別）

地域 \ 順位	第 1 位	第 2 位	第 3 位
四谷	新宿御苑 11 件	花園公園 / 南元町公園 6 件	外濠公園 3 件
笹笥町	白銀公園 18 件	北の丸公園 11 件	矢来公園 5 件
榎町	鶴巻南公園 11 件	江戸川公園 5 件	白銀公園 4 件
若松町	戸山公園 11 件	新宿御苑 8 件	甘泉園公園 3 件
大久保	戸山公園 18 件	新宿御苑 5 件	抜弁天北公園 2 件
戸塚	戸山公園 17 件	甘泉園公園 9 件	高田馬場公園 3 件
落合第一	せせらぎの里 12 件	おとめ山公園 7 件	落合中央公園 4 件
落合第二	哲学堂公園 9 件	落合公園 7 件	西落合公園 5 件
柏木	北新宿公園 8 件	新宿中央公園 5 件	新宿御苑 3 件
角筈・区役所	新宿中央公園 4 件	代々木公園 3 件	明治神宮外苑 2 件

（注）表 2 - 2 は参考として表記することとした。（基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い）

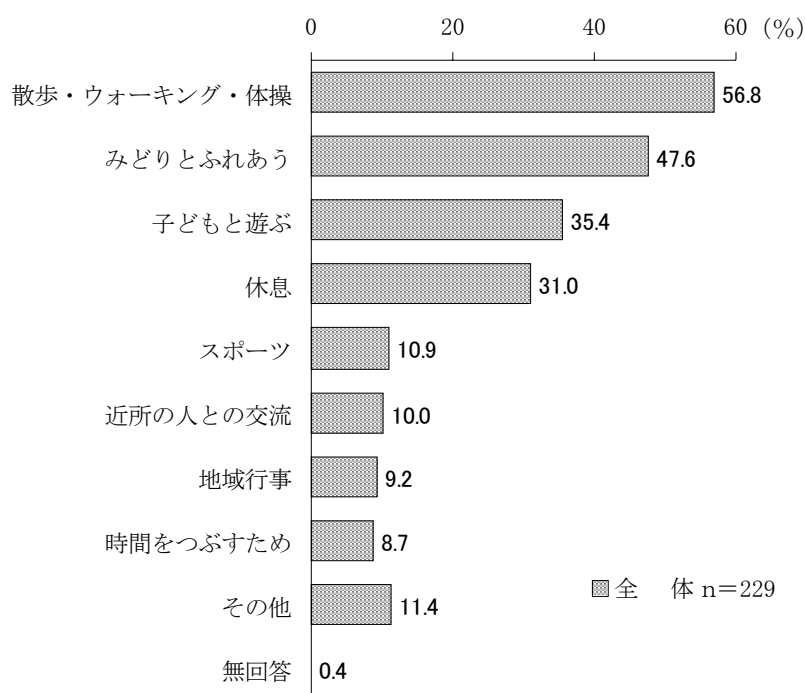
### (3) 公園の利用目的

- ◎ 「散歩・ウォーキング・体操」が5割台半ばを超えて最も高く、「みどりとふれあう」が4割台半ばを超えそれに続く

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)  
問1-2 あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)  
(n=229)

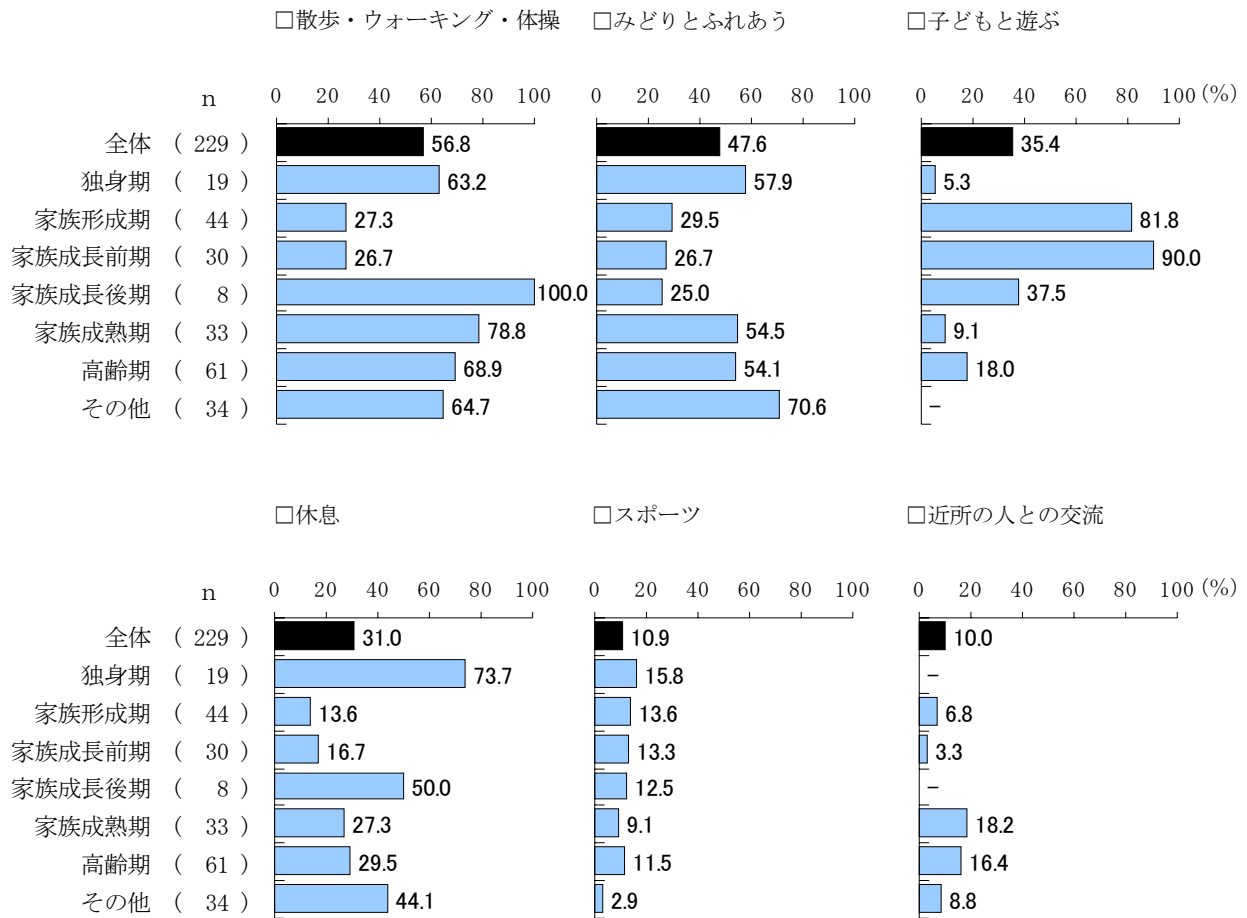
1	散歩・ウォーキング・体操	56.8%
2	子どもと遊ぶ	35.4
3	スポーツ	10.9
4	近所の人との交流	10.0
5	休息	31.0
6	みどりとふれあう	47.6
7	地域行事	9.2
8	時間をつぶすため	8.7
9	その他	11.4
	無回答	0.4

図2-4 公園の利用目的(複数回答)



公園の利用目的としては、「散歩・ウォーキング・体操」(56.8%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで、「みどりとふれあう」(47.6%)が4割台半ばを超えている。また、「子どもと遊ぶ」(35.4%)が3割台半ば、「休息」(31.0%)が3割強となっている。(図2-4)

図2-5 公園の利用目的（ライフステージ別）上位6項目



上位6項目について、ライフステージ別でみると、「散歩・ウォーキング・体操」は、家族形成期と家族成長前期を除くライフステージで高い。一方、「子どもと遊ぶ」は、家族形成期（81.8%）と家族成長前期（90.0%）で突出して高い。（図2-5）

## <公園の満足度>

### (1) 公園の満足度

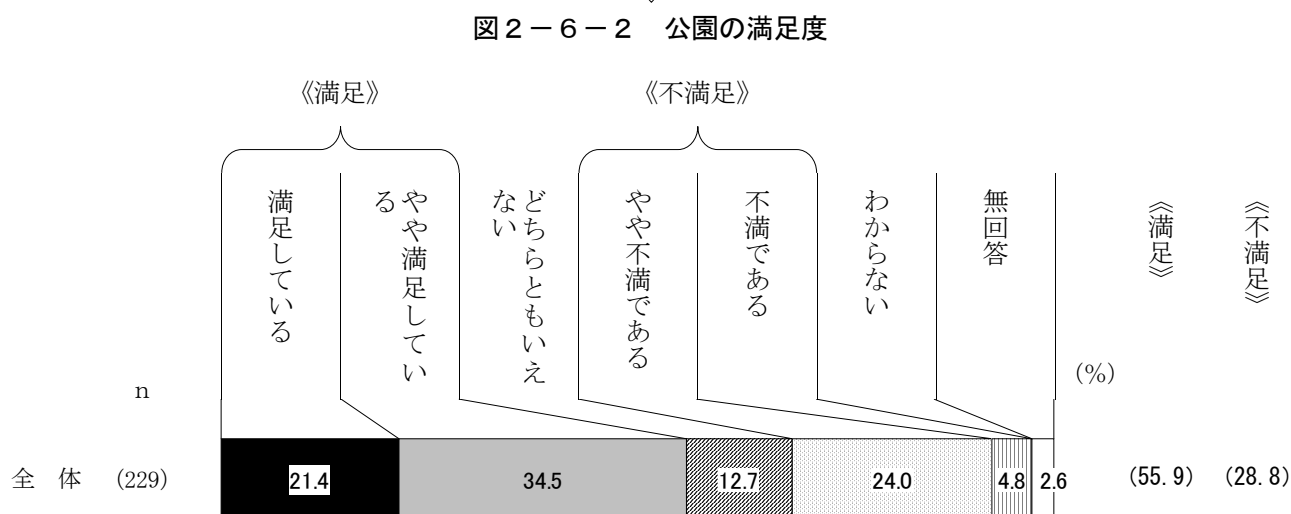
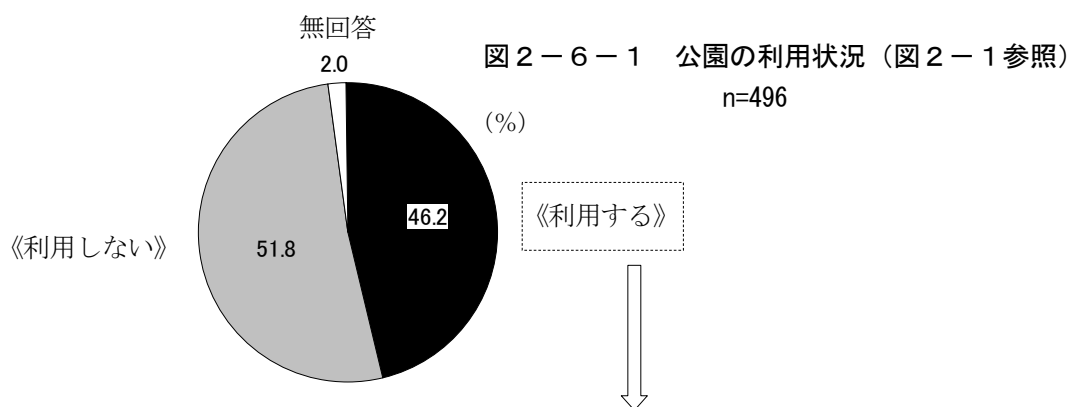
◎ 《満足》が5割台半ば

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)

問1-3 あなたは、利用する公園に満足していますか。(○は1つ)

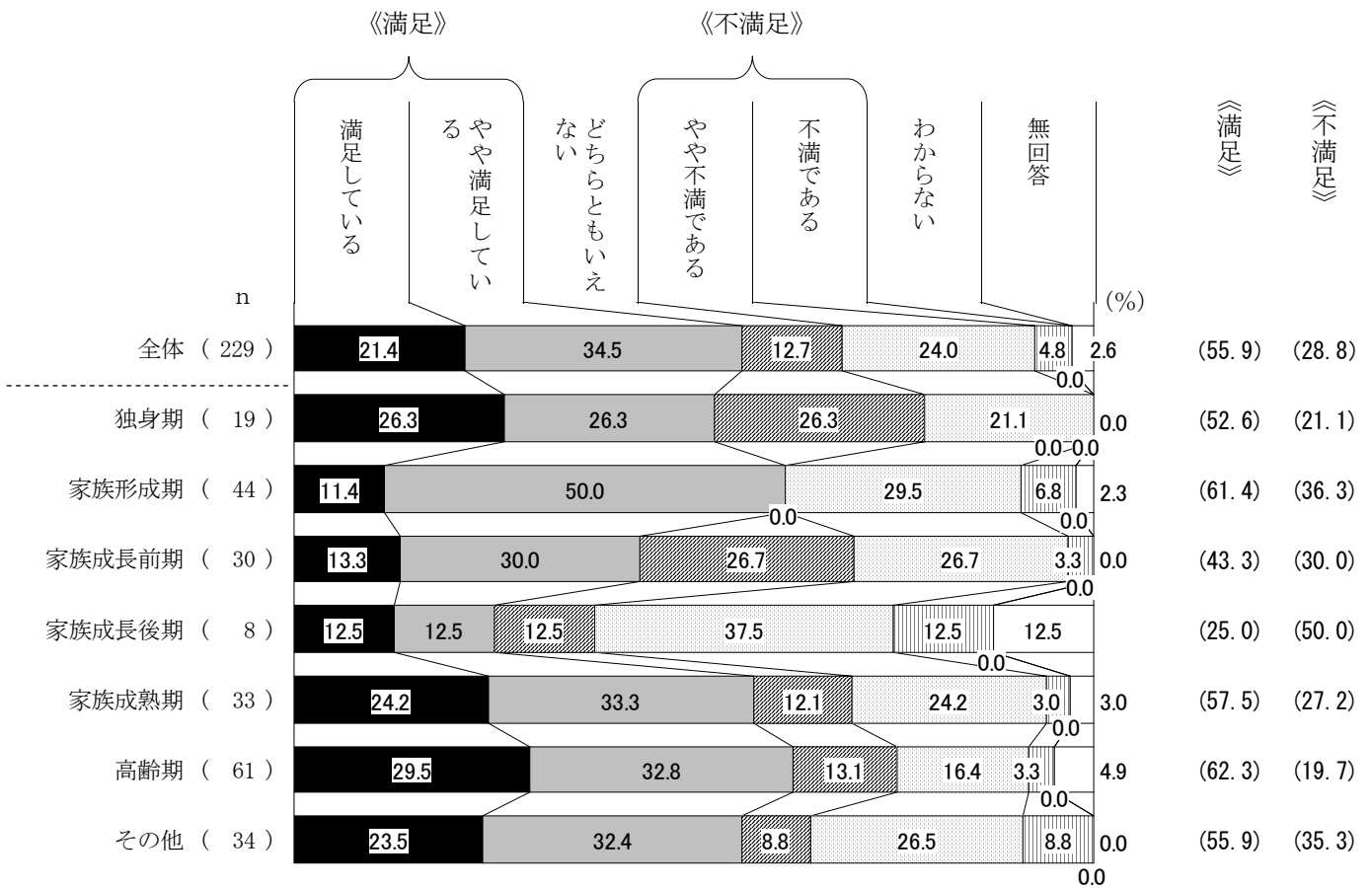
(n=229)

1	満足している		21.4%
2	やや満足している		34.5
3	どちらともいえない		12.7
4	やや不満である	} → (問1-4へ)	24.0
5	不満である		4.8
6	わからない		-
	無回答		2.6



公園の満足度としては、「満足している」(21.4%)と「やや満足している」(34.5%)を合わせた《満足》(55.9%)が5割台半ばとなっており、「やや不満である」(24.0%)と「不満である」(4.8%)を合わせた《不満足》(28.8%)を大きく上回っている。(図2-6-2)

図2-7 公園の満足度（ライフステージ別）



ライフステージ別でみると、《満足》は家族形成期（61.4%）と高齢期（62.3%）で6割を超える。（図2-7）

## <公園の不満点>

### (1) 公園の不満点

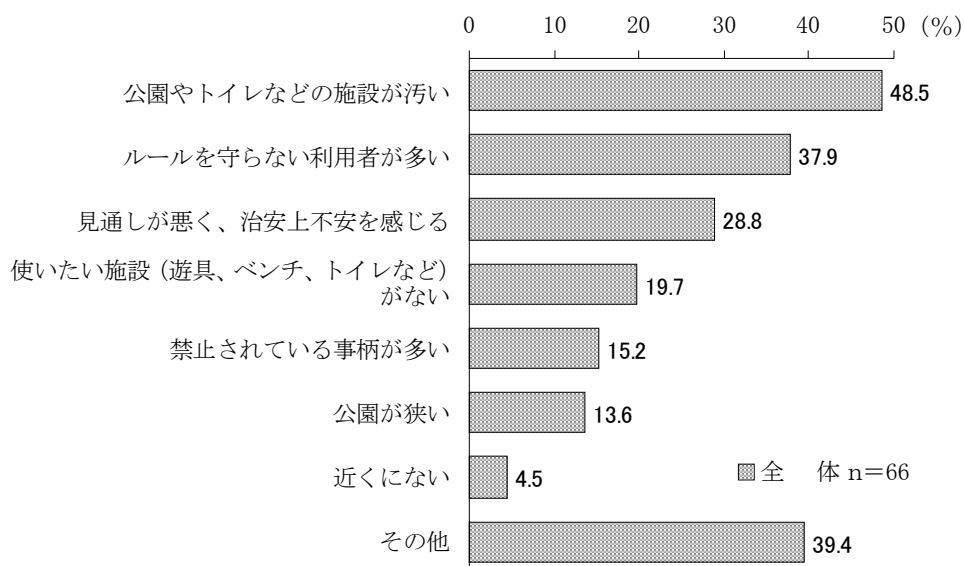
- ◎ 「公園やトイレなどの施設が汚い」「ルールを守らない利用者が多い」「見通しが悪く、治安上不安を感じる」が上位3項目

(問1-3で「4 やや不満である」「5 不満である」に○をされた方におたずねします)  
問1-4 不満の理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=66)

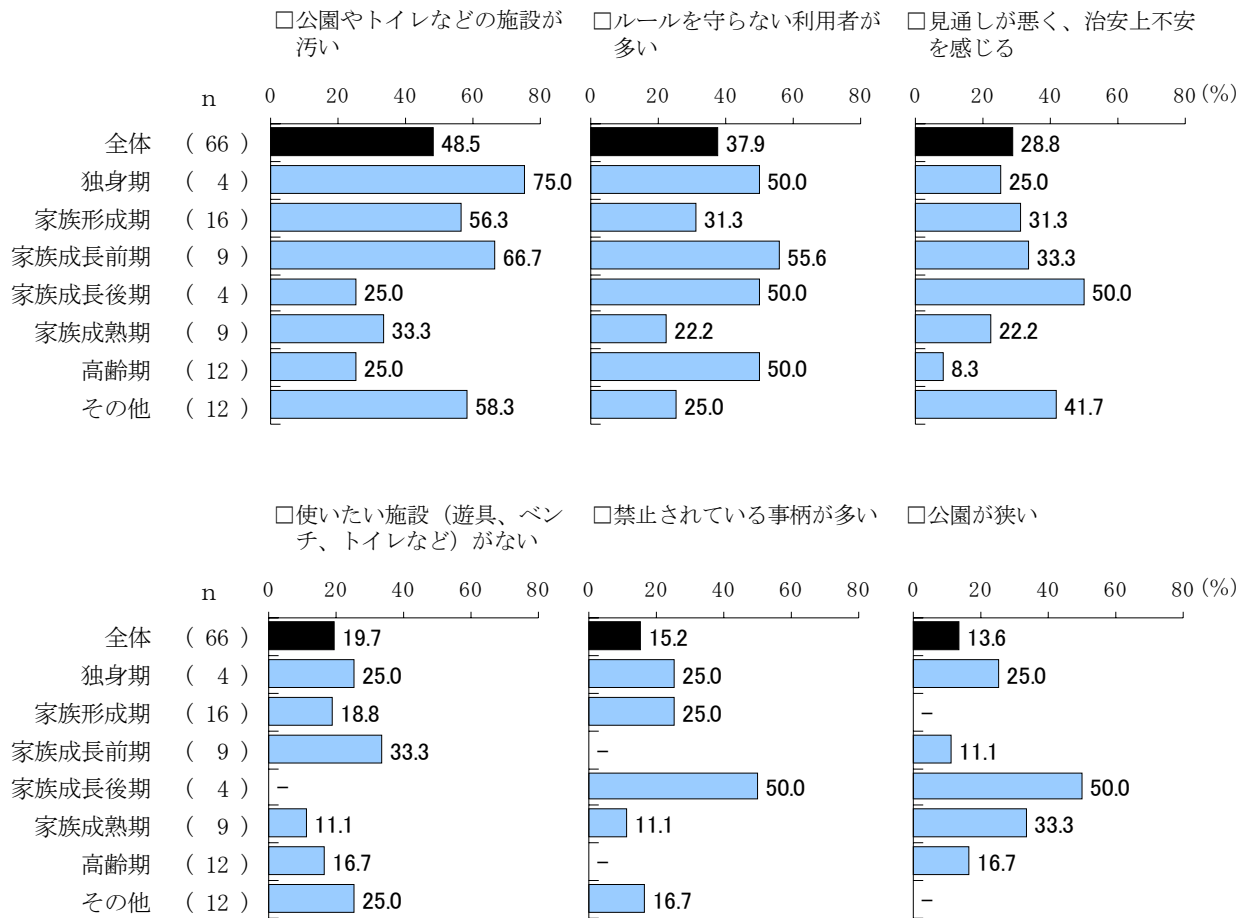
1	公園が狭い	13.6%
2	見通しが悪く、治安上不安を感じる	28.8
3	公園やトイレなどの施設が汚い	48.5
4	近くにない	4.5
5	使いたい施設(遊具、ベンチ、トイレなど)がない	19.7
6	禁止されている事柄が多い	15.2
7	ルールを守らない利用者が多い	37.9
8	その他	39.4

図2-8 公園の不満点(複数回答)



公園の不満点としては、「公園やトイレなどの施設が汚い」(48.5%)が5割近くで最も高く、次いで、「ルールを守らない利用者が多い」(37.9%)が3割台半ばを超えている。また、「見通しが悪く、治安上不安を感じる」(28.8%)が3割近い。(図2-8)

図 2-9 公園の不満点（ライフステージ別）上位 6 項目



(注) 図 2-9 は参考として表記することとした。(基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い)

## <公園を利用しない理由>

### (1) 公園を利用しない理由

- ◎ 「公園やトイレなどの施設が汚い」「公園が狭い」「見通しが悪く、治安上不安を感じる」が上位3項目

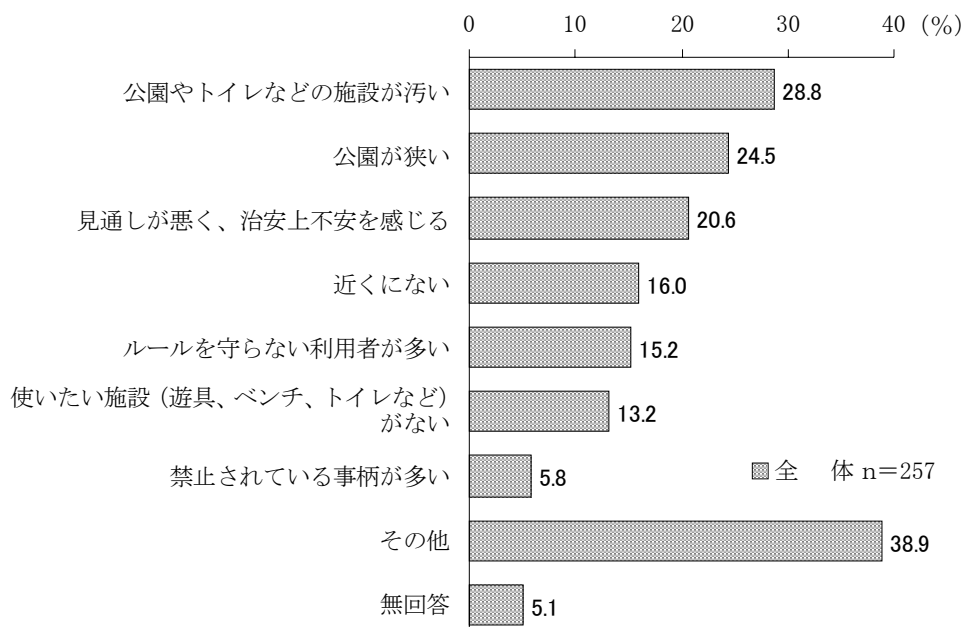
(問1で「3 あまり利用しない」「4 ほとんど利用しない」に○をされた方におたずねします)

問1-5 公園を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=257)

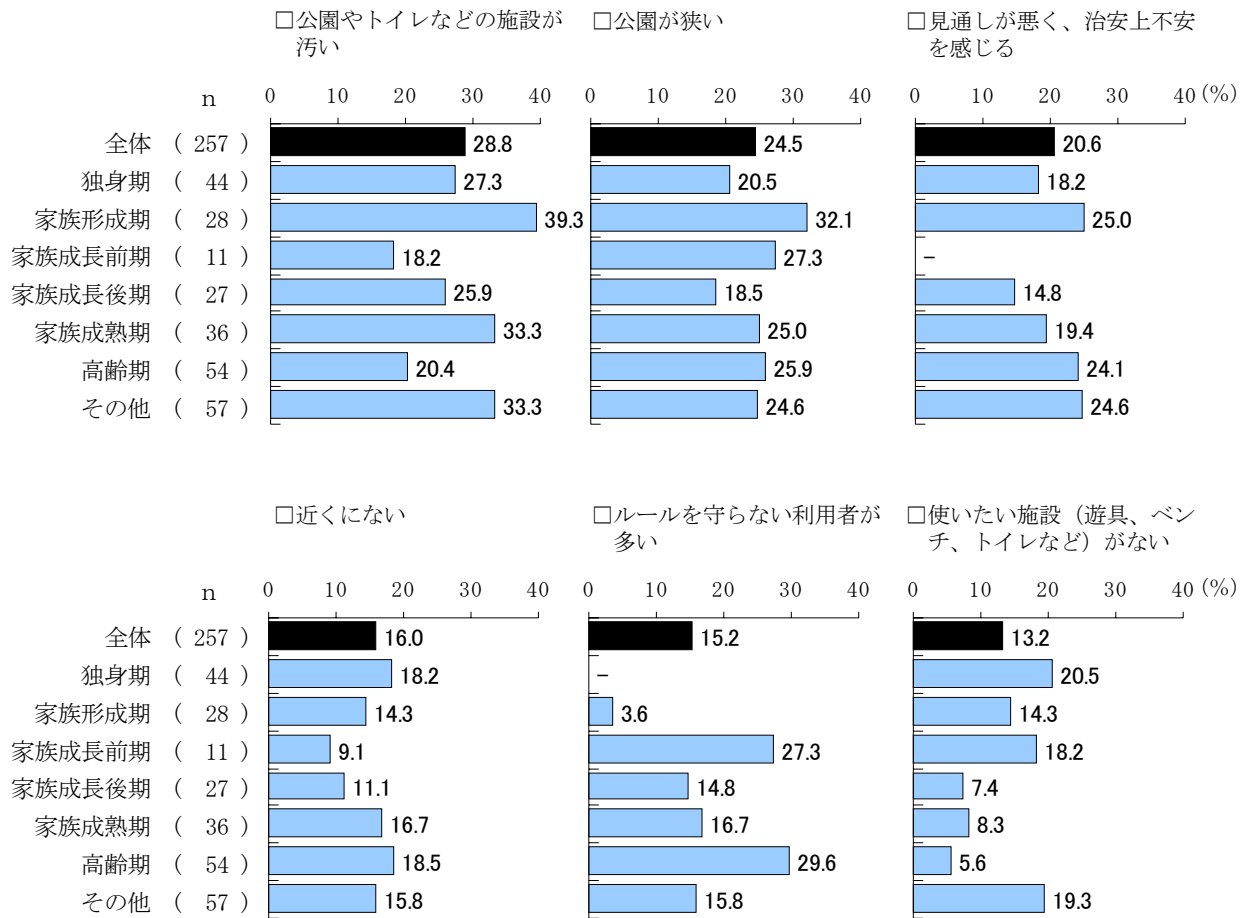
1	公園が狭い	24.5%
2	見通しが悪く、治安上不安を感じる	20.6
3	公園やトイレなどの施設が汚い	28.8
4	近くにない	16.0
5	使いたい施設(遊具、ベンチ、トイレなど)がない	13.2
6	禁止されている事柄が多い	5.8
7	ルールを守らない利用者が多い	15.2
8	その他	38.9
	無回答	5.1

図2-10 公園を利用しない理由(複数回答)



公園を利用しない理由としては、「公園やトイレなどの施設が汚い」(28.8%)が3割近くで最も高い。次いで、「公園が狭い」(24.5%)が2割台半ば近く、「見通しが悪く、治安上不安を感じる」(20.6%)が約2割となっている。また、「その他」(38.9%)が4割近くであり、主な内容は「忙しい・時間がない等」、「機会・習慣がない等」となっている。(図2-10)

図2-11 公園を利用しない理由（ライフステージ別）上位6項目



上位6項目について、ライフステージ別でみると、「公園やトイレなどの施設が汚い」は、家族形成期(39.3%)と家族成熟期(33.3%)とその他(33.3%)で3割を超える。(図2-11)

## < 望ましい公園 >

### (1) 利用したい公園

問2 あなたは、どのような公園を利用したいと思いますか？

(主な意見の抜粋)

- 土や木、花など自然を感じられるような落ち着いた公園。
- 清掃や樹木の剪定をよくしてある公園。
- 地区内の公園に用途別（緑と憩いを中心にした公園、乳幼児が安心して遊べる公園、小中学生向き、世代間交流を考慮した公園）に特色のある公園。
- 近所の人や公園で知り合った人と交流できる場所。
- サッカーやフットサル、野球が気軽にできる公園。
- 新宿区内の公園はやたら遊具ばかりあり、緑が少なく見た目に美しくない。狭いように感じる。
- 死角のない明るい公園。
- 管理者が常駐している公園。
- 遊具やベンチ、トイレなどがきれいな公園。
- 現在の公園で満足している。
- 高齢者がゆっくり休めるベンチや休憩所がある公園。
- 災害時に一時集合場所としての機能の充実している公園。
- ペットと遊べる施設がある公園。専用の施設でなくとも時間制でも良い。
- 芝生のある公園。
- 都会の喧騒を忘れさせてくれるような自然味あふれる公園。
- 緑が多くて木陰のベンチでゆったりできる公園。
- 子どもたちがボール遊びができる公園。
- 地形を活かし、自然と一体感を味わえる公園。
- スポーツ施設の充実した公園。
- いろいろな遊具のある公園。
- 喫煙スペースが砂場などの遊び場から離れている公園。

## 2 公衆トイレについて

### <公衆トイレの利用>

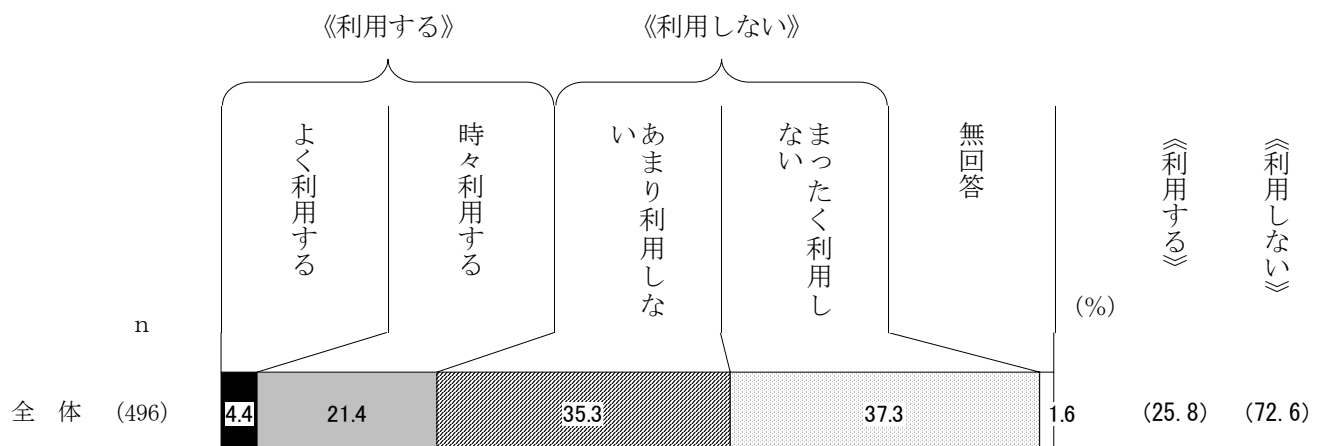
#### (1) 公衆トイレの利用状況

◎ 《利用する》が2割台半ばに対し、《利用しない》が7割強である

問3 あなたは、地域や公園内の公衆トイレを利用しますか。(〇は1つ)		
(n=496)		
1	よく利用する	4.4%
2	時々利用する	21.4
3	あまり利用しない	35.3
4	まったく利用しない	37.3
	無回答	1.6

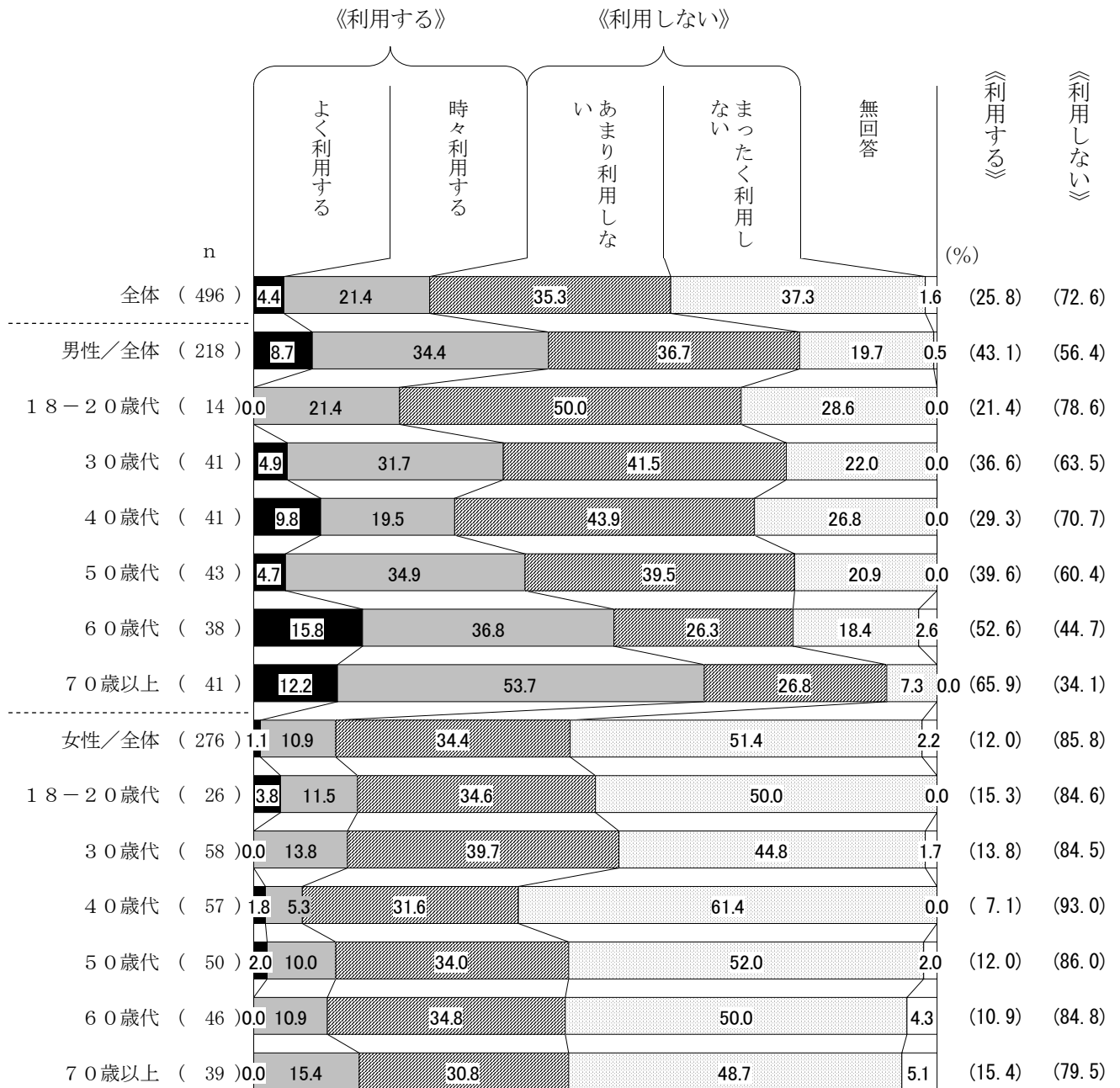
} → (問3-1へ)

図2-12 公衆トイレの利用状況



公衆トイレの利用状況としては、「よく利用する」(4.4%)と「時々利用する」(21.4%)を合わせた《利用する》(25.8%)が2割台半ばとなっている。一方、「まったく利用しない」(37.3%)と「あまり利用しない」(35.3%)を合わせた《利用しない》(72.6%)は7割強となっている。(図2-12)

図2-13 公衆トイレの利用状況（性／年代別）



性／年代別でみると、《利用する》は男性の70歳以上（65.9%）と60歳代（52.6%）で半数を超えて多い。一方、《利用しない》は、女性の70歳以上を除く年代で8割を超える。（図2-13）

## <公衆トイレを利用しない理由>

### (1) 公衆トイレを利用しない理由

◎ 「トイレ内が汚い」「治安上不安を感じる」「トイレ内が暗い」が上位3項目

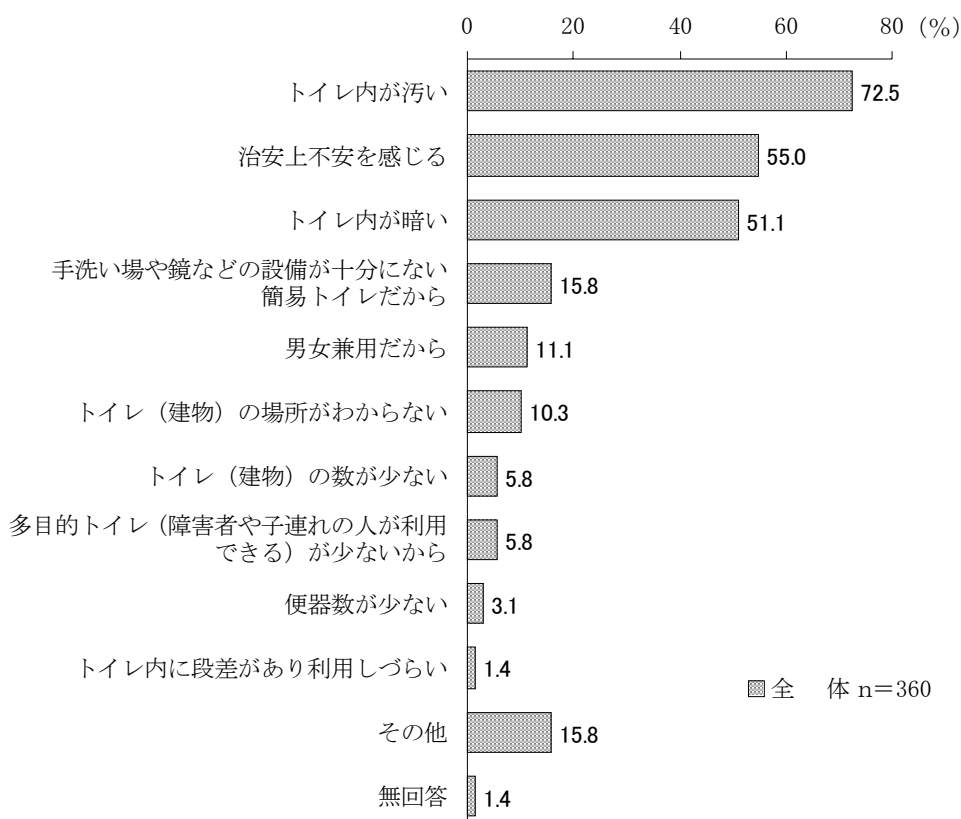
(問3で「3 あまり利用しない」「4 まったく利用しない」に○をされた方におたずねします)

問3-1 地域や公園内の公衆トイレを利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=360)

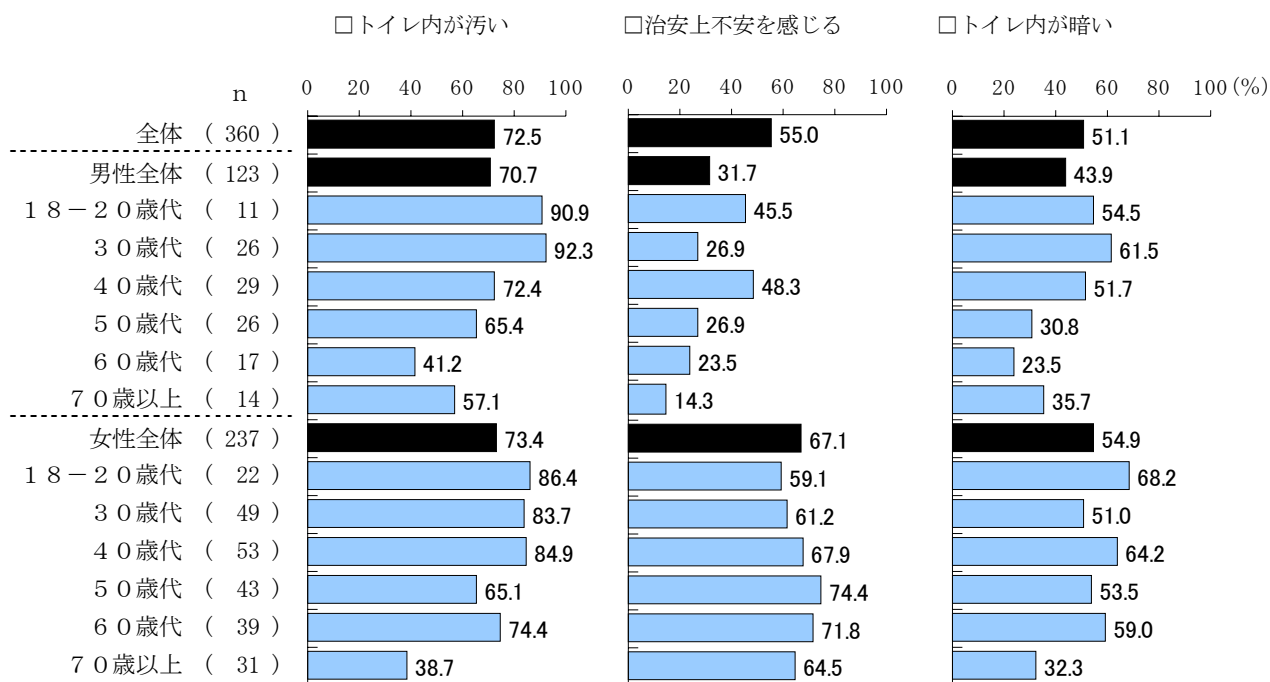
1	トイレ内が汚い	72.5%
2	トイレ内が暗い	51.1
3	トイレ内に段差があり利用しづらい	1.4
4	便器数が少ない	3.1
5	トイレ(建物)の数が少ない	5.8
6	トイレ(建物)の場所がわからない	10.3
7	治安上不安を感じる	55.0
8	手洗い場や鏡などの設備が十分でない簡易トイレだから	15.8
9	多目的トイレ(障害者や子連れの人が利用できる)が少ないから	5.8
10	男女兼用だから	11.1
11	その他	15.8
	無回答	1.4

図2-14 公衆トイレを利用しない理由(複数回答)



公衆トイレを利用しない理由としては、「トイレ内が汚い」(72.5%)が7割強で最も高い。「治安上不安を感じる」(55.0%)が5割台半ば、「トイレ内が暗い」(51.1%)が5割強でそれに続いている。  
(図2-14)

図2-15 公衆トイレを利用しない理由(性/年代別)上位3項目



(注) 図2-15は参考として表記することとした。(基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い)

## <公衆トイレの形式>

### (1) 利用する公衆トイレの形式

- ◎ 「洋式トイレ」が4割台半ばを超え、「和式トイレ」が3割台半ば近く
- ◎ 洋式トイレを利用する理由は「足や腰に負担が少ないから」と「使い慣れているから」が上位2項目
- ◎ 和式トイレを利用する理由は「洋式トイレは便座が不潔な感じがするから」が9割台半ばで突出

(すべての方におたずねします)

問4 あなたは、どちらの公衆トイレの形式を利用しますか(したいですか)。(○は1つ)

(n=496)

1	洋式トイレ	46.4%
2	和式トイレ	33.5
3	どちらでもよい	17.1
	無回答	3.0

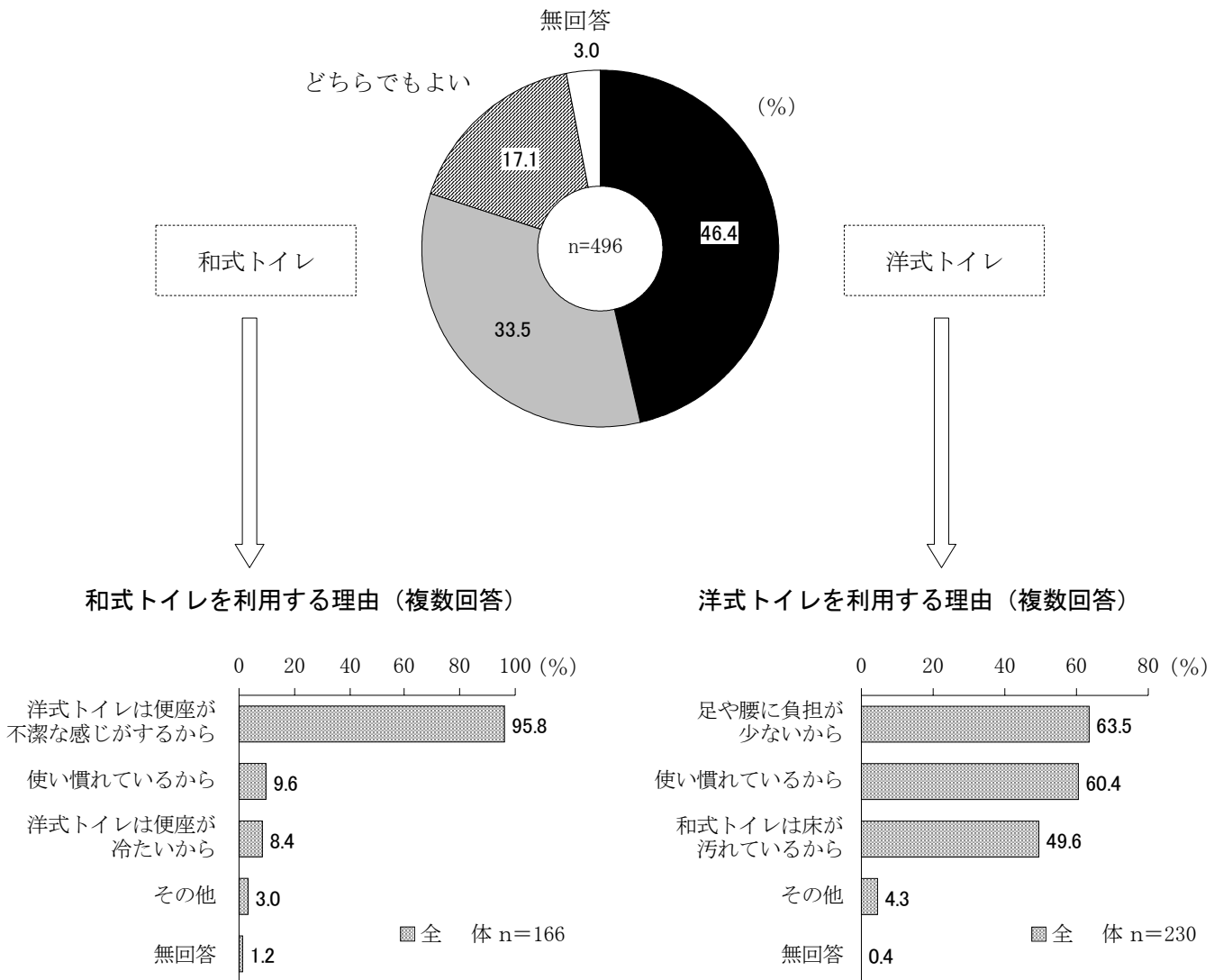
「1 洋式トイレ」と回答した方 (○はいくつでも)  
(n=230)

1	使い慣れているから	60.4%
2	足や腰に負担が少ないから	63.5
3	和式トイレは床が汚れているから	49.6
4	その他	4.3
	無回答	0.4

「2 和式トイレ」と回答した方 (○はいくつでも)  
(n=166)

1	使い慣れているから	9.6%
2	洋式トイレは便座が不潔な感じがするから	95.8
3	洋式トイレは便座が冷たいから	8.4
4	その他	3.0
	無回答	1.2

図2-16 利用する公衆トイレの形式

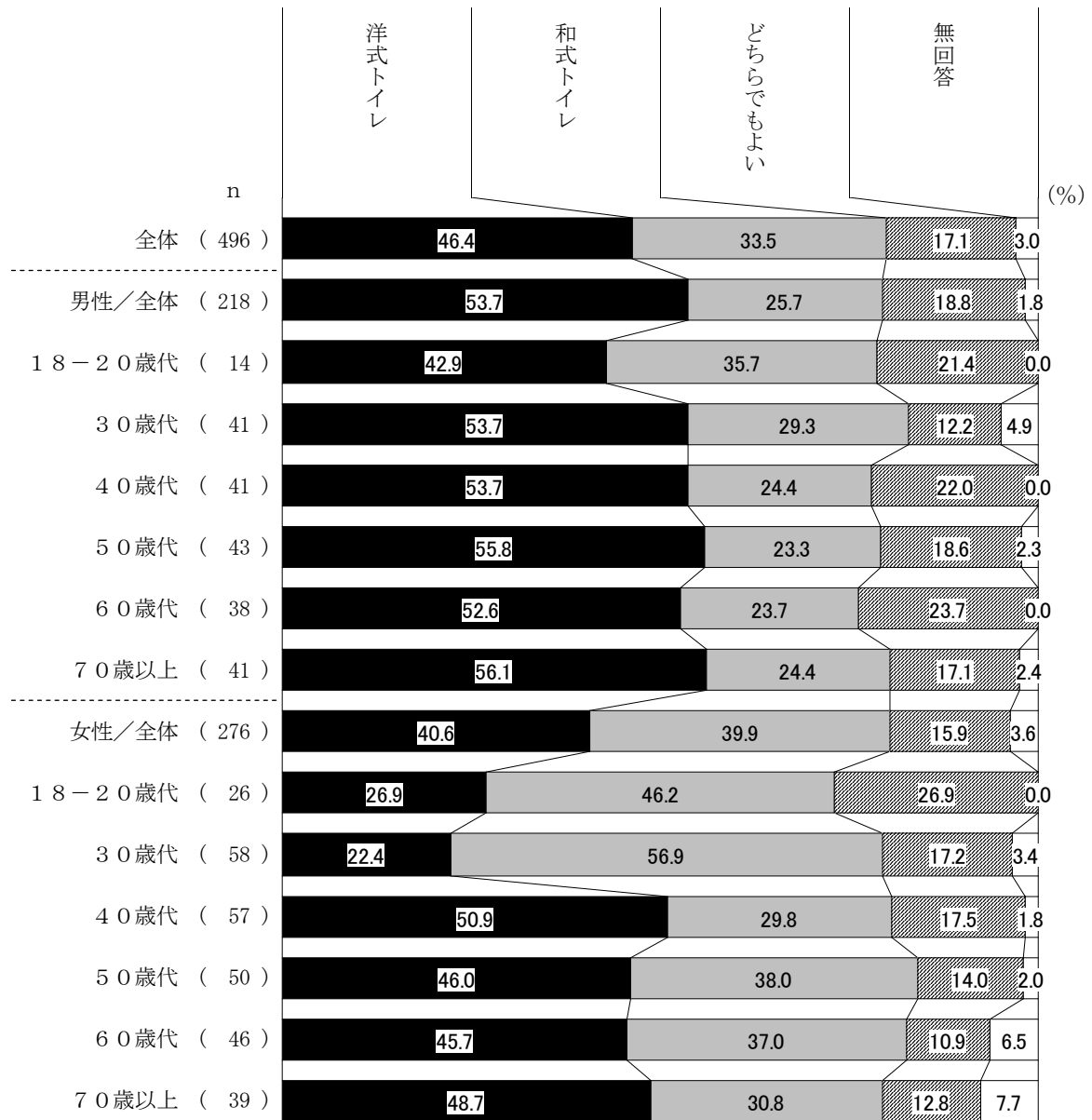


利用する公衆トイレの形式は、「洋式トイレ」(46.4%)が4割台半ばを超え、「和式トイレ」(33.5%)が3割台半ば近くになっている。

洋式トイレを利用する理由は、「足や腰に負担が少ないから」(63.5%)と「使い慣れているから」(60.4%)が6割を超え、「和式トイレは床が汚れているから」(49.6%)がそれに続く。

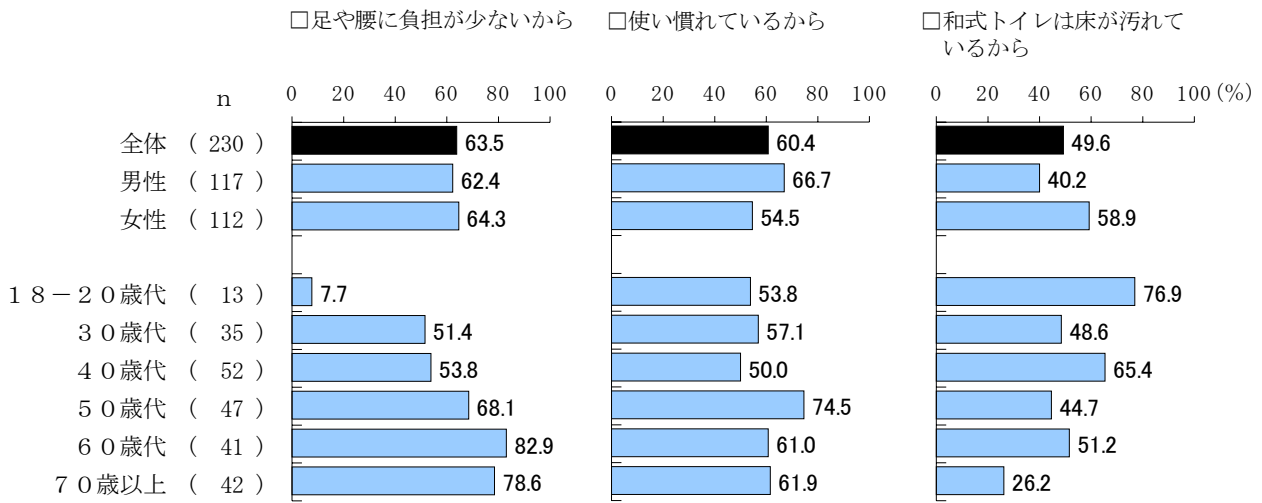
和式トイレを利用する理由は、「洋式トイレは便座が不潔な感じがするから」(95.8%)が9割台半ばで突出している。(図2-16)

図2-17 利用する公衆トイレの形式（性／年代別）



性／年代別でみると、「洋式トイレ」は、男性では30歳代以降の年代で5割を超え、女性では40歳代以降で4割台半ばを超える。「和式トイレ」は、女性の若い年代で高くなっている。（図2-17）

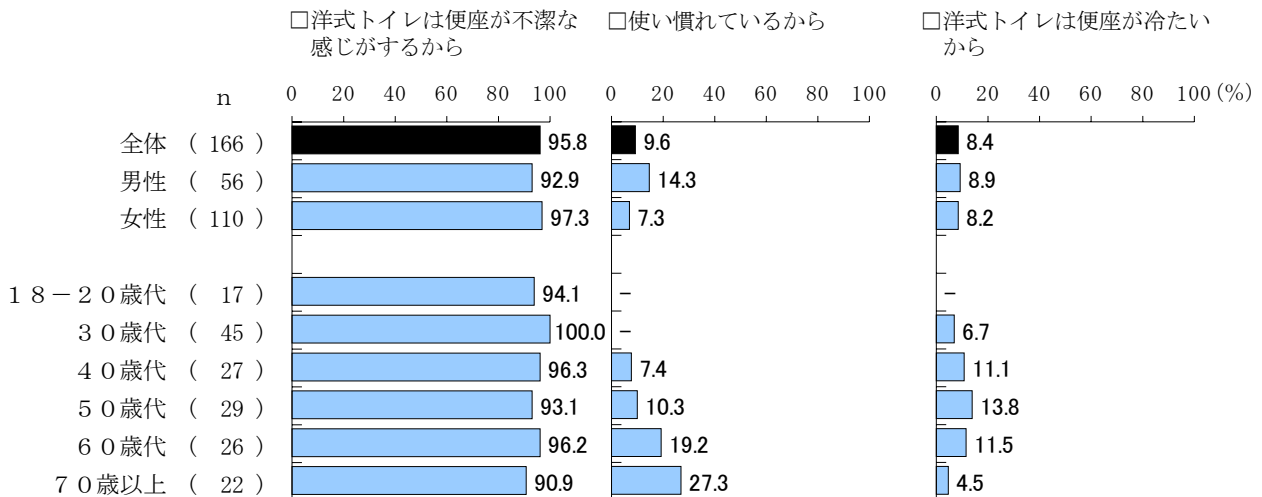
図2-18 洋式トイレを利用する理由（性別・年代別）上位3項目



洋式トイレを利用する理由を上位3項目について、性別で見ると、「使い慣れているから」は男性(66.7%)の方が高く、「和式トイレは床が汚れているから」は女性(58.9%)の方が高い。

年代別で見ると、「足や腰に負担が少ないから」は、年代が上がるにつれ、高くなる傾向がある。(図2-18)

図2-19 和式トイレを利用する理由（性別・年代別）上位3項目



和式トイレを利用する理由を上位3項目について、性別で見ると、「洋式トイレは便座が不潔な感じがするから」が男女ともに9割台となっている。

年代別については、基数が少ないため、参考として表記した。(図2-19)

## (2) 公衆トイレについての意見・要望

問5 公衆トイレについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

(主な意見の抜粋)

- 掃除の行き届いたきれいな公衆トイレの数を増やしてほしい。
- 利用者のマナーが問題。後の人のためにきれいに使うという意識をもつ呼びかけが必要。
- 小さい子どもや高齢者の方は洋式でないと使えないことがあるので、両タイプの公衆トイレを設置してほしい。
- 障害者用の公衆トイレが不足している。
- 公衆トイレ内の段差がないようにしてほしい。
- 有料でも清潔な公衆トイレにしてほしい。
- 必要によほどせまられない限りは使用したくない。
- お店や駅のトイレのように、きれいにしてほしい。
- 公衆トイレの清掃はありがたいと感謝している。
- 公共施設内に付設してほしい。
- 1日1回は見回りや清掃をしてほしい。清掃に際しては服装や腕章などに留意してほしい。
- 安全上、人の目の届く場所につくってほしい。
- 公衆トイレ内を広くした方が良い。
- 利用する人のマナーの向上を望む。
- 外観をきれいにアレンジする。
- 区内の公衆トイレ全般が汚い。
- 夜間の利用はできないようにする方が良い。
- 便座の消毒の備えがあれば良い。

### 3 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

#### <歌舞伎町への来街意向>

##### (1) 歌舞伎町への来街意向

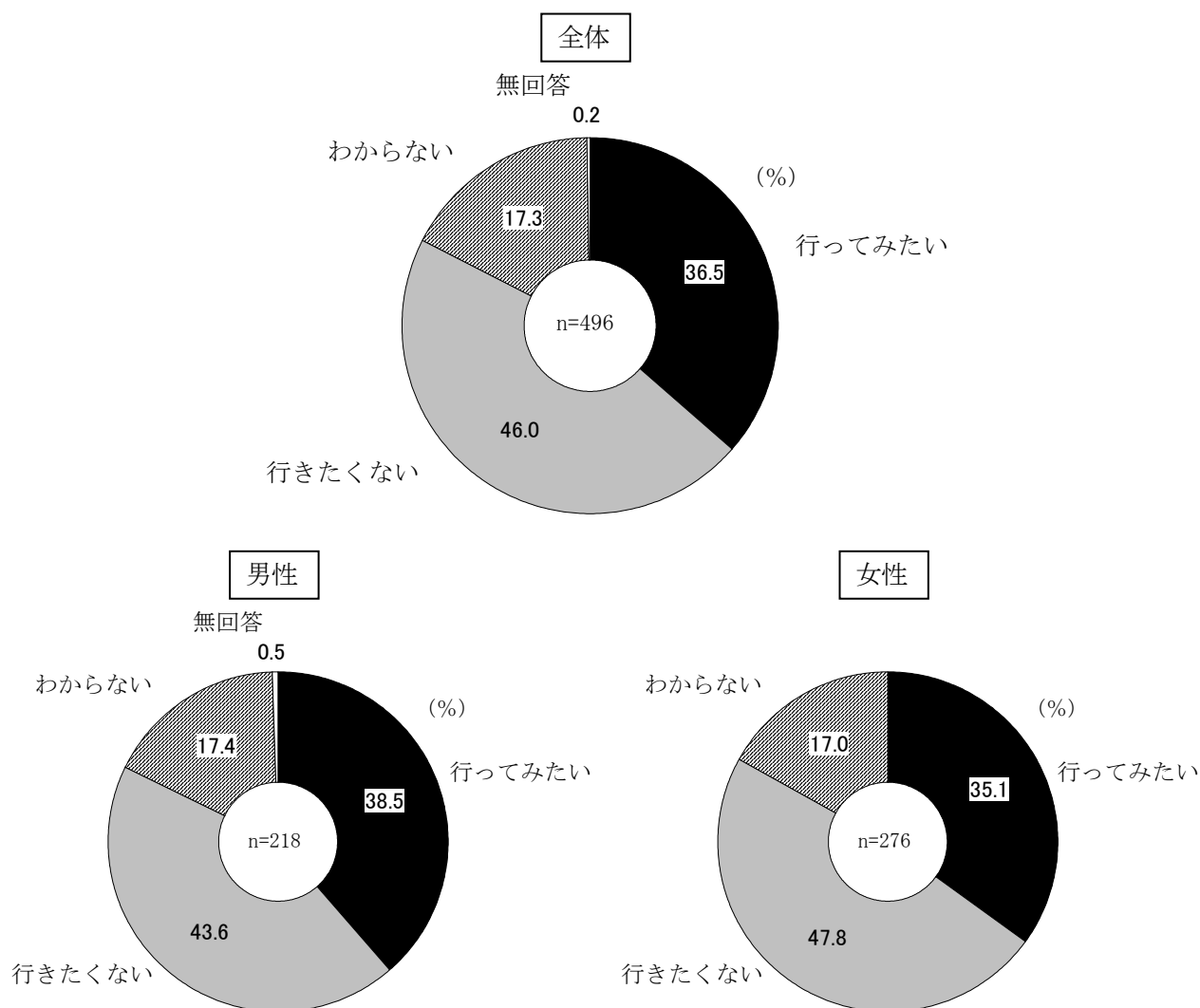
◎ 「行ってみたい」が3割台半ばを超える一方、「行きたくない」が4割台半ばを超える

問6 あなたは、歌舞伎町へ行ってみたいと思いますか。(〇は1つ)

(n=496)

1	行ってみたい	→ (問6-1へ)	36.5%
2	行きたくない	→ (問6-2へ)	46.0
3	わからない	→ (問7へ)	17.3
	無回答		0.2

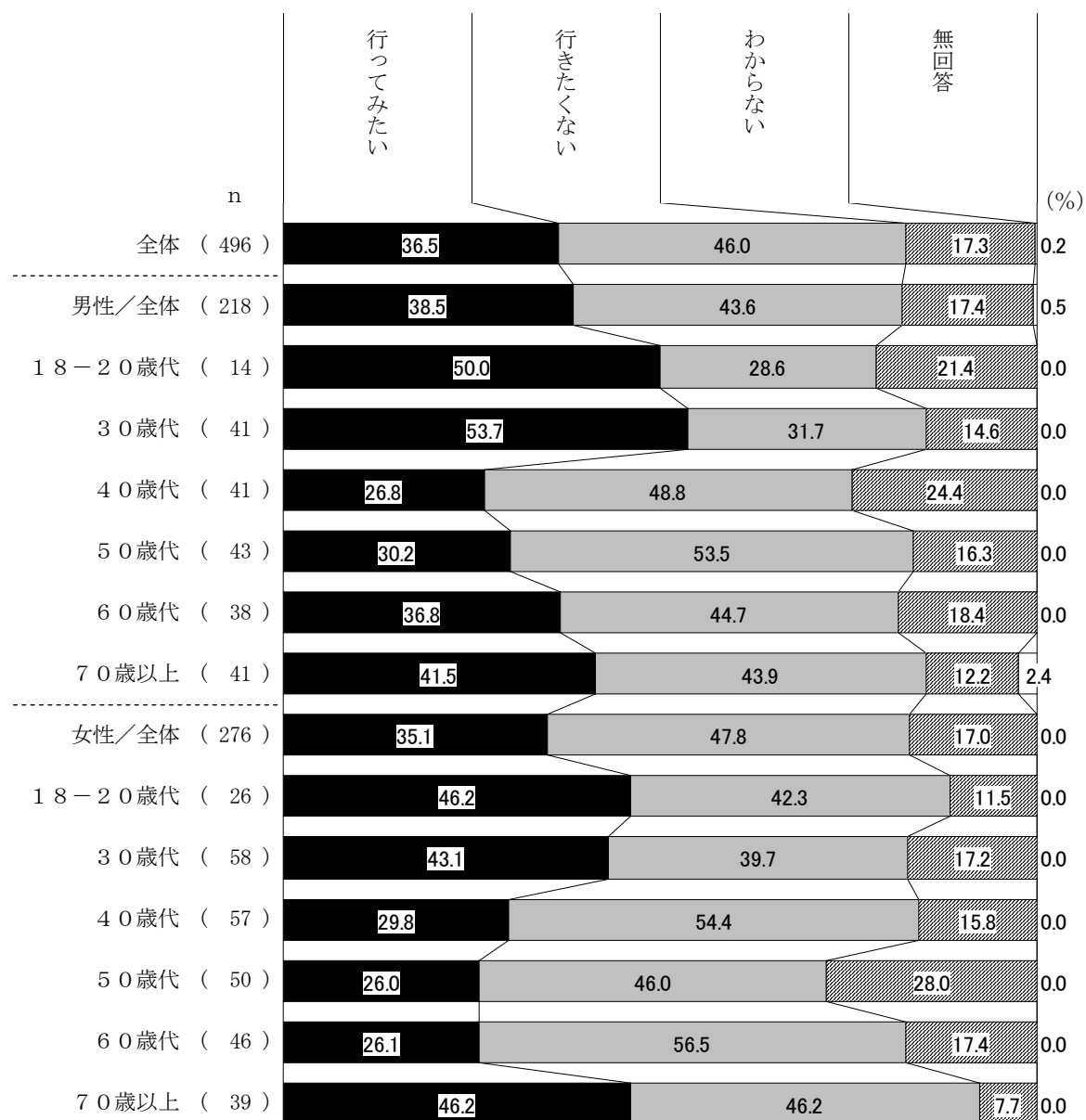
図2-20 歌舞伎町への来街意向(性別)



歌舞伎町への来街意向としては、「行ってみたい」（36.5%）が3割台半ばを超えている。一方、「行きたくない」（46.0%）が4割台半ばを超えている。

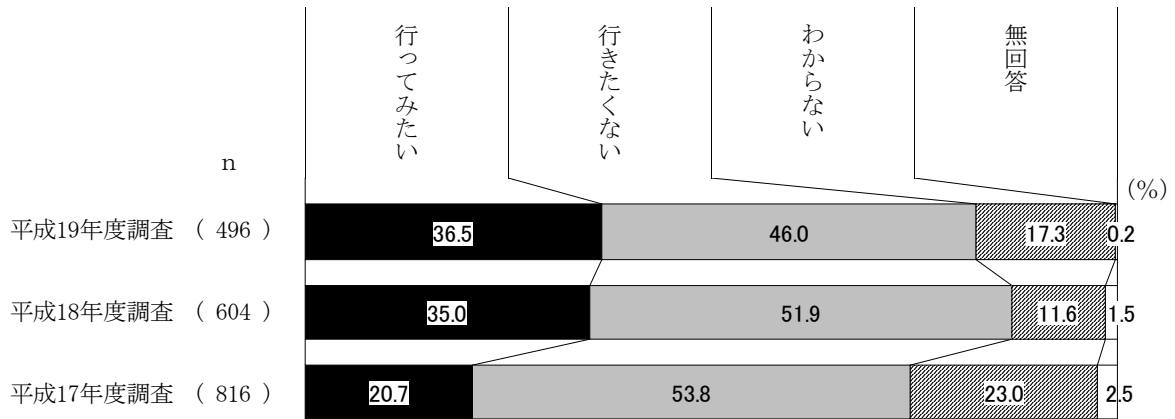
性別でみると、「行ってみたい」は、男性（38.5%）が4割近く、女性（35.1%）を3.4ポイント上回っている。一方、「行きたくない」は、女性（47.8%）が4割台半ばを超え、男性（43.6%）を4.2ポイント上回っている。（図2-20）

図2-21 歌舞伎町への来街意向（性／年代別）



性／年代別でみると、「行ってみたい」は男性の30歳代（53.7%）で5割台半ば近く、女性の70歳以上（46.2%）で4割台半ばを超えている。一方、「行きたくない」は女性の60歳代（56.5%）で5割台半ばを超え、女性の40歳代（54.4%）と男性の50歳代（53.5%）で5割台半ば近くなっている。（図2-21）

図2-22 歌舞伎町への来街意向（過去の区政モニターアンケートとの比較）



過去の調査と比較すると、平成19年度調査では、「行ってみたい」は、平成18年度（35.0%）と比べ僅かに高くなっている。一方、「行きたくない」は、平成18年度（51.9%）と比べ低くなっている。（図2-22）

## <歌舞伎町へ行ってみたい理由>

### (1) 歌舞伎町へ行ってみたい理由

- ◎ 「劇場、映画館等、楽しめる施設があるから」が6割強で最も高く、「歌舞伎町の変化を見てみたいから」が約4割で続く

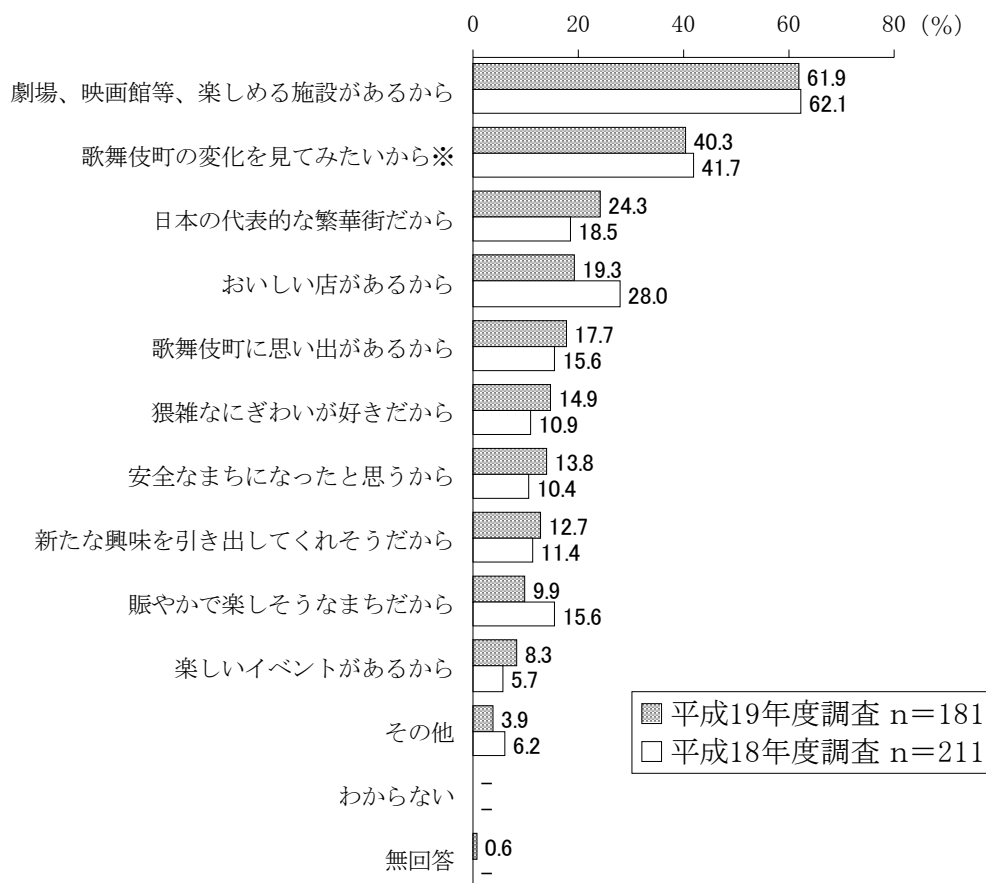
(問6で「1 行ってみたい」に○をされた方におたずねします)

問6-1 行ってみたい理由は何ですか。(○は3つまで)

(n=181)

1	安全なまちになったと思うから	13.8%
2	歌舞伎町の変化を見てみたいから	40.3
3	楽しいイベントがあるから	8.3
4	新たな興味を引き出してくれそうだから	12.7
5	日本の代表的な繁華街だから	24.3
6	猥雑なにぎわいが好きだから	14.9
7	劇場、映画館等、楽しめる施設があるから	61.9
8	おいしい店があるから	19.3
9	賑やかで楽しそうなまちだから	9.9
10	歌舞伎町に思い出があるから	17.7
11	その他	3.9
12	わからない	-
	無回答	0.6

図2-23 歌舞伎町へ行ってみたい理由(複数回答)

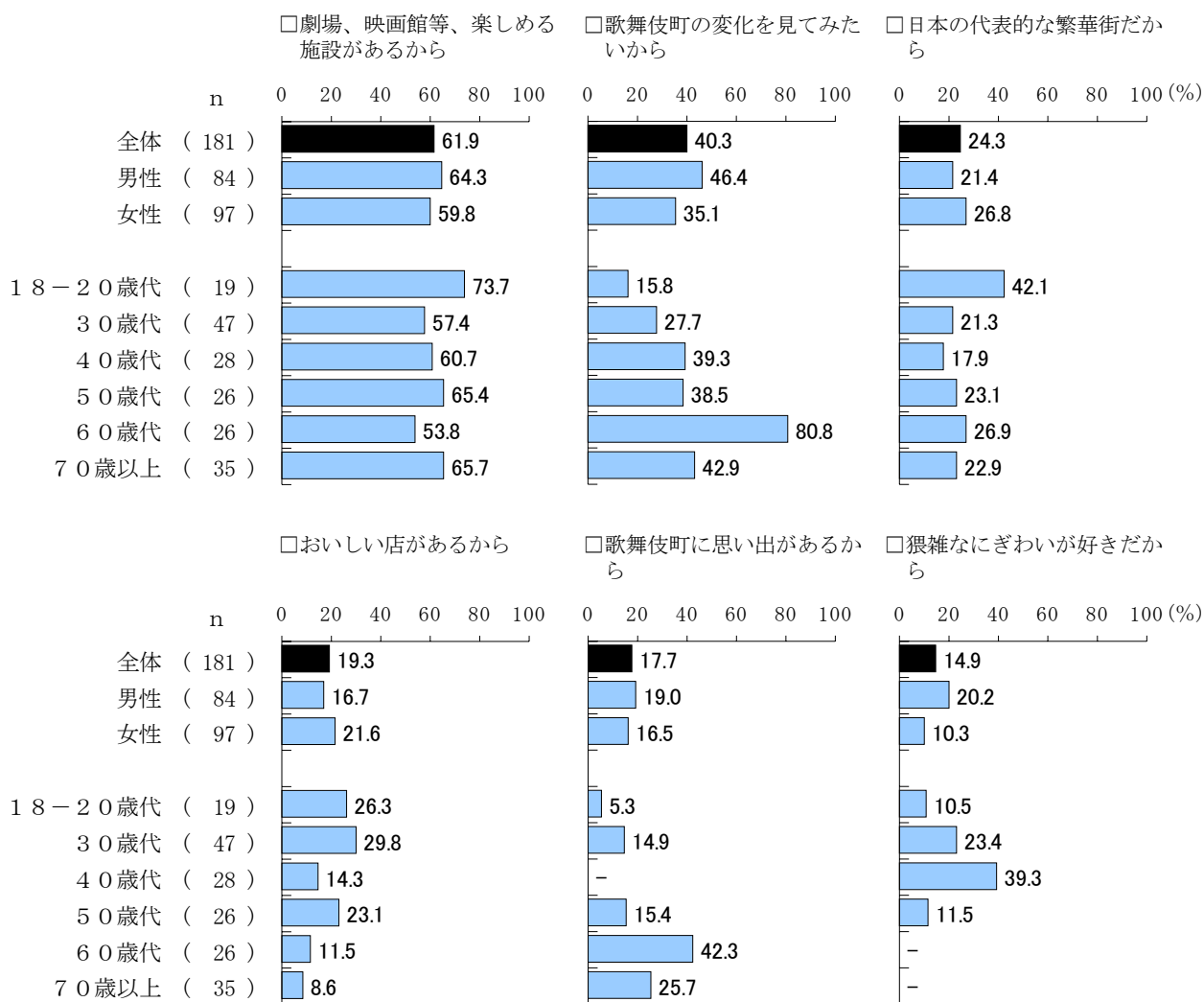


※「歌舞伎町の変化を見てみたいから」は、平成18年度調査では「どのくらい変わったか見てみたいから」である。

歌舞伎町へ行ってみたい理由としては、「劇場、映画館等、楽しめる施設があるから」(61.9%)が6割強で最も高い。「歌舞伎町の変化を見てみたいから」(40.3%)が約4割でそれに続いている。

前年度調査と比較すると、「劇場、映画館等、楽しめる施設があるから」と「歌舞伎町の変化を見てみたいから」の上位2項目にはほとんど変化がみられない。「日本の代表的な繁華街だから」は5.8ポイント増加し、4位から3位に上昇した。(図2-23)

図2-24 歌舞伎町へ行ってみたい理由(性別・年代別)上位6項目



(注) 年代別については、基数が少ないため、参考として表記した。

上位6項目について、性別で見ると、上位2項目は男性の方が女性よりも高くなっている。(図2-24)

## <歌舞伎町へ行きたくない理由>

### (1) 歌舞伎町へ行きたくない理由

- ◎ 「治安が悪いというイメージがあるから」と「風俗店など、いかがわしい店が多いと感じるから」が上位2項目

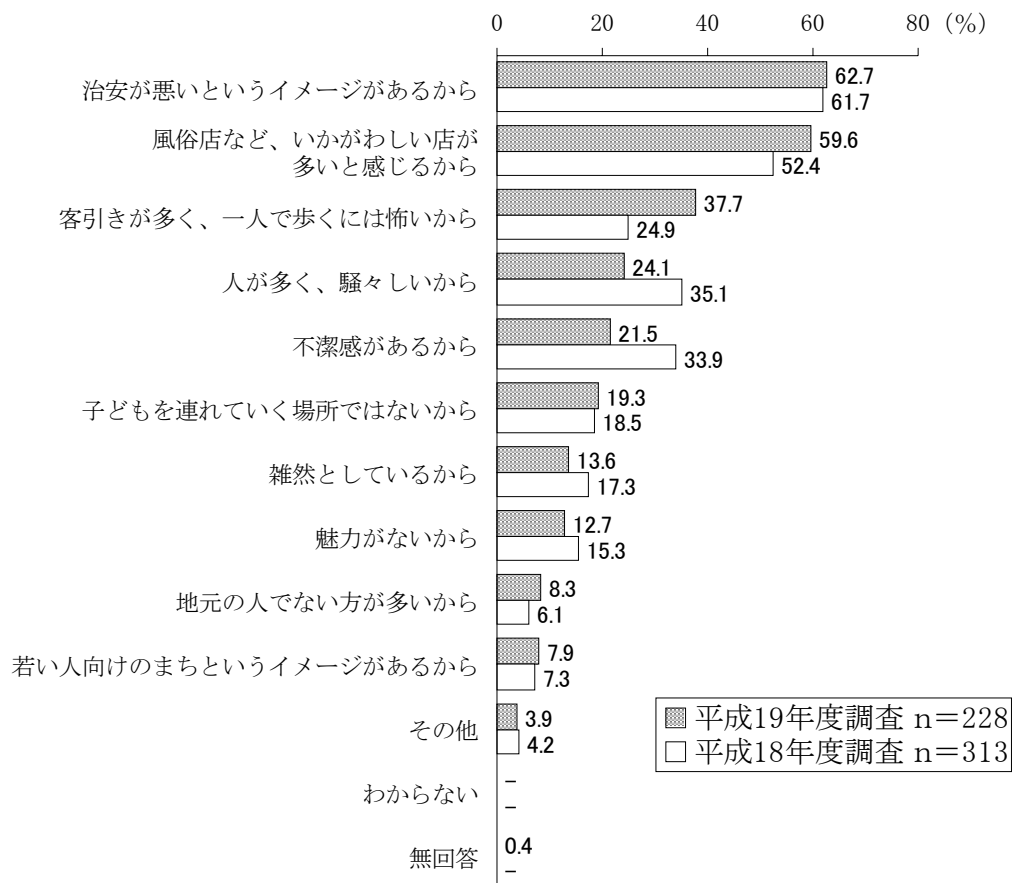
(問6で「2 行きたくない」に○をされた方におたずねします)

問6-2 行きたくない理由は何ですか。(○は3つまで)

(n=228)

1	治安が悪いというイメージがあるから	62.7%
2	客引きが多く、一人で歩くには怖いから	37.7
3	風俗店など、いかがわしい店が多いと感じるから	59.6
4	魅力がないから	12.7
5	雑然としているから	13.6
6	不潔感があるから	21.5
7	人が多く、騒々しいから	24.1
8	子どもを連れていく場所ではないから	19.3
9	若い人向けのまちというイメージがあるから	7.9
10	地元の人でない方が多いから	8.3
11	その他	3.9
12	わからない	-
	無回答	0.4

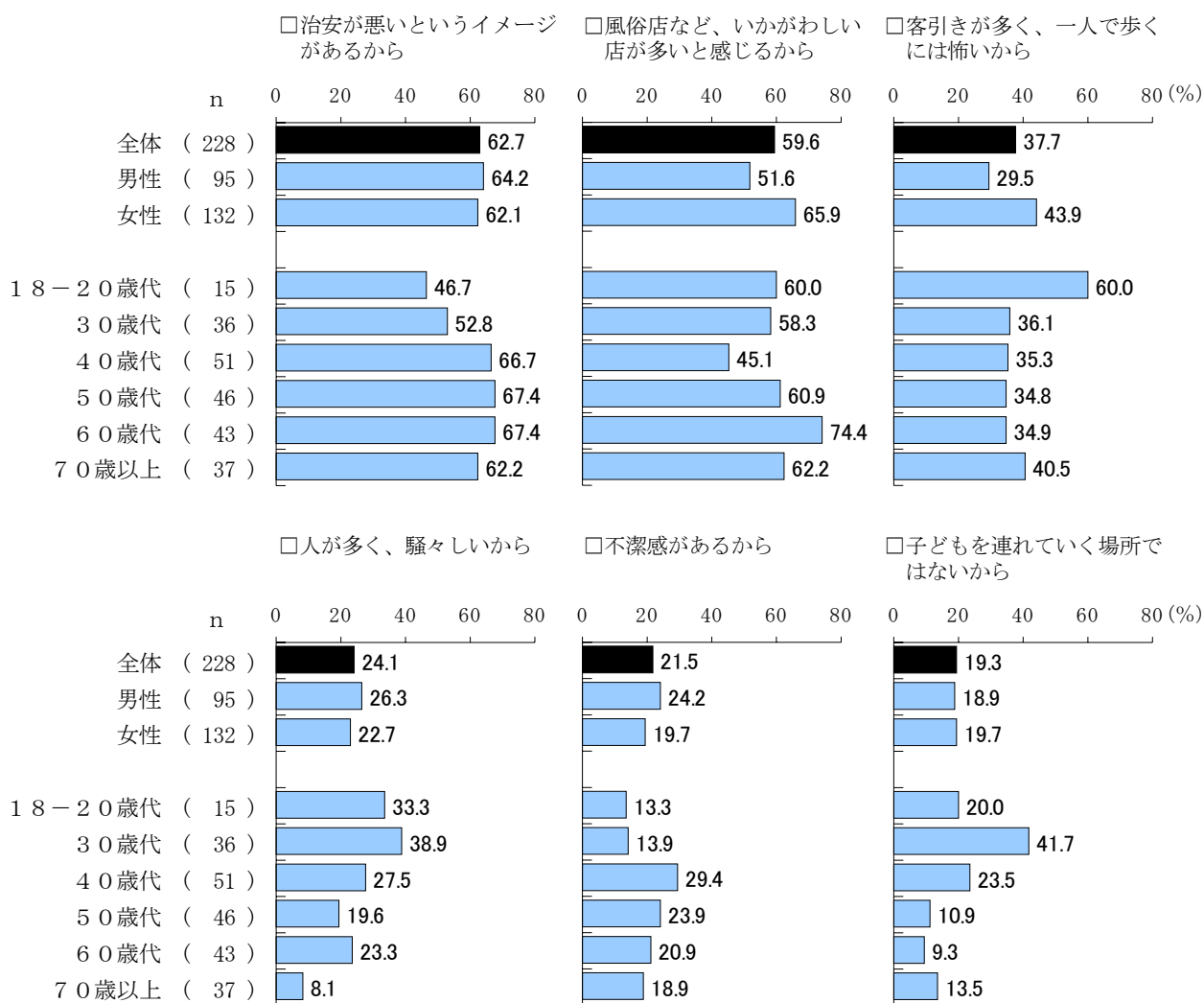
図2-25 歌舞伎町へ行きたくない理由(複数回答)



歌舞伎町へ行きたくない理由としては、「治安が悪いというイメージがあるから」(62.7%)と「風俗店など、いかがわしい店が多いと感じるから」(59.6%)が上位2項目である。次いで、「客引きが多く、一人で歩くには怖いから」(37.7%)が3割台半ばを超えている。

前年度調査と比較すると、「治安が悪いというイメージがあるから」はほとんど変化がみられないが、「風俗店など、いかがわしい店が多いと感じるから」は7.2ポイント増加した。また、「客引きが多く、一人で歩くには怖いから」は12.8ポイント増加し、5位から3位に上昇した。(図2-25)

図2-26 歌舞伎町へ行きたくない理由(性別・年代別)上位6項目



(注) 年代別については、基数が少ないため、参考として表記した。

上位6項目について、性別でみると、「治安が悪いというイメージがあるから」は男女ともに6割台と高い。「風俗店など、いかがわしい店が多いと感じるから」と「客引きが多く、一人で歩くには怖いから」は女性の方が男性よりも高くなっている。(図2-26)

## <以前と比較した歌舞伎町の印象>

### (1) 以前と比較した歌舞伎町の印象

◎ 『イメージは向上した』『きれいになった』では、「思う」が比較的高い

(すべての方におたずねします)

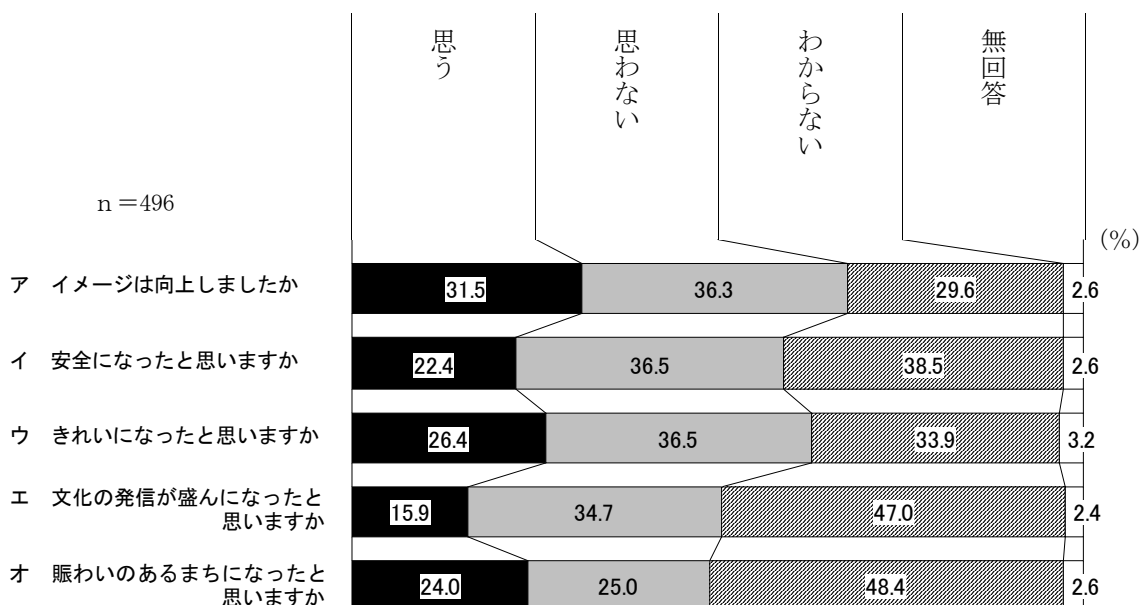
問7 以前と比較した歌舞伎町の印象について、ア～オそれぞれについてお答えください。

(それぞれ〇は1つ)

(n=496)

	思う	思わない	わからない	無回答
ア イメージは向上しましたか	31.5%	36.3	29.6	2.6
イ 安全になったと思いますか	22.4	36.5	38.5	2.6
ウ きれいになったと思いますか	26.4	36.5	33.9	3.2
エ 文化の発信が盛んになったと思いますか	15.9	34.7	47.0	2.4
オ 賑わいのあるまちになったと思いますか	24.0	25.0	48.4	2.6

図2-27 以前と比較した歌舞伎町の印象



『イメージは向上した』は「思う」(31.5%)と「思わない」(36.3%)がともに3割を超える。『安全になった』と『きれいになった』は「思う」が2割台、「思わない」が3割台半ばを超える。『文化の発信が盛んになった』と『賑わいのあるまちになった』は「わからない」が半数近くを占める。(図2-27)

図 2-28 以前と比較した歌舞伎町の印象（過去の区政モニターアンケートとの比較）

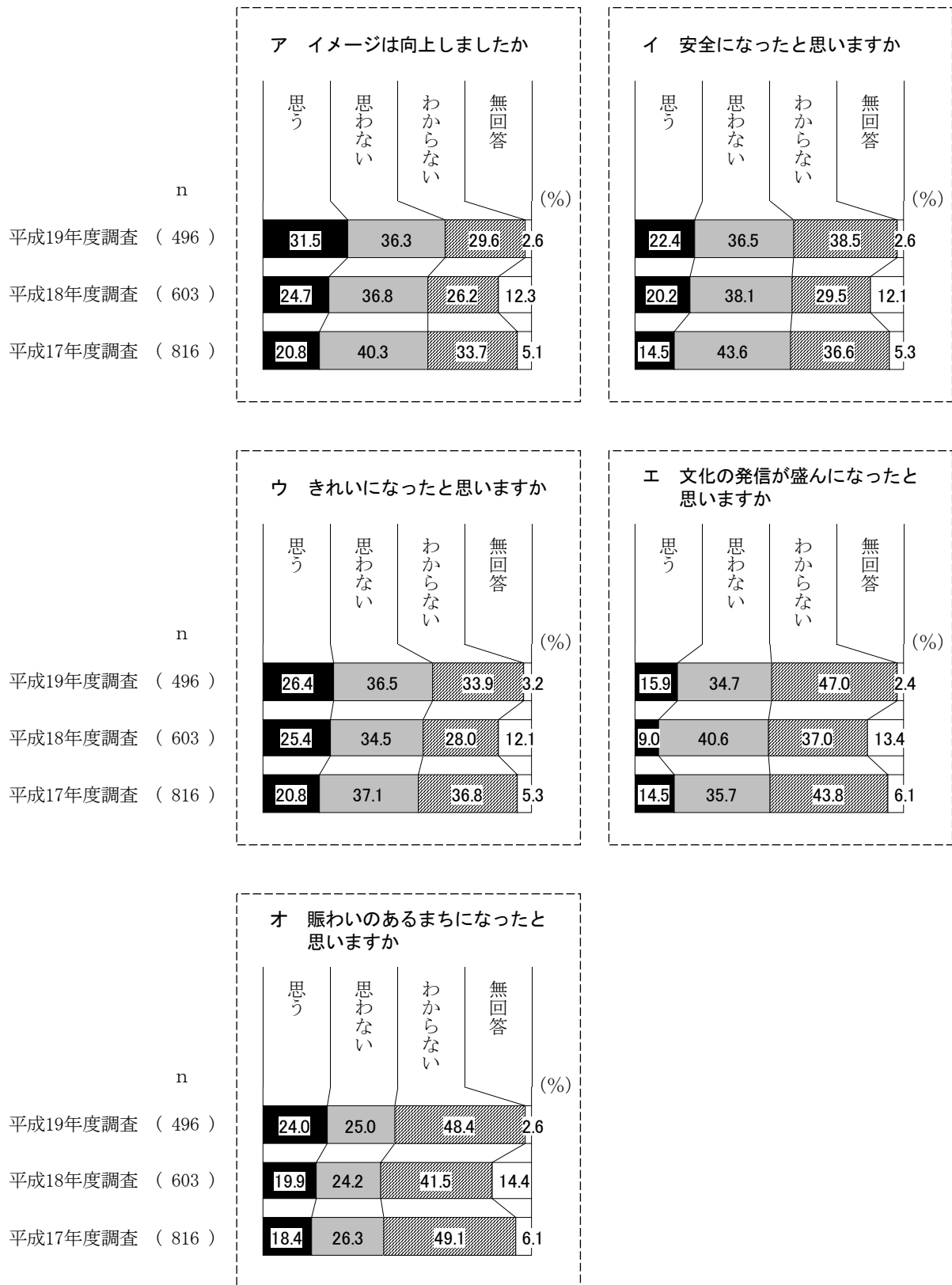
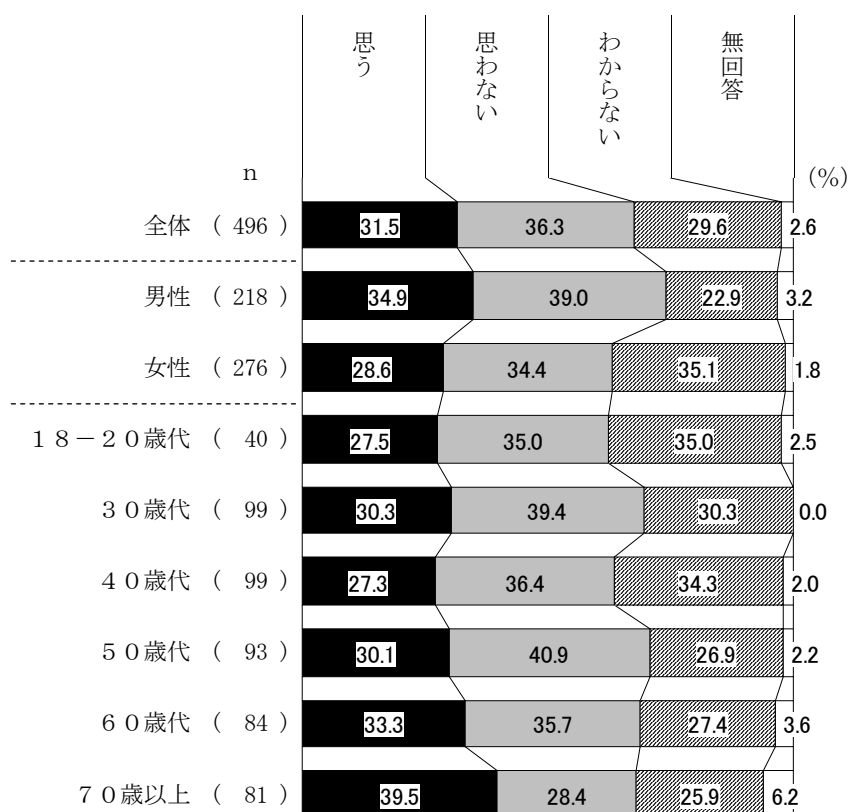


図2-29 以前と比較した歌舞伎町の印象（性別・年代別）

ア イメージは向上しましたか

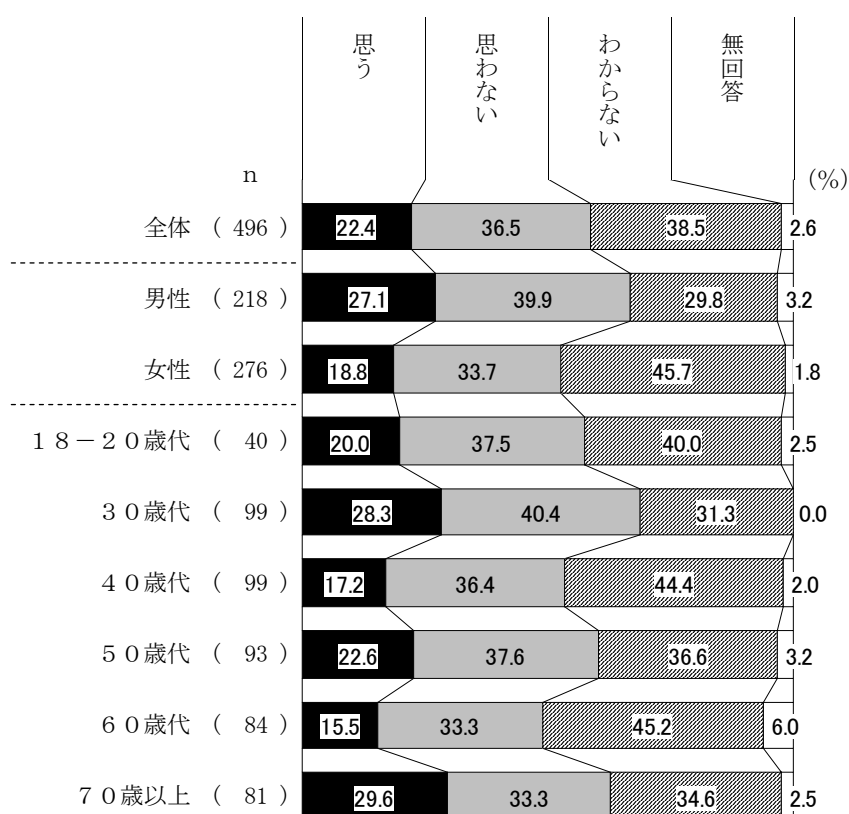


『イメージは向上した』について、性別で見ると、「思う」は、男性（34.9%）の方が女性（28.6%）よりも6.3ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「思う」は、すべての年代で2割台半ばを超え、特に70歳以上（39.5%）は4割弱と高い。（図2-29）

図2-30 以前と比較した歌舞伎町の印象（性別・年代別）

イ 安全になったと思いますか

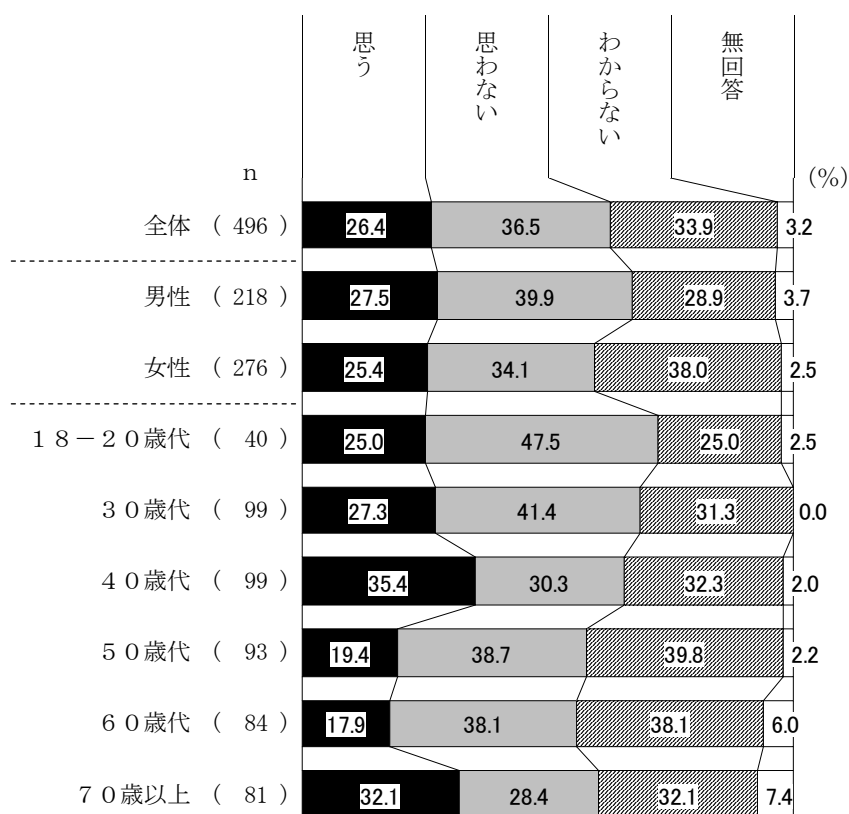


『安全になったと思う』について、性別で見ると、「思う」は、男性（27.1%）の方が女性（18.8%）よりも8.3ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「思う」は、40歳代と60歳代を除き2割を超え高くなっている。一方、「思わない」は、すべての年代で3割以上であり、特に30歳代（40.4%）は約4割である。（図2-30）

図2-31 以前と比較した歌舞伎町の印象（性別・年代別）

ウ きれいになったと思いますか

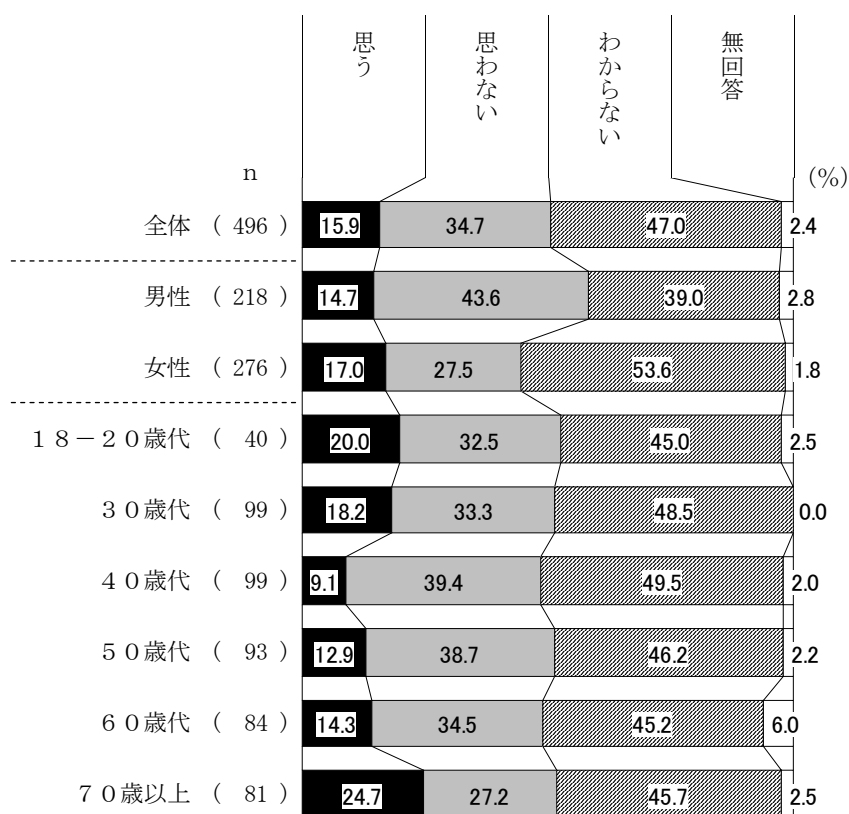


『きれいになったと思う』について、性別で見ると、「思わない」は、男性（39.9%）の方が女性（34.1%）よりも5.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「思う」は、50歳代と60歳代を除く、すべての年代で2割台半ばを超える。「思わない」は70歳以上を除く、すべての年代で3割を超え、特に若い年代では4割を超えている。（図2-31）

図2-32 以前と比較した歌舞伎町の印象（性別・年代別）

エ 文化の発信が盛んになったと思いますか

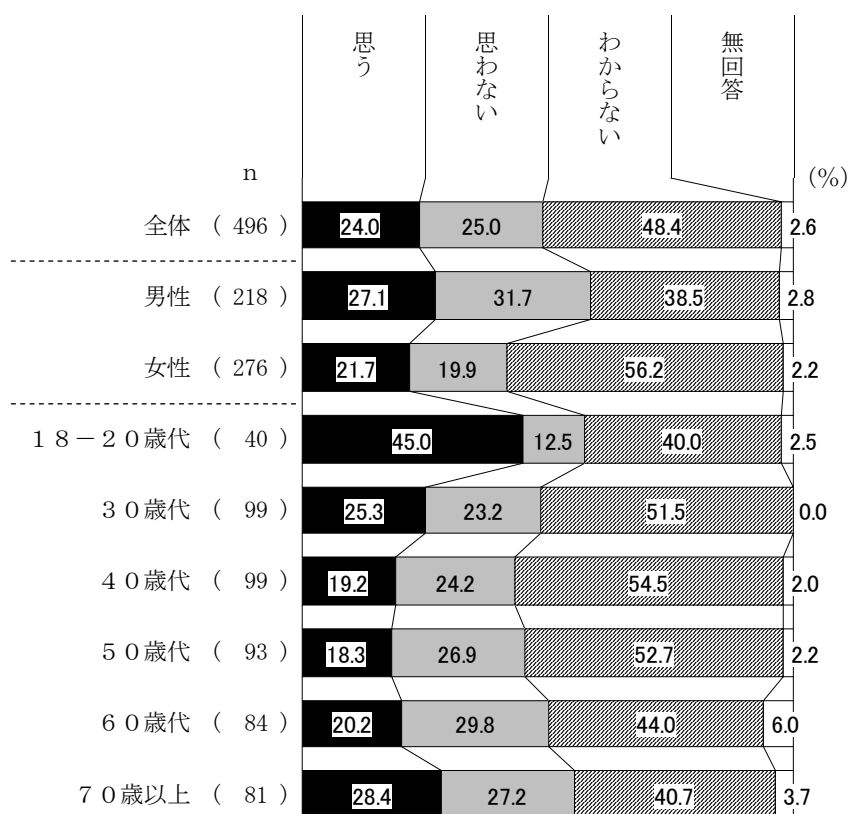


『文化の発信が盛んになったと思う』について、性別で見ると、「思わない」は、男性（43.6%）の方が女性（27.5%）よりも16.1ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「わからない」はすべての年代で4割台半ば以上である。（図2-32）

図2-33 以前と比較した歌舞伎町の印象（性別・年代別）

オ 賑わいのあるまちになったと思いますか



『賑わいのあるまちになったと思う』について、性別で見ると、「思わない」は、男性（31.7%）の方が女性（19.9%）よりも11.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「わからない」は、すべての年代で4割を超える。

(図2-33)

## ＜ “大衆文化の創造と発信のまち” となるために有効な取り組み＞

(1) 「大衆文化・娯楽のまち」に変えるために有効な取り組み

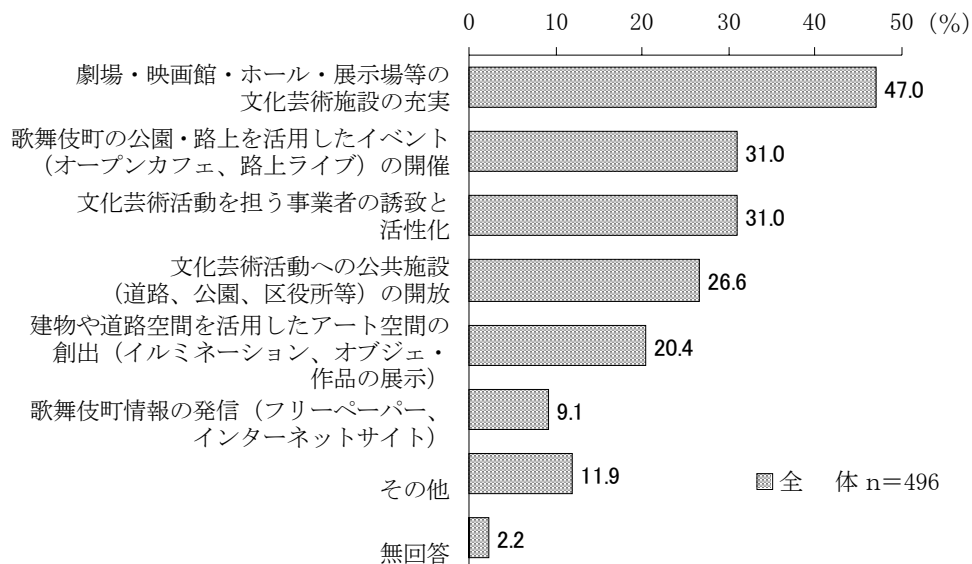
- ◎ 「劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実」「歌舞伎町の公園・路上を活用したイベント（オープンカフェ、路上ライブ）の開催」「文化芸術活動を担う事業者の誘致と活性化」が上位3項目

問8 歌舞伎町を「風俗のまち」から「大衆文化・娯楽のまち」へと変えていくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。（〇は2つまで）

(n=496)

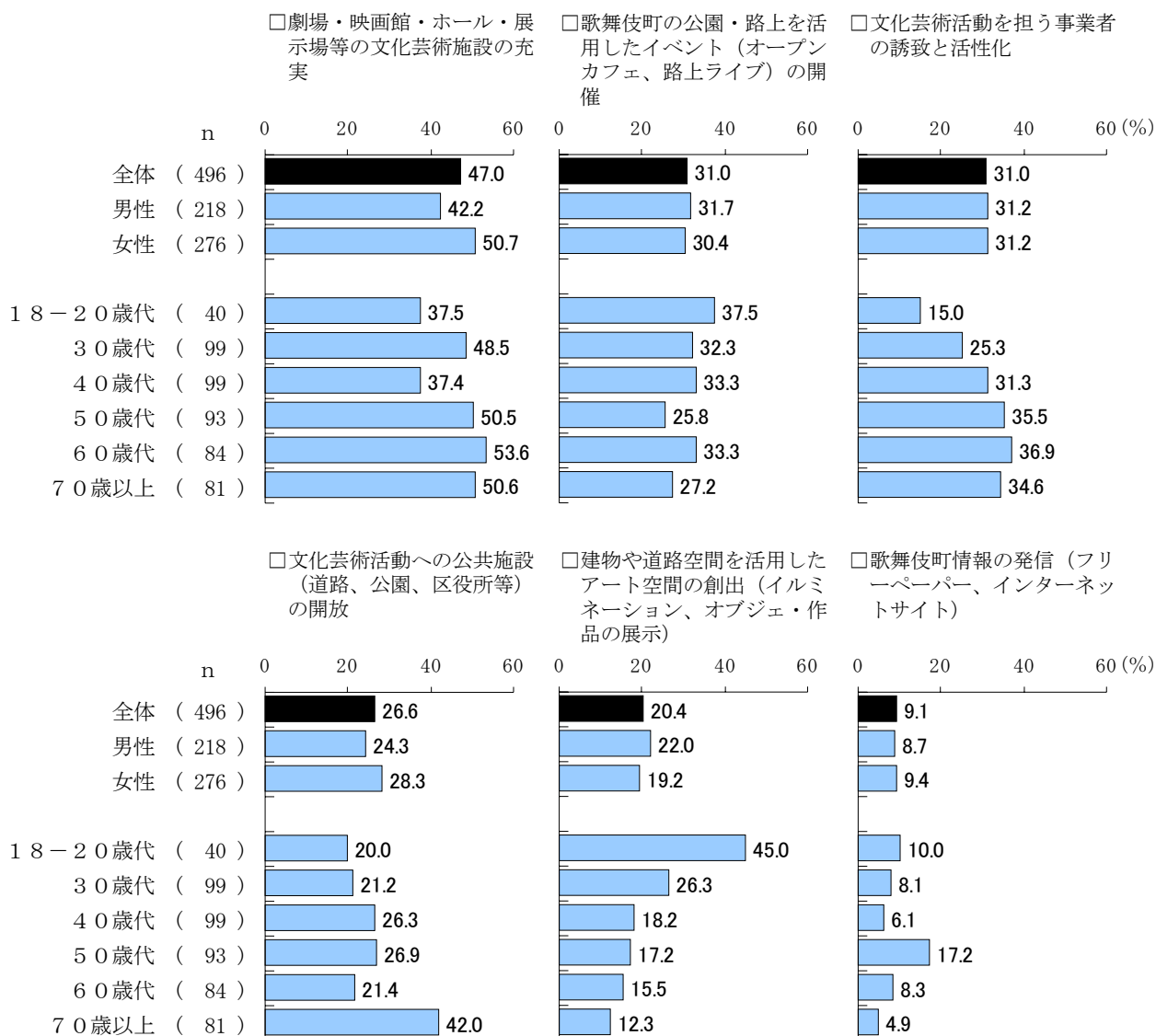
1	歌舞伎町の公園・路上を活用したイベント（オープンカフェ、路上ライブ）の開催	31.0%
2	建物や道路空間を活用したアート空間の創出（イルミネーション、オブジェ・作品の展示）	20.4
3	歌舞伎町情報の発信（フリーペーパー、インターネットサイト）	9.1
4	劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実	47.0
5	文化芸術活動への公共施設（道路、公園、区役所等）の開放	26.6
6	文化芸術活動を担う事業者の誘致と活性化	31.0
7	その他	11.9
	無回答	2.2

図2-34 「大衆文化・娯楽のまち」に変えるために有効な取り組み（複数回答）



「大衆文化・娯楽のまち」に変えるために有効な取り組みとしては、「劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実」（47.0%）が4割台半ばを超えて最も高い。「歌舞伎町の公園・路上を活用したイベント（オープンカフェ、路上ライブ）の開催」と「文化芸術活動を担う事業者の誘致と活性化」（ともに31.0%）が3割強、「文化芸術活動への公共施設（道路、公園、区役所等）の開放」（26.6%）と「建物や道路空間を活用したアート空間の創出（イルミネーション、オブジェ・作品の展示）」（20.4%）が2割台でそれに続いている。（図2-34）

図2-35 「大衆文化・娯楽のまち」に変えるために有効な取り組み（性別・年代別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実」で女性（50.7%）の方が男性（42.2%）よりも8.5ポイント高い。

年代別で見ると、「劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実」と「文化芸術活動を担う事業者の誘致と活性化」は、おおむね年代が上がるにつれて高くなっている。（図2-35）

(2) 見に行きたい・参加したい歌舞伎町でのイベント

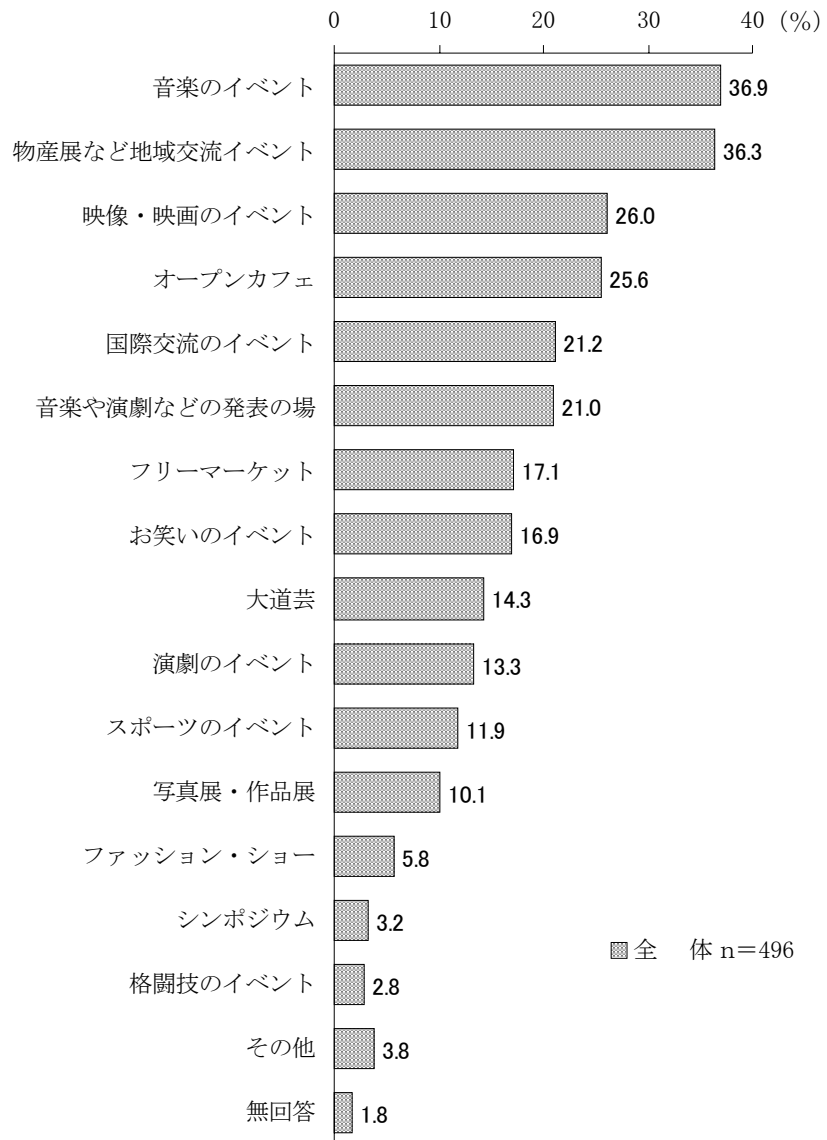
◎ 「音楽のイベント」と「物産展など地域交流イベント」が3割台半ばで突出し、「映像・映画のイベント」と「オープンカフェ」が2割台半ばでそれに続く

問9 歌舞伎町を交流とにぎわいのあるまちにするため、様々なイベントを開催していきたいと考えています。あなたが見に行きたい・参加したいと思う歌舞伎町でのイベントはどのようなものですか。(〇は3つまで)

(n=496)

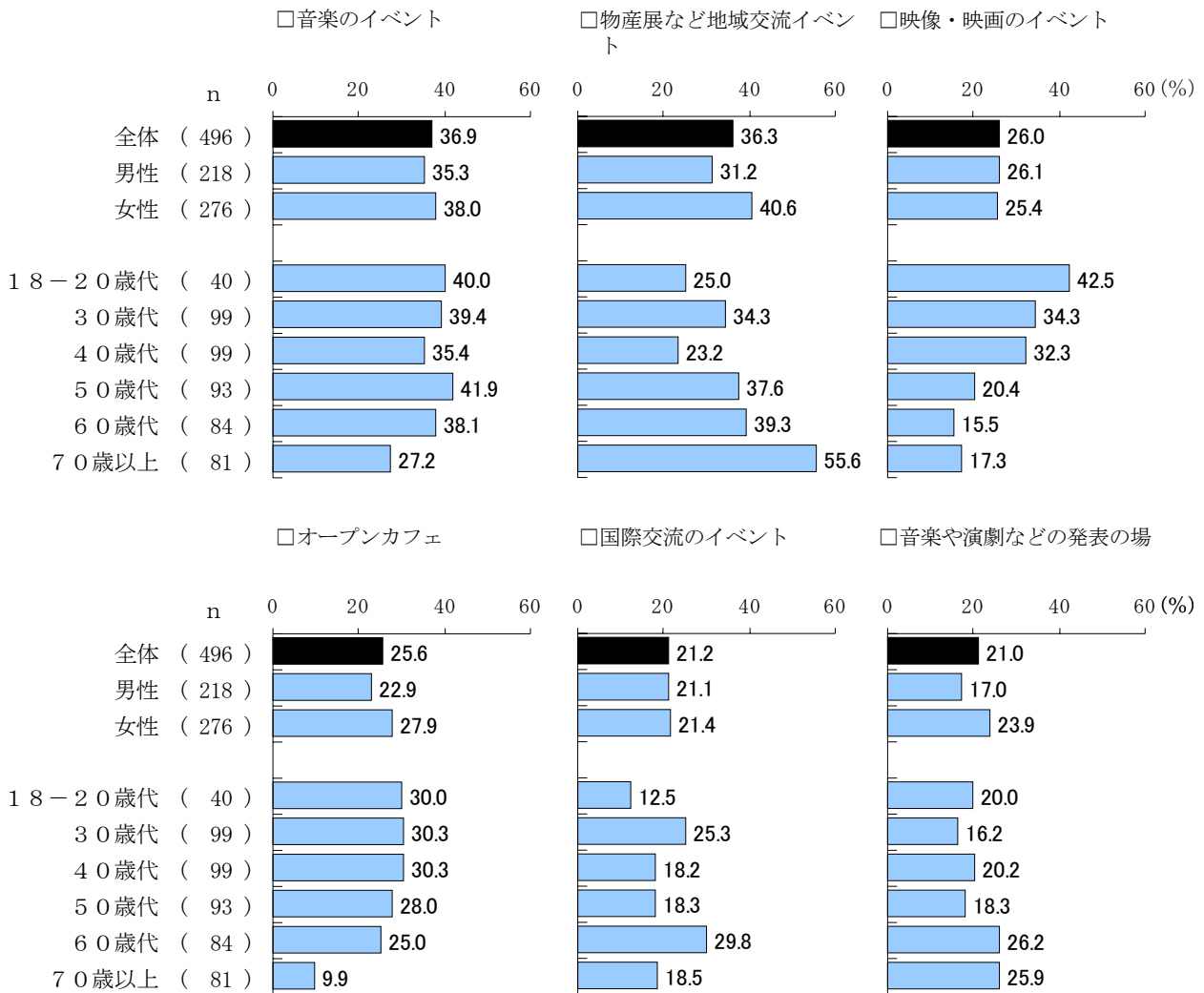
1	ファッション・ショー	5.8%
2	オープンカフェ	25.6
3	お笑いのイベント	16.9
4	フリーマーケット	17.1
5	映像・映画のイベント	26.0
6	演劇のイベント	13.3
7	音楽のイベント	36.9
8	スポーツのイベント	11.9
9	格闘技のイベント	2.8
10	国際交流のイベント	21.2
11	物産展など地域交流イベント	36.3
12	写真展・作品展	10.1
13	大道芸	14.3
14	音楽や演劇などの発表の場	21.0
15	シンポジウム	3.2
16	その他	3.8
	無回答	1.8

図 2-36 見に行きたい・参加したい歌舞伎町でのイベント（複数回答）



見に行きたい・参加したい歌舞伎町でのイベントとしては、「音楽のイベント」（36.9%）と「物産展など地域交流イベント」（36.3%）が上位2項目である。次いで、「映像・映画のイベント」（26.0%）が2割台半ばを超え、「オープンカフェ」（25.6%）が2割台半ばである。（図2-36）

図2-37 見に行きたい・参加したい歌舞伎町でのイベント（性別・年代別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「映像・映画のイベント」を除き、女性の方が男性よりも高くなっている。違いが大きいものを列挙すると、「物産展など地域交流イベント」で9.4ポイント差、「音楽や演劇などの発表の場」で6.9ポイント差などとなっている。

年代別で見ると、「音楽のイベント」は、70歳以上を除くすべての年代で4割近く、また「オープンカフェ」も70歳以上を除き3割前後である。「映像・映画のイベント」は、18-20歳代(42.5%)と30歳代(34.3%)と40歳代(32.3%)で3割以上である。「物産展など地域交流イベント」は、18-20歳代と40歳代を除くすべての年代で3割を超え、70歳以上(55.6%)では5割台半ばとなっている。(図2-37)

### (3) 歌舞伎町ルネッサンスについての意見・要望

問10 歌舞伎町ルネッサンスについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

(主な意見の抜粋)

- 歌舞伎町ルネッサンス活動自体知らなかった。このようなイメージ向上の活動をしているのなら積極的にアピールした方が良いと思う。
- 昔のイメージが払拭されない。もっと情報の発信が必要ではないか。
- 歌舞伎町と聞いただけで悪いイメージがわく。ぜひイメージアップのまちづくりをしてほしい。
- 歌舞伎町イコール飲み屋街、治安、外国人の不法滞在などネガティブなイメージがありすぎて、現状から変えることが不可能な印象がある。
- イメージを一新し、安全で清潔なまちに変貌できるように、まったく新しい視点からのまちづくりを考えてほしい。
- 子どものころから歌舞伎町は怖い所というイメージがあった。今でも行ってみたいまちではない。
- 子連れで気軽に立ち寄れるキャラクターショップや、楽しいアトラクションのあるイベント館などを誘致すれば、毎週でも遊びに行くと思う。
- 高齢者や若者、子どもも楽しめて役に立つイベントを期待している。
- 歌舞伎町のわかりやすい案内図があると良い。また、アミューズメント施設を掲載した地図を配布すれば来街者に親切だ。
- 道路や建物等の美化運動を徹底し、芝居のまちにふさわしいイベントを展開していく。
- クリーン作戦プロジェクトを強化してほしい。
- にぎわいのあるまちにするため、特徴やカラーをもたせるといい。
- 外国人が多いので、国際交流のための催事等の開催も必要。

## 4 区民に望まれる図書館

### <区立図書館の利用>

(1) 区立図書館の定期利用状況

- ◎ <<利用する>>が5割台半ば近く
- ◎ 利用頻度は「年に数回」が6割近く

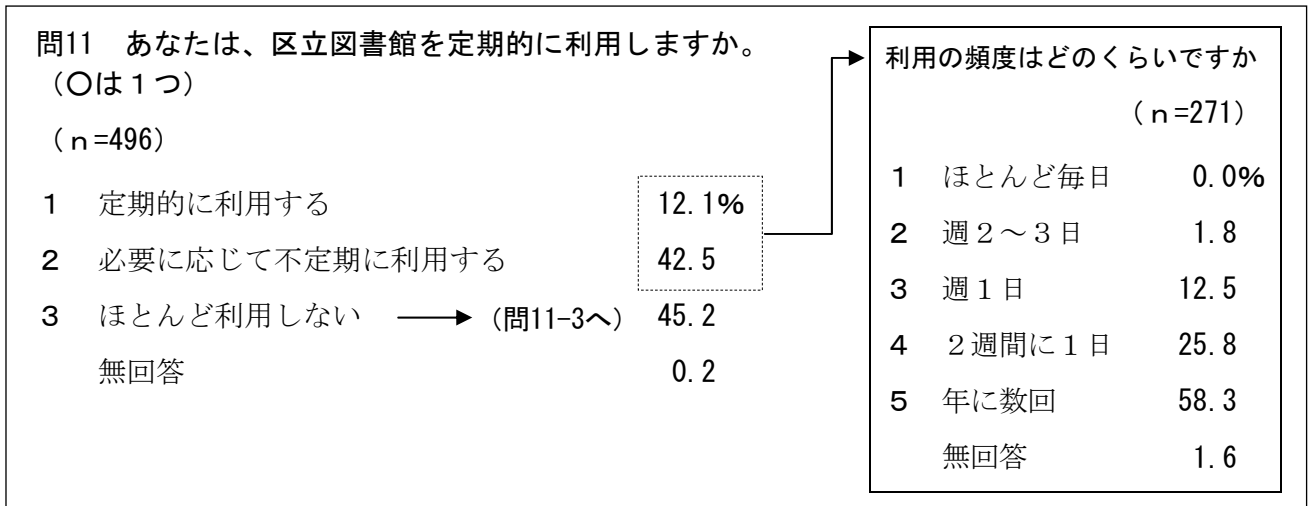
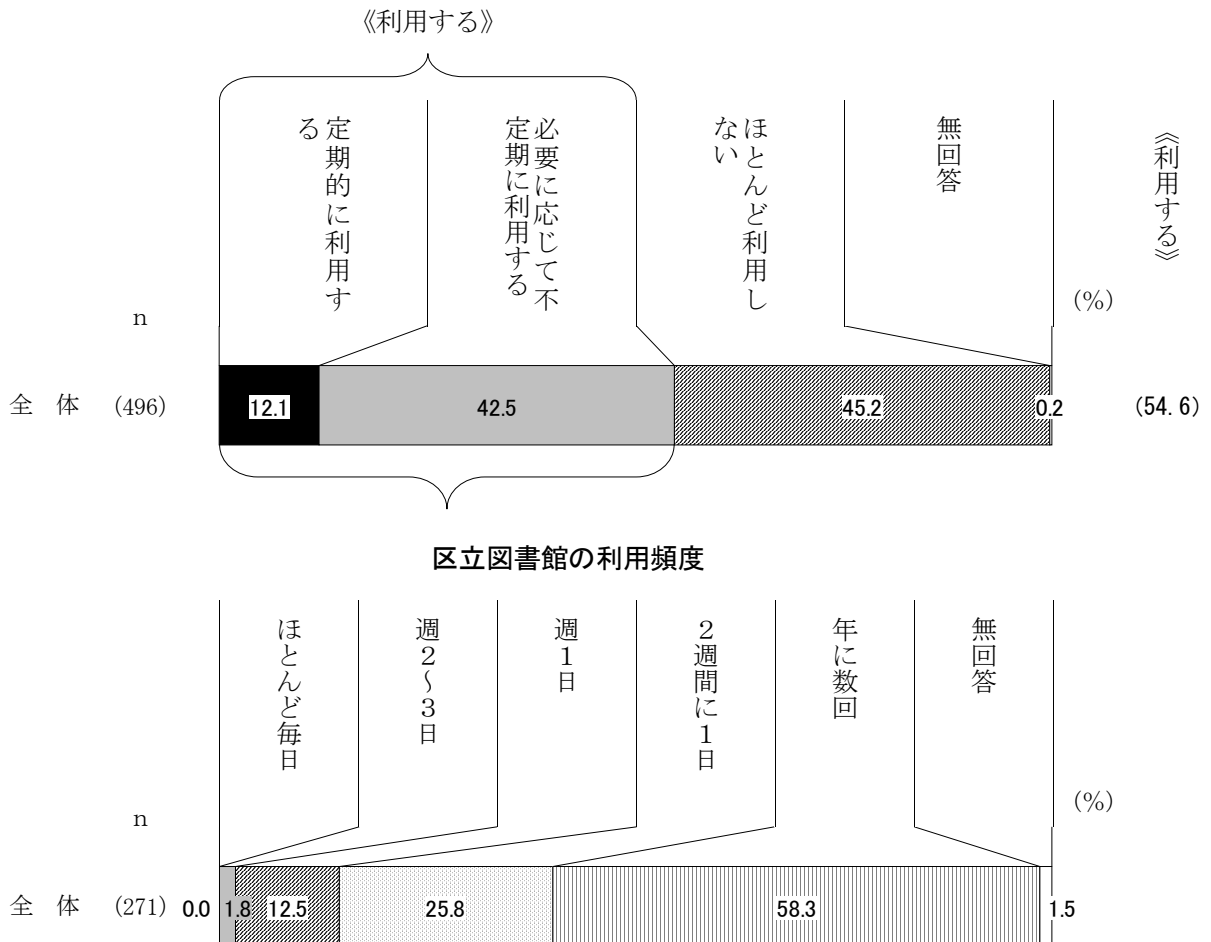


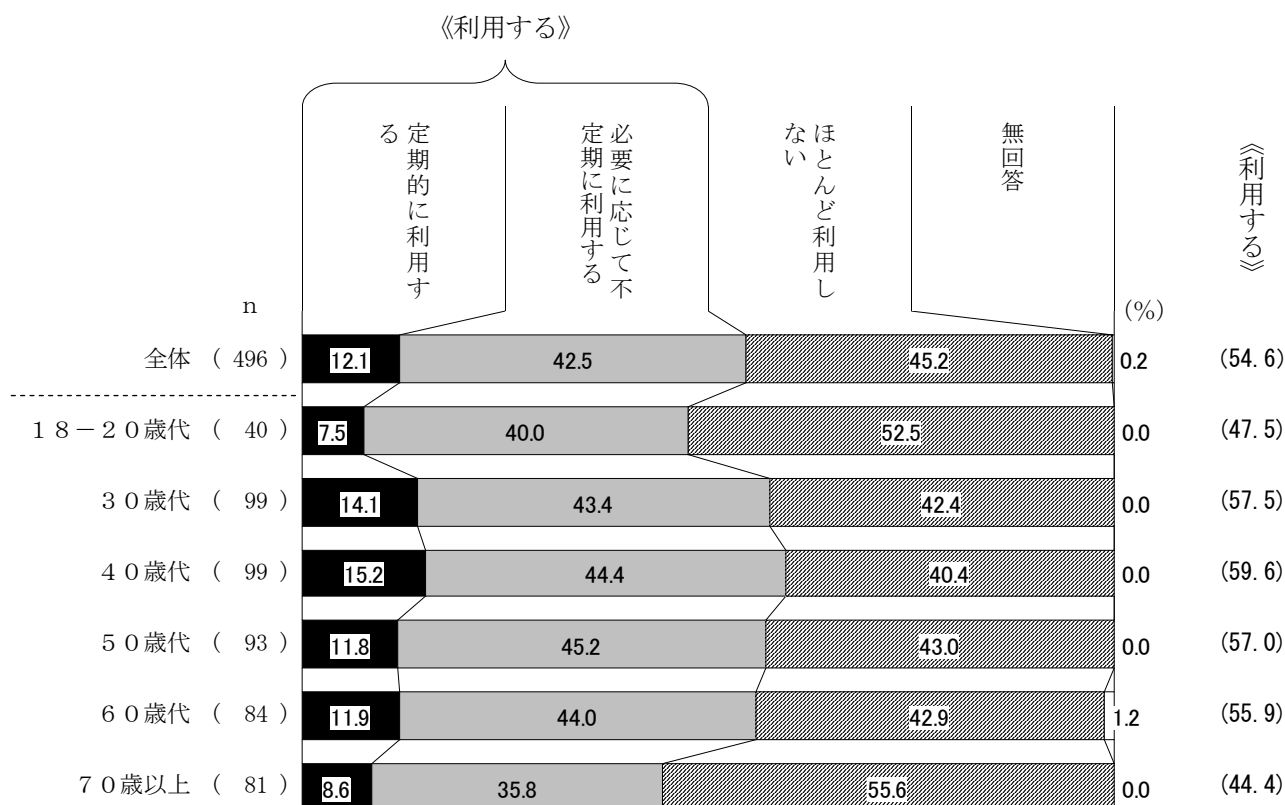
図2-38 区立図書館の定期利用状況



区立図書館の定期利用状況としては、「定期的に利用する」(12.1%)が1割強で、「必要に応じて不定期に利用する」(42.5%)を合わせた《利用する》が5割台半ば近い。一方、「ほとんど利用しない」(45.2%)が4割台半ばである。

区立図書館の利用頻度としては、「年に数回」(58.3%)が6割近く、「2週間に1日」(25.8%)、「週1日」(12.5%)が続く。(図2-38)

図2-39 区立図書館の定期利用状況(年代別)



年代別でみると、《利用する》は、18-20歳代と70歳以上を除く、すべての年代で5割台半ばを超える。(図2-39)

(2) 主に利用する区立図書館

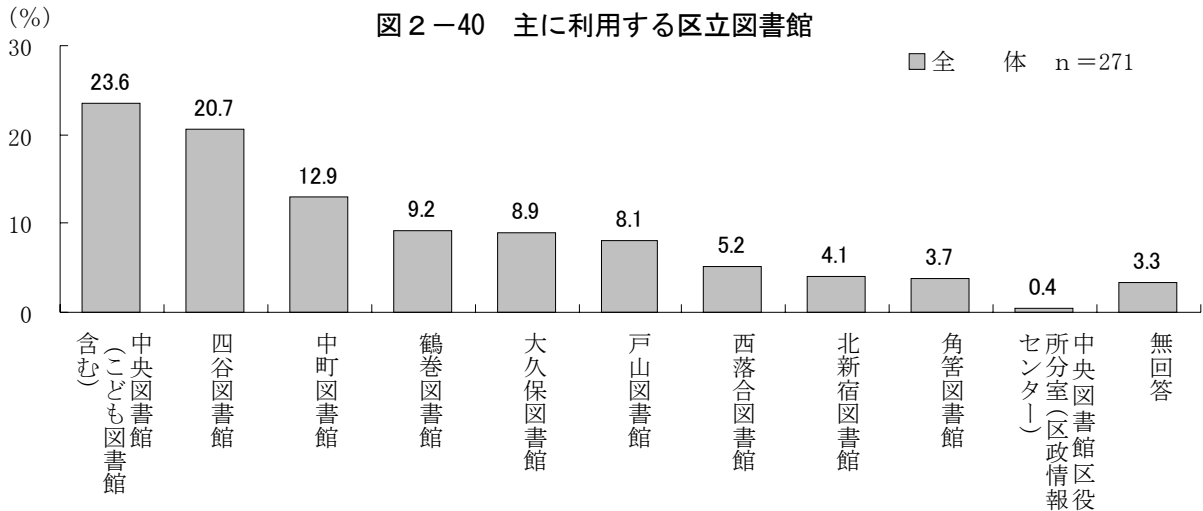
◎ 「中央図書館」が2割台半ば近く、「四谷図書館」が約2割

(問11で「1 定期的にご利用する」「2 必要に応じて不定期にご利用する」に○をされた方におたずねします)

問11-1 主に利用する区立図書館はどこですか。(○は1つ)

(n=271)

1	中央図書館 (こども図書館含む)	23.6%	7	中町図書館	12.9%
2	四谷図書館	20.7	8	角筈図書館	3.7
3	鶴巻図書館	9.2	9	大久保図書館	8.9
4	西落合図書館	5.2	10	中央図書館区役所分室 (区政情報センター)	0.4
5	戸山図書館	8.1			
6	北新宿図書館	4.1		無回答	3.3



主に利用する区立図書館としては、「中央図書館」(23.6%)が2割台半ば近く、「四谷図書館」(20.7%)が約2割である。次いで、「中町図書館」(12.9%)が1割強となっている。(図2-40)

図2-41 主に利用する区立図書館 (年代別) (%)

年代別	n	中央図書館 (こども図書館含む)	四谷図書館	鶴巻図書館	西落合図書館	戸山図書館	北新宿図書館	中町図書館	角筈図書館	大久保図書館	中央図書館区役所分室 (区政情報センター)	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	(271)	23.6	20.7	9.2	5.2	8.1	4.1	12.9	3.7	8.9	0.4	3.3
18-20歳代	(19)	31.6	10.5	0.0	0.0	15.8	0.0	10.5	10.5	15.8	0.0	5.3
30歳代	(57)	19.3	19.3	15.8	3.5	12.3	1.8	10.5	5.3	10.5	0.0	1.8
40歳代	(59)	22.0	23.7	8.5	10.2	5.1	5.1	13.6	1.7	6.8	0.0	3.4
50歳代	(53)	32.1	22.6	9.4	0.0	3.8	1.9	15.1	3.8	7.5	0.0	3.8
60歳代	(47)	19.1	25.5	6.4	4.3	8.5	6.4	14.9	4.3	6.4	2.1	2.1
70歳以上	(36)	22.2	13.9	8.3	11.1	8.3	8.3	11.1	0.0	11.1	0.0	5.6

(注) 図2-41は参考として表記することとした。(基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い)

(3) 区立図書館の利用目的

◎ 「図書を借りるため」が7割台半ばで最も高い

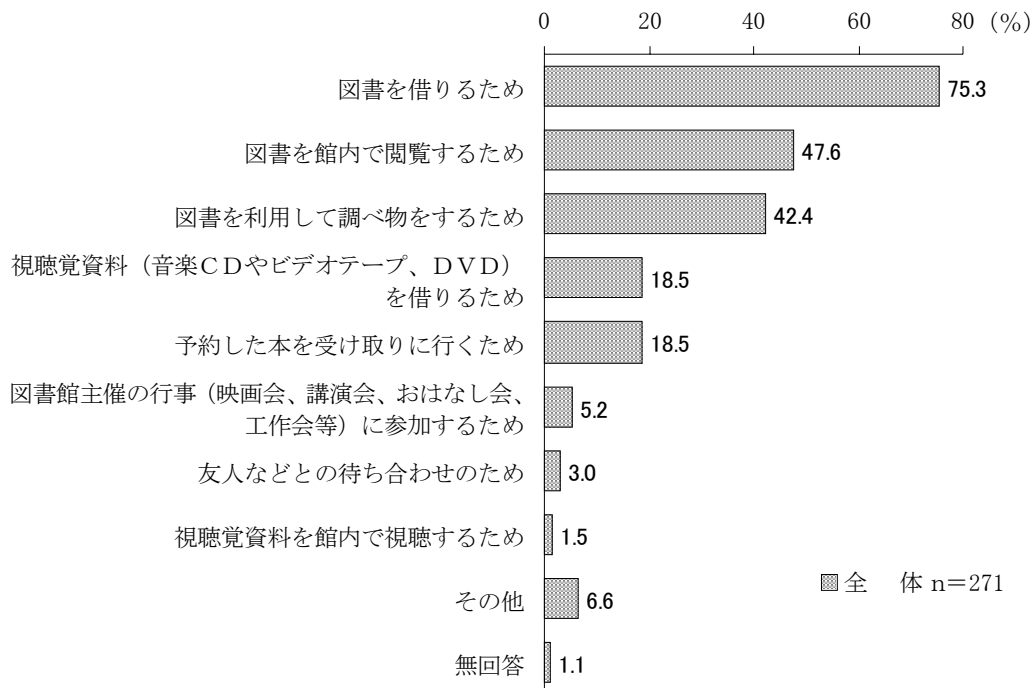
(問11で「1 定期的に利用する」「2 必要に応じて不定期に利用する」に○をされた方におたずねします)

問11-2 どのような目的で区立図書館を利用しますか。(○はいくつでも)

(n=271)

1 図書を借りるため	75.3%
2 図書を館内で閲覧するため	47.6
3 図書を利用して調べ物をするため	42.4
4 図書館主催の行事(映画会、講演会、おはなし会、工作会等)に参加するため	5.2
5 視聴覚資料(音楽CDやビデオテープ、DVD)を借りるため	18.5
6 視聴覚資料を館内で視聴するため	1.5
7 予約した本を受け取りに行くため	18.5
8 友人などとの待ち合わせのため	3.0
9 その他	6.6
無回答	1.1

図2-42 区立図書館の利用目的(複数回答)



区立図書館の利用目的としては、「図書を借りるため」(75.3%)が7割台半ばで最も高い。「図書を館内で閲覧するため」(47.6%)が4割台半ばを超え、「図書を利用して調べ物をするため」(42.4%)が4割強でそれに続いている。(図2-42)

(4) 区立図書館を利用しない理由

◎ 「本や雑誌は買うか、人から借りて読むから」が4割台半ばを超えて最も高い

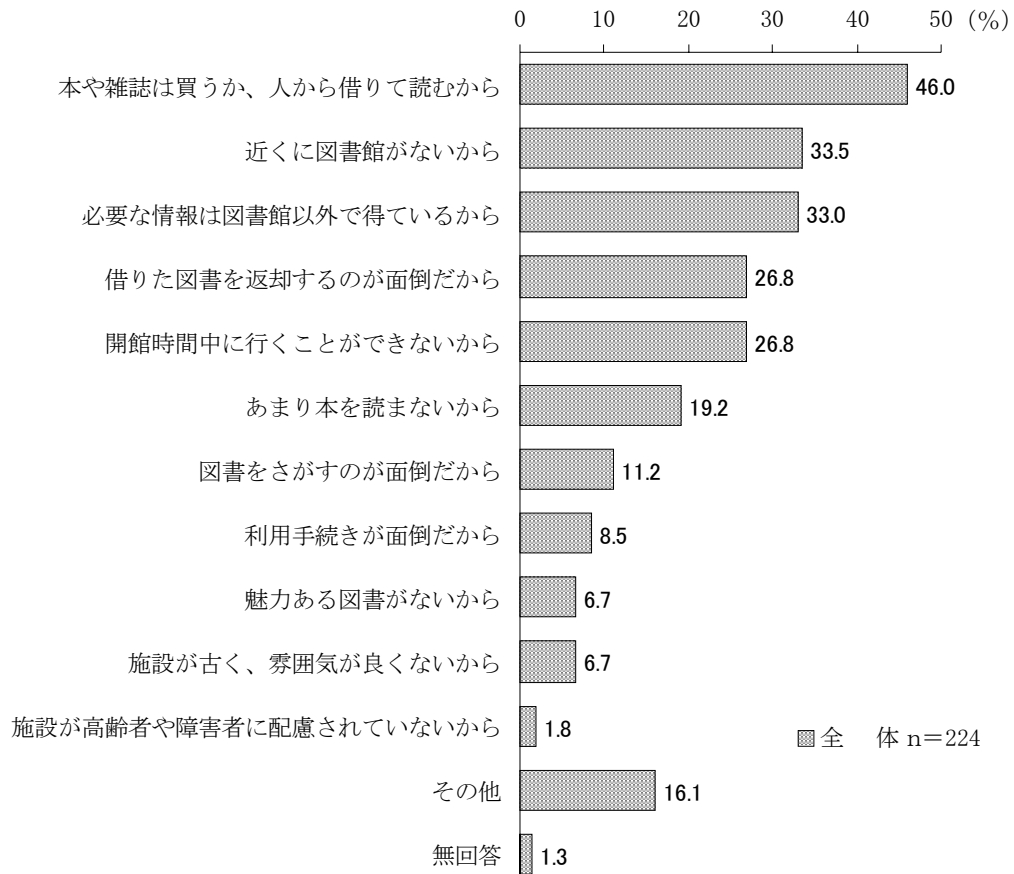
(問11で「3 ほとんど利用しない」に○をされた方におたずねします)

問11-3 区立図書館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=224)

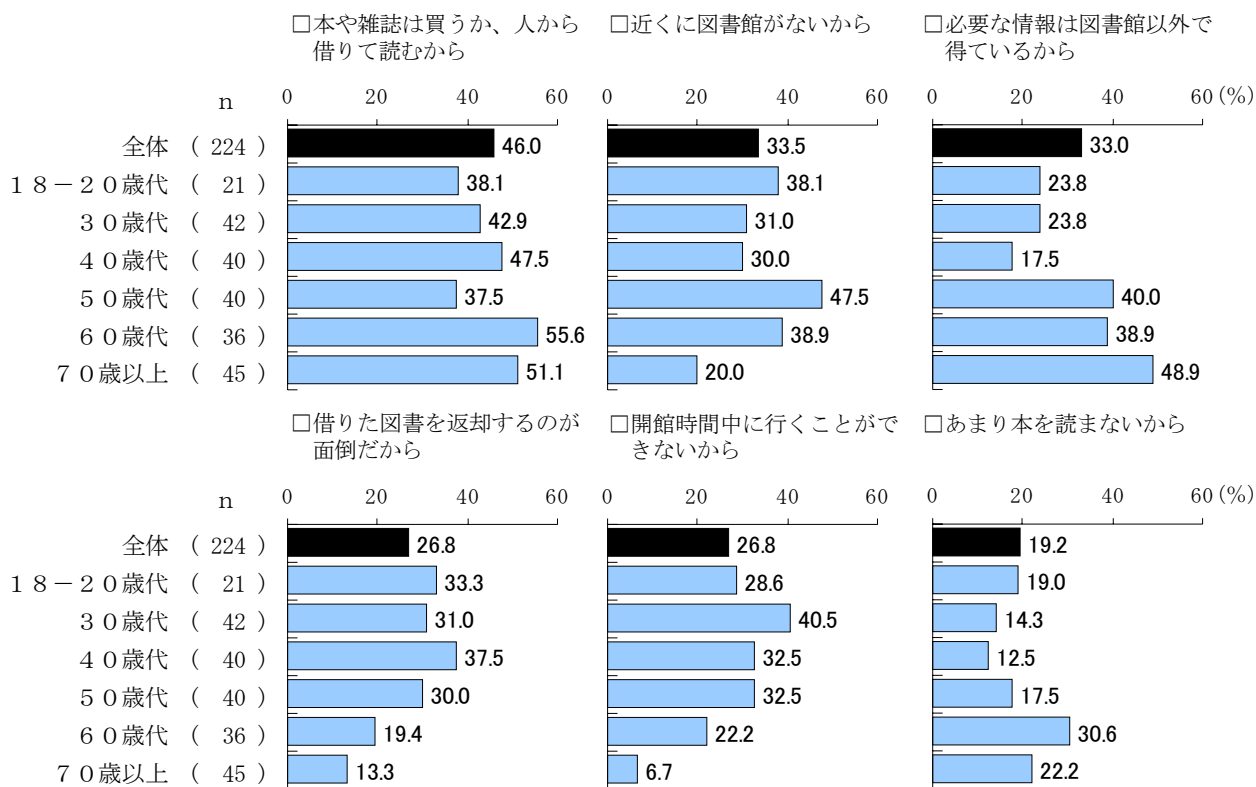
1	本や雑誌は買うか、人から借りて読むから	46.0%
2	魅力ある図書がないから	6.7
3	図書をさがすのが面倒だから	11.2
4	利用手続きが面倒だから	8.5
5	借りた図書を返却するのが面倒だから	26.8
6	開館時間中に行くことができないから	26.8
7	近くに図書館がないから	33.5
8	施設が古く、雰囲気が良くないから	6.7
9	施設が高齢者や障害者に配慮されていないから	1.8
10	あまり本を読まないから	19.2
11	必要な情報は図書館以外で得ているから	33.0
12	その他	16.1
	無回答	1.3

図2-43 区立図書館を利用しない理由(複数回答)



区立図書館を利用しない理由としては、「本や雑誌は買うか、人から借りて読むから」（46.0%）が4割台半ばを超えて最も高い。「近くに図書館がないから」（33.5%）と「必要な情報は図書館以外で得ているから」（33.0%）が3割台半ば近くでそれに続いている。（図2-43）

図2-44 区立図書館を利用しない理由（年代別）上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「本や雑誌は買うか、人から借りて読むから」は、すべての年代で3割を超え、特に60歳代（55.6%）と70歳以上（51.1%）は5割を超える。「必要な情報は図書館以外で得ているから」は、50歳代以上で4割前後であり、特に70歳以上（48.9%）は5割近くとなっている。（図2-44）

## <図書館の将来像>

(1) 区立図書館が特に力を入れるべきこと

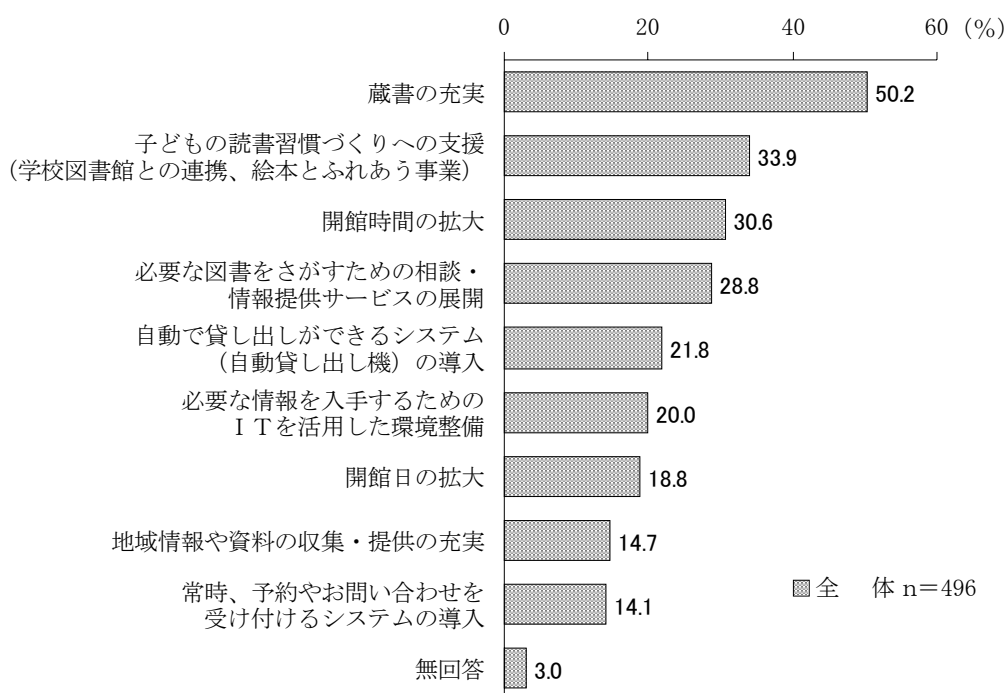
- ◎ 「蔵書の充実」が約5割で最も高く、「子どもの読書習慣づくりへの支援」「開館時間の拡大」が3割台で続く

問12 あなたは、今後、区立図書館が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。  
(○は3つまで)

(n=496)

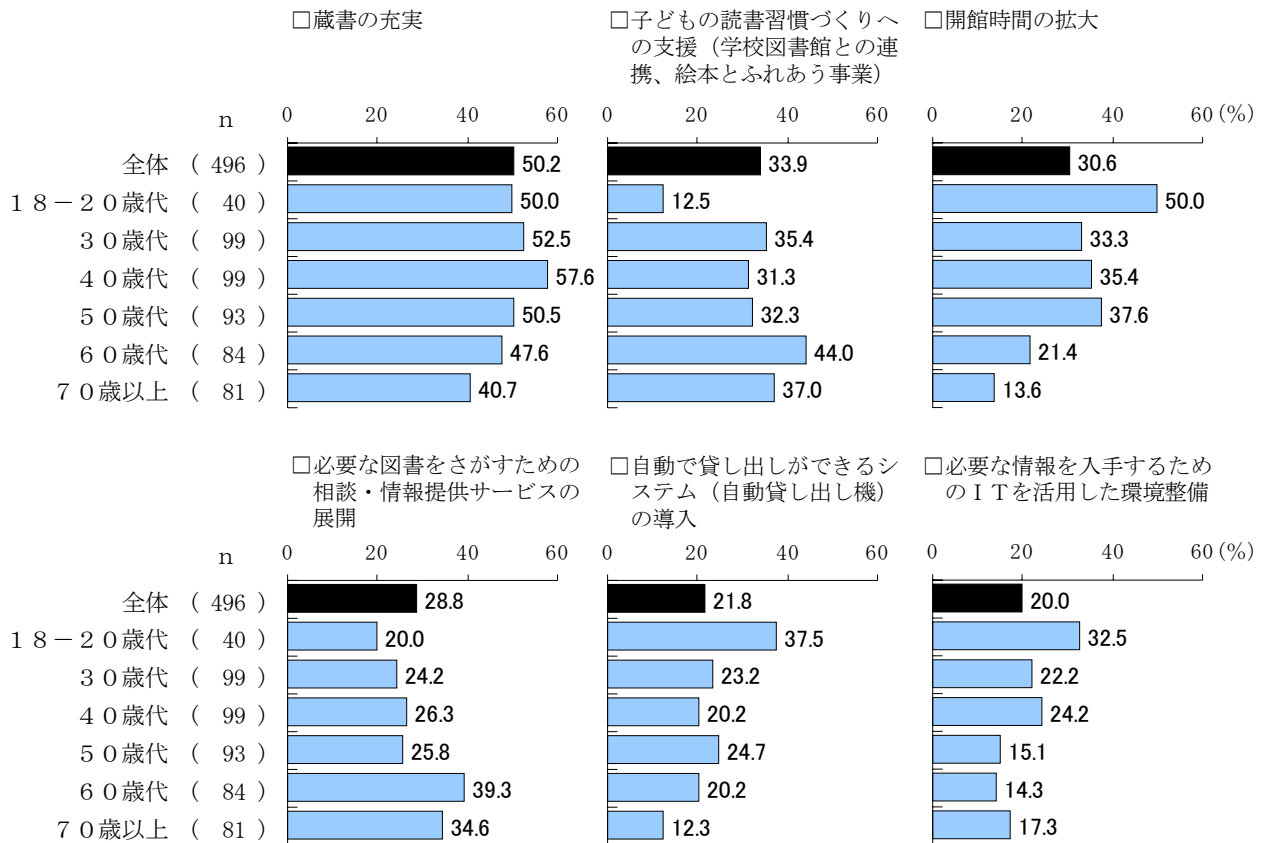
1	蔵書の充実	50.2%
2	子どもの読書習慣づくりへの支援（学校図書館との連携、絵本とふれあう事業）	33.9
3	地域情報や資料の収集・提供の充実	14.7
4	必要な図書をさがすための相談・情報提供サービスの展開	28.8
5	常時、予約やお問い合わせを受け付けるシステムの導入	14.1
6	必要な情報を入手するためのITを活用した環境整備	20.0
7	開館日の拡大	18.8
8	開館時間の拡大	30.6
9	自動で貸し出しができるシステム（自動貸し出し機）の導入	21.8
	無回答	3.0

図2-45 区立図書館が特に力を入れるべきこと（複数回答）



区立図書館が特に力を入れるべきこととしては、「蔵書の充実」(50.2%)が約5割で最も高く、「子どもの読書習慣づくりへの支援」(33.9%)と「開館時間の拡大」(30.6%)が3割台でそれに続いている。(図2-45)

図2-46 区立図書館が特に力を入れるべきこと(年代別)上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「蔵書の充実」は、いずれの年代でも高い。「子どもの読書習慣づくりへの支援」は、18-20歳代を除く、すべての年代で3割を超える。「開館時間の拡大」は、60歳代と70歳以上を除くすべての年代で3割を超え、特に18-20歳代(50.0%)は5割を占める。(図2-46)

## <地域の図書館の運営>

### (1) 望ましい図書館の運営主体

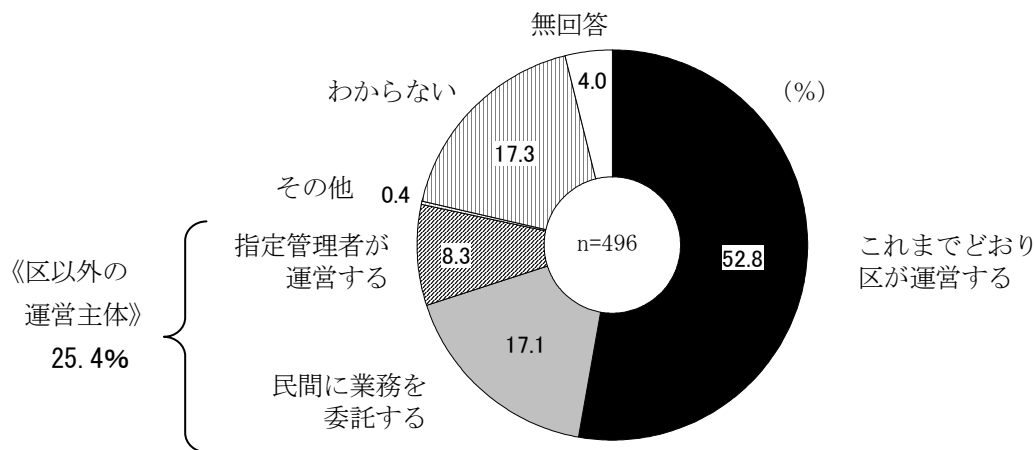
◎ 「これまでどおり区が運営する」が5割強

問13 社会の変化に対応しながら図書館サービスをより向上していくためには、開館時間や人員配置などの運営の見直しが必要です。あなたは各地域の図書館をどのような主体が運営するのが良いと思いますか。(〇は1つ)

(n=496)

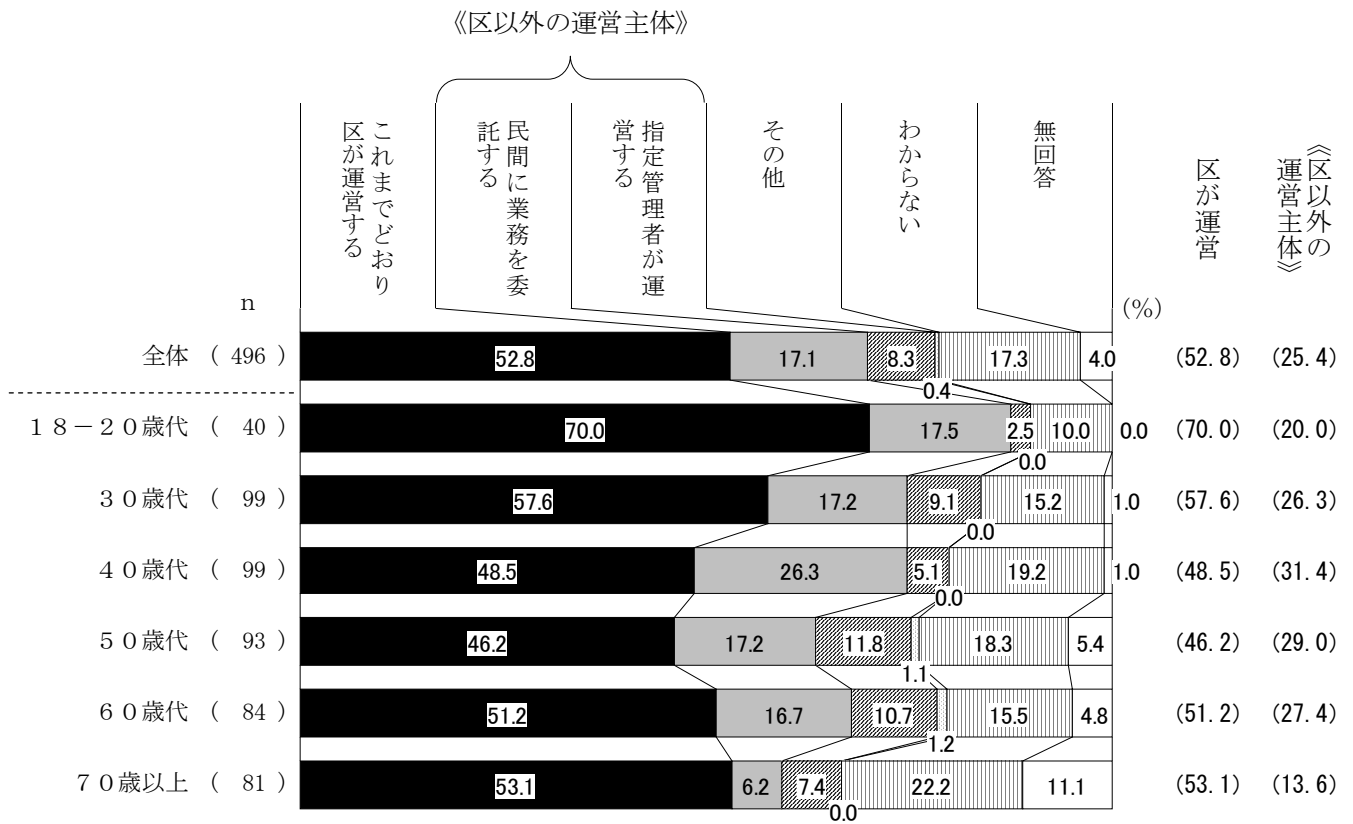
1	これまでどおり区が運営する	52.8%
2	民間に業務を委託する	17.1
3	指定管理者が運営する	8.3
4	その他	0.4
5	わからない	17.3
	無回答	4.0

図2-47 望ましい図書館の運営主体



望ましい図書館の運営主体としては、「これまでどおり区が運営する」(52.8%)が5割強である。一方、「民間に業務を委託する」(17.1%)と「指定管理者が運営する」(8.3%)を合わせた《区以外の運営主体》(25.4%)が2割台半ばである。(図2-47)

図2-48 望ましい図書館の運営主体（年代別）



年代別で見ると、「これまでどおり区が運営する」は、18-20歳代（70.0%）で7割と最も高い。《区以外の運営主体》では、30歳代から60歳代で2割台半ばを超える。（図2-48）

(問13で「2 民間に業務を委託する」「3 指定管理者が運営する」に○をされた方におたずねします)

そう思う理由は何ですか。

<「民間に業務を委託する」と回答した方の理由>

- 運営力は民間のほうが優れていると思う。ただし、管理方法は区が考える必要がある。
- 開館時間を延ばしてほしいのですが、予算にも限りがあるので民間の創意工夫を活用した方がよい。
- 費用対効果の効率を良くするためには、現状より民間委託のほうがよい。ただし、委託運営状況の評価は別途必要である。
- 特に問題はないと思う。
- 区の職員は、民間で図書館運営をプロとする人たちに発想の点でかなわないのは当たり前ではないか。
- サービスなど今までにないものが期待できる。
- 公務という枠にとらわれないで運営できたほうが便利になる。
- サービスがきめ細かくなるように思う。
- 新しい情報をいち早くいれて、さらに機能性を高めたものになると思う。
- サービス向上に必要ななら取り入れるべき。
- より効率的な運営ができそう。

<「指定管理者が運営する」と回答した方の理由>

- 地域密着した柔軟な対応とサービス向上が見込める。
- 採算に見合わない部分の問題として、完全に民間になるとどこまで公共性が保たれるかわからないが、指定管理者ならその点を何とかしつつ民間的なサービスを提供してくれると思う。
- 外部を利用することにより活性化するのではないか。多面的な創意工夫が期待される。
- より柔軟な運用とサービスが期待できる。
- 専門家に託すほうが効率が良く、ニーズに適切に対応できると思う。ただ、あくまで区の施設なのでどこでも大丈夫というわけにはいかないと思う。
- 人件費の削減のためにも外注できるものは極力そうすべき。図書館サービスは外注に適していると思われる。

## (2) 区立図書館についての意見・要望

問14 区立図書館についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

(主な意見の抜粋)

- 中央図書館でも必ずしも蔵書内容が十分でないので、現在多数ある図書館を整理統合し数は少なくても蔵書内容やサービスを充実させてほしい。また、子ども図書館は機能を残してほしい。
- インターネットで検索や予約ができるのは大変助かっている。ただ、返却に行くのに近くの地域館は開館時間が19時までで短くて不便である。
- 体制は思ったより充実していると思う。区立図書館は今ぐらい素朴でよい。運営に人件費など今以上にお金をかける必要はないと思う。もっと利用する人を増やせるよう宣伝をしっかりとしようがよい。
- 民間に業務を委託するのは良いことだと思う。
- 受け渡し時間と場所の拡充してほしい。
- 図書館の職員の対応はきちんとしており満足している。この職員の質が落ちないようにしてほしい。
- 本を貸し出すだけでなく、コミュニティに向けて何らかの発信をしてほしい。魅力ある図書館になってほしい。新刊提供だけでは意味がない。
- ホームレスがいて利用しにくい。
- インターネットからの予約システムをよく利用するが、配本が迅速でとても良い。他区の人にも宣伝しているくらいよく機能している。
- 館員が非常に親切である。インターネット予約も非常に便利。図書の購入費が少ないのか蔵書は貧弱。各方面の基本図書をもっと充実させて欲しい。ベストセラーを何十冊も買うのはむだである。図書館に必要なのは図書である。
- 閉まる時間が早いので、自宅の近くの図書館は利用できない。
- インターネットで予約や延長の手続き等ができるようになり大変便利でありがたく思っている。
- 平日週1日でもよいので、夜9時頃まで開館してほしい。
- 中央図書館が駅から遠くて行きにくい。
- 地域文化をリードする気概をもってほしい。
- 蔵書の電子化によるITを利用した貸出を行ってほしい。
- 指定管理者制度は図書館だけでなく、もう決まっているものも含めて反対だ。区の施設は区がしっかり守り、区民のためになるようにしてほしい。
- 区立図書館は図書館であって区立無料貸本屋ではない。図書館に来て調べものをしたり本を閲覧する人を優先すべきである。図書館に行ったら、蔵書としては存在しても館外に貸し出されて見られないという事態を極力避けるべきである。そのための貸出制度をもっと考えるべきである。

## 5 新宿区職員の人材育成（求められる職員像）について

### <区の窓口の利用について>

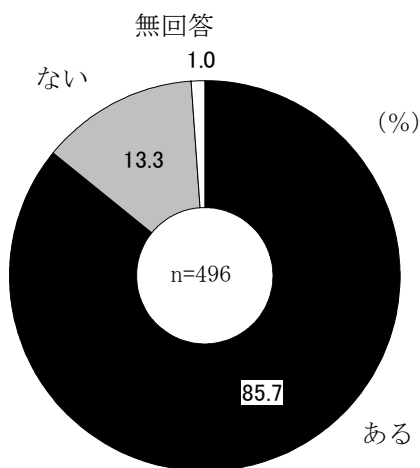
#### (1) 区の窓口の利用の有無

◎ 窓口に出かけたことが「ある」が8割台半ば

問15 過去1年以内に、区役所や区の施設等の窓口に出かけたことがありましたか。(〇は1つ)  
(n=496)

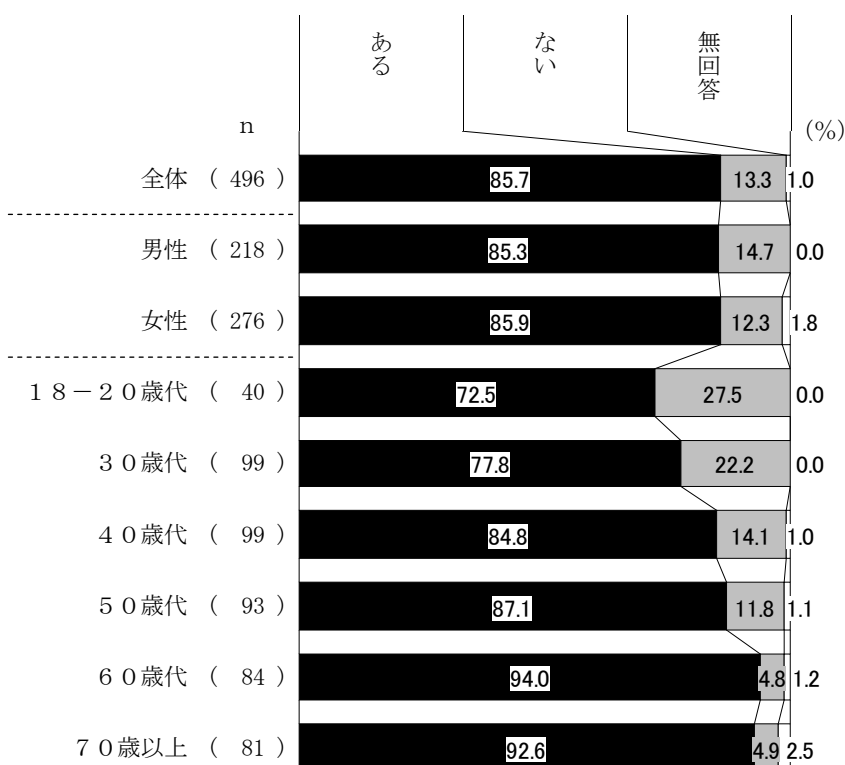
1	ある	→ (問15-1へ)	85.7%
2	ない	→ (問16へ)	13.3
	無回答		1.0

図2-49 区の窓口の利用の有無



区の窓口の利用の有無としては、窓口に出かけたことが「ある」(85.7%)が8割台半ばである。(図2-49)

図2-50 区の窓口の利用の有無(性別・年代別)



性別では、特に大きな差はみられない。

年代別でみると、「ある」は18-20歳代(72.5%)で最も低く、年代が上がるにつれて高くなっている。(図2-50)

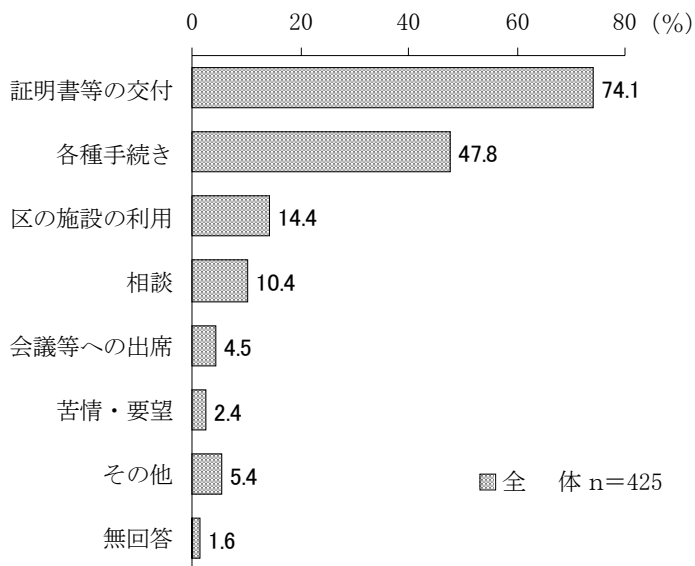
(2) 区の窓口を利用した用件

◎ 「証明書等の交付」が7割台半ば近くで最も高く、「各種手続き」が4割台半ばを超え続く

(問15で「1 ある」に○をされた方におたずねします)  
問15-1 どのような用件で出かけましたか。(○はいくつでも)  
(n=425)

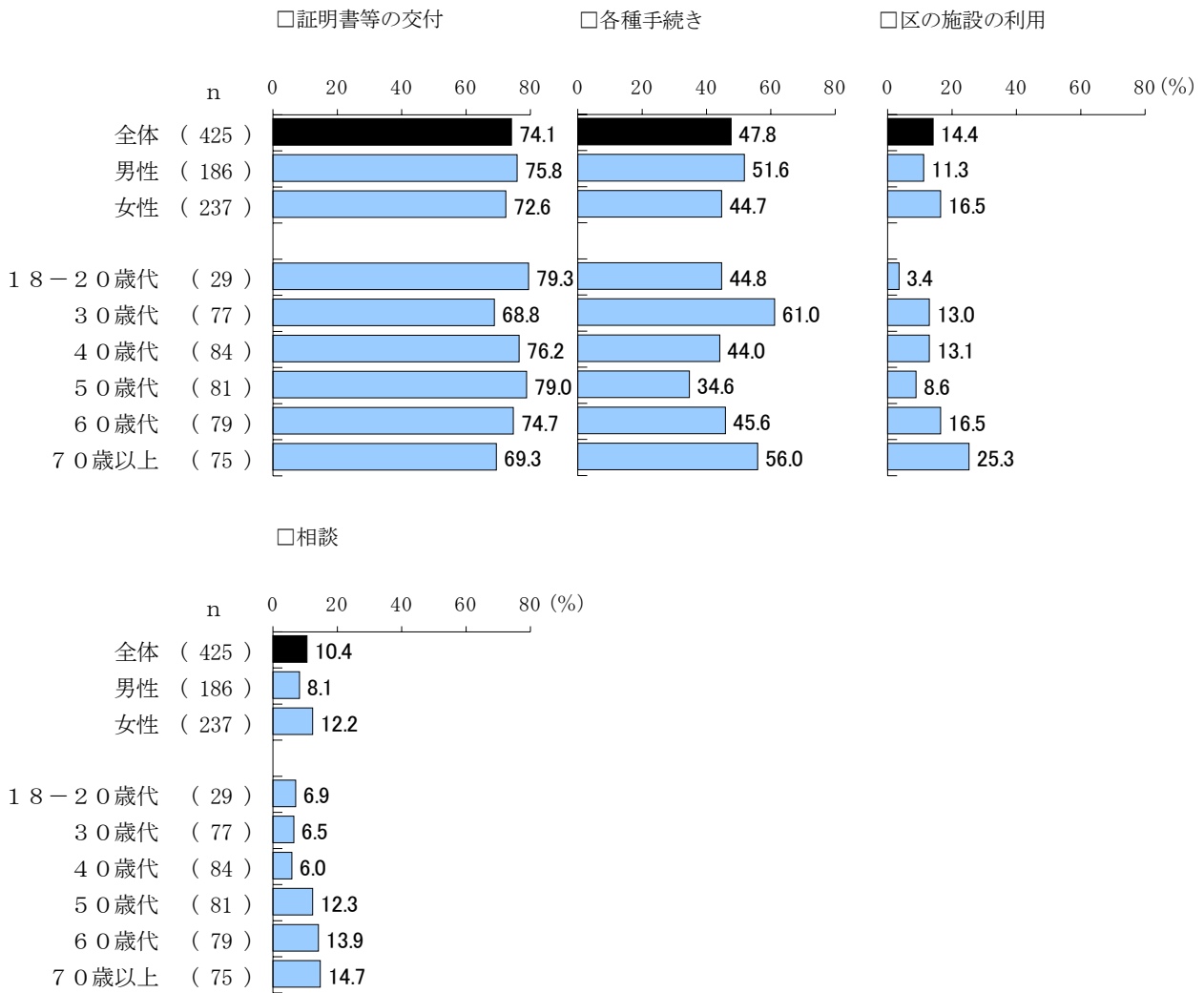
1	証明書等の交付	74.1%
2	各種手続き	47.8
3	相談	10.4
4	区の施設の利用	14.4
5	会議等への出席	4.5
6	苦情・要望	2.4
7	その他	5.4
	無回答	1.6

図2-51 区の窓口を利用した用件（複数回答）



区の窓口を利用した用件としては、「証明書等の交付」(74.1%)が7割台半ば近くで最も高く、「各種手続き」(47.8%)が4割台半ばを超え続いている。(図2-51)

図2-52 区の窓口を利用した用件（性別・年代別）上位4項目



上位4項目について、性別で見ると、上位2項目は男性の方が女性よりも高くなっている。逆に、「区の施設の利用」と「相談」では、女性の方が男性よりも高い。

年代別で見ると、「証明書等の交付」は、すべての年代で高くなっている。「各種手続き」は、30歳代(61.0%)で6割強、70歳以上(56.0%)で5割台半ばを超えている。(図2-52)

(3) 新宿区職員の対応の印象

- ◎ 『挨拶や声かけ』『言葉づかい』では「良い」が高く、『説明のわかりやすさ』『職場全体の印象』では「悪い」が1割台半ばを超える

(問15で「1 ある」に○をされた方におたずねします)

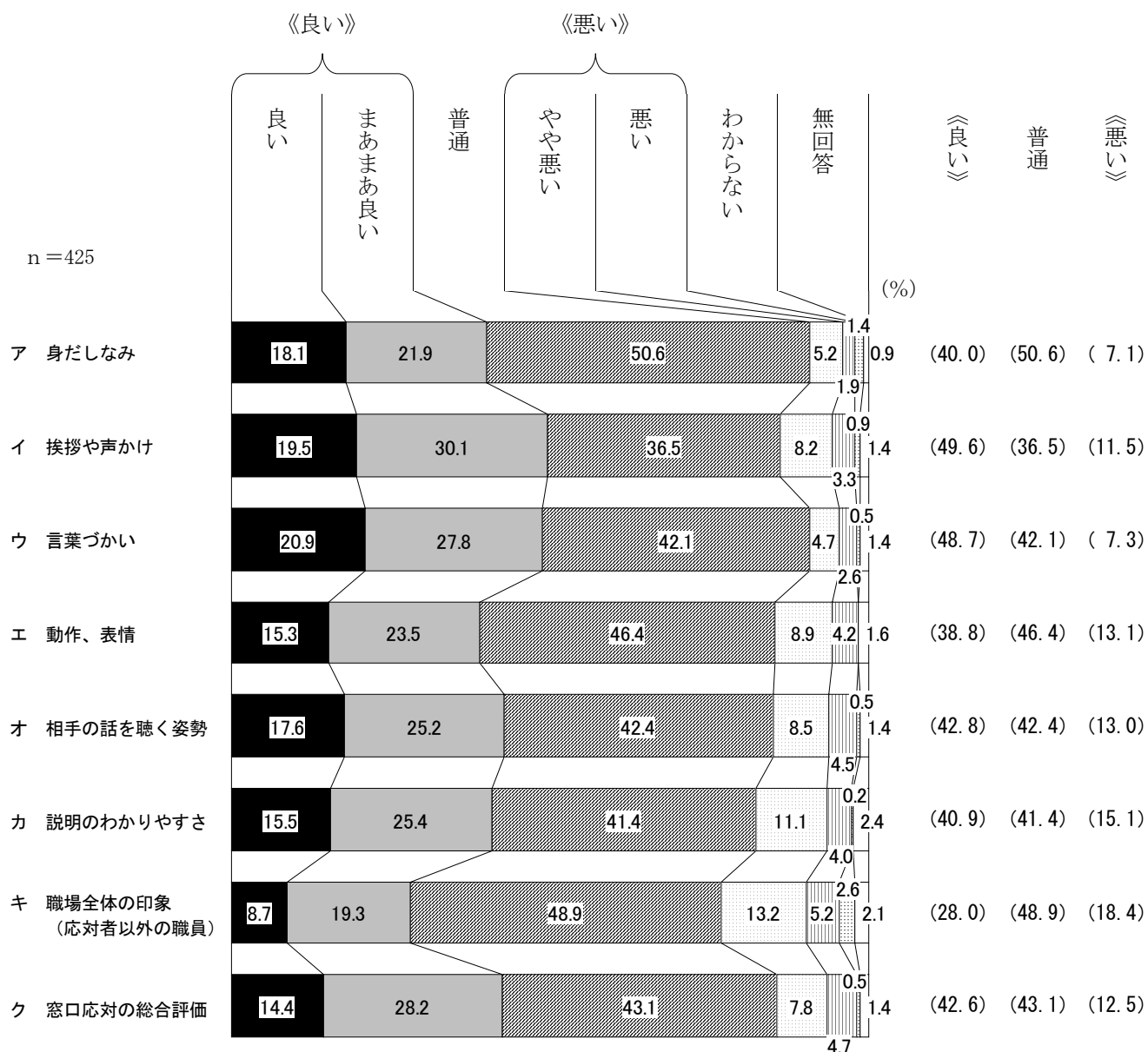
問15-2 新宿区職員の対応の印象をおうかがいします。

ア～クそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

(n=425)

	良い	まあまあ 良い	普通	やや 悪い	悪い	わから ない	無回答
ア 身だしなみ	18.1%	21.9	50.6	5.2	1.9	1.4	0.9
イ 挨拶や声かけ	19.5	30.1	36.5	8.2	3.3	0.9	1.4
ウ 言葉づかい	20.9	27.8	42.1	4.7	2.6	0.5	1.4
エ 動作、表情	15.3	23.5	46.4	8.9	4.2	-	1.6
オ 相手の話を聴く姿勢	17.6	25.2	42.4	8.5	4.5	0.5	1.4
カ 説明のわかりやすさ	15.5	25.4	41.4	11.1	4.0	0.2	2.4
キ 職場全体の印象 (対応者以外の職員)	8.7	19.3	48.9	13.2	5.2	2.6	2.1
ク 窓口対応の総合評価	14.4	28.2	43.1	7.8	4.7	0.5	1.4

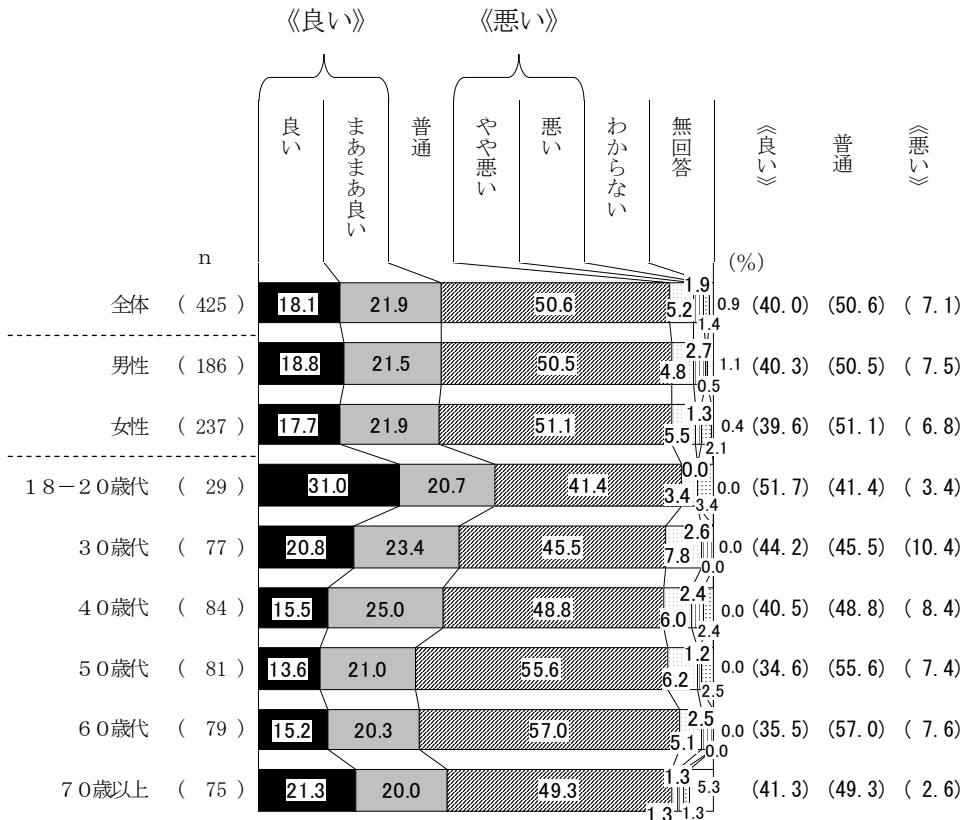
図2-53 新宿区職員の対応の印象



新宿区職員の対応の印象としては、「良い」と「まあまあ良い」を合わせた《良い》は、『動作、表情』と『職場全体の印象』を除く、すべての項目で4割を超え、特に『挨拶や声かけ』(49.6%)と『言葉づかい』(48.7%)では5割近い。一方、「悪い」と「やや悪い」を合わせた《悪い》は、『説明のわかりやすさ』(15.1%)、『職場全体の印象』(18.4%)で1割台半ばを超える。(図2-53)

図2-54 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

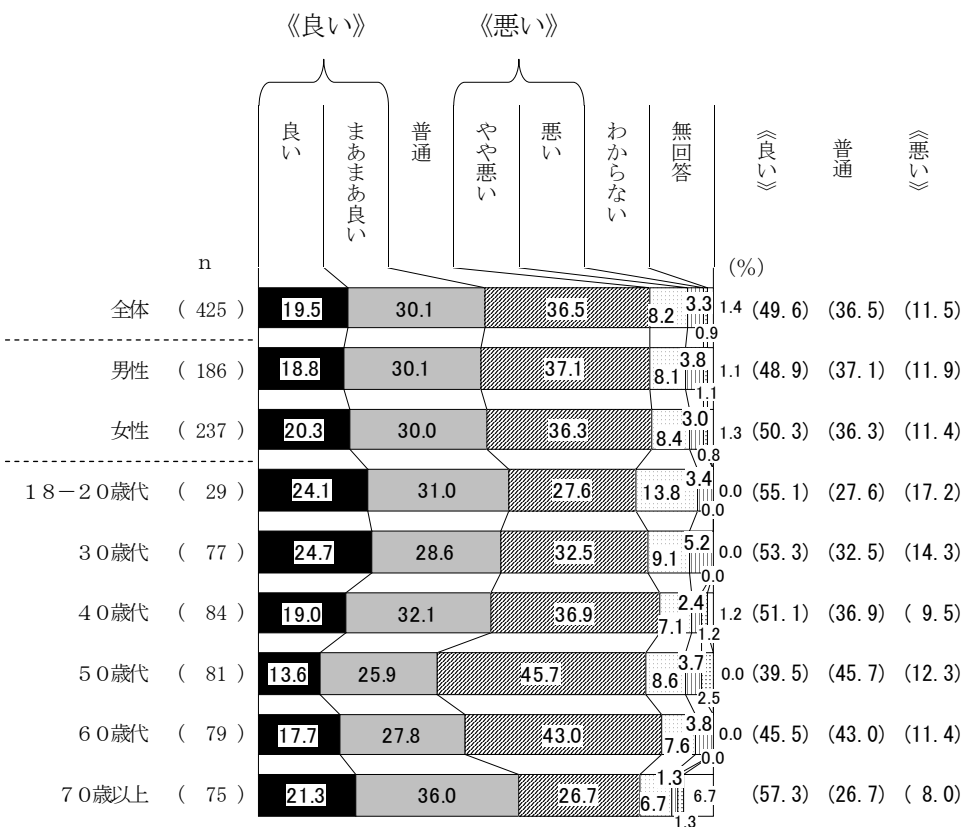
ア 身だしなみ



『身だしなみ』について、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別でみると、《良い》はおおむね年代が上がるにつれて割合が低くなっていく。(図2-54)

図2-55 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

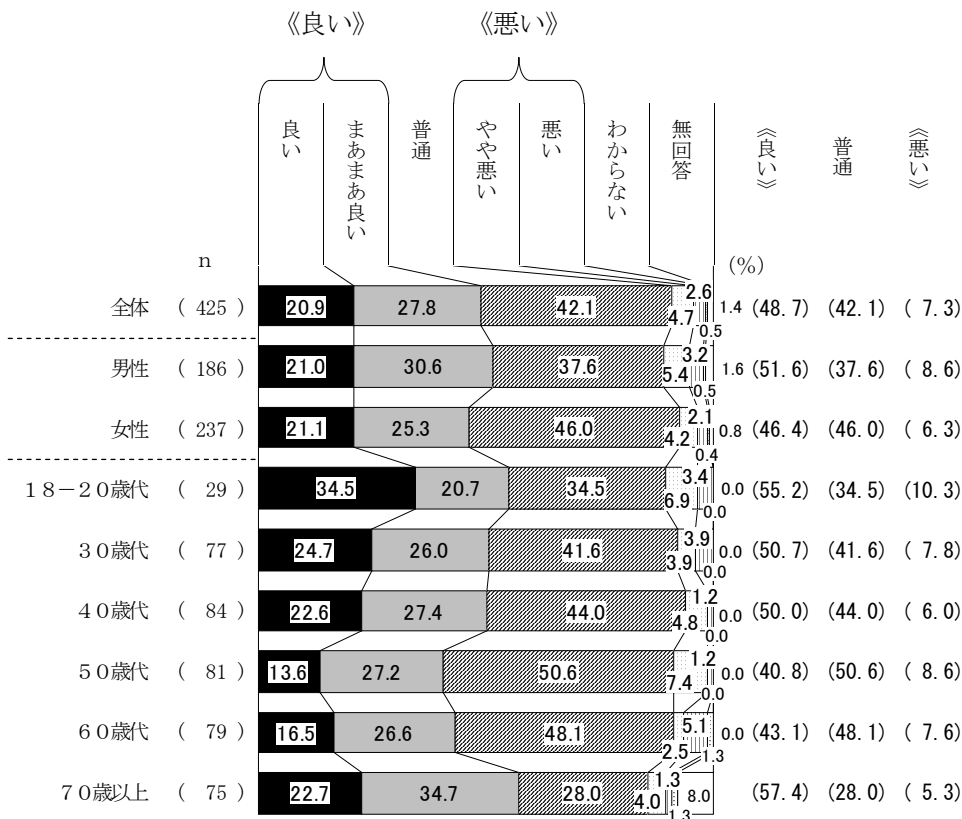
イ 挨拶や声かけ



『挨拶や声かけ』について、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別でみると、《良い》は50歳代と60歳代を除くすべての年代で5割を超える。(図2-55)

図2-56 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

ウ 言葉づかい

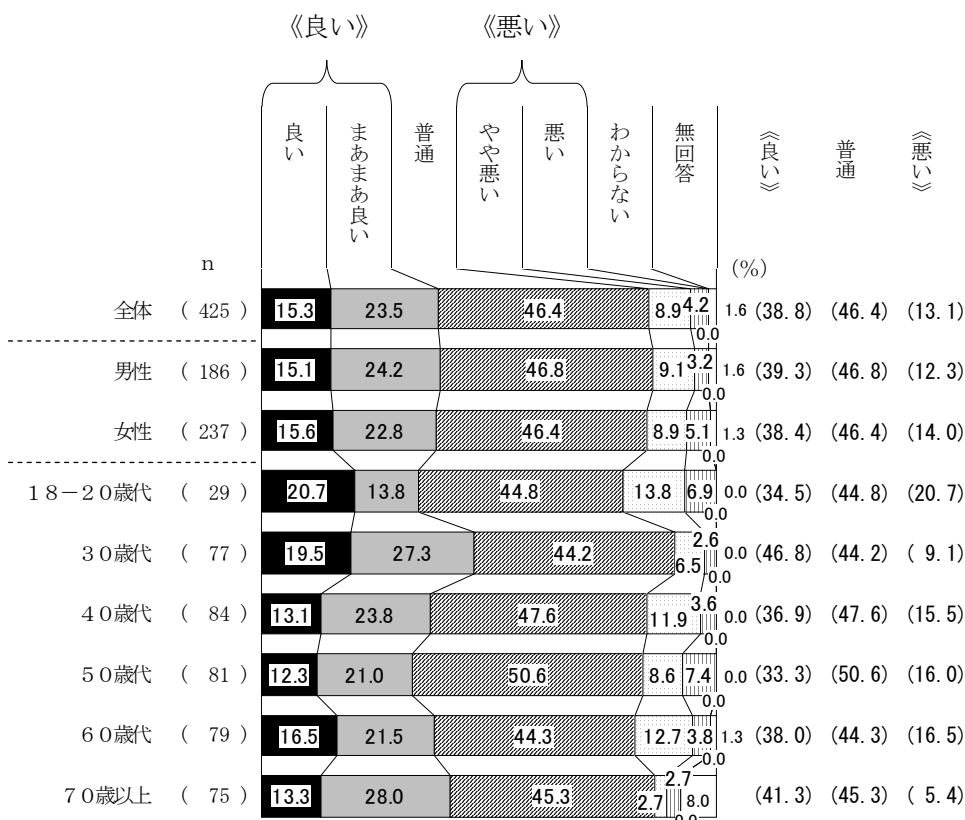


『言葉づかい』について、性別で見ると、《良い》は男性（51.6%）で5割強となっており、女性（46.4%）を5.2ポイント上回っている。「普通」は女性（46.0%）の方が男性（37.6%）を上回っている。

年代別で見ると、《良い》は50歳代と60歳代を除くすべての年代で5割を超える。（図2-56）

図2-57 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

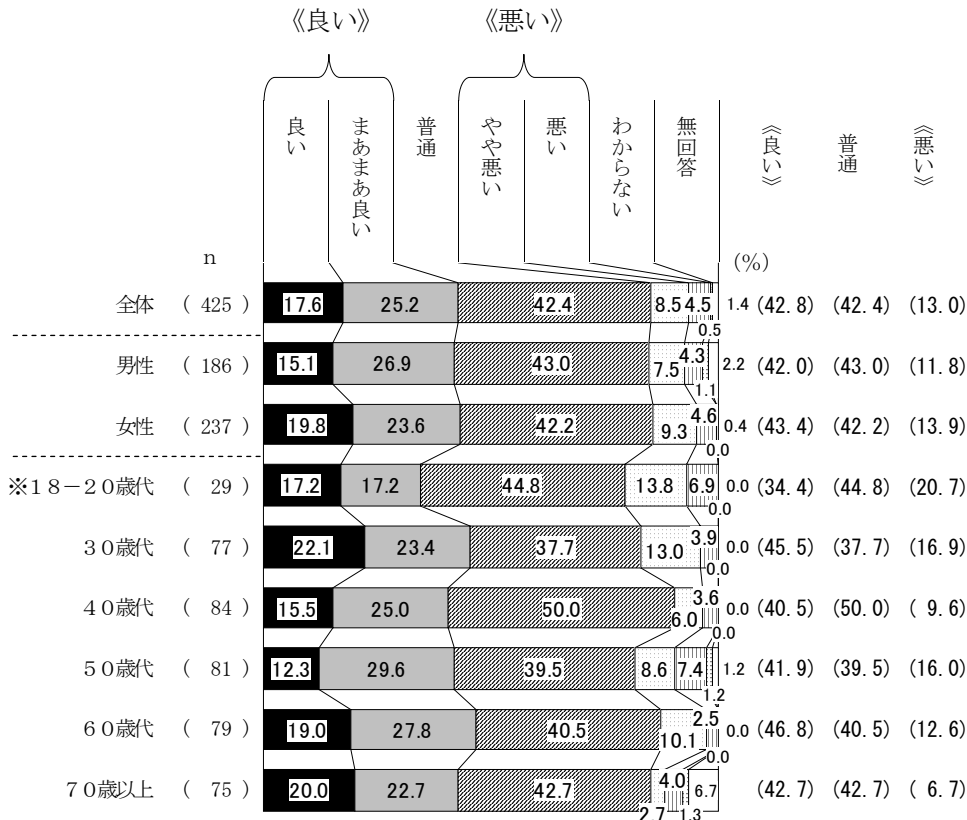
エ 動作、表情



『動作、表情』について、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別で見ると、《良い》は30歳代（46.8%）と70歳以上（41.3%）で4割を超える。（図2-57）

図2-58 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

オ 相手の話を聴く姿勢



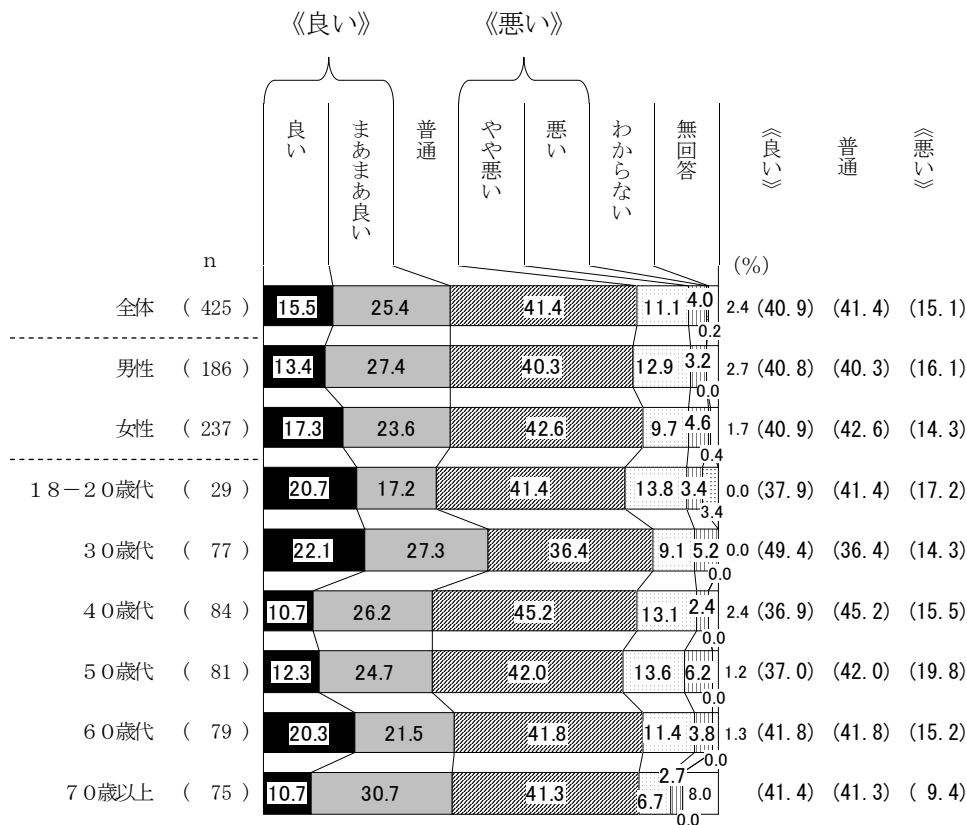
『相手の話を聴く姿勢』について、性別で見ると、「よい」は女性（19.8%）の方が男性（15.1%）よりも高くなっている。

年代別で見ると、「《良い》」はすべての年代で4割を超える。（図2-58）

（注）図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

図2-59 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

カ 説明のわかりやすさ

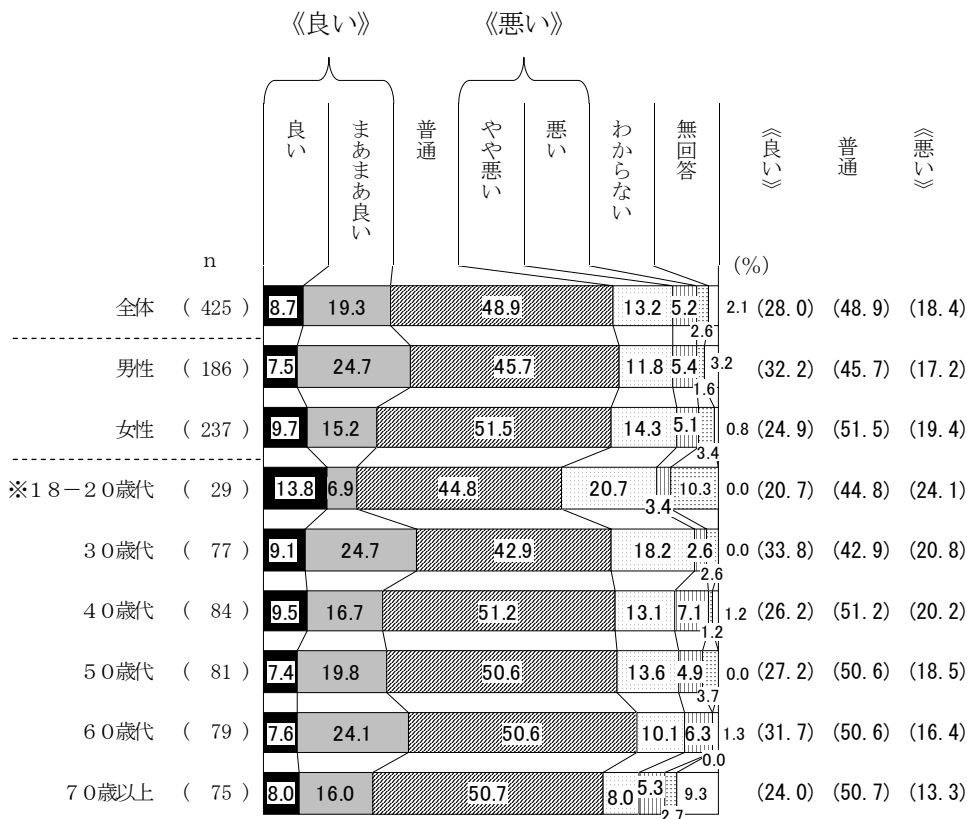


『説明のわかりやすさ』について、性別で見ると、「よい」は女性（17.3%）の方が男性（13.4%）よりも高くなっている。「悪い」は男性（12.9%）の方が女性（9.7%）よりも高くなっている。

年代別で見ると、「《良い》」はすべての年代で3割台半ばを超える。一方、「《悪い》」は70歳以上を除くすべての年代で1割台を超える。（図2-59）

図2-60 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

キ 職場全体の印象（応対者以外の職員）



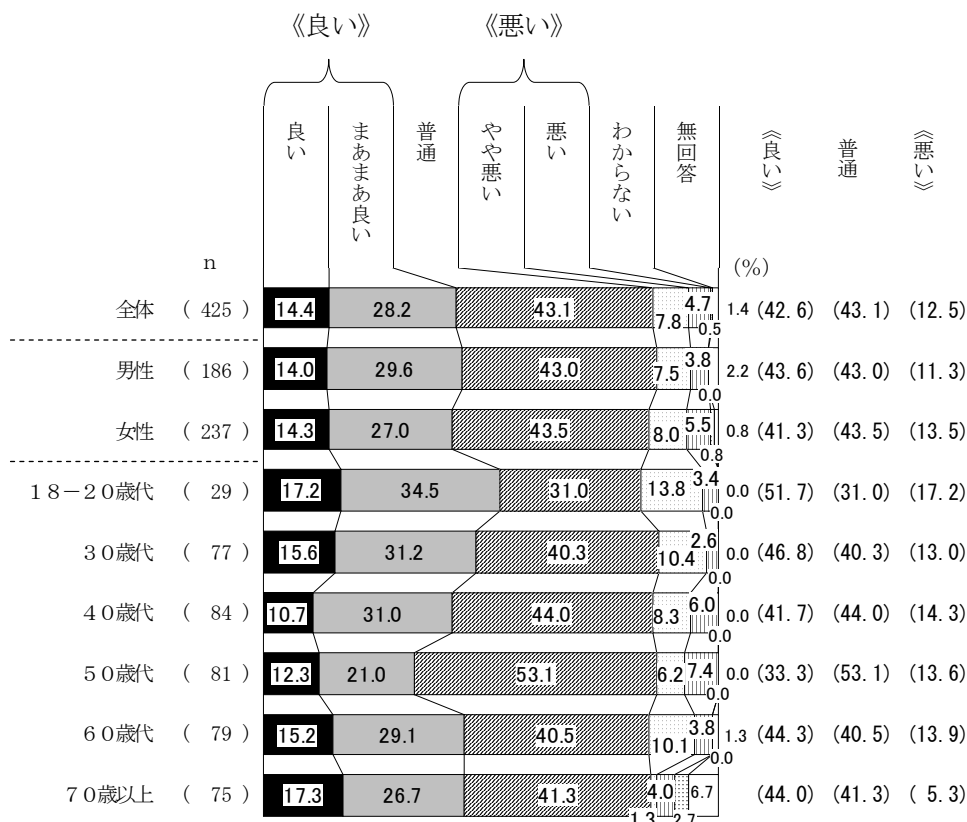
『職場全体の印象（応対者以外の職員）』について、性別でみると、《良い》は男性(32.2%)で3割強となっており、女性(24.9%)を7.3ポイント上回っている。

年代別でみると、《良い》は70歳以上を除くすべての年代で2割台半ばを超える。一方、《悪い》は70歳以上を除くすべての年代で1割台半ばを超え、特に30歳代と40歳代では2割を超える。(図2-60)

(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

図2-61 新宿区職員の対応の印象（性別・年代別）

ク 窓口対応の総合評価



『窓口対応の総合評価』について、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別でみると、《良い》は50歳代を除くすべての年代で4割を超える。一方、《悪い》は70歳以上を除くすべての年代で1割を超える。(図2-61)

## <区の電話対応について>

(1) 区への電話による問い合わせの有無

◎ 電話をかけたことが「ある」が5割近く

◎ 電話対応は「すぐに出た」が7割強、名前を「名乗った」が3割近く

問16 過去1年以内に、区役所や区の施設に電話をかけたことがありますか。(○は1つ)  
(n=496)

1	ある	48.2%	2	ない	50.4	無回答	1.4
---	----	-------	---	----	------	-----	-----

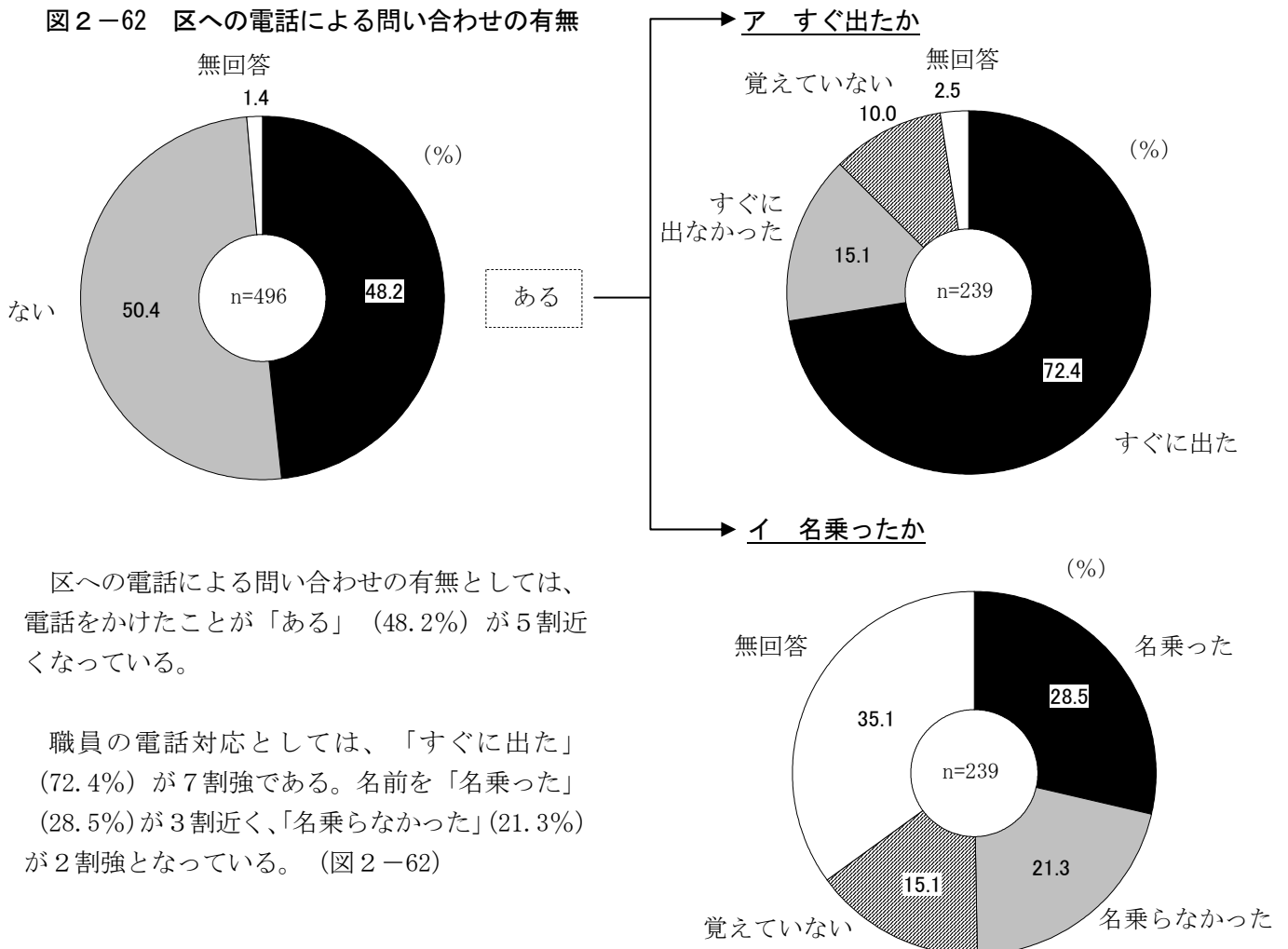
  

ア 職員はすぐに電話に出ましたか。(n=239)	
1	すぐに出た 72.4%
2	すぐに出なかった 15.1
3	覚えていない 10.0
	無回答 2.5

イ 電話に出た職員は部署や名前を名乗りましたか。(n=239)	
1	名乗った 28.5%
2	名乗らなかった 21.3
3	覚えていない 15.1
	無回答 35.1

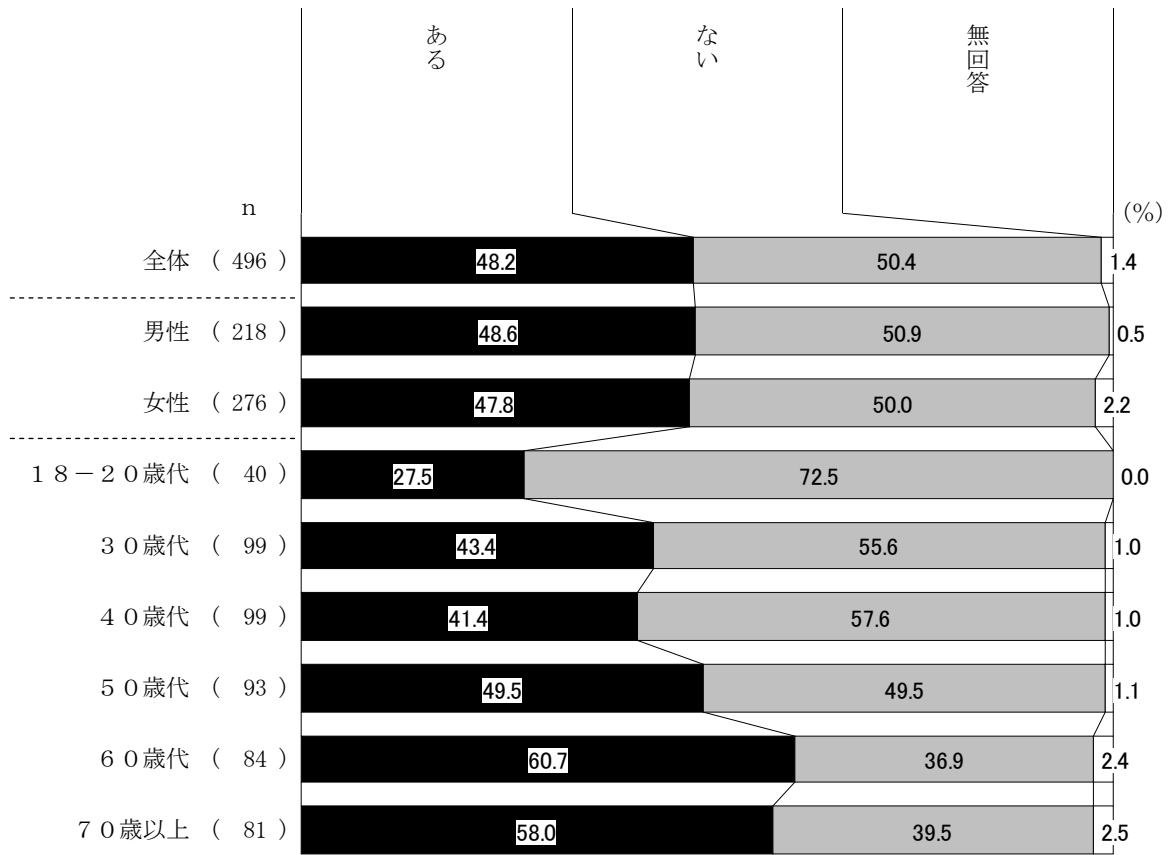
図2-62 区への電話による問い合わせの有無



区への電話による問い合わせの有無としては、電話をかけたことが「ある」(48.2%)が5割近くになっている。

職員の電話対応としては、「すぐに出た」(72.4%)が7割強である。名前を「名乗った」(28.5%)が3割近く、「名乗らなかった」(21.3%)が2割強となっている。(図2-62)

図 2-63 区への電話による問い合わせの有無（性別・年代別）



区への電話による問い合わせの有無としては、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別で見ると、「ある」は、おおむね年代が上がるにつれ、高くなる。（図 2-63）

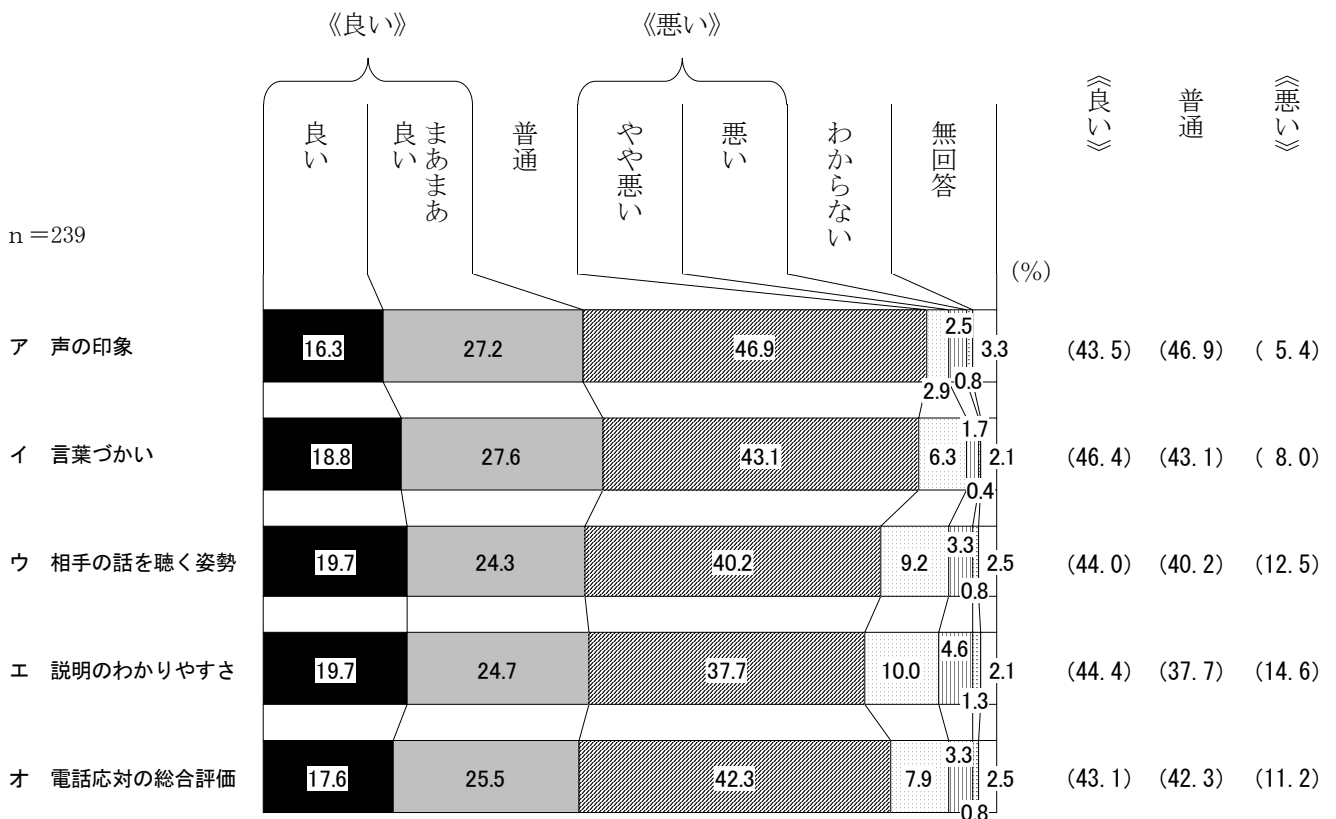
(2) 電話対応の印象

◎ 『言葉づかい』では《良い》が4割台半ばを超える一方、『相手の話を聴く姿勢』『説明のわかりやすさ』では《悪い》が1割台

(問16で「1 ある」に○をされた方におたずねします)  
 問16-1 電話対応の印象をおうかがいします。  
 ア～オそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)  
 (n=239)

	良い	まあまあ 良い	普通	やや 悪い	悪い	わから ない	無回答
ア 声の印象	16.3%	27.2	46.9	2.9	2.5	0.8	3.3
イ 言葉づかい	18.8	27.6	43.1	6.3	1.7	0.4	2.1
ウ 相手の話を聴く姿勢	19.7	24.3	40.2	9.2	3.3	0.8	2.5
エ 説明のわかりやすさ	19.7	24.7	37.7	10.0	4.6	1.3	2.1
オ 電話対応の総合評価	17.6	25.5	42.3	7.9	3.3	0.8	2.5

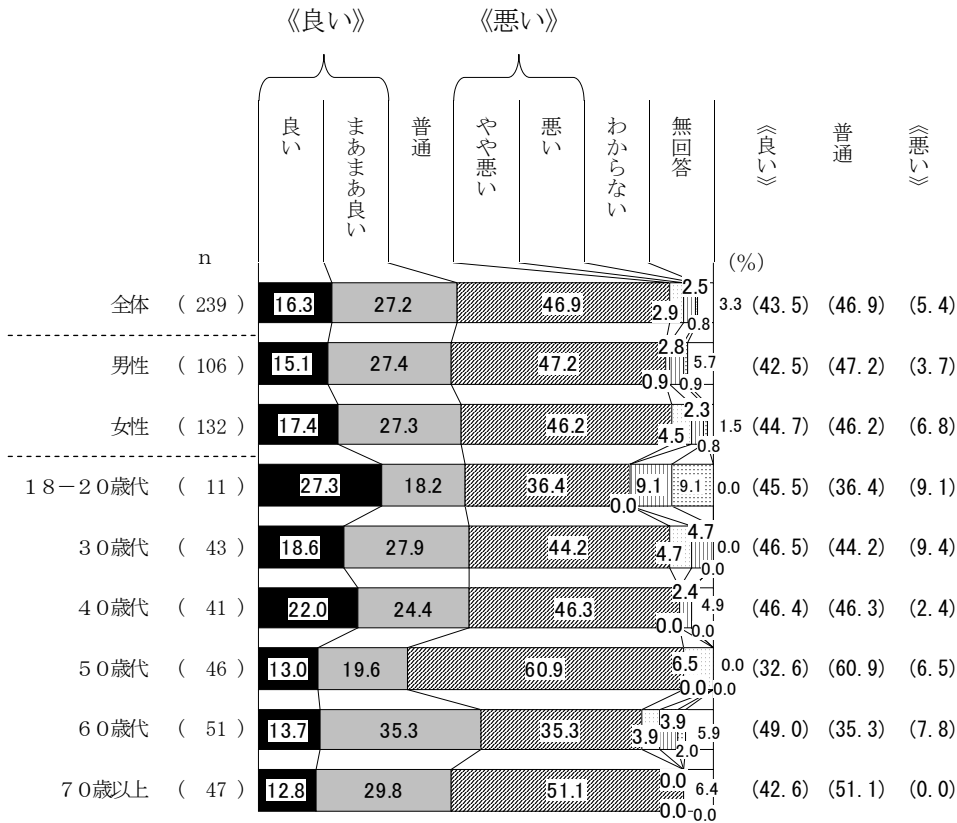
図2-64 電話対応の印象



電話対応の印象としては、「良い」と「まあまあ良い」を合わせた《良い》は、すべての項目で4割を超える。一方、「悪い」と「やや悪い」を合わせた《悪い》は、『相手の話を聴く姿勢』(12.5%)、『説明のわかりやすさ』(14.6%)で1割台と比較的高くなっている。(図2-64)

図2-65 電話対応の印象（性別・年代別）

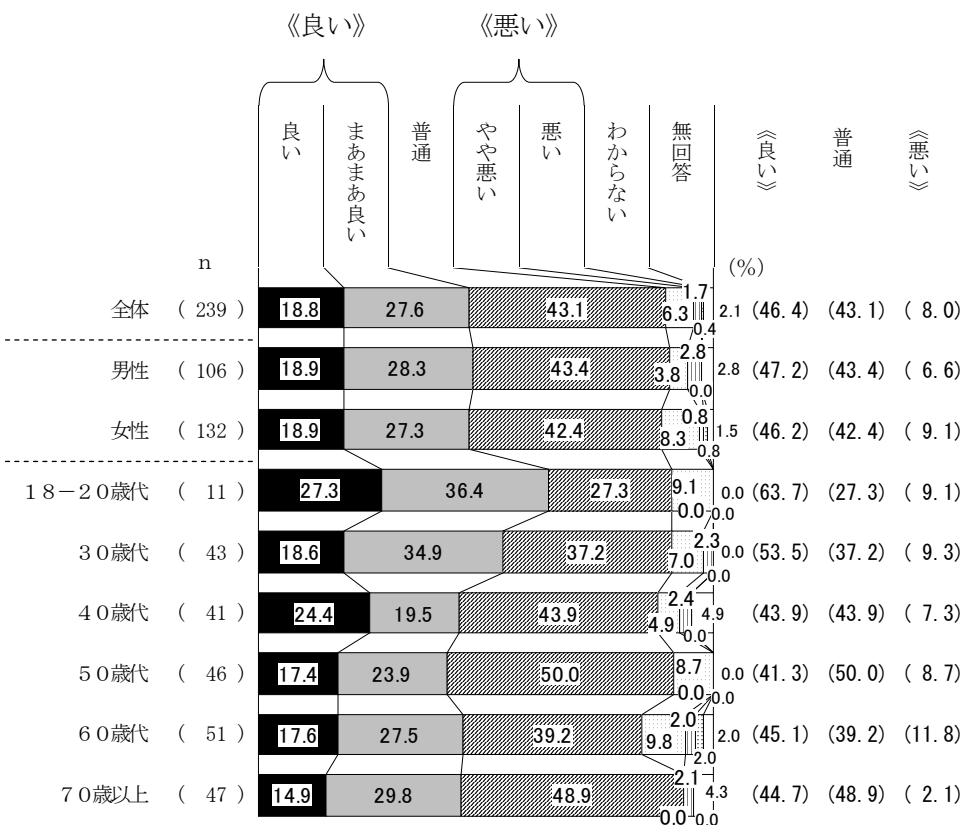
ア 声の印象



『声の印象』について、性別で見ると、特に大きな差はみられないが、年代別で見ると、《良い》は50歳代を除くすべての年代で4割を超える。(図2-65)

図2-66 電話対応の印象（性別・年代別）

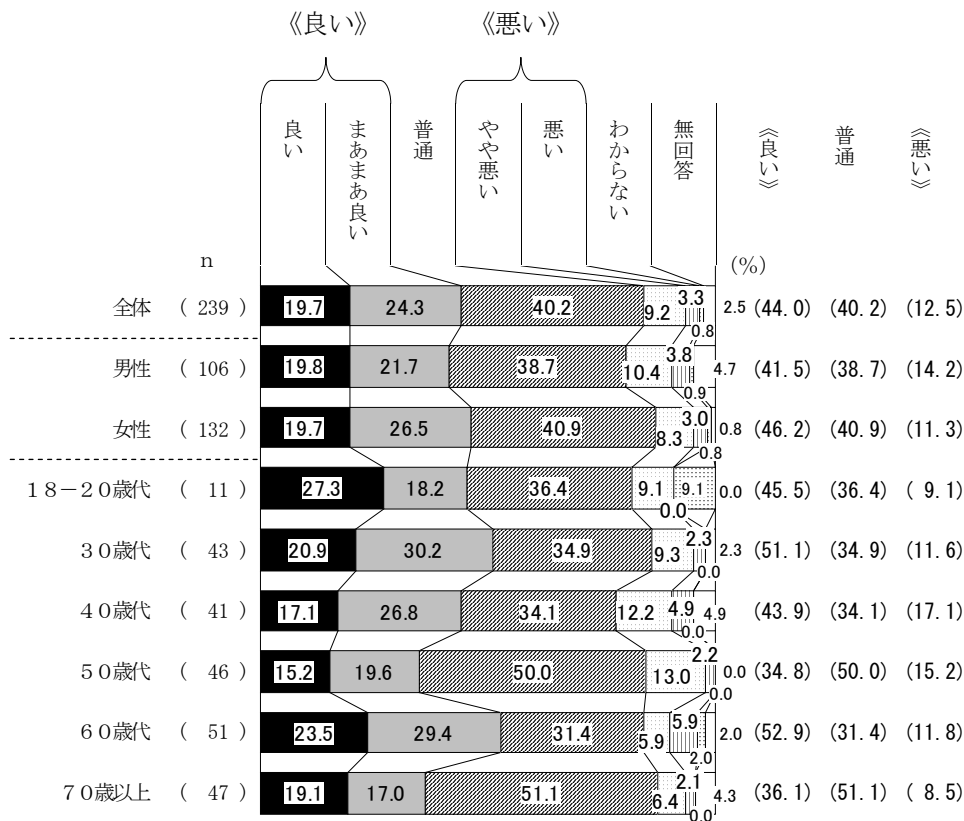
イ 言葉づかい



『言葉づかい』について、性別で見ると、特に大きな差はみられないが、年代別で見ると、《良い》はすべての年代で4割を超える。(図2-66)

図2-67 電話応対の印象（性別・年代別）

ウ 相手の話を聴く姿勢

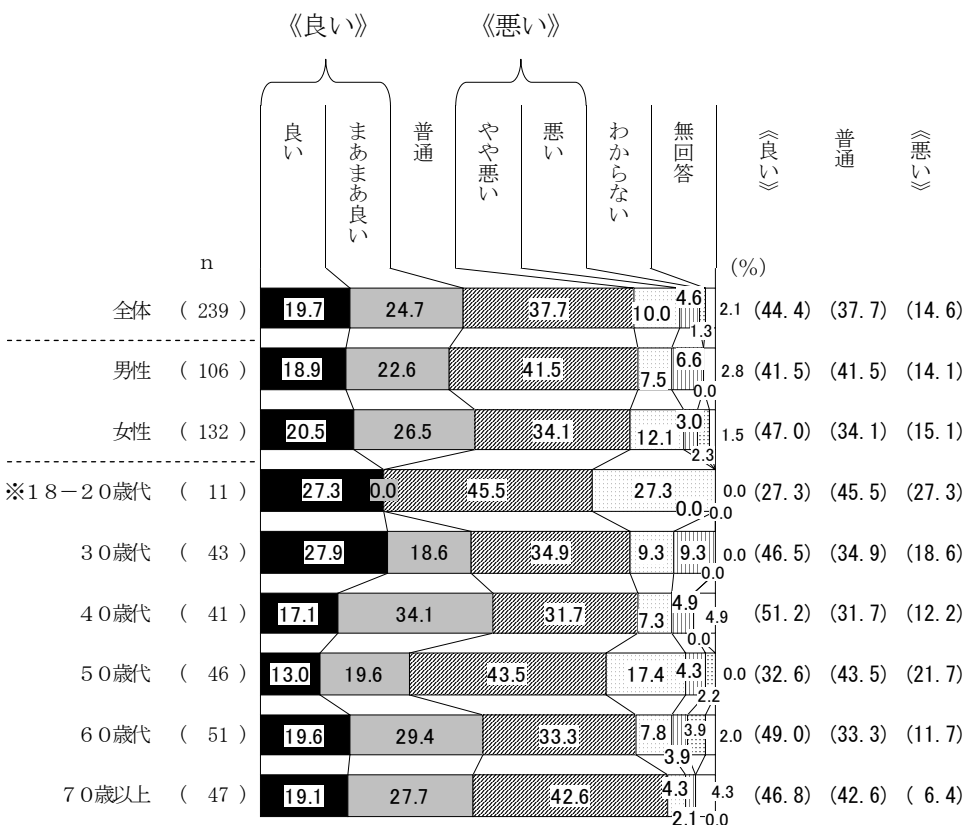


『相手の話を聴く姿勢』について、性別で見ると、《良い》は女性(46.2%)で男性(41.5%)を4.7ポイント上回っている。

年代別で見ると、《良い》は50歳代と70歳以上を除くすべての年代で4割を超える。(図2-67)

図2-68 電話応対の印象（性別・年代別）

エ 説明のわかりやすさ



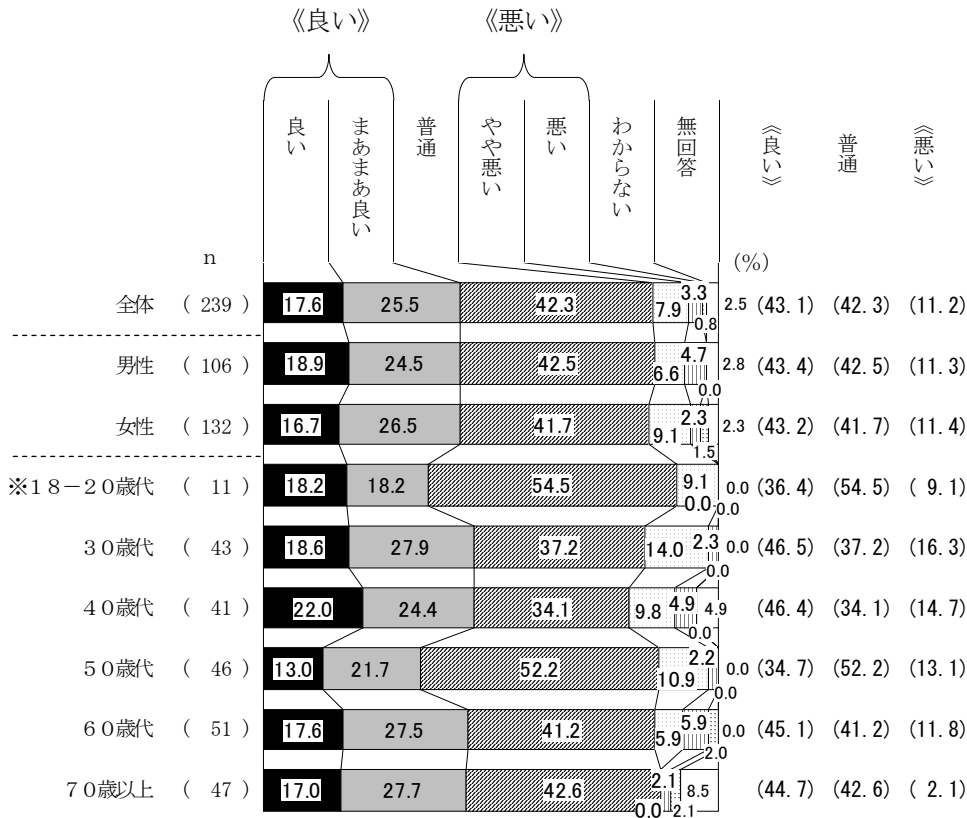
『説明のわかりやすさ』について、性別で見ると、《良い》は女性(47.0%)で男性(41.5%)を5.5ポイント上回っている。

年代別で見ると、《良い》は50歳代を除くすべての年代で4割を超える。一方、《悪い》は70歳以上を除くすべての年代で1割から2割となる。(図2-68)

(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

図2-69 電話対応の印象（性別・年代別）

オ 電話対応の総合評価



『電話対応の総合評価』について、性別では、特に大きな差はみられないが、年代別で見ると、《良い》は50歳代を除くすべての年代で4割台半ば前後となる。一方、《悪い》は70歳以上を除くすべての年代で1割以上となる。(図2-69)

(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

## <求められる職員像>

(1) 区の職員に不足している・求められる能力や資質

◎ 『不足していると思う能力や資質』も『これから求められる能力や資質』も、ともに「区民の立場で考え実行する姿勢」が最も高い

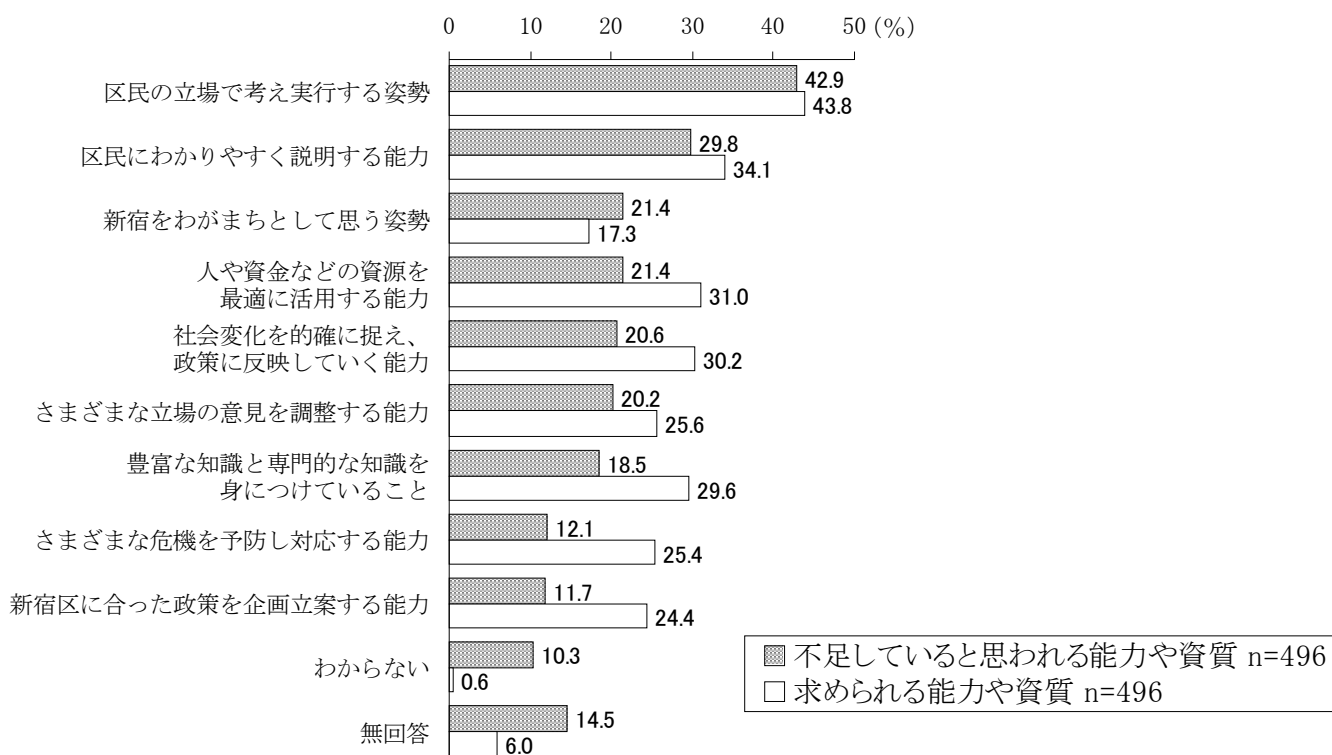
問17 現在、区の職員に特に不足していると思われる能力や資質は何だと思えますか。また、これからの区政を担っていくうえで、区の職員に特に求められる能力や資質は何だと思えますか。アとイにそれぞれ3つまで選んで番号をご記入ください。

(選択する番号がアとイで重複しても可)

(n=496)

	ア 不足していると思われる能力や資質	イ これから特に求められる能力や資質
1 区民の立場で考え実行する姿勢	42.9%	43.8%
2 新宿をわがまちとして思う姿勢	21.4	17.3
3 社会変化を的確に捉え、政策に反映していく能力	20.6	30.2
4 新宿区に合った政策を企画立案する能力	11.7	24.4
5 人や資金などの資源を最適に活用する能力	21.4	31.0
6 さまざまな立場の意見を調整する能力	20.2	25.6
7 区民にわかりやすく説明する能力	29.8	34.1
8 豊富な知識と専門的な知識を身につけていること	18.5	29.6
9 さまざまな危機を予防し対応する能力	12.1	25.4
10 わからない	10.3	0.6
無回答	14.5	6.0

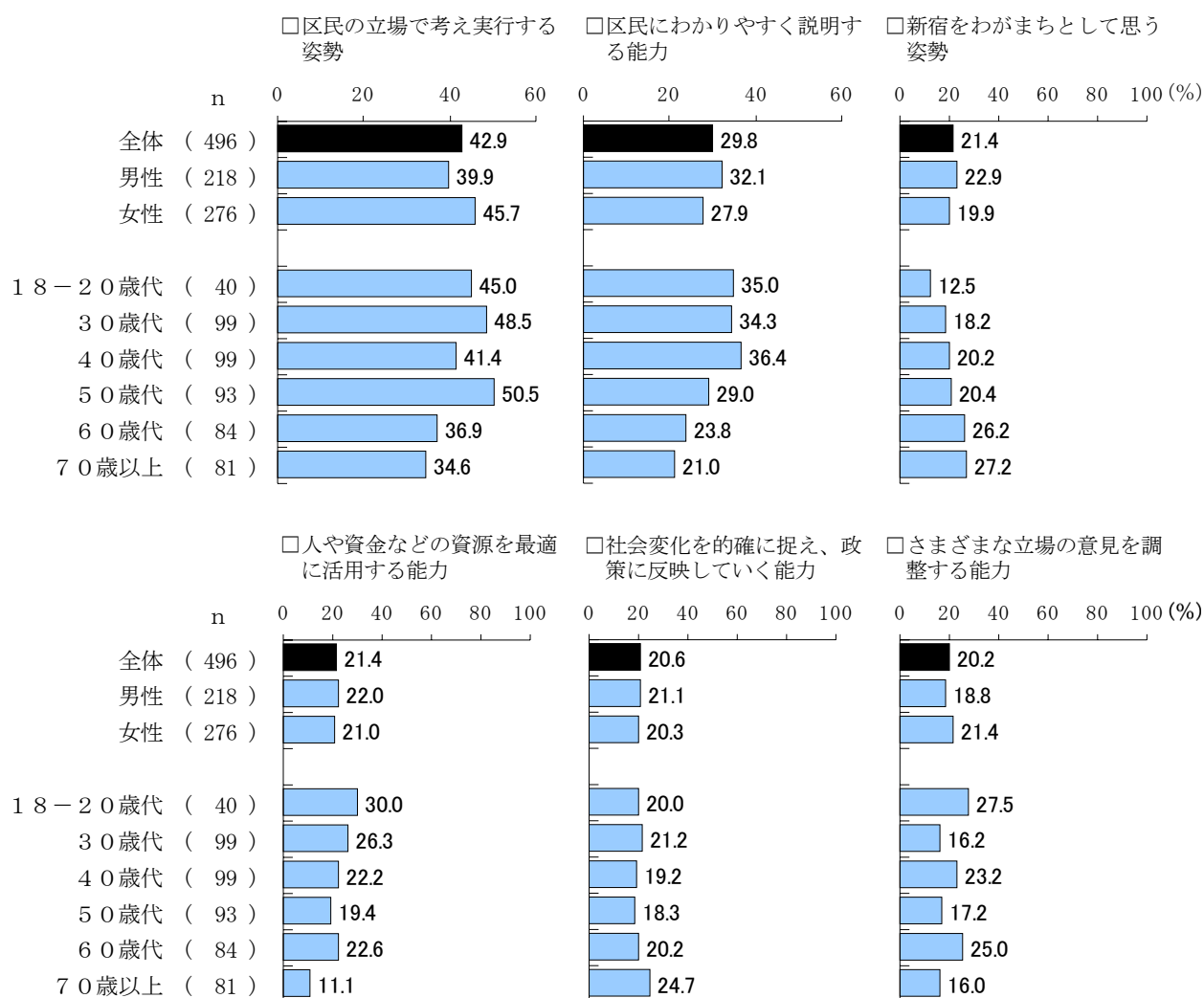
図2-70 区の職員に不足している・求められる能力や資質（複数回答）



区の職員に不足している・求められる能力や資質としては、「区民の立場で考え実行する姿勢」が『不足していると思う能力や資質』（42.9%）も『これから特に求められる能力や資質』（43.8%）でともに最も高い。次いで、「区民にわかりやすく説明する能力」がともに続いている。（図2-70）

図2-71 区の職員に不足している・求められる能力や資質（性別・年代別）

ア 不足していると思われる能力や資質 上位6項目

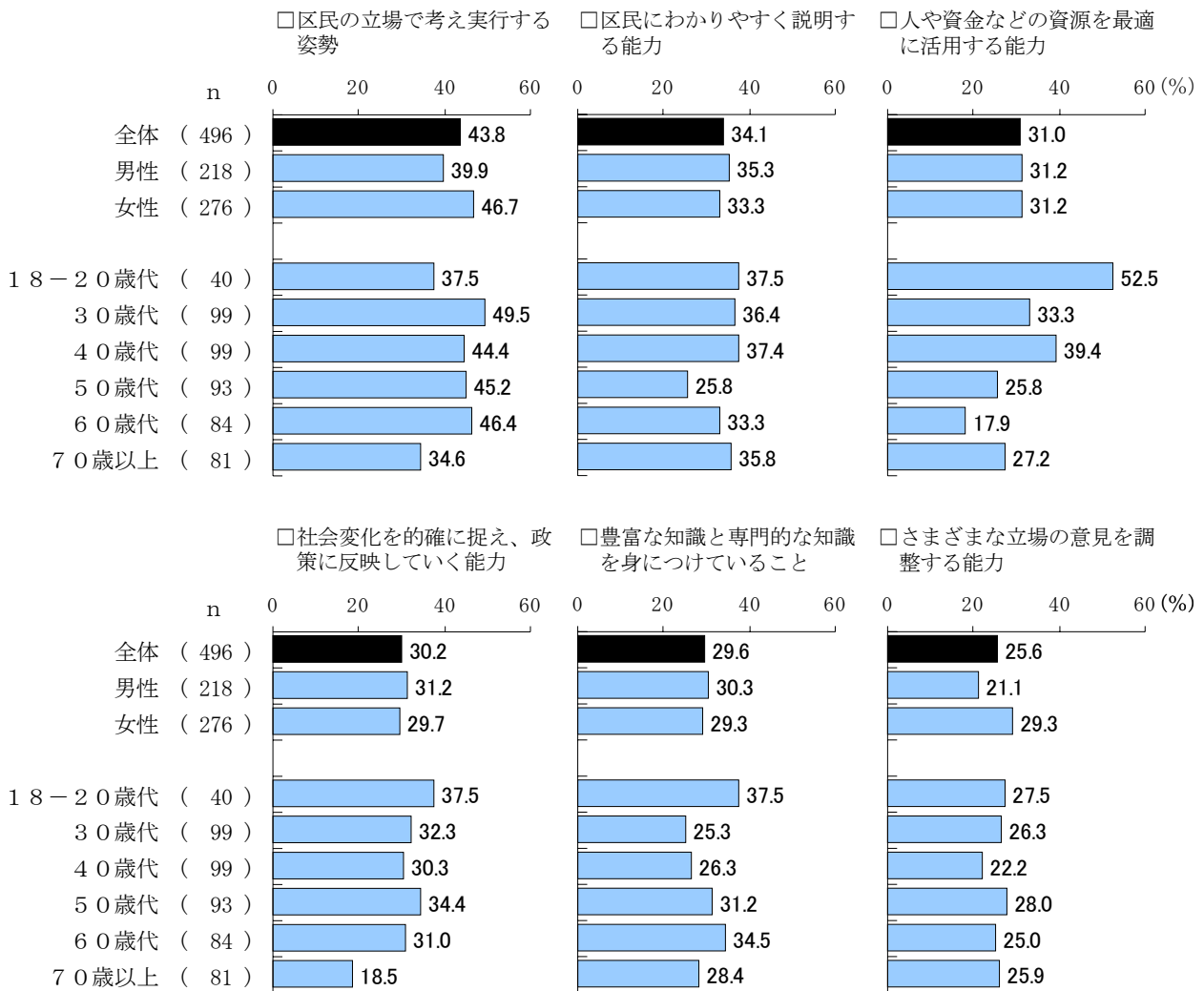


『不足していると思われる能力や資質』の上位6項目について、性別でみると、「区民の立場で考え実行する姿勢」で女性（45.7%）の方が男性（39.9%）よりも5.8ポイント高い。逆に、「区民にわかりやすく説明する能力」では、男性（32.1%）の方が女性（27.9%）よりも4.2ポイント高い。

年代別でみると、「区民の立場で考え実行する姿勢」は60歳代と70歳以上を除くすべての年代で4割を超え、「区民の立場で考え実行する姿勢」と「区民にわかりやすく説明する能力」も60歳代と70歳以上を除く年代で多くなっている。（図2-71）

図2-72 区の職員に不足している・求められる能力や資質（性別・年代別）

イ これから特に求められる能力や資質 上位6項目



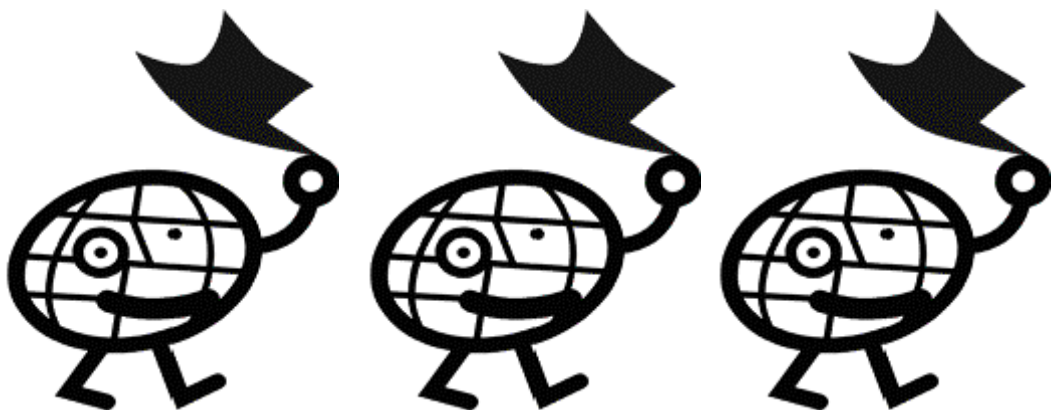
『これから特に求められる能力や資質』の上位6項目について、性別で見ると、「区民の立場で考え実行する姿勢」で女性(46.7%)の方が男性(39.9%)よりも6.8ポイント高い。また、「さまざまな立場の意見を調整する能力」でも、女性(29.3%)の方が男性(21.1%)よりも8.2ポイント高い。

年代別で見ると、「区民の立場で考え実行する姿勢」は18-20歳代と70歳以上を除く年代で4割を超える。「区民にわかりやすく説明する能力」は、50歳代を除く年代で3割台半ば前後である。また、「人や資金などの資源を最適に活用する能力」は18-20歳代(52.5%)で半数を超える。(図2-72)

# 第3回

<テーマ>

「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～  
成年後見制度



# 1 「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～

## 基本目標Ⅰ 区民が自治の主体として、考え、行動していけるまち

### <コミュニティへの参加>

#### (1) コミュニティへの参加状況

◎ 《参加経験がある》人は37.2%、活動の内容は「自治会・町会」「スクール・習い事・趣味のグループ」「学校や保育園・幼稚園などの保護者会」が高い

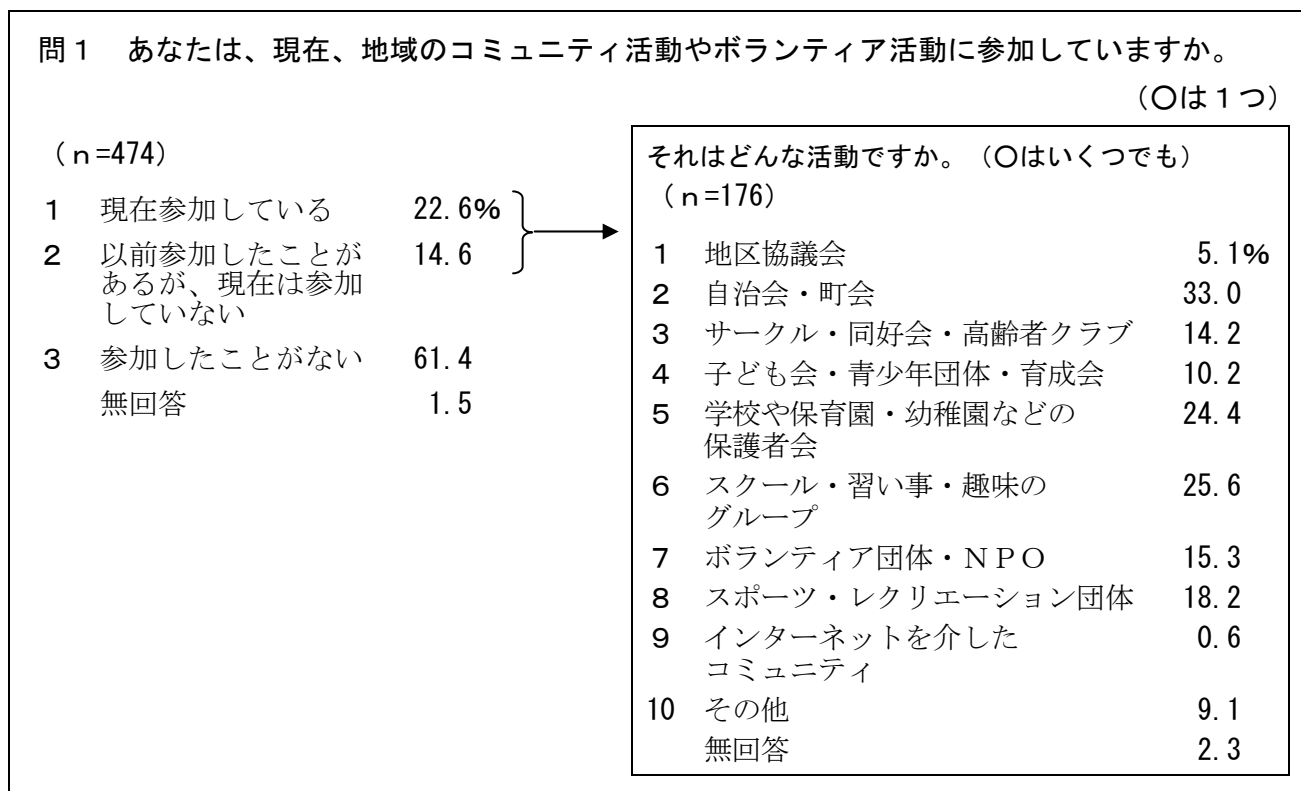


図3-1 コミュニティへの参加状況

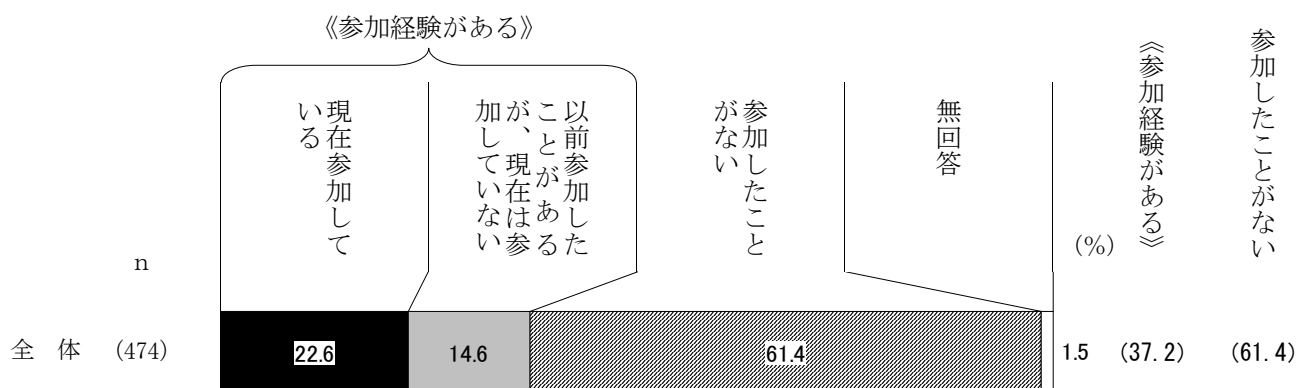


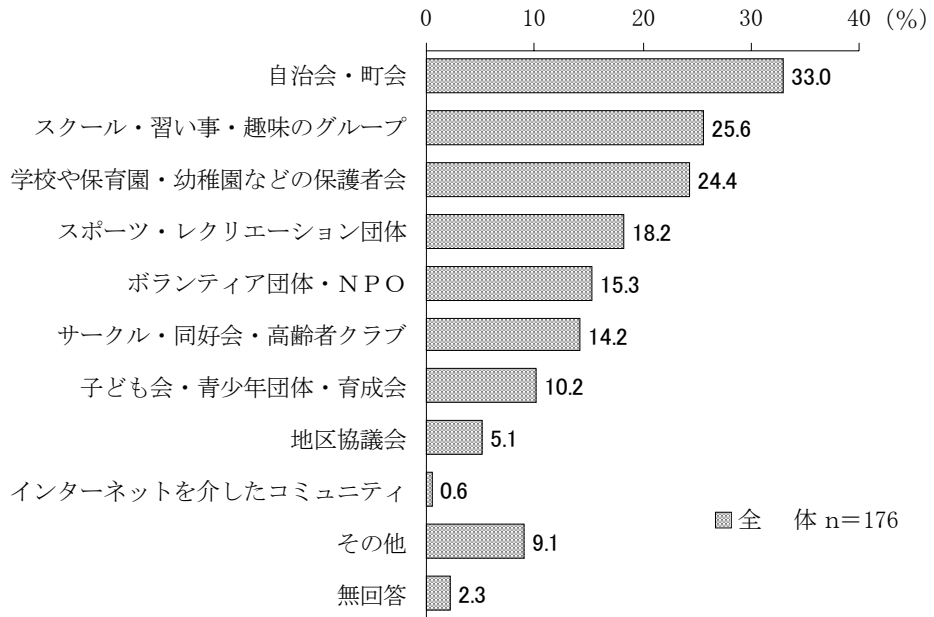
図3-2へ

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状	目標 (平成29年度)
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	地域における自主的なコミュニティ活動の活性化は地域における自治推進の大きな要素となるため	46.0%*	60%

※データ出典「平成18年度新宿区区民意識調査」

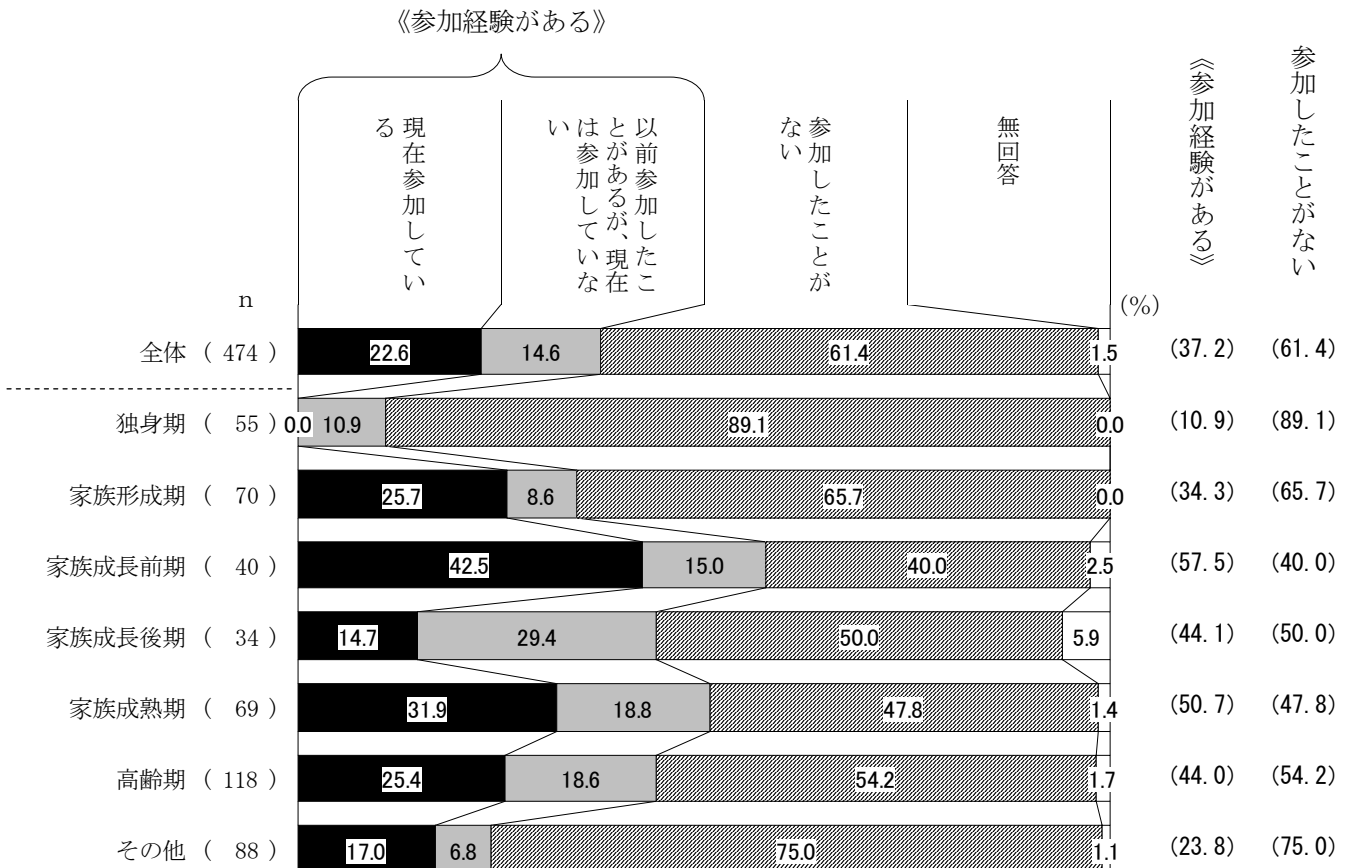
図3-2 参加経験のあるコミュニティ（複数回答）



コミュニティへの参加状況としては、「現在参加している」(22.6%)と「以前参加したことがあるが、現在は参加していない」(14.6%)を合わせた《参加経験がある》(37.2%)が3割台半ばを超える。一方、「参加したことがない」(61.4%)が6割強である。(図3-1)

参加経験のあるコミュニティとしては、「自治会・町会」(33.0%)が3割台半ば近く、「スクール・習い事・趣味のグループ」(25.6%)と「学校や保育園・幼稚園などの保護者会」(24.4%)が2割台でそれに続く。(図3-2)

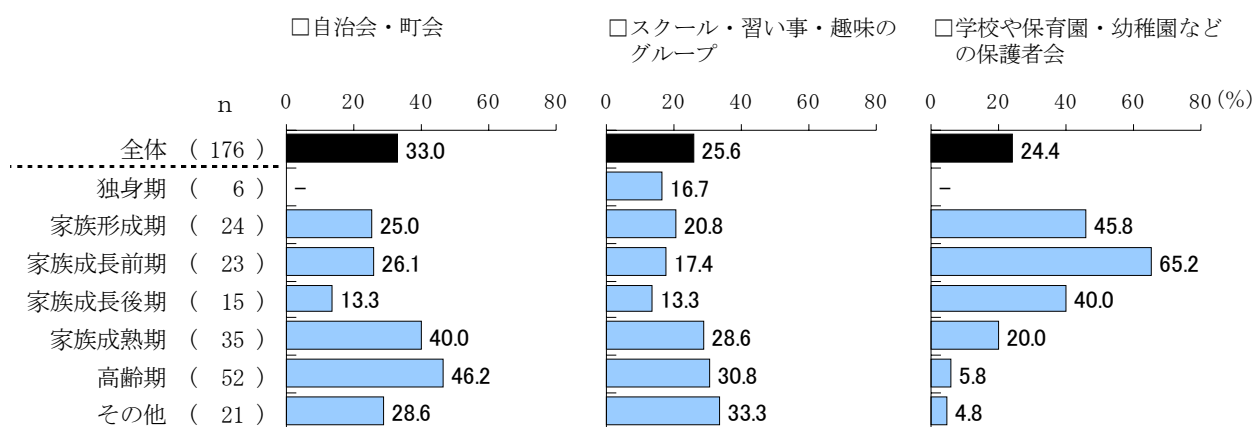
図3-3 コミュニティへの参加状況（ライフステージ別）



コミュニティへの参加状況をライフステージ別で見ると、「参加経験がある」は家族成長前期（57.5%）と家族成熟期（50.7%）で半数を超える。「参加したことがない」は独身期（89.1%）で9割弱である。（図3-3）

図3-4 参加経験のあるコミュニティ（ライフステージ別）上位3項目

（注）図3-4は参考として表記することとした。（基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い）



## 基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

### <人権意識>

#### (1) 人権に対する意識

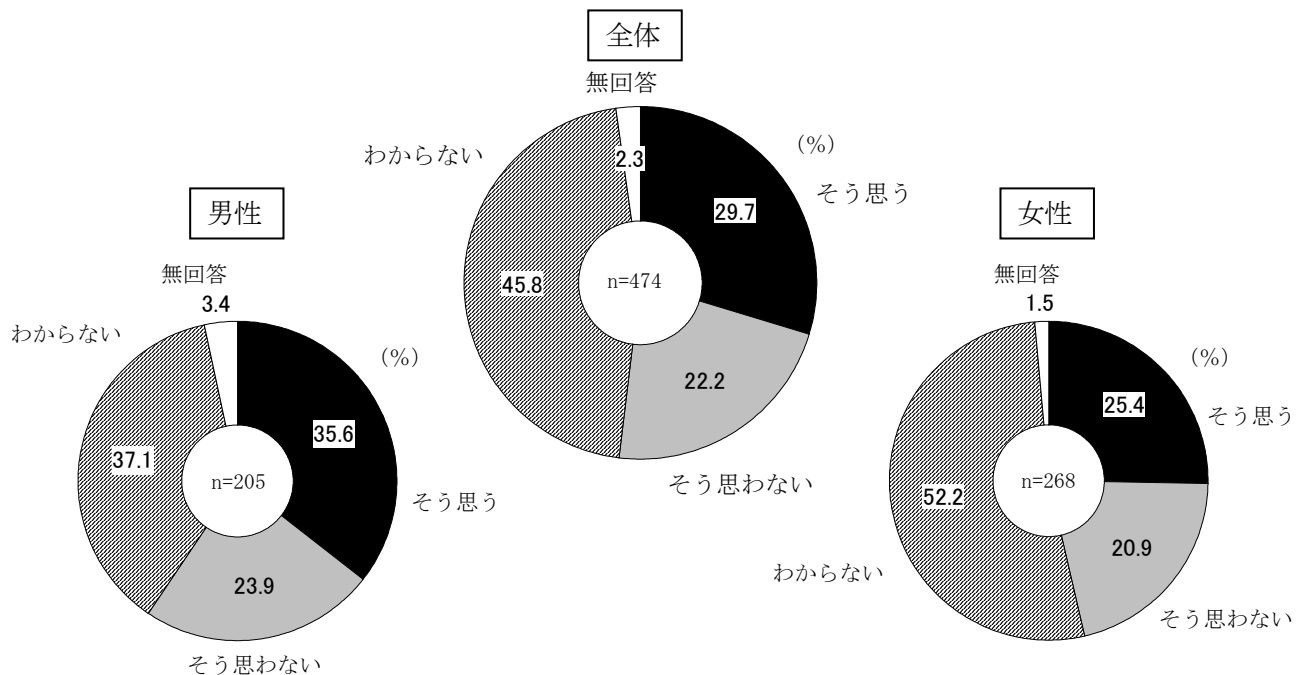
◎ 人権を尊重して認めあうまちと思う人は約3割

問2 新宿のまちは、性別や障害の有無、信条や職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認めあうまちだと思いますか。(〇は1つ)

(n=474)

1	そう思う	29.7%
2	そう思わない	22.2
3	わからない	45.8
	無回答	2.3

図3-5 人権に対する意識(性別)



人権に対する意識としては、「そう思う」(29.7%)が約3割で、「そう思わない」(22.2%)を上回っている。

性別で見ると、「そう思う」は男性(35.6%)の方が女性(25.4%)よりも高くなっている。「わからない」は女性(52.2%)で5割を超える。(図3-5)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
区民の人権に対する意識	性別、障害の有無、信条、職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認めあっていると認める区民の割合	人権を育む取組に対する成果を示すため	29.7%	↑

## <男女共同参画>

### (1) 男女共同参画に対する意識

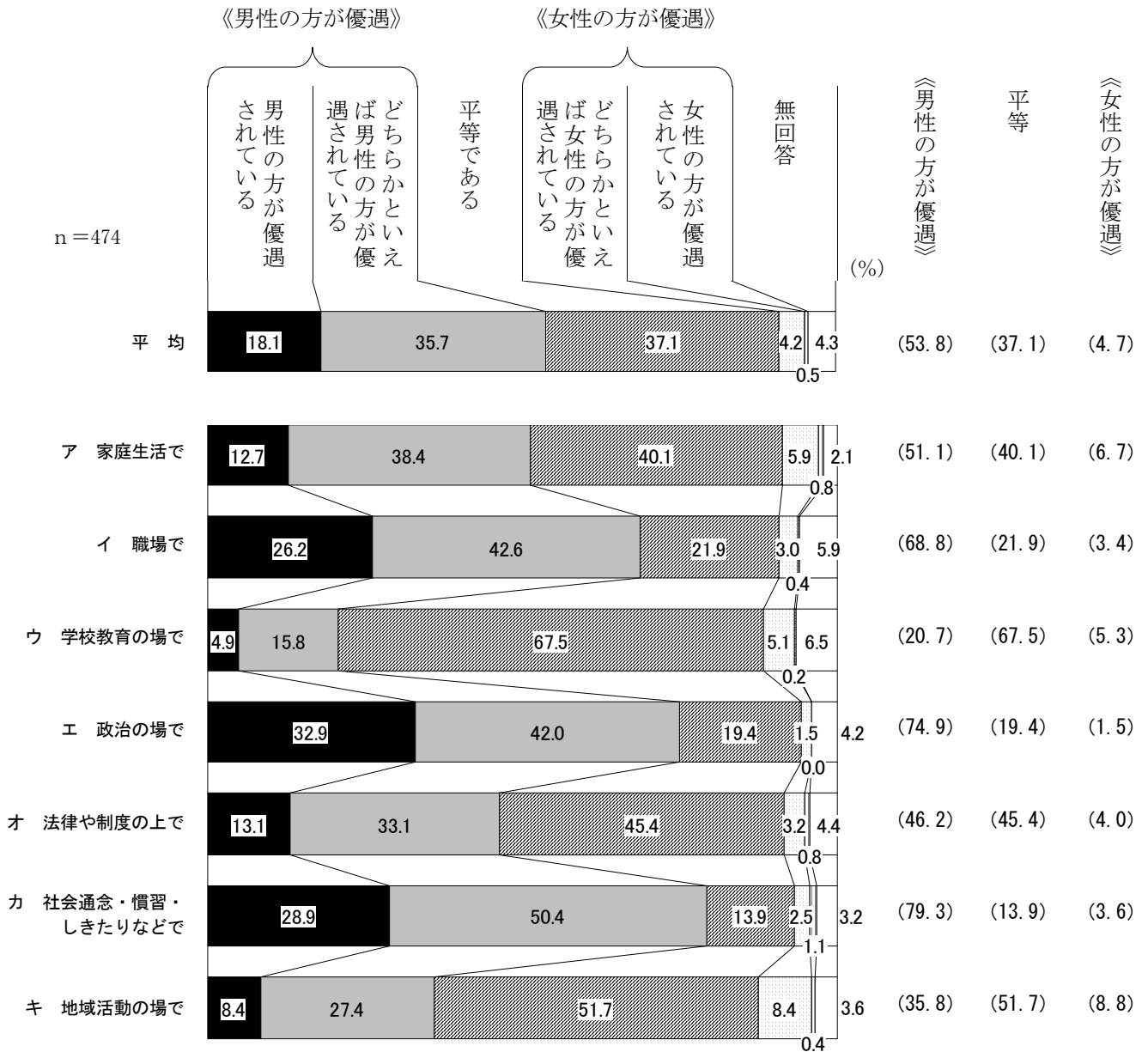
- ◎ 『学校教育の場』『地域活動の場』で平等感が高く、『職場や政治の場』『社会通念・慣習・しきたりなど』では<<男性の方が優遇>>が高い

問3 あなたは社会の中で、男女が平等だと思いますか。次のア～キの分野それぞれについて、1～5の中から1つを選んで○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

(n=474)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	無回答
ア 家庭生活で	12.7%	38.4	40.1	5.9	0.8	2.1
イ 職場で	26.2	42.6	21.9	3.0	0.4	5.9
ウ 学校教育の場で	4.9	15.8	67.5	5.1	0.2	6.5
エ 政治の場で	32.9	42.0	19.4	1.5	-	4.2
オ 法律や制度の上で	13.1	33.1	45.4	3.2	0.8	4.4
カ 社会通念・慣習・しきたりなどで	28.9	50.4	13.9	2.5	1.1	3.2
キ 地域活動の場で	8.4	27.4	51.7	8.4	0.4	3.6

図3-6 男女共同参画に対する意識



男女共同参画に対する意識としては、ウ『学校教育の場』、キ『地域活動の場』については半数以上が平等と思っている。一方、エ『政治の場で』、カ『社会通念・慣習・しきたりなどで』においては平等と思う人が非常に少ない。(図3-6)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
男女共同参画に対する意識	家庭生活や職場、地域活動など、社会全体で男女が平等と感じる区民の割合	男女平等な社会参加に対する区民の感覚を示すため	37.1%	↑

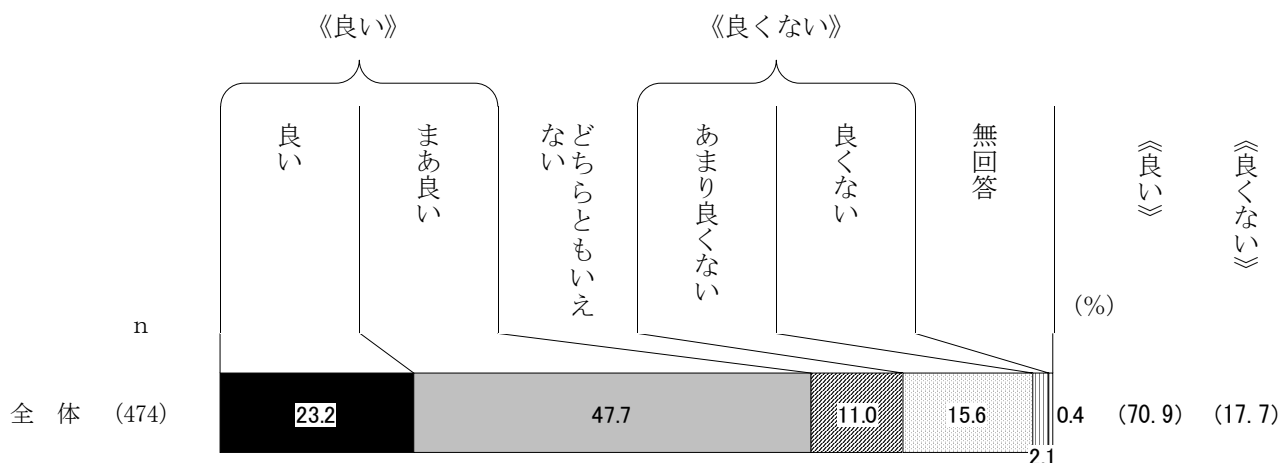
## <健康>

### (1) 健康に対する状態

#### ◎ 健康状態は《良い》が7割

問4 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。(〇は1つ)		
(n=474)		
1	良い	23.2%
2	まあ良い	47.7
3	どちらともいえない	11.0
4	あまり良くない	15.6
5	良くない	2.1
	無回答	0.4

図3-7 健康に対する状態

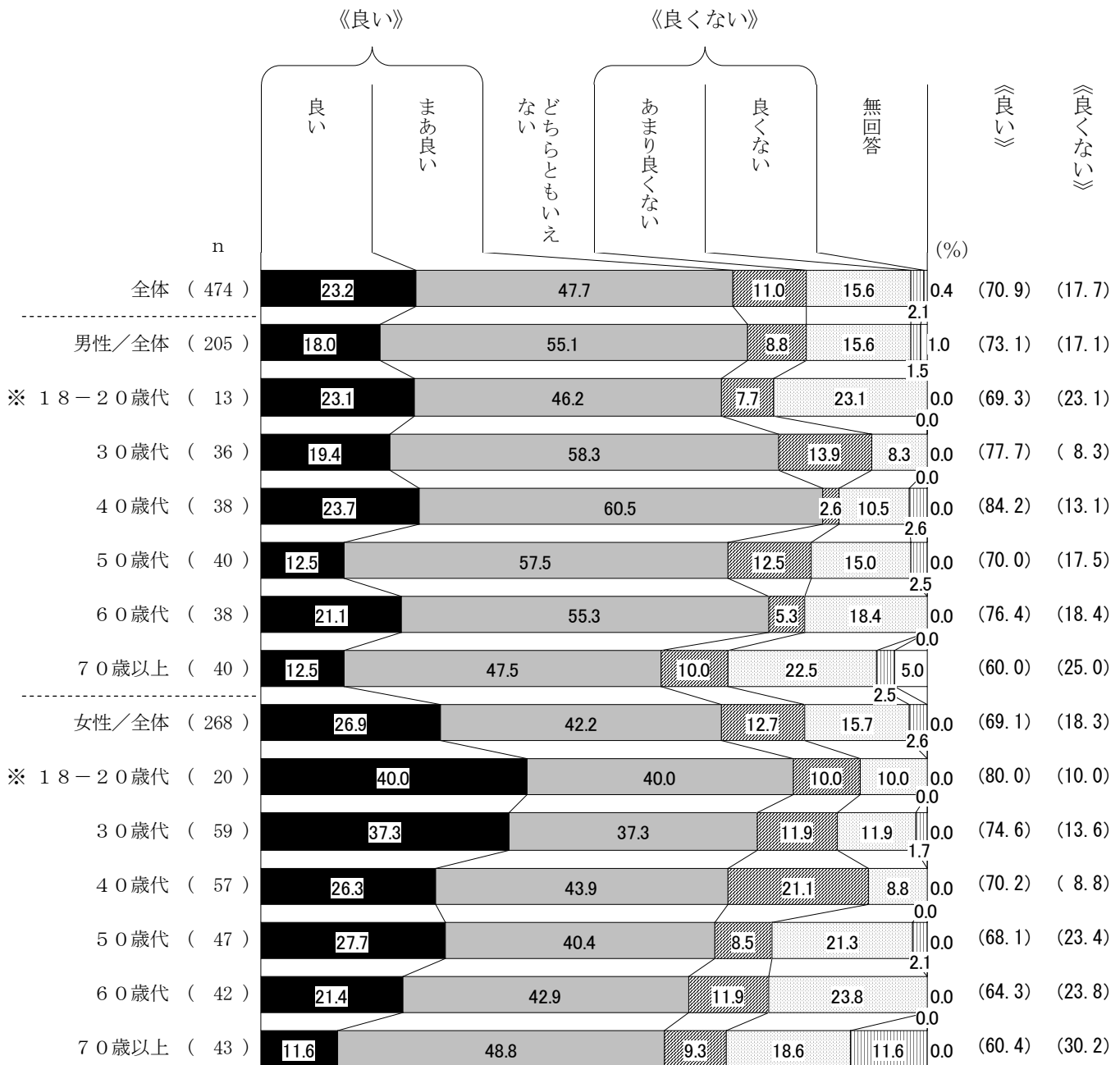


健康に対する状態としては、「良い」(23.2%)と「まあ良い」(47.7%)を合わせた《良い》(70.9%)が約7割である。一方、「あまり良くない」(15.6%)と「良くない」(2.1%)を合わせた《良くない》(17.7%)は2割近くとなっている。(図3-7)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
健康に対する状態	現在の健康状態を良いと感じている人の割合	健康づくりに対する区民意識を示す	70.9%	

図3-8 健康に対する状態（性/年代別）



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

性/年代別でみると、《良い》は男女ともすべての年代で6割を超える。《良くない》は男女とも年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。(図3-8)

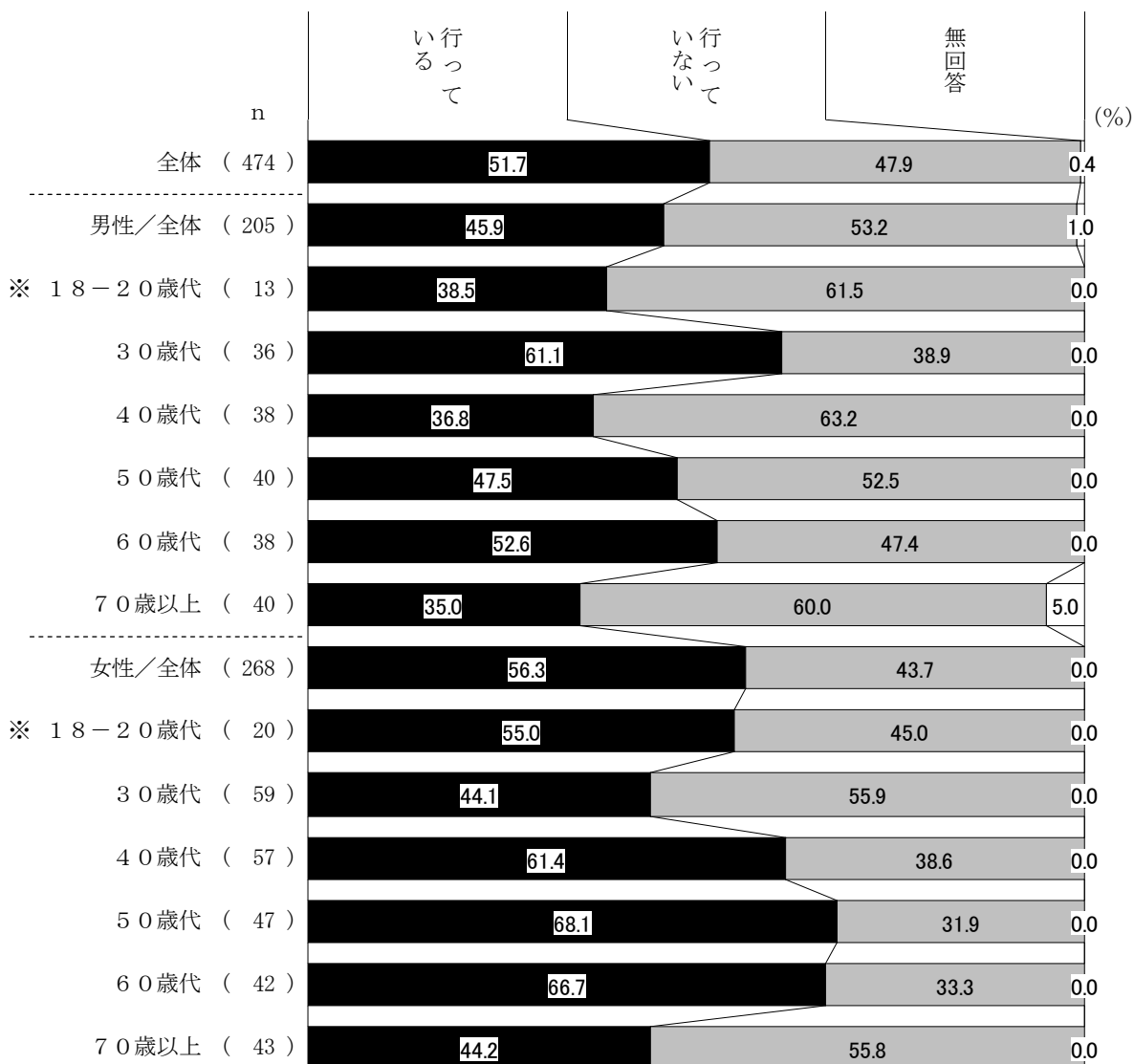
## <生涯学習>

### (1) スポーツ・学習活動の実施状況

#### ◎ スポーツ・学習活動を「行っている」が5割強を占める

問5 あなたは、現在、スポーツ、学習活動を継続的に行っていますか。(〇は1つ)				
(n=474)				
1 行っている	51.7%	2 行っていない	47.9	無回答 0.4

図3-9 スポーツ・学習活動の実施状況(性/年代別)



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

スポーツ・学習活動の実施状況としては、「行っている」(51.7%)が5割強を占め、「行っていない」(47.9%)を上回っている。

性/年代別でみると、「行っている」は男性は30歳代、60歳代で5割を超える。女性は30歳代、70歳以上を除くすべての年代で5割を超える。(図3-9)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を継続的に行っている区民の割合	学習・スポーツ活動の活性化が生きがいのある人生につながるため	51.7%	↑

## <地域連携による教育>

### (1) 地域連携による教育に対する意識

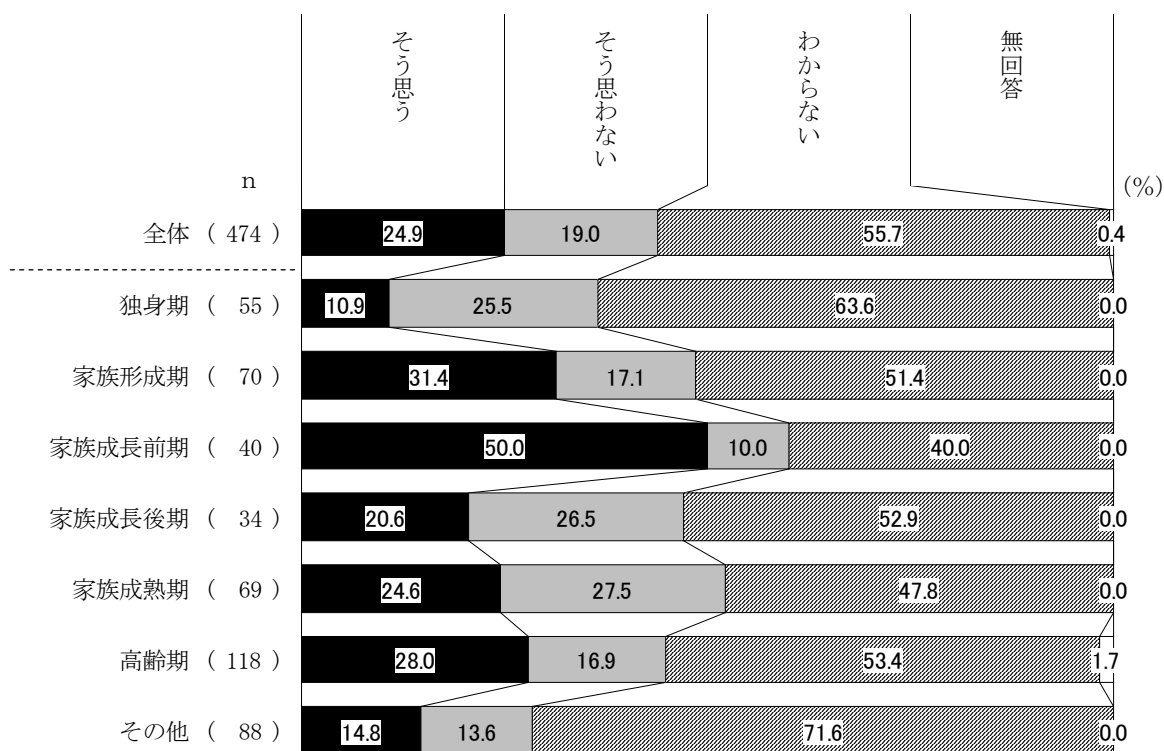
#### ◎ 実現していると思う人は2割台半ば

問6 新宿のまちは、学校・家庭・地域が協力して子どもの教育に取り組んでいるまちだと思いますか。(〇は1つ)

(n=474)

1	そう思う	24.9%
2	そう思わない	19.0
3	わからない	55.7
	無回答	0.4

図3-10 地域連携による教育に対する意識(ライフステージ別)



地域連携による教育に対する意識としては、「そう思う」(24.9%)が2割台半ば近く、「そう思わない」(19.0%)は2割弱となっている。また「わからない」は5割台半ばを超えている。

ライフステージ別でみると、「そう思う」は家族成長前期(50.0%)で5割と特に高く、それ以外のライフステージでは「わからない」が4割台半ばを超える。(図3-10)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
学校・家庭・地域が協力した教育の取組	学校・家庭・地域が協力して教育に取り組んでいると感じる区民の割合	地域連携による教育に対する区民意識を示すため	24.9%	↑

## 基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち

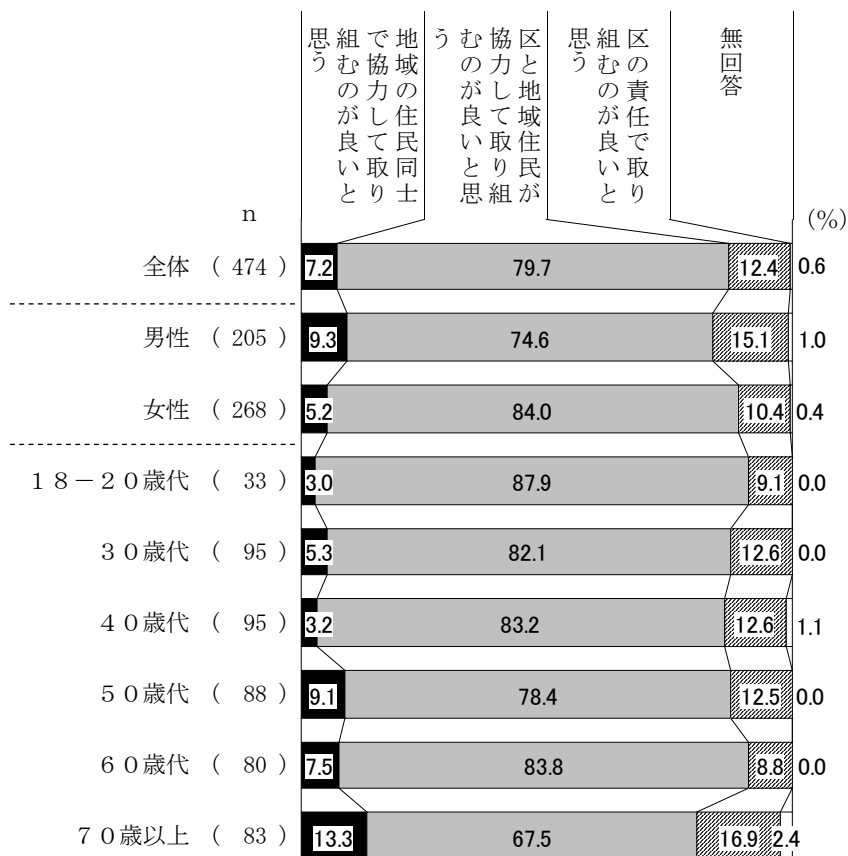
### <地域福祉>

#### (1) 高齢者・障害者の見守りに対する意識

◎ 「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」が8割弱

問7 あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのように推進していくのが良いと思いますか。(〇は1つ)	
(n=474)	
1 地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う	7.2%
2 区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う	79.7
3 区の責任で取り組むのが良いと思う	12.4
無回答	0.6

図3-11 高齢者・障害者の見守りに対する意識(性別・年代別)



高齢者・障害者の見守りに対する意識としては、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」(79.7%)が8割弱を占めている。

性別で見ると、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」は、男性(74.6%)では7割台半ば近く、女性(84.0%)では8割台半ば近くとなっている。

年代別で見ると、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」は、70歳以上を除くすべての年代で8割前後となっている。(図3-11)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状	目標 (平成29年度)
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	支え合いのしくみづくりの進捗度を検証するため	8.2%*	30%

※データ出典「平成18年度新宿区区民意識調査」

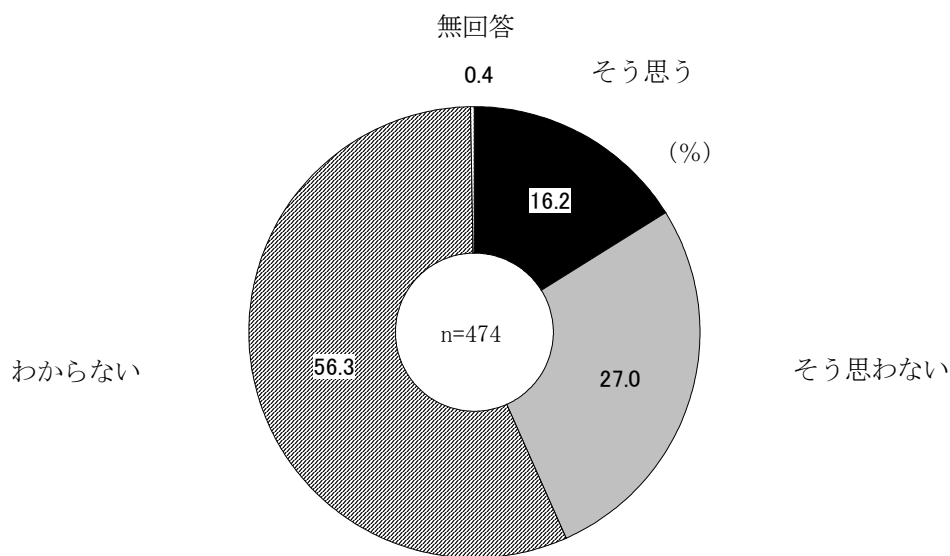
## <障害福祉>

### (1) 障害者の社会参加への意識

#### ◎ 障害者が社会参加しやすいまちだと思える人は1割台半ばと低い

問8 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。		(○は1つ)
(n=474)		
1	そう思う	16.2%
2	そう思わない	27.0
3	わからない	56.3
	無回答	0.4

図3-12 障害者の社会参加への意識



障害者の社会参加への意識としては、「そう思う」(16.2%)が1割台半ばを超えているものの、「そう思わない」(27.0%)を下回っている。(図3-12)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思える割合	ノーマライゼーション <sup>※</sup> の視点から障害者の社会参加や就労機会の拡大に対する実感を把握するため	16.2%	↑

※高齢者や障害のある人等、社会的支援を必要とする人がそうでない人とともに、地域において普通の生活をし、ともに生きることができる社会をめざす考え方。

## <生きがい>

### (1) 生きがいを感じること

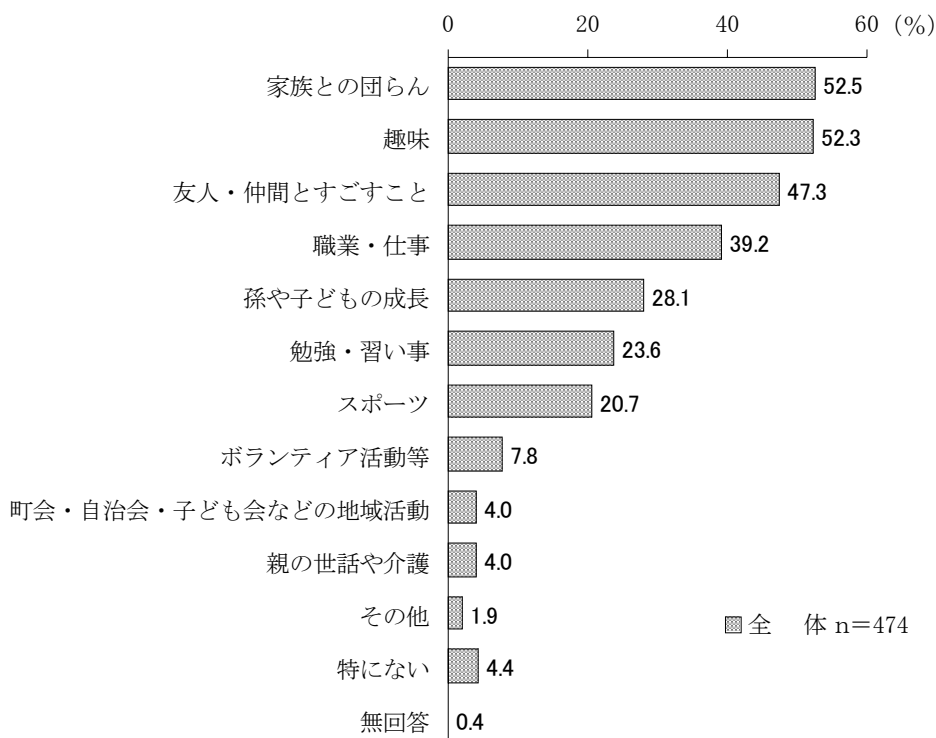
◎ 「家族との団らん」「趣味」が5割強で上位2項目で、「友人・仲間とすごすこと」が4割台半ばで続く

問9 あなたは、現在どのようなことに生きがいを感じていますか。(〇はいくつでも)

(n=474)

1	職業・仕事	39.2%
2	町会・自治会・子ども会などの地域活動	4.0
3	ボランティア活動等	7.8
4	趣味	52.3
5	スポーツ	20.7
6	勉強・習い事	23.6
7	友人・仲間とすごすこと	47.3
8	家族との団らん	52.5
9	孫や子どもの成長	28.1
10	親の世話や介護	4.0
11	その他	1.9
12	特にない	4.4
	無回答	0.4

図3-13 生きがいを感じること(複数回答)

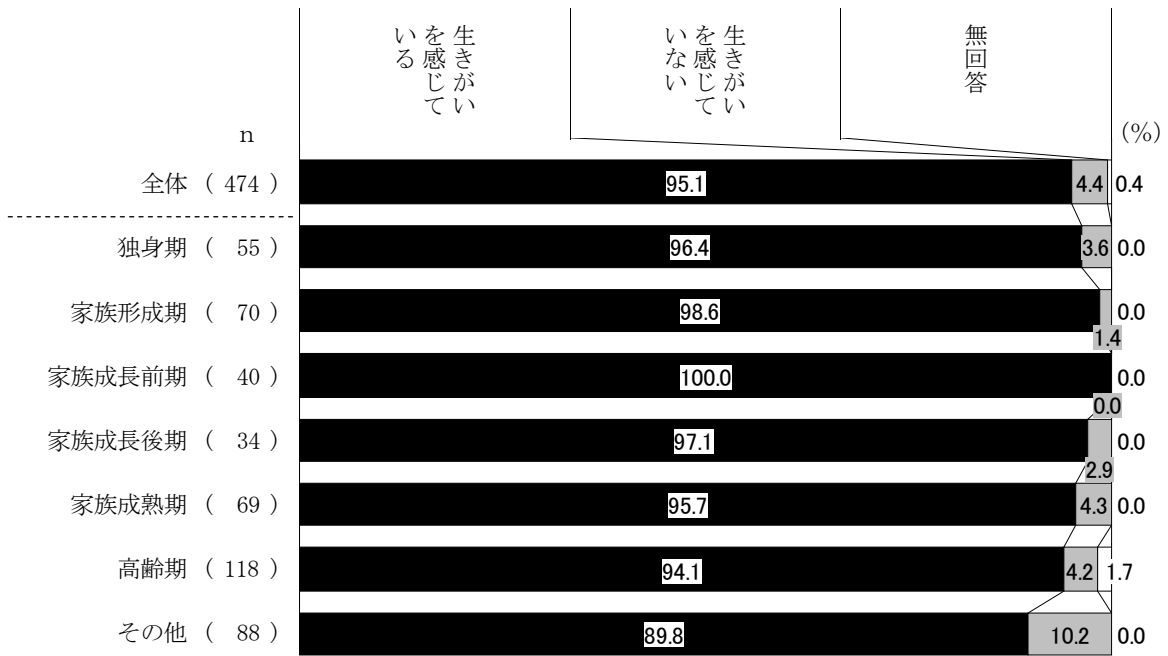


生きがいを感じることとしては、「家族との団らん」(52.5%)と「趣味」(52.3%)が5割強で上位2項目となっている。次いで、「友人・仲間とすごすこと」(47.3%)が4割台半ばを超え、「職業・仕事」(39.2%)が4割弱となっている。(図3-13)

【生きがいを感じている人の割合（再分類）】

生きがいを感じている高齢者の割合を集計するため、問9において、「特にない」、「無回答」とそれ以外の回答をした者の割合を、ライフステージ別で以下のとおり再分類した。

図3-14 生きがいを感じている人の割合（ライフステージ別）

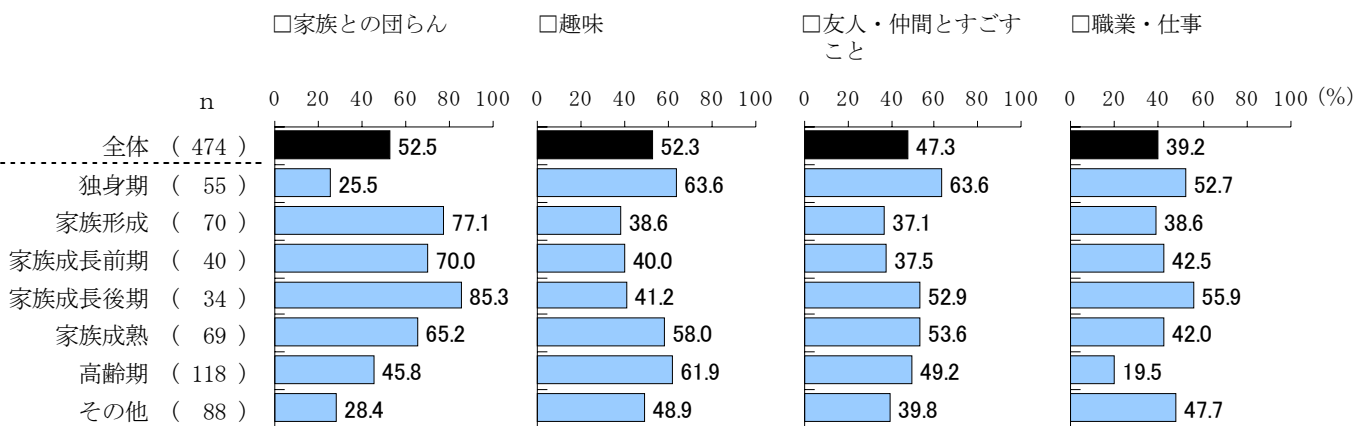


生きがいを感じている人の割合をライフステージ別にみると、その他を除くすべての層で9割台半ば前後となっている。（図3-14）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者が自立して元気で暮らしていくためには高齢者が生きがいを持っていることが重要なため	94.1%	↑

図3-15 生きがいを感じる事（ライフステージ別）上位4項目



上位4項目について、ライフステージ別でみると、「家族との団らん」は、独身期と高齢期、その他を除く層で6割台半ばを超える。「趣味」は独身期(63.6%)と高齢期(61.9%)で6割を超える。「友人・仲間とすごすこと」は独身期で6割台半ば近くと最も高い。「職業・仕事」は独身期(52.7%)と家族成長後期(55.9%)で5割を超える。（図3-15）

## <防災対策>

### (1) 避難場所・避難所の理解度

- ◎ 『一時集合場所』を知っている人は6割を超え、『広域避難場所』を知っている人は7割台半ばに近い

問10 あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する場所がどこにあるか知っていますか。(〇は、ア、イ、ウにそれぞれ1つ)

(n=474)

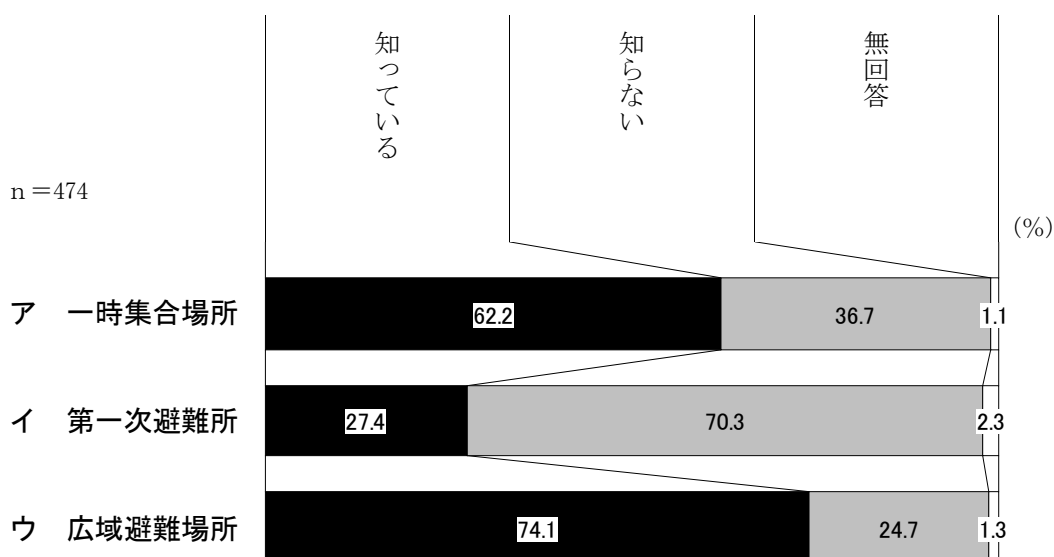
	知っている	知らない	無回答
ア 一時集合場所※1	62.2%	36.7	1.1
イ 第一次避難所※2	27.4	70.3	2.3
ウ 広域避難場所※3	74.1	24.7	1.3

※1 避難場所に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所

※2 住居を失った人が一時的に生活する場所

※3 大震災時の大火災から生命を守るのに必要なスペースのある大規模公園、緑地等をいい、都が指定している。(新宿御苑、戸山公園一带、中央公園一带など)

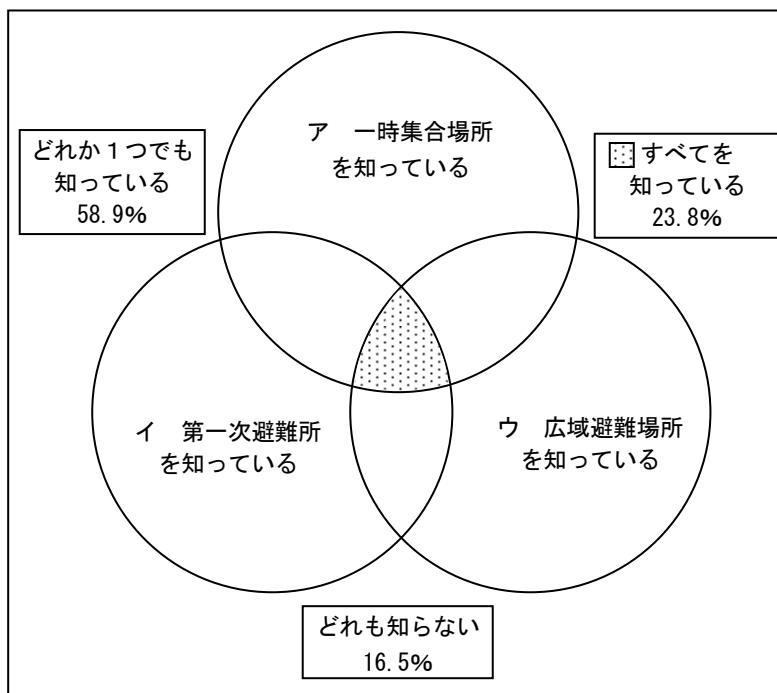
図3-16 避難場所・避難所の理解度



避難場所・避難所の理解度としては、ア『一時集合場所』とウ『広域避難場所』について「知っている」は6割を超える。一方、イ『第一次避難所』は「知らない」が7割を超えている。(図3-16)

【避難場所・避難所の理解度で、すべてを知っている人の割合（再分類）】

ア『一時集合場所』、イ『第一次避難所』、ウ『広域避難場所』を再分類すると、下記のとおりとなる。



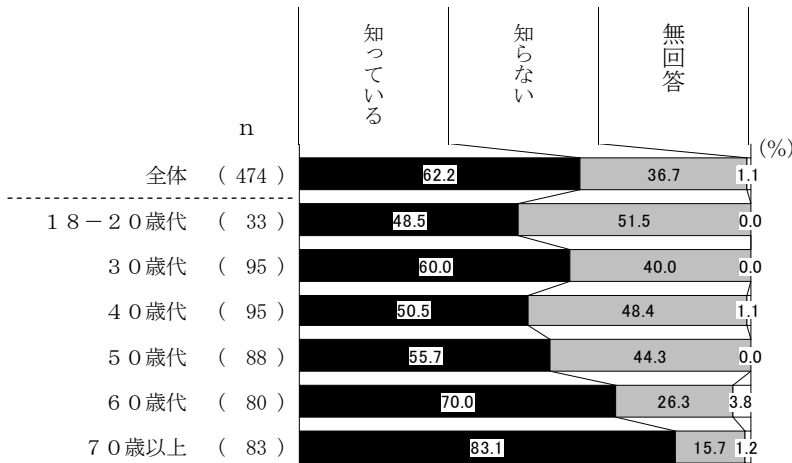
(%)

ア 一時集合場所	イ 第一次避難所	ウ 広域避難場所	すべてを知っている人の割合	
知っている	知っている	知っている	すべてを知っている	23.8
知っている	知っている	知らない	どれか1つでも知っている	58.9
知っている	知らない	知っている		
知っている	知らない	知らない		
知らない	知っている	知っている		
知らない	知っている	知らない		
知らない	知らない	知っている	どれも知らない	16.5
知らない	知らない	知らない		

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

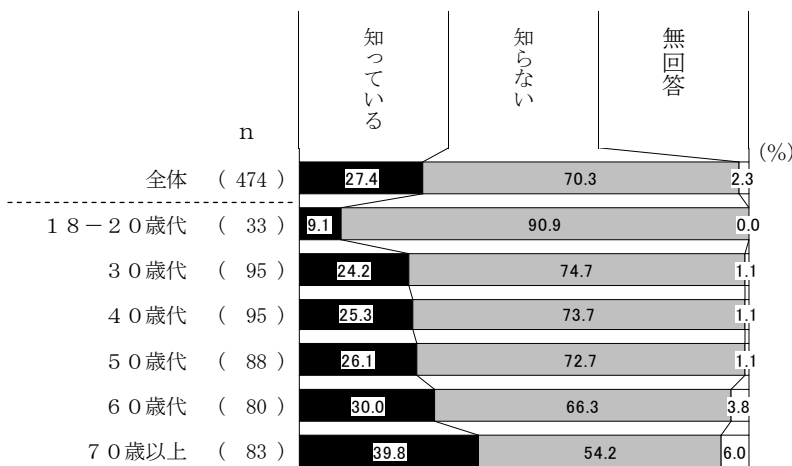
指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、第一次避難所、広域避難場所を理解している区民の割合	被害を最小限にとどめ区民の安全を確保するためには、避難場所等を知っていることは重要なため	23.8%	80%

図3-17 避難場所・避難所の理解度 ア 一時集合場所（年代別）



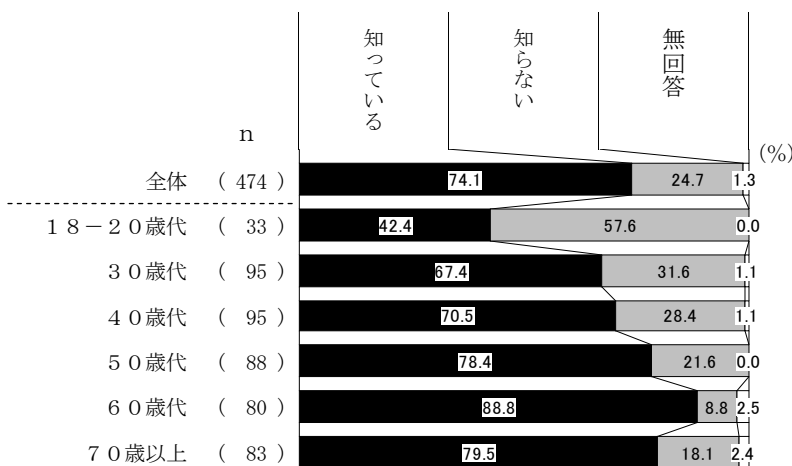
ア『一時集合場所』について年代別でみると、「知っている」は18-20歳代を除くすべての年代で5割を超える。（図3-17）

図3-18 避難場所・避難所の理解度 イ 第一次避難所（年代別）



イ『第一次避難所』について年代別でみると、「知らない」は60歳代と70歳以上を除くすべての年代で7割を超える。（図3-18）

図3-19 避難場所・避難所の理解度 ウ 広域避難場所（年代別）



ウ『広域避難場所』について年代別でみると、「知っている」は18-20歳代を除くすべての年代で6割を超える。（図3-19）

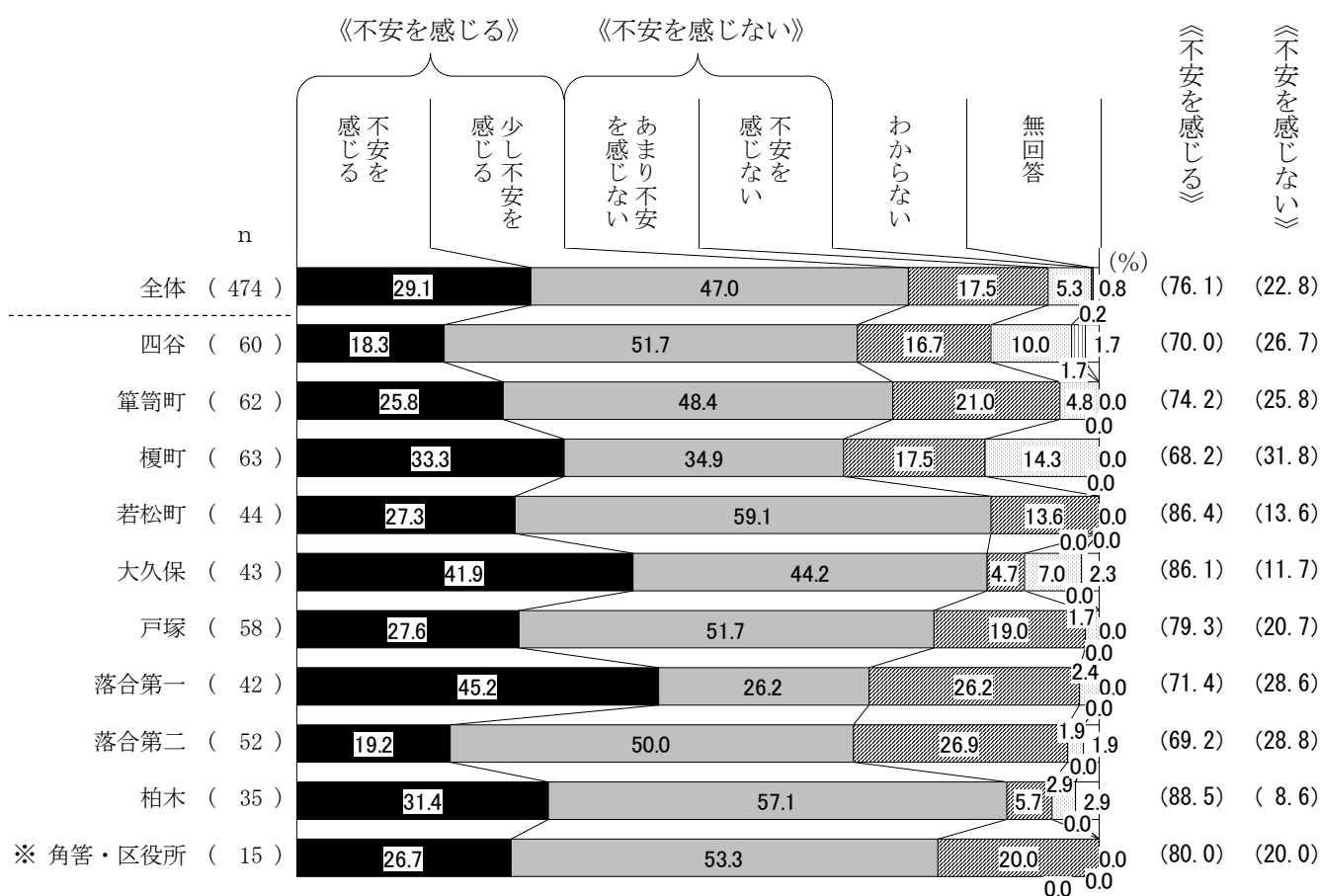
## <安全な日常生活>

### (1) 犯罪への不安

◎ 犯罪への不安を感じている人は7割台半ばと高い

問11 あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。(〇は1つ)					
(n=474)					
1	不安を感じる	29.1%	4	不安を感じない	5.3
2	少し不安を感じる	47.0	5	わからない	0.2
3	あまり不安を感じない	17.5		無回答	0.8

図3-20 犯罪への不安(居住地域別)



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

犯罪への不安としては、「不安を感じる」(29.1%)と「少し不安を感じる」(47.0%)を合わせた《不安を感じる》(76.1%)が7割台半ばを超える。一方、「あまり不安を感じない」(17.5%)と「不安を感じない」(5.3%)を合わせた《不安を感じない》(22.8%)は2割強である。

居住地域別でみると、《不安を感じる》は若松町(86.4%)、大久保(86.1%)、柏木(88.5%)で8割台半ばを超えて特に高い。(図3-20)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

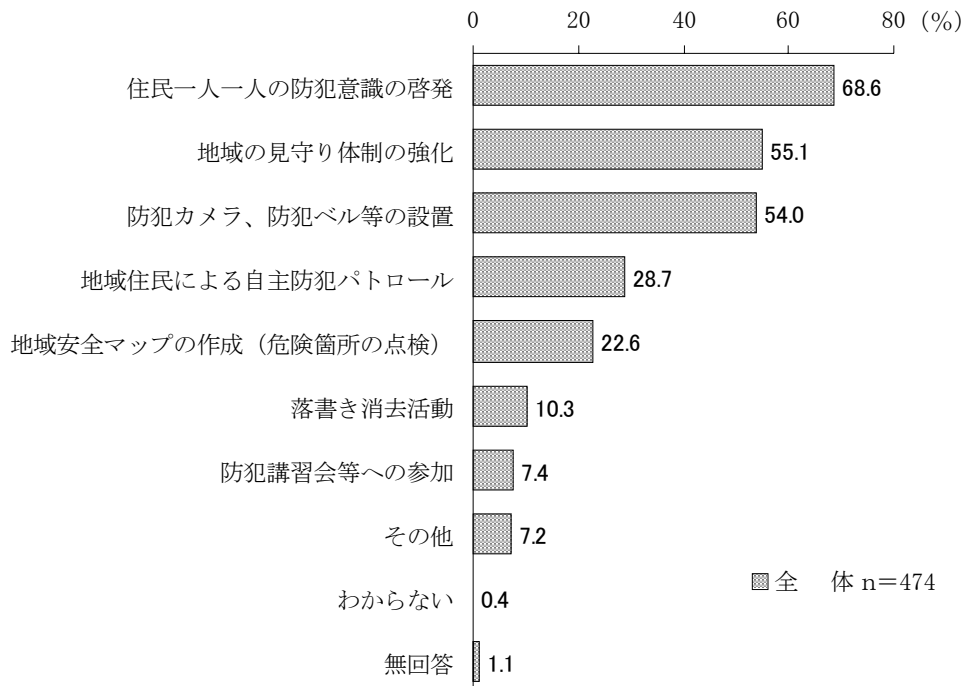
指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	安全・安心な生活については個々の施策の実施状況とあわせ、安心して暮らしているかどうかの実感が重要なため	22.8%	↑

(2) 安全・安心のまちにするための取り組み

◎ 「住民一人一人の防犯意識の啓発」が7割弱と高く、「地域の見守り体制の強化」「防犯カメラ、防犯ベル等の設置」が5割台半ばで続く

問12 あなたは、犯罪の起こりにくい、安全・安心のまちにするためにどのような取り組みが有効だと思いますか。（〇は3つまで）	
(n=474)	
1 住民一人一人の防犯意識の啓発	68.6%
2 地域の見守り体制の強化	55.1
3 地域住民による自主防犯パトロール	28.7
4 防犯カメラ、防犯ベル等の設置	54.0
5 地域安全マップの作成（危険箇所の点検）	22.6
6 落書き消去活動	10.3
7 防犯講習会等への参加	7.4
8 その他	7.2
9 わからない	0.4
無回答	1.1

図3-21 安全・安心のまちにするための取り組み（複数回答）



安全・安心のまちにするための取り組みとしては、「住民一人一人の防犯意識の啓発」（68.6%）が7割近くと最も高く、「地域の見守り体制の強化」（55.1%）と「防犯カメラ、防犯ベル等の設置」（54.0%）が5割台半ば前後で続く。（図3-21）

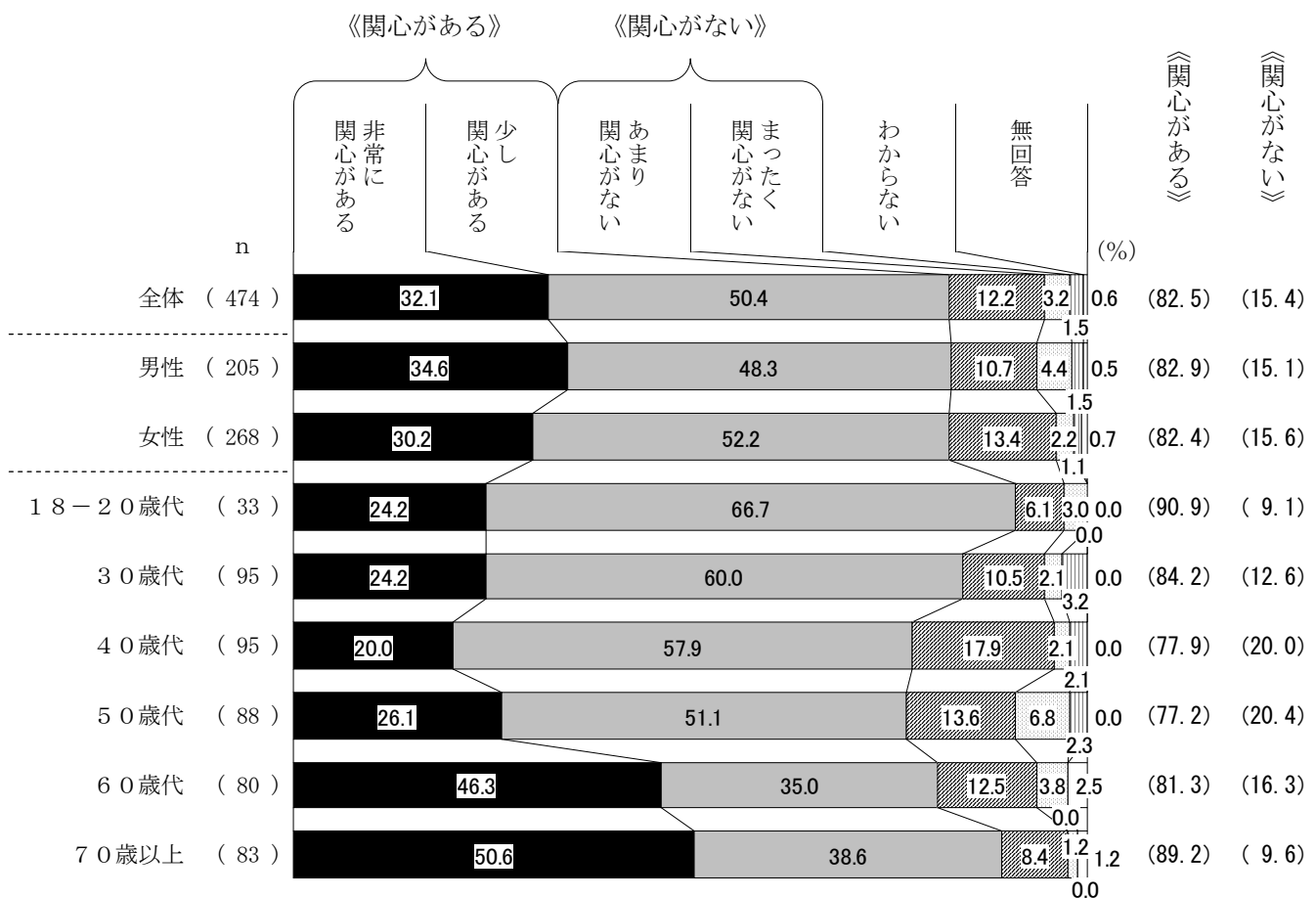
## <安心な消費生活>

### (1) 悪質商法や消費者問題への関心度

#### ◎ <<関心がある>>人は8割強

問13 あなたは、悪質商法や消費者問題に対して関心がありますか。(○は1つ)					
(n=474)					
1	非常に関心がある	32.1%	4	まったく関心がない	3.2
2	少し関心がある	50.4	5	わからない	1.5
3	あまり関心がない	12.2		無回答	0.6

図3-22 悪質商法や消費者問題への関心度(性別・年代別)



悪質商法や消費者問題への関心度としては、「非常に関心がある」(32.1%)と「少し関心がある」(50.4%)を合わせた<<関心がある>>(82.5%)が8割強である。一方、「あまり関心がない」(12.2%)と「まったく関心がない」(3.2%)を合わせた<<関心がない>>(15.4%)は1割台半ばである。

性別でみると、<<関心がある>>は男女ともに8割強となっている。年代別でみると、40歳代、50歳代を除くすべての年代で<<関心がある>>が8割を超える。一方、40歳代、50歳代で<<関心がない>>は2割となる。(図3-22)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	消費者問題に対して関心がある区民の割合により情報提供や普及啓発の進捗状況を計るため	82.5%	↑

## 基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち

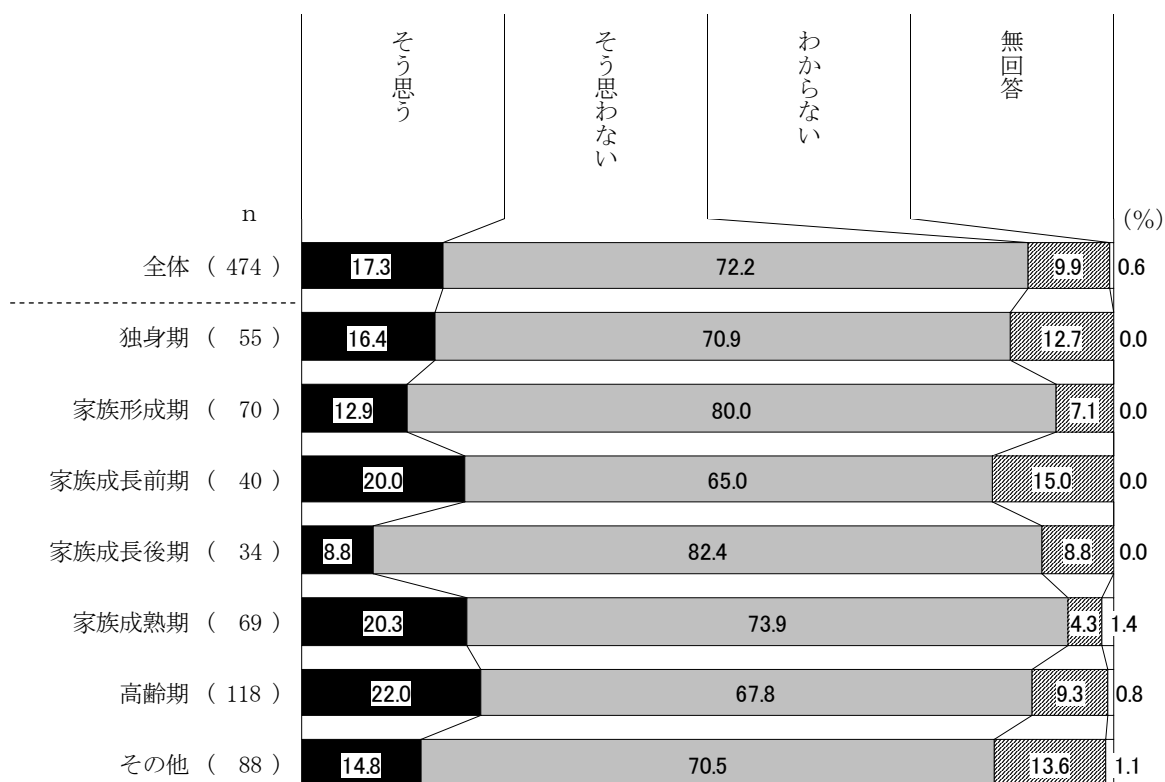
### <安全で快適な道路>

#### (1) 道路の歩きやすさ満足度

◎ 安全で快適な歩きやすい道路ではないと思う人が7割を超える

問14 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。(○は1つ)	
(n=474)	
1 そう思う	17.3%
2 そう思わない	72.2
3 わからない	9.9
無回答	0.6

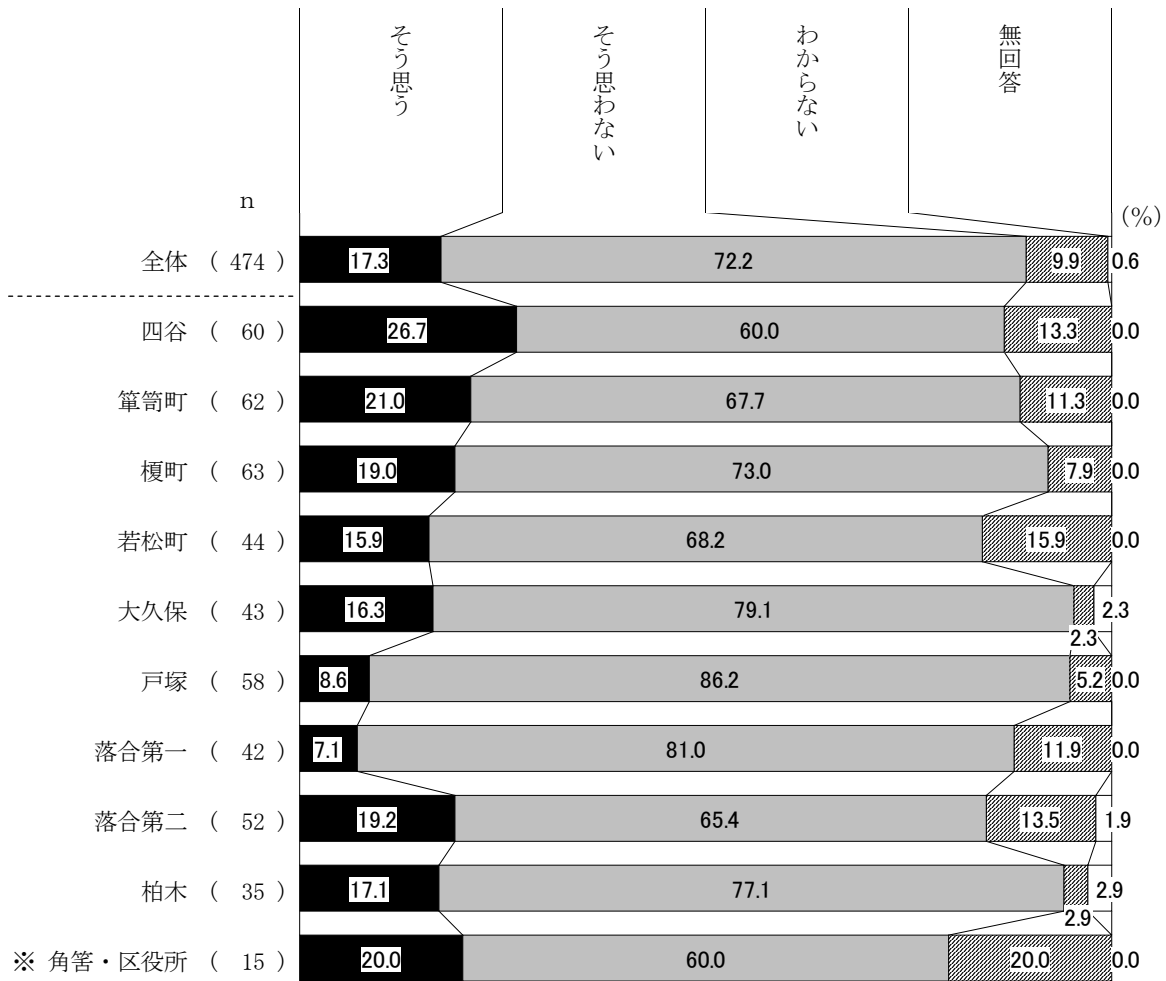
図3-23 道路の歩きやすさ満足度(ライフステージ別)



道路の歩きやすさ満足度としては、「そう思わない」(72.2%)が7割強を占めている。

ライフステージ別でみると、「そう思わない」は家族成長前期と高齢期を除くすべての層で7割を超える。(図3-23)

図3-24 道路の歩きやすさ満足度（居住地域別）



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

居住地域別で見ると、すべての地域で「そう思わない」は6割を超える。(図3-24)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	「歩きやすさ」を感じる区民の割合の増減で、放置自転車対策や道路整備の状況を検証するため	17.3%	↑

## 基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

### <美しいまちづくり>

#### (1) 景観に対する区民意識

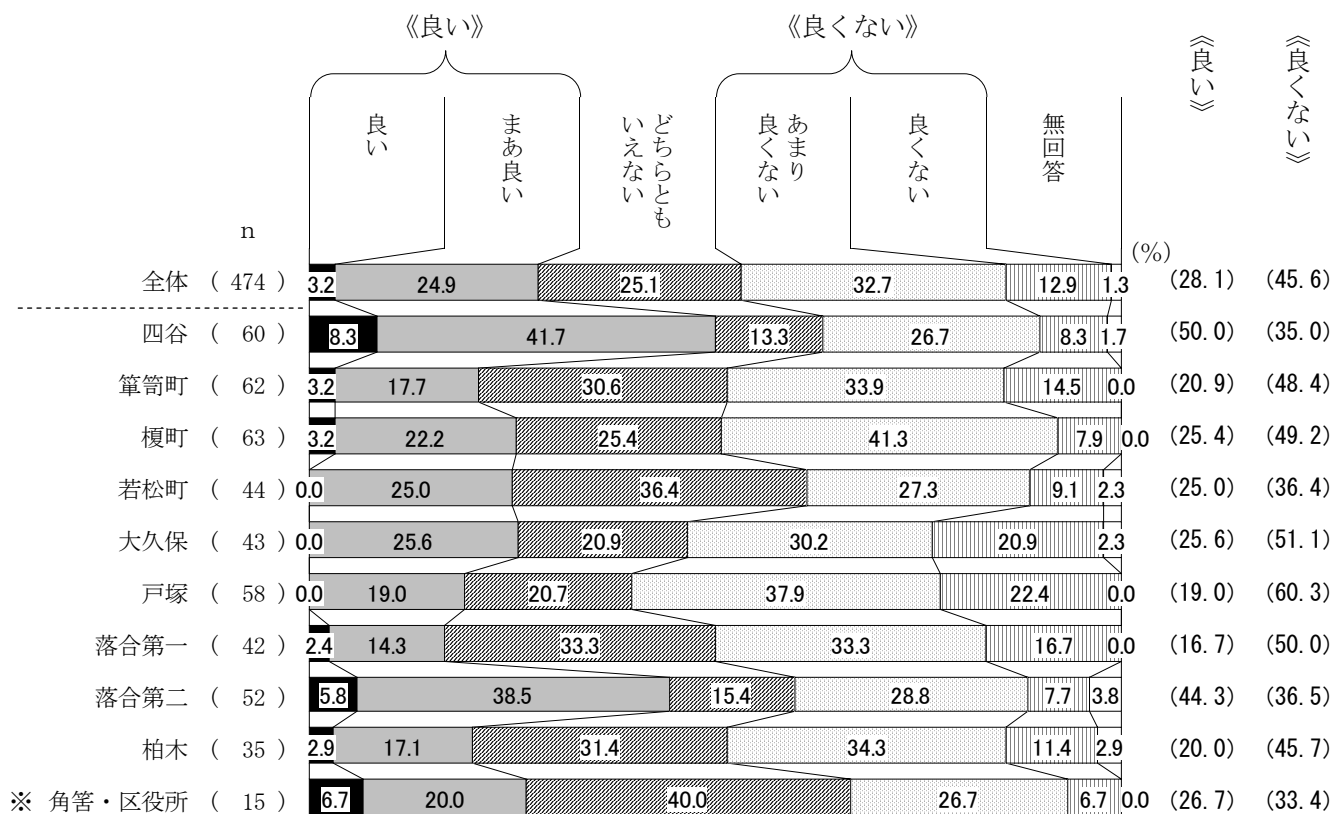
◎ まちなみや景観が《良い》と思う人は3割近く、《良くない》と思う人は4割台半ば

問15 あなたは、新宿区内のまちなみや景観は良いと思いますか。(○は1つ)

(n=474)

1 良い	3.2%	4 あまり良くない	32.7
2 まあ良い	24.9	5 良くない	12.9
3 どちらともいえない	25.1	無回答	1.3

図3-25 景観に対する区民意識(居住地域別)



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

景観に対する区民意識としては、「良い」(3.2%)と「まあ良い」(24.9%)を合わせた《良い》(28.1%)が3割近い。一方、「あまり良くない」(32.7%)と「良くない」(12.9%)を合わせた《良くない》(45.6%)は4割台半ばである。

居住地域別でみると、《良い》は四谷(50.0%)で5割、落合第二(44.3%)で4割台半ば近くと高い。一方、《良くない》は戸塚(60.3%)で約6割と高く、大久保(51.1%)と落合第一(50.0%)で5割を超える。(図3-25)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
景観に対する区民意識	まちなみや景観が良いと感じる区民の割合	美しい景観が実感できるか区民の意識を把握するため	28.1%	

(2) 新宿の景観づくりで重要なこと

◎ 「みどりの豊かさ」が6割を超える

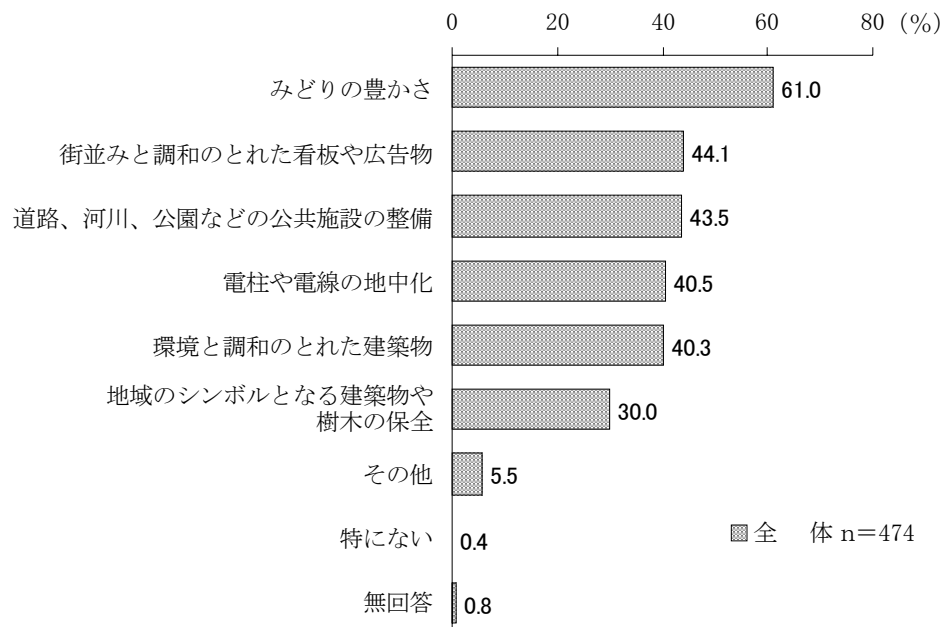
問16 あなたは、これからの新宿の景観づくりで、どのようなことが重要だと思いますか。

(○は3つまで)

(n=474)

1	地域のシンボルとなる建築物や樹木の保全	30.0%
2	環境と調和のとれた建築物	40.3
3	電柱や電線の地中化	40.5
4	みどりの豊かさ	61.0
5	道路、河川、公園などの公共施設の整備	43.5
6	街並みと調和のとれた看板や広告物	44.1
7	その他	5.5
8	特にない	0.4
	無回答	0.8

図3-26 新宿の景観づくりで重要なこと（複数回答）



新宿の景観づくりで重要なことは、「みどりの豊かさ」(61.0%)が6割強で最も高く、「街並みと調和のとれた看板や広告物」(44.1%)と「道路、河川、公園などの公共施設の整備」(43.5%)が4割台半ば近くで続く。(図3-26)

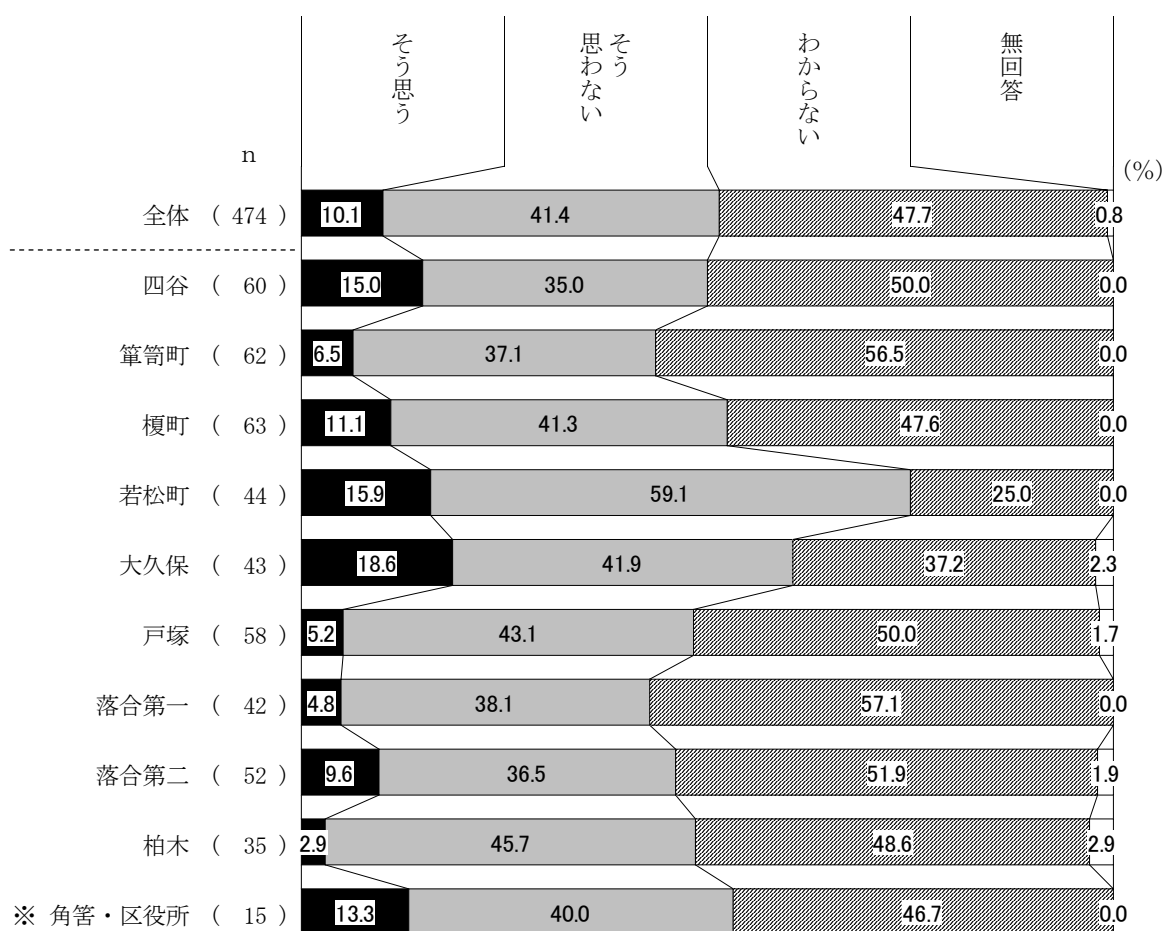
## <地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりへの意識>

(1) 地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりへの意識

◎ 「そう思わない」が4割

問17 新宿のまちは、地域の土地利用の特性をふまえたまちづくりが行われていると思いますか。(〇は1つ)					
(n=474)					
1	そう思う	10.1%	3	わからない	47.7
2	そう思わない	41.4		無回答	0.8

図3-27 地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりへの意識(居住地域別)



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりへの意識としては、「そう思わない」(41.4%)が4割強で、「そう思う」(10.1%)が1割となっている。

居住地域別でみると、「そう思う」は大久保(18.6%)、若松町(15.9%)、四谷(15.0%)で1割台半ばを超える。「そう思わない」は若松町(59.1%)で6割弱と高い。(図3-27)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状(平成19年度)	目標(平成29年度)
地域特性を踏まえたまちづくり	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	地域特性を踏まえたまちづくりを区民の実感で示すため	10.1%	

**基本目標VI 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち**

**<文化・芸術>**

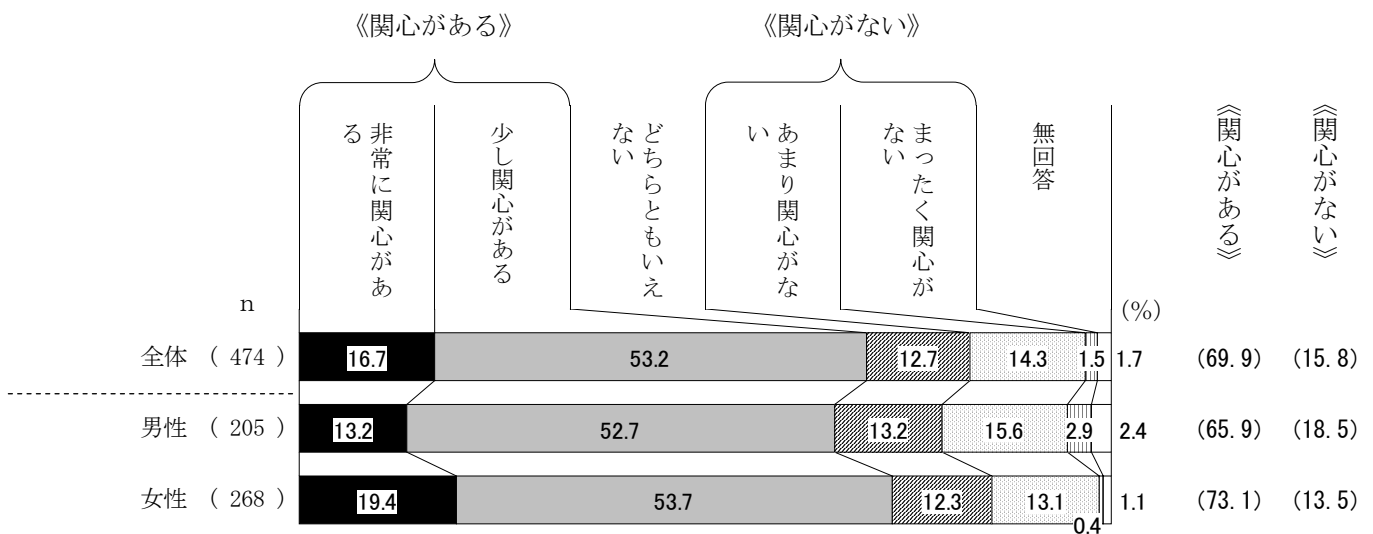
(1) 区の伝統文化・文化財への関心度

◎ <<関心がある>>が7割弱

問18 あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。(〇は1つ)  
(n=474)

1	非常に関心がある	} → (問18-1へ)	16.7%
2	少し関心がある		53.2
3	どちらともいえない		12.7
4	あまり関心がない		14.3
5	まったく関心がない		1.5
	無回答		1.7

図3-28 区の伝統文化・文化財への関心度(性別)



区の伝統文化・文化財への関心度としては、「非常に関心がある」(16.7%)と「少し関心がある」(53.2%)を合わせた<<関心がある>>(69.9%)が7割弱を占めている。一方、「あまり関心がない」(14.3%)と「まったく関心がない」(1.5%)を合わせた<<関心がない>>(15.8%)は1割台半ばとなっている。

性別でみると、<<関心がある>>は、女性(73.1%)の方が男性(65.9%)よりも高くなっている。(図3-28)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心の有無や深さ	区の伝統文化や文化財の認知度、興味の深さを示すため	69.9%	↑

(2) 関心のある伝統文化・文化財

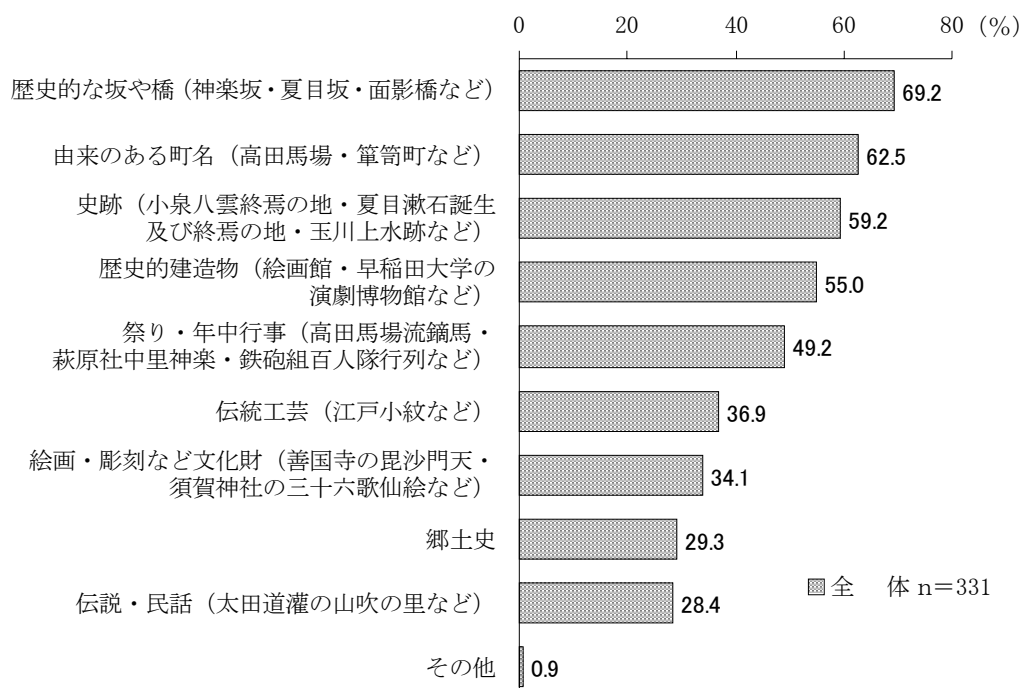
◎ 「歴史的な坂や橋」が7割弱、「由来のある町名」「史跡」「歴史的建造物」が過半数

(問18で「1 非常に関心がある」「2 少し関心がある」に○をされた方におたずねします)  
問18-1 あなたが、関心があるのはどのようなものですか。(○はいくつでも)

(n=331)

1	史跡 (小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など)	59.2%
2	歴史的建造物 (絵画館・早稲田大学の演劇博物館など)	55.0
3	由来のある町名 (高田馬場・箆筒町など)	62.5
4	歴史的な坂や橋 (神楽坂・夏目坂・面影橋など)	69.2
5	絵画・彫刻など文化財 (善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など)	34.1
6	祭り・年中行事 (高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など)	49.2
7	郷土史	29.3
8	伝説・民話 (太田道灌の山吹の里など)	28.4
9	伝統工芸 (江戸小紋など)	36.9
10	その他	0.9

図3-29 関心のある伝統文化・文化財 (複数回答)



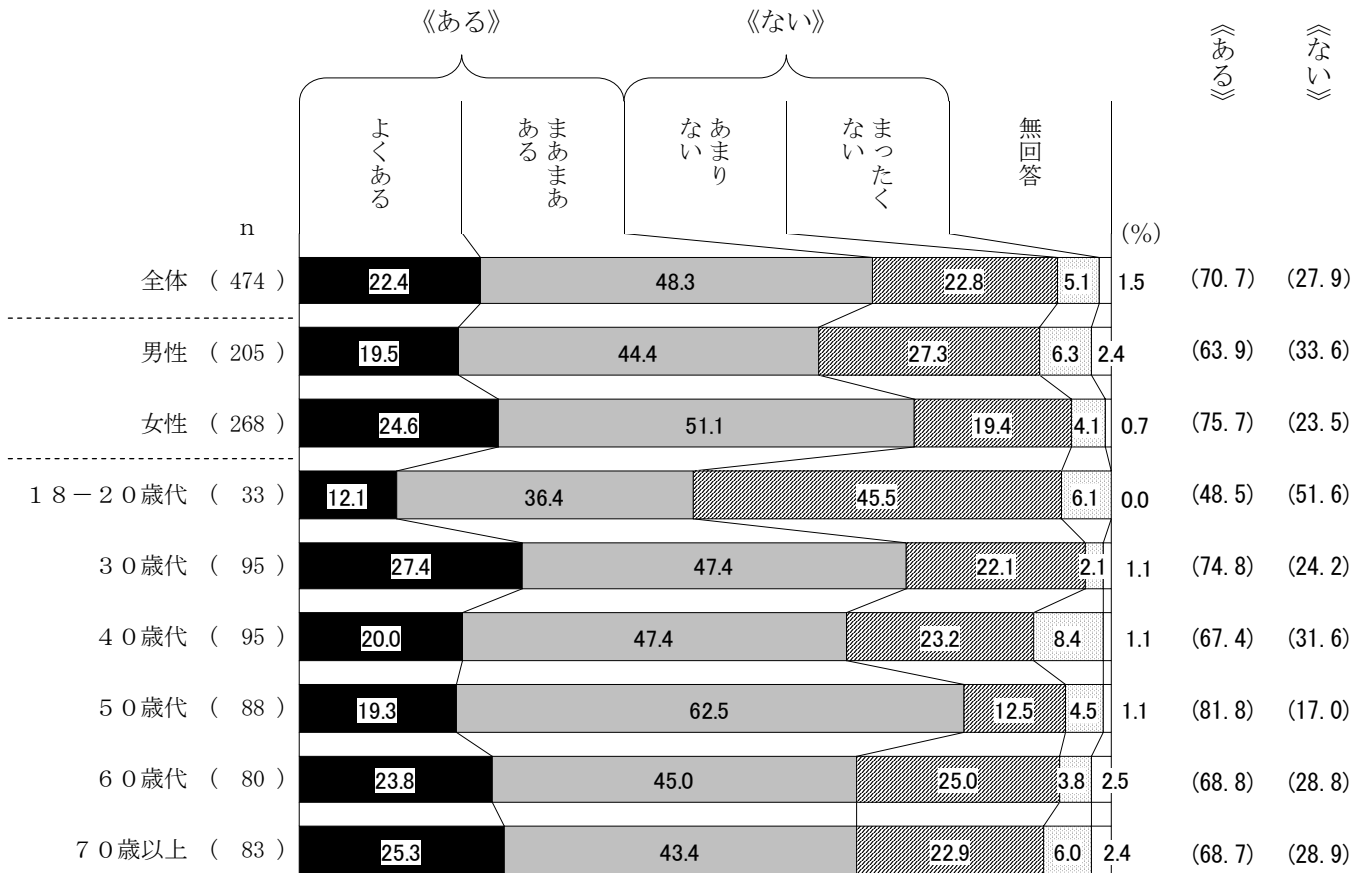
関心のある伝統文化・文化財としては、「歴史的な坂や橋」(69.2%)が7割弱と最も高く、「由来のある町名」(62.5%)、「史跡」(59.2%)、「歴史的建造物」(55.0%)が続く。(図3-29)

### (3) 文化・芸術に触れる機会の有無

#### ◎ 《ある》が7割

問19 あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術に触れる機会がありますか。(〇は1つ)						
(n=474)						
1	よくある	} → (問19-1へ)	22.4%	3	あまりない	22.8
2	まあまあある		48.3	4	まったくない	5.1
					無回答	1.5

図3-30 文化・芸術に触れる機会の有無(性別・年代別)



文化・芸術に触れる機会の有無としては、「よくある」(22.4%)と「まあまあある」(48.3%)を合わせた《ある》(70.7%)が約7割を占めている。一方、「あまりない」(22.8%)と「まったくない」(5.1%)を合わせた《ない》(27.9%)は2割台半ばを超える。

性別でみると、《ある》は女性(75.7%)の方が男性(63.9%)よりも高くなっている。

年代別でみると、《ある》は18-20歳代を除くすべての年代で6割を超えている。「ない」は18-20歳代で5割を超える。(図3-30)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	区民が文化芸術に接する機会があると感じているかを示すため	70.7%	↑

(4) 関心のある文化・芸術

◎ 「美術（絵画・彫刻など）」が約6割、「映画・ビデオ」が5割台半ばを超え高い

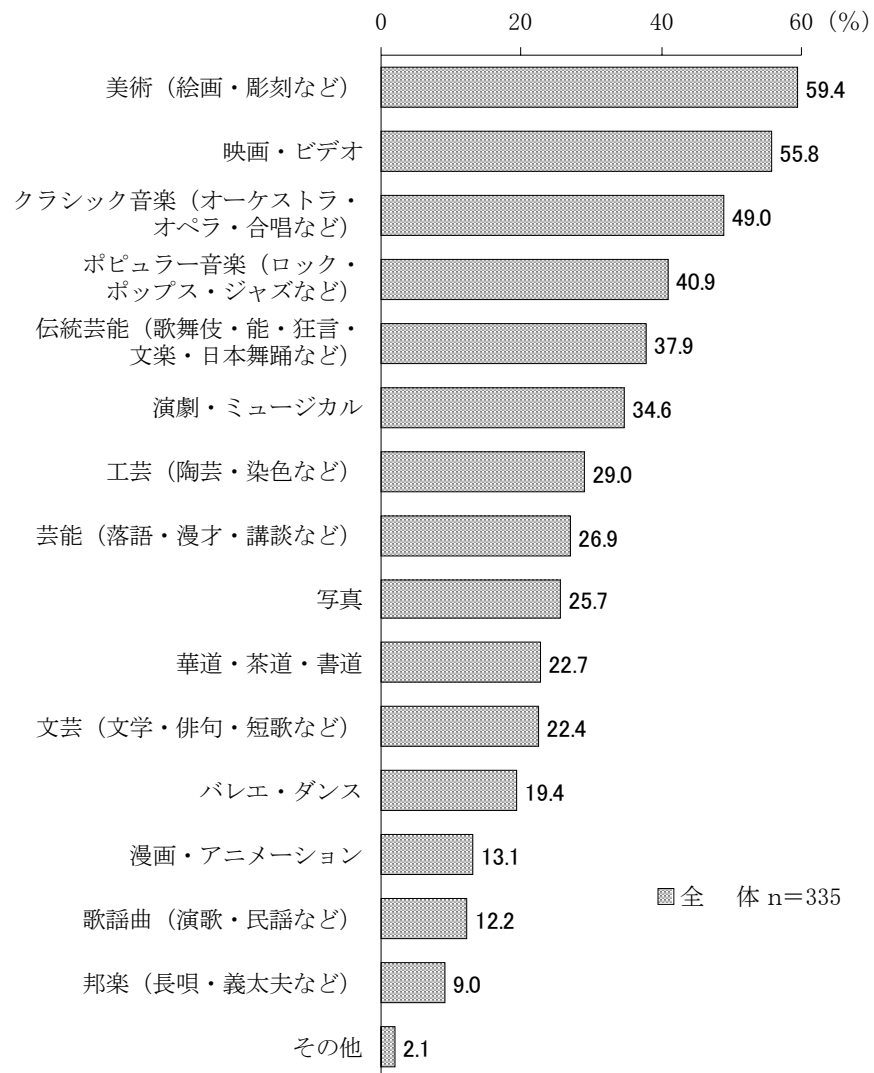
(問19で「1 よくある」「2 まあまあある」に○をされた方におたずねします)

問19-1 あなたが、関心があるものは何ですか。(○はいくつでも)

(n=335)

1	クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）	49.0%
2	ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）	40.9
3	邦楽（長唄・義太夫など）	9.0
4	歌謡曲（演歌・民謡など）	12.2
5	美術（絵画・彫刻など）	59.4
6	工芸（陶芸・染色など）	29.0
7	映画・ビデオ	55.8
8	写真	25.7
9	演劇・ミュージカル	34.6
10	バレエ・ダンス	19.4
11	伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）	37.9
12	芸能（落語・漫才・講談など）	26.9
13	華道・茶道・書道	22.7
14	文芸（文学・俳句・短歌など）	22.4
15	漫画・アニメーション	13.1
16	その他	2.1

図3-31 関心のある文化・芸術（複数回答）



関心のある文化・芸術としては、「美術（絵画・彫刻など）」（59.4%）、「映画・ビデオ」（55.8%）、「クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）」（49.0%）、「ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）」（40.9%）、「伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）」（37.9%）が上位5項目である。（図3-31）

参考 区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画・成果指標」の項目

指標名	指標の定義	現状 (平成19年度)	目標 (平成29年度)	平成19年度 調査実施	
<b>まちづくり編</b>					
基本目標Ⅰ 区民が自治の主体として、 考え、行動していきけるまち	地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	46.0%※	60%	
基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、 自分らしく成長していきけるまち	区民の人権に対する意識	性別、障害の有無、信条、職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認めあっていると思う区民の割合	29.7%		第3回
	男女共同参画に対する意識	家庭生活や職場、地域活動など、社会全体で男女が平等と感じる区民の割合	37.1%		第3回
	子育て支援に関する地域活動状況	子育て支援に関する活動に参加している人や参加意欲を持っている人の割合	56.5%	70%	第1回
	健康に対する状態	現在の健康状態を良いと感じている人の割合	70.9%		第3回
	学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を継続的に行っている区民の割合	51.7%		第3回
	学校・家庭・地域が協力した教育の取組	学校・家庭・地域が協力して教育に取り組んでいると感じる区民の割合	24.9%		第3回
基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高いくらしを 実感できるまち	区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	8.2%※	30%	
	障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	16.2%		第3回
	高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者で生きがいを感じている人の割合	94.1%		第3回
	避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、第一次避難所、広域避難場所を理解している区民の割合	23.8%	80%	第3回
	家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	81.5%	90%	第1回
	区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	22.8%		第3回
	消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	82.5%		第3回
基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち	道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	17.3%		第3回
基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を 創造するまち	景観に対する区民意識	まちなみや景観が良いと感じる区民の割合	28.1%		第3回
	地域特性を踏まえたまちづくり	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	10.1%		第3回
	公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	55.9%		第2回
基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を 創造していくまち	区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心の有無や深さ	69.9%		第3回
	文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	70.7%		第3回
<b>区政運営編</b>					
基本目標Ⅰ 好感度一番の区役所の実現	接遇応対力の向上度	職員の窓口応対の印象が「良い」と感じる人の割合	42.6%		第2回

※データ出典「平成18年度新宿区区民意識調査」

## 2 成年後見制度

### <成年後見制度の認知度>

#### (1) 成年後見制度の認知度

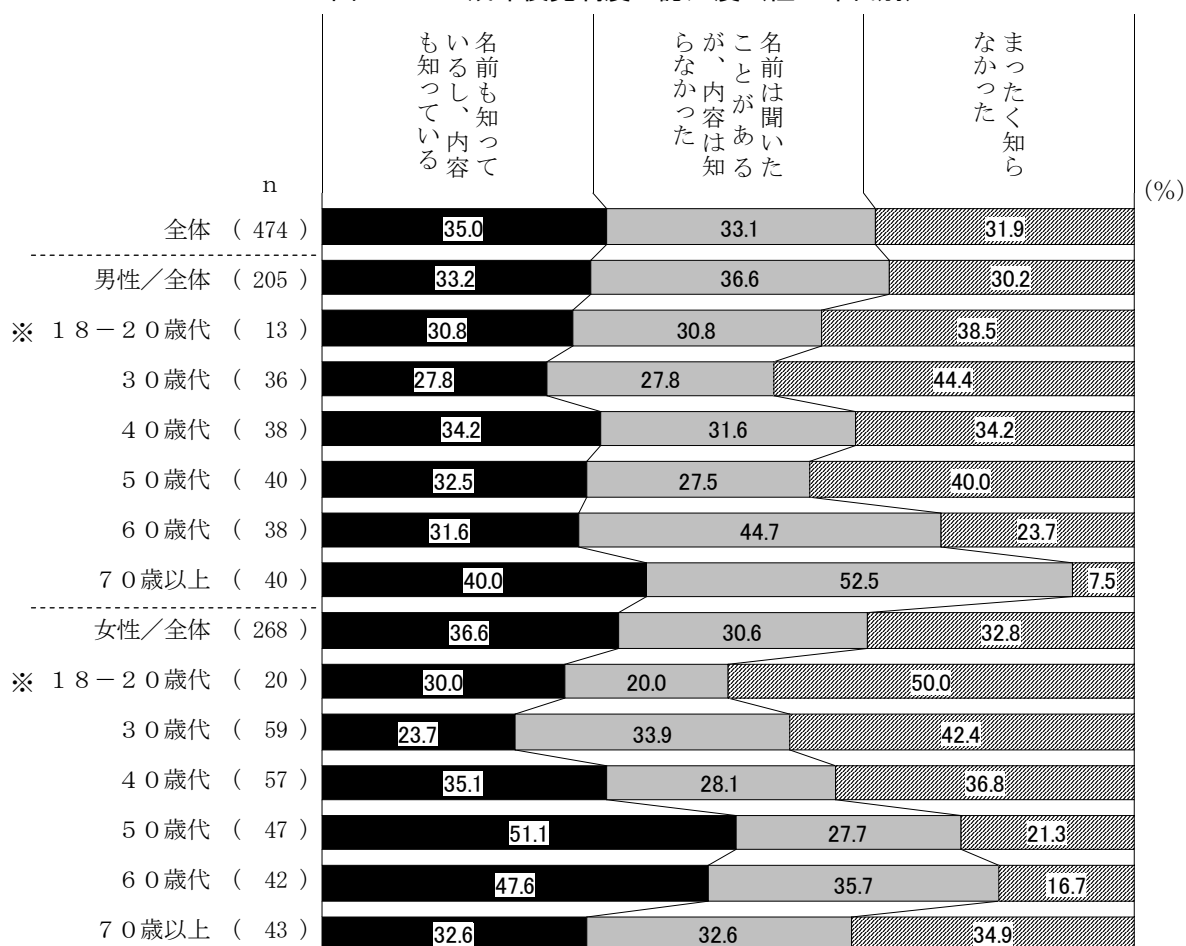
◎ 「内容まで知っている」人と「名前を聞いたことがある」人がそれぞれ3割を超える

問20 あなたは、成年後見制度をご存知ですか。(○は1つ)

(n=474)

1 名前も知っているし、内容も知っている	35.0%
2 名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった	33.1
3 まったく知らなかった	31.9

図3-32 成年後見制度の認知度(性/年代別)



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

成年後見制度の認知度としては、「名前も知っているし、内容も知っている」(35.0%)が3割台半ばで、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった」(33.1%)が3割台半ば近い。一方、「まったく知らなかった」(31.9%)は3割強である。

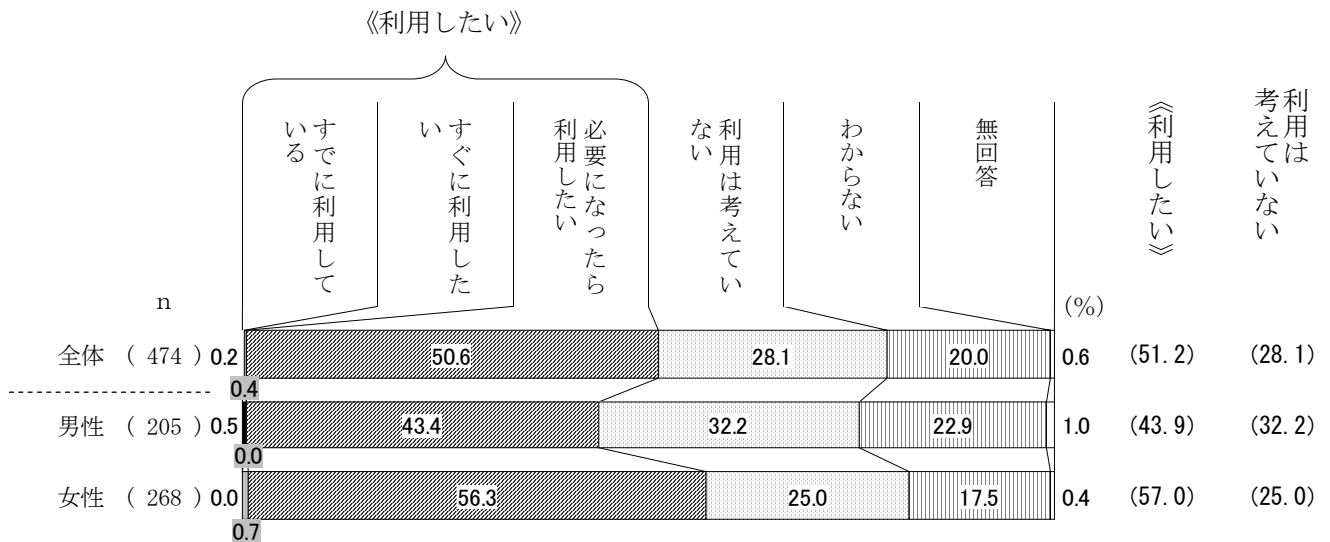
性/年代別でみると、「名前も知っているし、内容も知っている」は男女ともに30歳代を除くすべての年代で3割を超え、特に女性の50歳代(51.1%)と60歳代(47.6%)で5割前後である。「まったく知らなかった」は年代が下がるにしたがい高くなっている。(図3-32)

(2) 成年後見制度の利用意向

◎ 《利用したい》が5割強

問21 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)		
(n=474)		
1	すでに利用している	0.2%
2	すぐに利用したい	0.4
3	必要になったら利用したい	50.6
4	利用は考えていない	28.1
5	わからない	20.0
	無回答	0.6

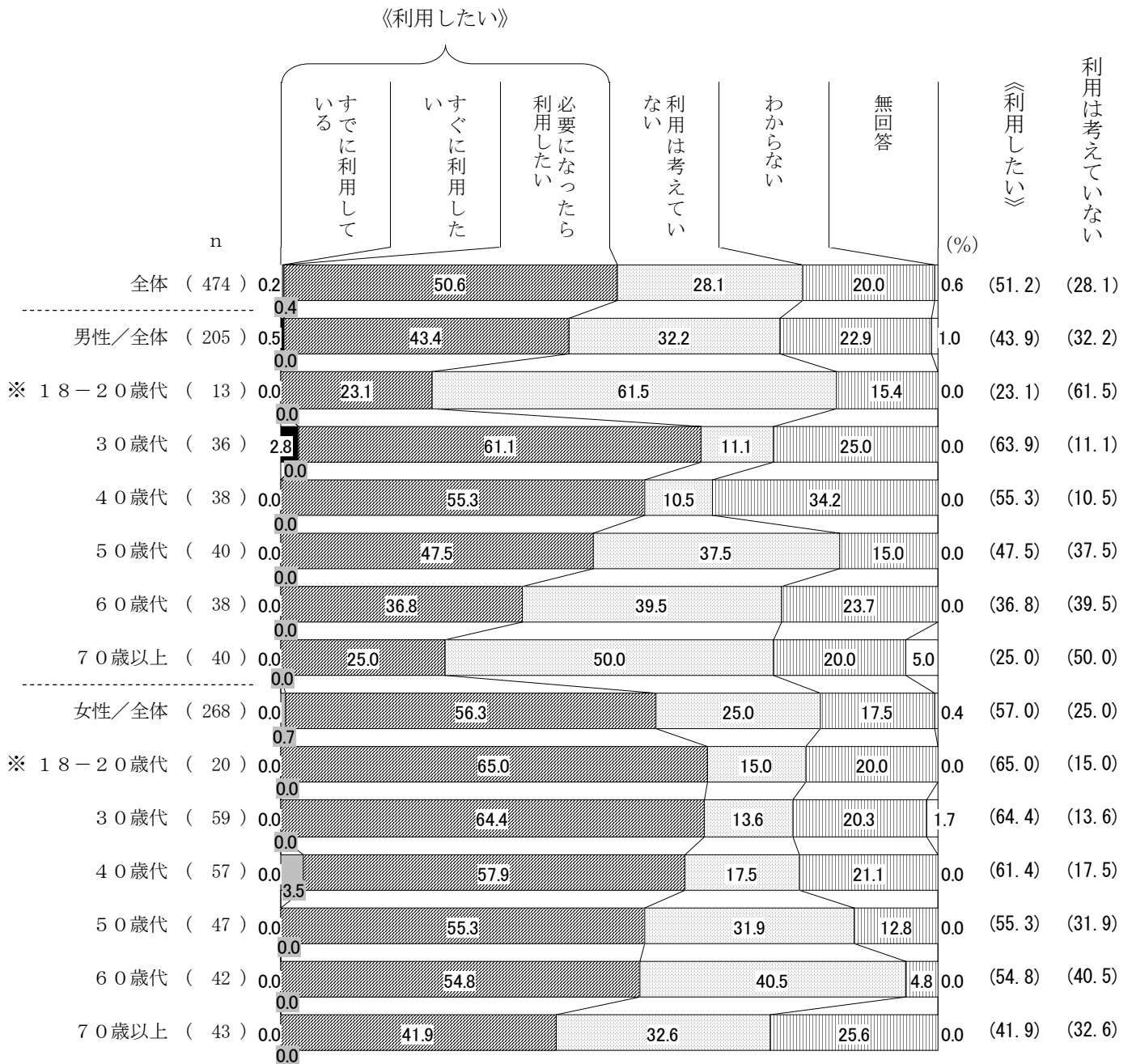
図3-33 成年後見制度の利用意向(性別)



成年後見制度の利用意向としては、「すでに利用している」(0.2%)、「すぐに利用したい」(0.4%)、「必要になったら利用したい」(50.6%)を合わせた《利用したい》(51.2%)が5割強である。一方、「利用は考えていない」(28.1%)は3割近くとなっている。

性別でみると、《利用したい》は男性(43.9%)は4割台半ば、女性(57.0%)は5割台半ばを超える。(図3-33)

図3-34 成年後見制度の利用意向（性／年代別）



(注) 図表中の※は、基数が少ないため参考までに図示することとし、文中では触れていない。

性／年代別でみると、《利用したい》は男女ともに年代が上がるにつれ低くなる傾向にある。一方、「利用は考えていない」は男性の70歳以上で5割となっている。(図3-34)

(3) 利用を考えていない理由

◎ 「家族がいるから」が7割を超える

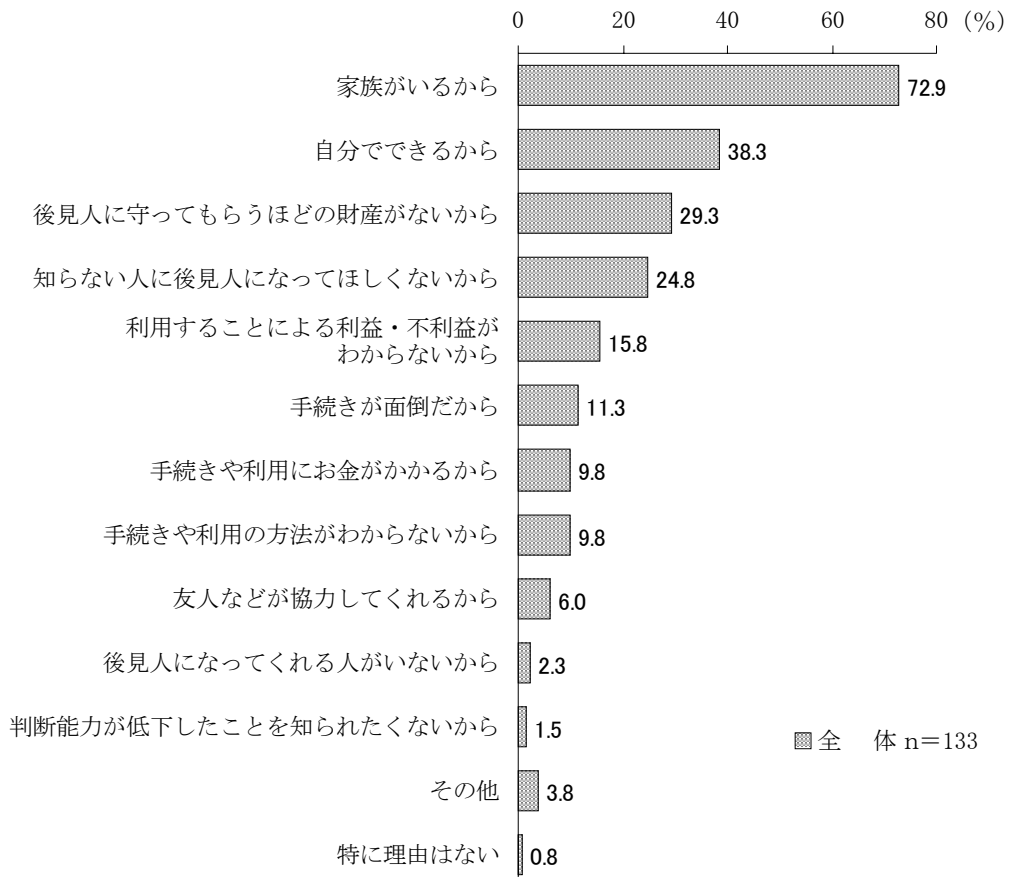
(問21で「4 利用は考えていない」に○をされた方におたずねします)

問21-1 ご利用を考えていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=133)

1	自分でできるから	38.3%
2	家族がいるから	72.9
3	友人などが協力してくれるから	6.0
4	後見人になってくれる人がいないから	2.3
5	知らない人に後見人になってほしくないから	24.8
6	後見人に守ってもらうほどの財産がないから	29.3
7	手続きや利用にお金がかかるから	9.8
8	手続きが面倒だから	11.3
9	手続きや利用の方法がわからないから	9.8
10	利用することによる利益・不利益がわからないから	15.8
11	判断能力が低下したことを知られたくないから	1.5
12	その他	3.8
13	特に理由はない	0.8

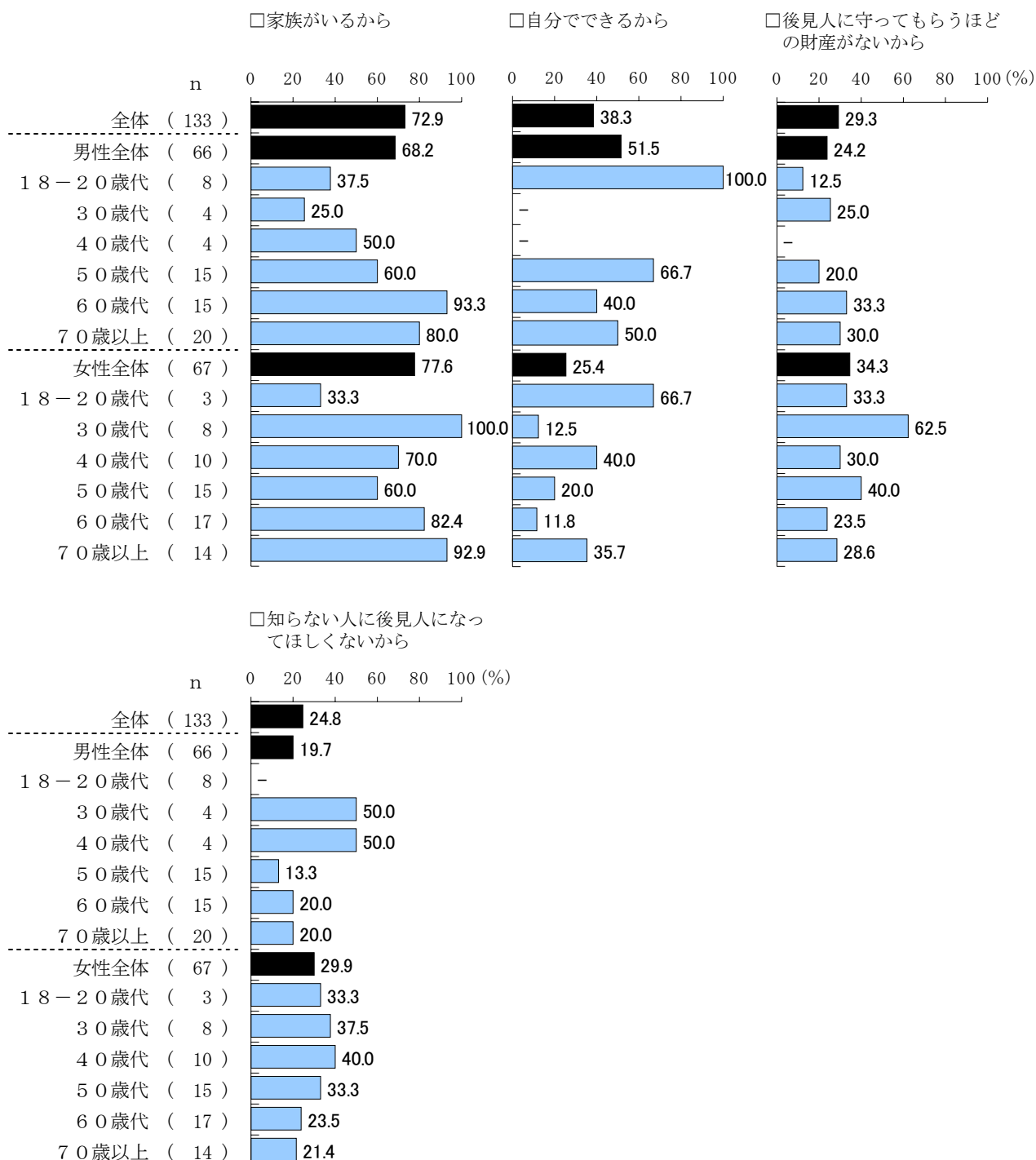
図3-35 利用を考えていない理由(複数回答)



利用を考えていない理由としては、「家族がいるから」(72.9%)が7割強で最も高い。次いで、「自分でできるから」(38.3%)が4割近い。(図3-35)

図3-36 利用を考えていない理由(性/年代別)上位4項目

(注) 図3-36は参考として表記することとした。(基数が少ないため、標本誤差が大きく信頼度が低い)



#### (4) 後見人になってほしい人

##### ◎ 「家族・親族」が7割台半ばを超える

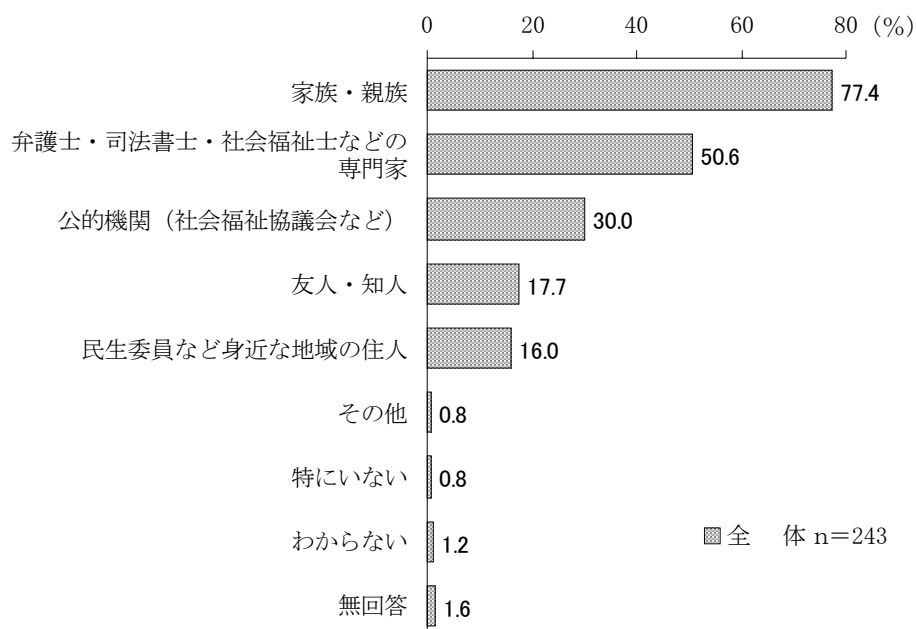
(問21で「1 すでに利用している」「2 すぐに利用したい」「3 必要になったら利用したい」に○をされた方におたずねします)

問21-2 あなたは、成年後見制度を利用する際、どのような人に後見人になってほしいと思いますか。すでに利用している人もお答えください。(○はいくつでも)

(n=243)

1	家族・親族	77.4%
2	友人・知人	17.7
3	弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家	50.6
4	民生委員など身近な地域の住人	16.0
5	公的機関(社会福祉協議会など)	30.0
6	その他	0.8
7	特にいない	0.8
8	わからない	1.2
	無回答	1.6

図3-37 後見人になってほしい人(複数回答)



後見人になってほしい人としては、「家族・親族」(77.4%)が7割台半ばを超える。次いで、「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」(50.6%)が約5割である。(図3-37)

(5) 成年後見制度で利用したいもの

- ◎ 「財産保全・管理」が7割台半ば近く、「介護施設・病院等への入所・入院手続」「各種行政手続」が7割近くで続く

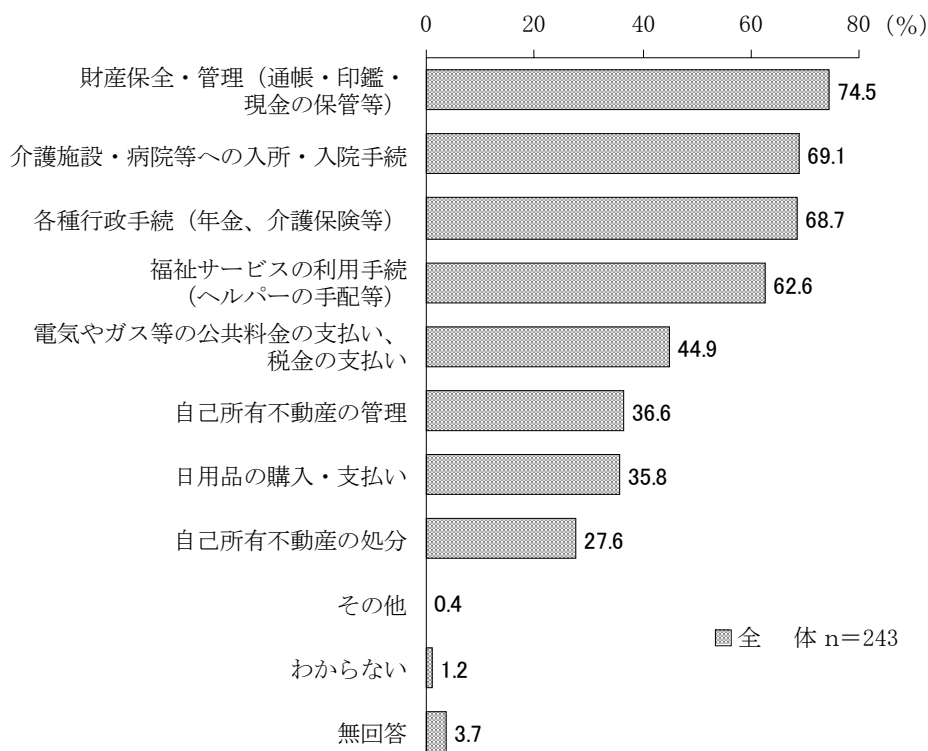
(問21で「1 すでに利用している」「2 すぐに利用したい」「3 必要になったら利用したい」に○をされた方におたずねします)

問21-3 あなたが、成年後見制度で、将来利用したいと思う(利用している)ものは何ですか。(○はいくつでも)

(n=243)

1	財産保全・管理(通帳・印鑑・現金の保管等)	74.5%
2	日用品の購入・支払い	35.8
3	電気やガス等の公共料金の支払い、税金の支払い	44.9
4	各種行政手続(年金、介護保険等)	68.7
5	介護施設・病院等への入所・入院手続	69.1
6	福祉サービスの利用手続(ヘルパーの手配等)	62.6
7	自己所有不動産の処分	27.6
8	自己所有不動産の管理	36.6
9	その他	0.4
10	わからない	1.2
	無回答	3.7

図3-38 成年後見制度で利用したいもの(複数回答)



成年後見制度で利用したいものは、「財産保全・管理(通帳・印鑑・現金の保管等)」(74.5%)が7割台半ば近く、「介護施設・病院等への入所・入院手続」(69.1%)、「各種行政手続(年金、介護保険等)」(68.7%)が続く。(図3-38)

(6) 成年後見制度普及のために必要なこと

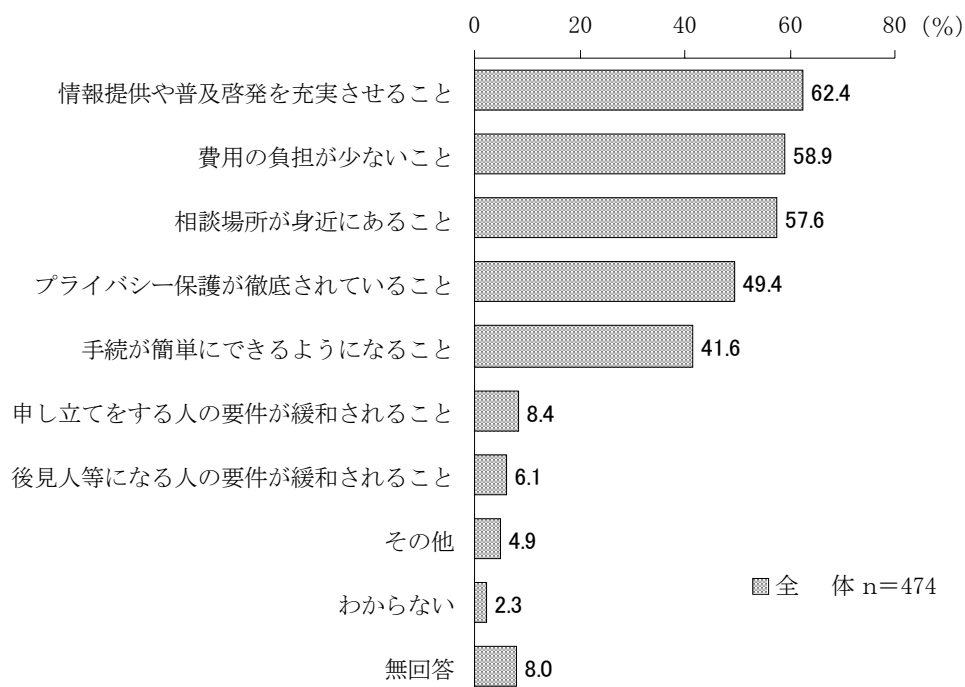
◎ 「情報提供や普及啓発を充実させること」が6割を超え、「費用負担が少ないこと」「相談場所が身近にあること」が6割弱で続く

問22 あなたは、成年後見制度がより多くの人に利用されるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(n=474)

1	情報提供や普及啓発を充実させること	62.4%
2	相談場所が身近にあること	57.6
3	費用の負担が少ないこと	58.9
4	後見人等になる人の要件が緩和されること	6.1
5	申し立てをする人の要件が緩和されること	8.4
6	プライバシー保護が徹底されていること	49.4
7	手続きが簡単にできるようになること	41.6
8	その他	4.9
9	わからない	2.3
	無回答	8.0

図3-39 成年後見制度普及のために必要なこと(複数回答)



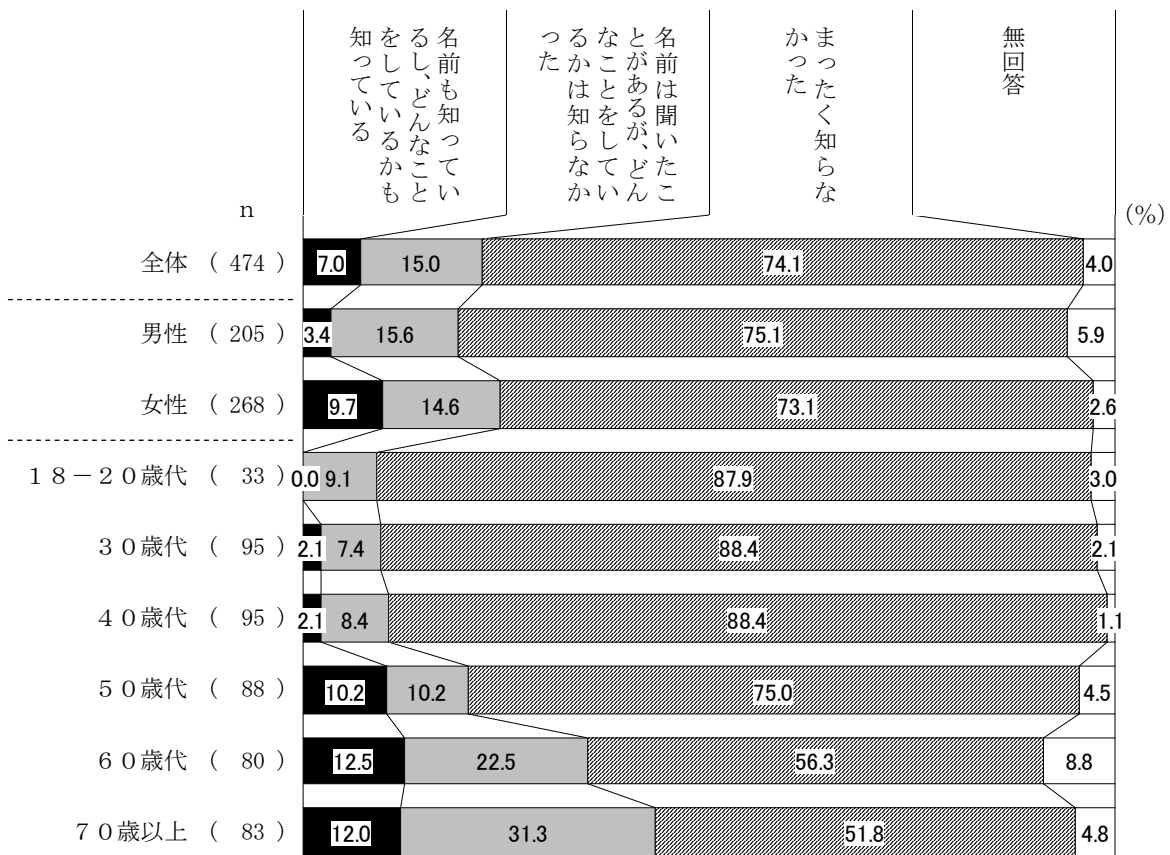
成年後見制度普及のために必要なことは、「情報提供や普及啓発を充実させること」が62.4%と最も高く、「費用の負担が少ないこと」が58.9%、「相談場所が身近にあること」が57.6%で続く。(図3-39)

(7) 新宿区成年後見センターの認知度

◎ 「まったく知らなかった」が7割台半ばに近い

問23 あなたは、新宿区成年後見センターをご存知でしたか。(○は1つ)		
(n=474)		
1	名前も知っているし、どんなことをしているかも知っている	7.0%
2	名前は聞いたことがあるが、どんなことをしているかは知らなかった	15.0
3	まったく知らなかった	74.1
	無回答	4.0

図3-40 新宿区成年後見センターの認知度(性別・年代別)



新宿区成年後見センターの認知度としては、「まったく知らなかった」(74.1%)が7割台半ば近くを占める。「名前は聞いたことがあるが、どんなことをしているかは知らなかった」(15.0%)が1割台半ばである。

性別で見ると、「まったく知らなかった」は、男女とも7割以上となっている。

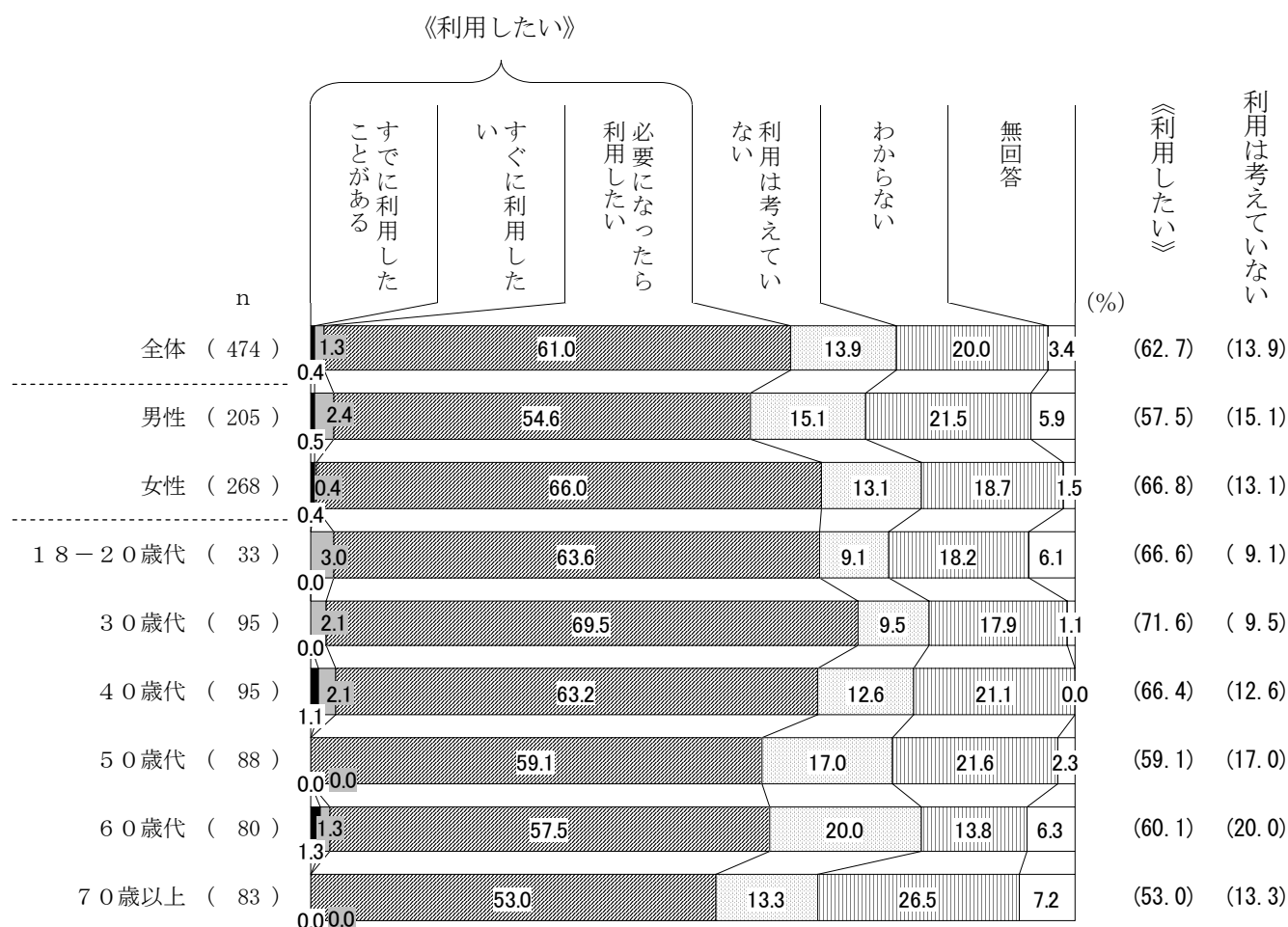
年代別で見ると、年代が上がるにつれ「まったく知らなかった」は低くなる傾向にある。(図3-40)

## (8) センター相談窓口の利用意向

### ◎ 《利用したい》が6割を超えている

問24 あなたは、センターの相談窓口を利用したいと思いますか。(〇は1つ)		
(n=474)		
1	すでに利用したことがある	0.4%
2	すぐに利用したい	1.3
3	必要になったら利用したい	61.0
4	利用は考えていない	13.9
5	わからない	20.0
	無回答	3.4

図3-41 センター相談窓口の利用意向(性別・年代別)



センター相談窓口の利用意向としては、「すでに利用したことがある」(0.4%)、「すぐに利用したい」(1.3%)、「必要になったら利用したい」(61.0%)を合わせた《利用したい》(62.7%)は6割を超え、「利用は考えていない」(13.9%)は1割台半ば近くとなっている。

性別で見ると、《利用したい》は女性(66.8%)は6割台半ばを超え、男性(57.5%)は5割台半ばを超える。

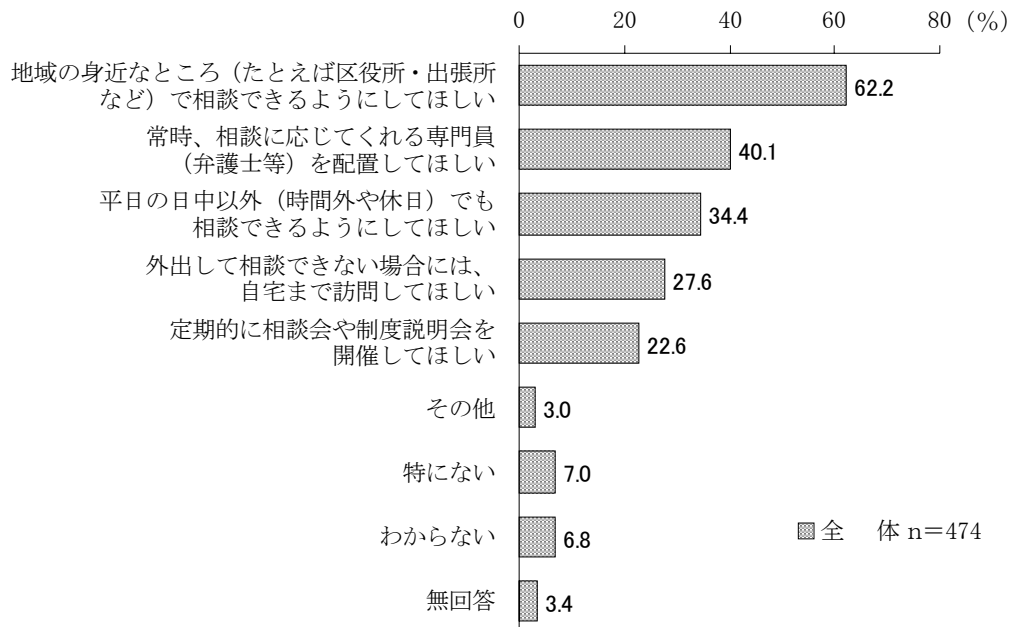
年代別で見ると、《利用したい》(71.6%)は30歳代で7割を超え、それ以降の年代では下がる傾向にある。(図3-41)

(9) 新宿区成年後見センターの相談に期待すること

◎ 「地域の身近なところで相談できるようにしてほしい」が6割を超える

問25 あなたは、新宿区成年後見センターの相談にどのようなこと望みますか。	
(〇はいくつでも)	
(n=474)	
1 地域の身近なところ（たとえば区役所・出張所など）で相談できるようにしてほしい	62.2%
2 平日の日中以外（時間外や休日）でも相談できるようにしてほしい	34.4
3 常時、相談に応じてくれる専門員（弁護士等）を配置してほしい	40.1
4 定期的に相談会や制度説明会を開催してほしい	22.6
5 外出して相談できない場合には、自宅まで訪問してほしい	27.6
6 その他	3.0
7 特にない	7.0
8 わからない	6.8
無回答	3.4

図3-42 新宿区成年後見センターの相談に期待すること（複数回答）



新宿区成年後見センターの相談に期待することは、「地域の身近なところで相談できるようにしてほしい」（62.2%）が6割を超え、「常時、相談に応じてくれる専門員を配置してほしい」（40.1%）、「平日の日中以外でも相談できるようにしてほしい」（34.4%）が続く。（図3-42）

### Ⅲ 資料（調査票）

# 第1回



第1回モニターアンケート・テーマ

- 1 新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～
- 2 ごみの発生抑制と新しい分別方法
- 3 震災に備えて
- 4 コールセンターの開設に向けて
- 5 区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ

<回答者の属性>

ご回答いただいた調査結果を統計処理する際に必要ですので、ご記入下さい。

(1) あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) あなたの年齢(満年齢)を次の中からお選びください。(○は1つ)

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 5 40～44歳 | 9 60～64歳  |
| 2 25～29歳 | 6 45～49歳 | 10 65～69歳 |
| 3 30～34歳 | 7 50～54歳 | 11 70～74歳 |
| 4 35～39歳 | 8 55～59歳 | 12 75歳以上  |

(3) あなたのご職業を次の中からお選びください。(○は1つ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 商工・サービス業の自営     | 8 サービス職・技能職・労務職 |
| 2 商工・サービス業の家族従業者  | 9 パート・アルバイト     |
| 3 自由業(医師、弁護士等)    | 10 専業主婦(主夫)     |
| 4 会社・団体役員         | 11 学生           |
| 5 会社・団体管理職(部課長以上) | 12 その他( )       |
| 6 専門技術職           | 13 無職           |
| 7 事務職             |                 |

(4) 現在のあなた自身について、次の中からお選びください。(○は1つ)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 単身者                 | 5 子どもがいる (一番上が高・大学生) |
| 2 子どものいない夫婦           | 6 子どもがいる (一番上が学校を卒業) |
| 3 子どもがいる (一番上が小学校入学前) | 7 生計を別にした子どもがいる      |
| 4 子どもがいる (一番上が小・中学生)  | 8 その他 ( )            |

(5) 現在のあなたのお住まいの居住形態を、次の中からお選びください。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 一戸建て (持ち家)                   |
| 2 一戸建て (借家。一戸建て社宅も含む)          |
| 3 分譲マンション                      |
| 4 民間の賃貸アパート・マンション (借り上げの社宅も含む) |
| 5 公団・公社の賃貸住宅                   |
| 6 都営・区営住宅                      |
| 7 公務員宿舎                        |
| 8 間借り・住込み                      |
| 9 その他 ( )                      |

(6) あなたのお住まいの地域をお選びください。(○は1つ。地域は表紙の回答者欄に記載されています)

- |       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 1 四谷  | 5 大久保  | 9 柏木      |
| 2 笹笥町 | 6 戸塚   | 10 角筈・区役所 |
| 3 榎町  | 7 落合第一 |           |
| 4 若松町 | 8 落合第二 |           |

## テーマ1 新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言～

新宿区は、平成17年2月、「新宿区次世代育成支援計画～子育てみんなで応援宣言」を策定しました。

この計画は、新宿区の子どもと、子育て家庭を、行政・地域など社会全体で応援し、新宿が子育てしやすいまちと実感できるようにすることを目指したものです。現在、区は、この計画の推進に力を入れて取り組んでいます。

今回、次世代育成支援計画や子育て支援活動などに関する皆様の意識をお聴きし、計画のより一層の推進に役立てていきたいと考えています。

### < 新宿区次世代育成支援計画の周知度 >

問1 あなたは、「新宿区次世代育成支援計画」を知っていましたか。(○は1つ)

- 1 計画の名前もその内容も知っていた
- 2 計画の名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった
- 3 まったく知らなかった

### < 子育てについて >

問2 現在、子育て(0歳から15歳までの子ども)をしていますか。(○は1つ)

- |       |              |
|-------|--------------|
| 1 はい  | → 問2-1、問2-2へ |
| 2 いいえ | → 問3へ        |

(問2で「1 はい」に○をされた方におたずねします)

問2-1 子育てが「つらい」と感じることはありませんか。(○は1つ)

- 1 全く感じたことはない
- 2 たまに感じることもある
- 3 そう感じる人が多い
- 4 いつも「つらい」と感じている
- 5 わからない

(問2で「1 はい」に○をされた方におたずねします)

☆区では次世代育成支援計画に基づき、下記のような子育て家庭をサポートする事業を実施しています。それぞれの事業については同封の「用語解説1(子育て家庭をサポートする事業)」をご参照ください。

問2-2 あなたやあなたのご家族が、今後、利用したいものはどれですか(現在利用しているものも含む)。(○はいくつでも)

1 子ども家庭支援センター	10 保育園等の一時保育
2 地域子育て支援センター	11 保育園の病後児保育
3 保育園・幼稚園での子育て相談	12 子どもショートステイ
4 子ども発達センター	13 児童館
5 教育センターの教育相談	14 子ども図書館
6 保健センターの育児相談	15 幼稚園での未就学親子への園施設開放
7 四谷子ども園(公開講座・相談)	16 区立公園でのプレイパーク(冒険遊び場)活動
8 子ども育児支援家庭訪問事業	17 ゆったりーの(親子の居場所)
9 ファミリーサポート事業	18 その他( )

< 子育て支援に関する地域活動 >

(すべての方におたずねします)

問3 あなたは、子育て支援に関する活動をしていますか。(○は1つ)

1 現在、活動している	→ 問3-1へ
2 かつて活動したことがあるが、現在は活動していない	→ 問3-2へ
3 活動したいと思っているが、活動していない	→ 問4へ
4 活動したいと思わない	

(問3で「1 現在、活動している」「2 かつて活動したことがあるが、現在は活動していない」に○をされた方におたずねします)

問3-1 それはどんな活動ですか。(○はいくつでも)

1 一時保育、ショートステイなどの保育支援	10 自主的な教育講座、講習会の開催
2 保育所の送り迎え	11 子どもと子育て家庭を対象にした体験学習やスポーツイベントの企画・運営
3 子育てに関する相談	12 家庭教育学級・家庭教育講座の企画・運営
4 子育て情報の収集・発信	13 安全で安心して遊べる公園づくり
5 子育て家庭の仲間づくり	14 プレイパーク(冒険遊び場)活動
6 世代間の交流	15 非行防止などの青少年健全育成活動
7 児童館や保育園などでのボランティア	16 事件や犯罪防止のための安全パトロール
8 学校でのPTA・ボランティア	17 交通安全活動
9 本の読み聞かせボランティア	18 その他( )

(問3で「3 活動したいと思っているが、活動していない」に○をされた方におたずねします)

**問3-2 活動したいが、活動していない理由は何ですか。(○はいくつでも)**

1	どうしたら活動できるかわからない
2	活動の場があるのは知っているが、きっかけがない
3	忙しいので活動する余裕がない
4	その他 ( )
5	わからない

(すべての方におたずねします)

**問4 新宿区は安心して子育てができるまちだと思いますか。**

ア～エそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	わからない
ア 子育てしやすい子育て支援サービスが充実している	1	2	3	4
イ 子育てしやすい遊び場などの環境が整っている	1	2	3	4
ウ 子連れでも外出しやすい、子育てのためのバリアフリーが根付いている	1	2	3	4
エ 子どもを事件・犯罪等から守る取り組みが充実している	1	2	3	4

**< 安心して子育てができる環境 >**

**問5 安心して子育てができる環境づくりのために、あなたが必要だと思うものは何ですか。(○は5つまで)**

1	段差の解消や、授乳・おむつ交換スペースの確保などまちのバリアフリー
2	周囲の子育てへの協力・関心などの心のバリアフリー
3	子育てに適した住宅環境
4	子育ての相談窓口の充実
5	子育てのための講座・講習
6	安全で安心して遊べる公園づくりやプレイパーク(冒険遊び場)などの活動の充実
7	事件や犯罪防止のための安全パトロールの充実
8	交通安全活動の充実
9	その他 ( )

## テーマ2 ごみの発生抑制と新しい分別方法

限りある資源を有効に活用し、環境への負荷を抑えた生活を送るためには、まず、ごみの発生そのものを抑えることが重要です。例えばレジ袋は1人年間300枚使われているとも言われ、レジ袋削減は重要な課題です。また、ごみの減量を促すために家庭ごみの有料化を実施する自治体も増えてきました。

一方、新宿区では、20年度より容器包装プラスチックを資源として回収し、資源とならないプラスチックとゴム・皮革は可燃物として収集します。(モデル実施地区では19年7月から。)

今回、区政モニターの皆さんに、ごみ発生抑制のためのレジ袋の削減や家庭ごみの有料化についての意識や、新しい分別方法についての考えをお聴きし、今後の施策に役立てていきます。

### < レジ袋の削減 >

問6 買い物をした時、あなたはレジ袋を受け取りますか。(○は1つ)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 毎回受け取る            | → 問6-1、問6-2へ |
| 2 断ることもあるが、受け取る方が多い |              |
| 3 受け取ることもあるが、断る方が多い |              |
| 4 受け取らない            |              |
| 5 わからない             |              |

(問6で「1 毎回受け取る」「2 断ることもあるが、受け取る方が多い」「3 受け取ることもあるが断る方が多い」に○をされた方におたずねします)

問6-1 レジ袋を受け取る理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1 買い物袋(マイバッグ)を持つ習慣がないから        |  |
| 2 仕事などの都合で買い物袋(マイバッグ)を携帯できないから |  |
| 3 都合で買い物袋(マイバッグ)を忘れてしまったときだけ使う |  |
| 4 ごみ袋などとして使うため                 |  |
| 5 店で渡されるから                     |  |
| 6 その他 ( )                      |  |
| 7 わからない                        |  |

(問6で「1 毎回受け取る」「2 断ることもあるが、受け取る方が多い」「3 受け取ることもあるが断る方が多い」に○をされた方におたずねします)

問6-2 レジ袋削減を目的に、レジ袋を有料化するスーパー等が増えていますが、よく利用するお店がレジ袋を有料化したら、あなたはどうしますか。(○は1つ)

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1 買い物袋(マイバッグ)を持っていく |  |
| 2 有料でレジ袋を使う         |  |
| 3 レジ袋が無料のお店で買い物をする  |  |
| 4 その他 ( )           |  |
| 5 わからない             |  |

## < 家庭ごみの有料化 >

(すべての方におたずねします)

**問7** ごみの減量施策として、家庭ごみの有料化を実施している自治体もありますが、あなたは、家庭ごみの有料化についてどう思いますか。(○は1つ)

1 有料化すべき	→	問7-1へ
2 有料化はやむを得ない		
3 有料化すべきでない	→	問7-2へ
4 わからない	→	問8へ

(問7で「1 有料化すべき」「2 有料化はやむを得ない」に○をされた方におたずねします)

**問7-1** あなたが「有料化すべき」、「有料化はやむを得ない」と思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 ごみ減量に対する当事者意識が高まるから	
2 ごみの減量が進み、最終処分場の延命が図れるから	
3 自分の出したごみの処分に対して費用を負担するのは当然だから	
4 ごみ減量の努力をすれば負担額が減るため、費用負担の公平化が図られるから	
5 有料化により、税金を別の施策に使えるから	
6 その他 ( )	
7 わからない	

(問7で「3 有料化すべきでない」に○をされた方におたずねします)

**問7-2** あなたが「有料化すべきでない」と思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 有料化してもごみの減量につながらないから	
2 ごみの不法投棄が増えるから	
3 きちんと支払う人と支払わない人とで不公平が生じるから	
4 家計の負担になるから	
5 ごみになる部分が多い製品、包装を見直す方が先決だから	
6 その他 ( )	
7 わからない	

## < 資源・ごみの分別方法の変更 >

☆平成20年4月から、容器包装プラスチックは資源、その他のプラスチック製品やごみ・皮革は可燃ごみとなります。(モデル地区では平成19年7月から実施しています)


問8 あなたは容器包装プラスチックは資源、その他のプラスチック製品やごみ・皮革は可燃ごみとなることを知っていましたか。(○は1つ)

1 知っていた	→	問8-1へ
2 知らなかった	→	問9へ

(問8で「1 知っていた」に○をされた方におたずねします)

問8-1 あなたはどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

1 区の広報紙
2 区のホームページ
3 戸別配布されたチラシ(分け方・出し方を記載)
4 モデル地区で区が開催した説明会
5 町会等の会合
6 町会等の回覧板・ニュース・掲示版
7 近所の方からの口コミ情報
8 地域イベントでの周知
9 その他 ( )
10 わからない

☆容器包装プラスチック(目安は  マークのついたもの)は、中身を使い切り、汚れがあれば汚れを取った上で資源として週1回集積所に出していただくようになります。

問9 あなたは、今後、容器包装プラスチックの資源回収が開始されたら、リサイクルしたいと思いますか。(○は1つ)

1 資源の有効活用はいいことなので、積極的に資源の分別をしたい
2 できる範囲で資源の分別をしたい
3 面倒なのでしたくない
4 リサイクルする必要を感じない
5 その他 ( )
6 わからない

**問 10** 容器包装プラスチックの資源の分別を行うにあたって、あなたが知りたいことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 資源として出すために家庭でどのような処理をすればいいか
- 2 どんな品物が資源回収の対象となるか
- 3 家の中での保管方法をどのようにすればいいか
- 4 誤った分別をした場合どのように処理されるか
- 5 プラスチックの資源化によって、別のところに環境負荷がかかるのかどうか
- 6 その他 ( )
- 7 特にない

☆資源回収の対象とならないプラスチックとゴム・皮革製品は可燃ごみとして焼却します。  
これにより、ごみの最終処分場に直接埋め立てる不燃ごみはかなり減ることとなります。

**問 11** あなたは、資源回収の対象とならないプラスチックとゴム・皮革製品は可燃ごみとなることについてどう感じますか。(○は1つ)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 良いことだと思う   | → 問 11-1 へ |
| 2 特に問題はないと思う |            |
| 3 抵抗感や不安がある  | → 問 11-2 へ |
| 4 わからない      |            |

(問11で「1 良いことだと思う」「2 特に問題はないと思う」に○をされた方におたずねします)

**問 11-1** あなたが「良いことだと思う」、「特に問題はないと思う」理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 最終処分場を長く使うためには必要なことだから
- 2 清掃工場の技術が向上しているので、プラスチック等を焼却しても問題ないと思うから
- 3 容器包装プラスチックは資源回収されるので、残りのプラスチック等を焼却することはやむをえないから
- 4 ごみ出しがやりやすくなるから
- 5 その他 ( )
- 6 わからない

(問11で「3 抵抗感や不安がある」に○をされた方におたずねします)

**問 11-2** あなたが「抵抗感や不安がある」と感じる理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 プラスチック等の焼却について、安全性に不安を感じるから
- 2 長年の習慣があるので、分別方法を変えることに抵抗感があるから
- 3 分別方法が変わると混乱して、間違った分別をする人が増えるから
- 4 ごみ出しがやりにくくなるから
- 5 その他 ( )
- 6 わからない



(問13で「3 受けたいが、できない」「4 受ける必要はない」に○をされた方におたずねします)

**問 1 3 - 1 耐震診断を受けない理由は何ですか。(○はいくつでも)**

- 1 集合住宅で自分の考えのみではできないから
- 2 所有者が自分でないから
- 3 昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから
- 4 多額の費用がかかるから
- 5 倒壊しないと思うから
- 6 信頼できる業者がないから
- 7 相談したいがどこにいいかわからないから
- 8 その他 ( )
- 9 よくわからないから (診断について)

**< 耐震補強工事 >**

**問 1 4 お住まいの建物について、耐震診断の結果、耐震補強が必要だった場合に、あなたは補強工事を行いたいと思いますか。(○は1つ)**

1 すでに補強工事を行った	→ 問 15 へ
2 行いたい	
3 行いたいが、できない	→ 問 14-1 へ
4 行う必要はない	
5 わからない	→ 問 15 へ

(問14で「3 行いたいが、できない」「4 行う必要はない」に○をされた方におたずねします)

**問 1 4 - 1 耐震補強工事を行わない理由は何ですか。(○はいくつでも)**

- 1 集合住宅で自分の考えのみではできないから
- 2 所有者が自分でないから
- 3 昭和56年以降に建った新耐震基準の建物だから
- 4 多額の費用がかかるから
- 5 倒壊しないと思うから
- 6 信頼できる業者がないから
- 7 悪質業者の問題が怖いから
- 8 相談したいがどこにいいかわからないから
- 9 自分の家屋を補強しても周辺も補強しないと意味がないから
- 10 耐震補強より、不燃化の方が重要だと思うから
- 11 その他 ( )
- 12 よくわからないから (耐震補強について)

## < 家具転倒防止器具の取り付け >

問 1 5 あなたは家具転倒防止器具を取りつけないと思いますか。(○は1つ)

1	すでに取りつけている	→ 問 16 へ
2	取りつけない	
3	取りつけないが、できない	→ 問 15-1 へ
4	取りつけない必要はない	
5	わからない	→ 問 16 へ

(問15で「3 取りつけないが、できない」「4 取りつけない必要はない」に○をされた方におたずねします)

問 1 5 - 1 家具転倒防止器具を取りつけない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	家具や家屋に傷をつけるから	
2	器具を販売しているところがわからないから	
3	取り付け作業が難しそうだから	
4	お金がかかるから	
5	倒れても危険ではないので、効果がないと思うから	
6	その他 ( )	
7	よくわからないから (家具転倒防止器具について)	

## < それ以外の取り組み >

問 1 6 耐震対策や家具転倒防止器具の取り付け以外に、あなたが普段から取り組んでいることは何ですか。(○はいくつでも)

1	地域の防災訓練への参加	
2	区の防災行事への参加	
3	火災警報器の設置	
4	消火器の設置	
5	災害時用食料品等の備蓄	
6	避難場所及び避難路の確認	
7	応急手当等の習得	
8	災害に関する啓蒙冊子類での学習	
9	その他 ( )	
10	特になにもしていない	

問 1 7 その他、震災に備えてのご意見がありましたらご記入ください。

--



< 問合せをしたい身近な情報 >

問 19 あなたが、普段、問合せをしたい区政情報や地域情報は何か。

(○はいくつでも)

1 生活・ショッピング情報	13 NPO・ボランティア活動の情報
2 観光・レジャー情報	14 区議会に関する情報
3 イベントや催しに関する情報	15 行政手続・窓口に関する情報
4 保険・年金・税に関する情報	16 区民講座に関する情報
5 保健・健康・医療に関する情報	17 区の施設利用に関する情報
6 福祉・介護に関する情報	18 区の施策や計画の紹介
7 学校教育・生涯学習に関する情報	19 区の財政や組織など行財政の情報
8 スポーツ・文化に関する情報	20 区の統計、調査に関する情報
9 防災・危機管理に関する情報	21 外国籍区民向けの情報
10 ごみ分別やリサイクルなどに関する情報	22 その他 ( )
11 住宅に関する情報	23 特にない
12 環境保全や公害に関する情報	

< コールセンターへのお問合せ >

☆コールセンターでは、夜間・土日を含めて、区に対する簡易な問合せに電話でお答えします。

問 20 コールセンターが開設された場合、あなたはお問合せをしたいと思いますか。

(○は1つ)

1 コールセンターへ問合せをしたい	3 電話以外の手段で区政情報を入手したい
2 コールセンターではなく、担当部署に直接、問合せをしたい	4 わからない

< コールセンターの開設時間 >

☆区役所が閉まっているすべての時間帯に、コールセンターで対応するためには、オペレータの人件費等の膨大な経費がかかります。

問 21 あなたが適当だと思うコールセンターの開設日及び開設時間帯は、次のうちどれですか。

ア 開設日について (○は1つ)

1 区役所開庁日 (平日) のみ	→ イ、ウへ
2 土日・祝日を含む毎日	
3 コールセンターは必要ないと思う	→ 問 22 へ
4 わからない	

(アで「1 区役所開庁日(平日)のみ」「2 土日・祝日を含む毎日」に○をされた方におたずねします)

**イ 開始時間について (○は1つ)**

- |   |                  |   |
|---|------------------|---|
| 1 | 7時から             |   |
| 2 | 8時から             |   |
| 3 | 8時30分(区役所開庁時間)から |   |
| 4 | その他 (            | ) |
| 5 | わからない            |   |

**ウ 終了時間について (○は1つ)**

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 1 | 20時まで |   |
| 2 | 21時まで |   |
| 3 | 22時まで |   |
| 4 | 23時まで |   |
| 5 | その他 ( | ) |
| 6 | わからない |   |

**< 問合せをしたい項目 >**

**問22** コールセンターで問合せをしたい、あるいは、ホームページに掲載してほしい項目がありましたらご記入ください。

--

## テーマ5 区政情報の発信と区民の意見を聴くしくみ

今、区では、区民の視点、地域の視点で物事を考え、区民とともに歩む区政運営の実現に向けて、区政への区民参加の推進に力を入れて取り組んでいます。

区民参加の第一歩は、区民と行政が情報を共有することです。そのためには区政情報の効率的な発信と、区民の方が積極的に意見を出せるしくみが不可欠です。

今回のアンケートでは、区のホームページ、区民の意見を聴くしくみについてお聴きし、より効率的・効果的な情報提供・意見聴取のあり方を検討する上での参考にしたいと考えています。

### < 区ホームページ >

問23 あなたは、区のホームページを見たことがありますか。(〇は1つ)

1	ある
2	ない



<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

(インターネットをご利用の方は、区のホームページをご覧いただき、その上でお答えください。

インターネットをご利用でない方は、問25へお進みください)

問24 区のホームページをみて、どのように感じましたか。次のア～カのそれぞれについて、選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

ア	ほしい情報の 見つけやすさ	1	すぐに 見つかった	2	時間がかかった が見つけられた	3	見つからなかった
イ	内容	1	良い	2	普通	3	悪い
ウ	掲載情報の量	1	多い	2	普通	3	少ない
エ	掲載情報の わかりやすさ	1	わかりやすい	2	普通	3	わかりにくい
オ	レイアウト	1	良い	2	普通	3	悪い
カ	使いやすさ	1	良い	2	普通	3	悪い



アンケートへのご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、返信用封筒にて7月17日（火）までにご返送ください。

その他、区政についてご意見がありましたら、ご記入下さい。

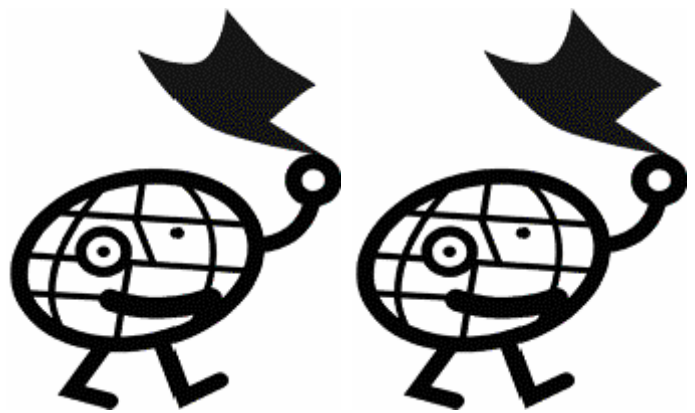
ただし、ここでご記入いただいたご意見については、個別に回答することはできませんので、ご了承ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区区長室区政情報課広聴係 電話 5273-4065 (直通)

## 第2回





(4) 現在のあなた自身について、次の中からお選びください。(○は1つ)

1 単身者	5 子どもがいる (一番上が高・大学生)
2 子どものいない夫婦	6 子どもがいる (一番上が学校を卒業)
3 子どもがいる (一番上が小学校入学前)	7 生計を別にした子どもがいる
4 子どもがいる (一番上が小・中学生)	8 その他 ( )

(5) あなたのお住まいの地域をお選びください。(○は1つ。地域は表紙の回答者欄に記載されています)

1 四谷	5 大久保	9 柏木
2 笹笥町	6 戸塚	10 角筈・区役所
3 榎町	7 落合第一	
4 若松町	8 落合第二	

## テーマ1 公園利用について

公園は、都会におけるみどりとの触れ合いやレクリエーション、そして地域の交流の場として重要な役割を果たしています。区は、地域の皆さんとともに公園をつくり、育てていくことにより、地域に親しまれ利用される公園の実現を目指していきます。

ここでは、皆様のご意見やお考えをお聴きし、より利用される公園づくりに取り組むうえでの参考にしていきます。

### < 公園の利用 >

問1 あなたは、公園を利用していますか。区立公園に限らずお答えください。(○は1つ)

1 よく利用する	→ (問1-1へ)	3 あまり利用しない	→ (問1-5へ)
2 時々利用する		4 ほとんど利用しない	

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)

問1-1 あなたがよく利用する公園の名前をお書きください。(3つまで)

--	--	--

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)

問1-2 あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

1 散歩・ウォーキング・体操
2 子どもと遊ぶ
3 スポーツ
4 近所の人との交流
5 休息
6 みどりとふれあう
7 地域行事
8 時間をつぶすため
9 その他 ( )

### < 公園の満足度 >

(問1で「1 よく利用する」「2 時々利用する」に○をされた方におたずねします)

問1-3 あなたは、利用する公園に満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	4 やや不満である	→ (問1-4へ)
2 やや満足している	5 不満である	
3 どちらともいえない	6 わからない	

### < 公園の不満点 >

(問1-3で「4 やや不満である」「5 不満である」に○をされた方におたずねします)

問1-4 不満の理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 公園が狭い	5 使いたい施設(遊具、ベンチ、トイレなど)がない
2 見通しが悪く、治安上不安を感じる	6 禁止されている事柄が多い
3 公園やトイレなどの施設が汚い	7 ルールを守らない利用者が多い
4 近くにない	8 その他( )

### < 公園を利用しない理由 >

(問1で「3 あまり利用しない」「4 ほとんど利用しない」に○をされた方におたずねします)

問1-5 公園を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 公園が狭い	5 使いたい施設(遊具、ベンチ、トイレなど)がない
2 見通しが悪く、治安上不安を感じる	6 禁止されている事柄が多い
3 公園やトイレなどの施設が汚い	7 ルールを守らない利用者が多い
4 近くにない	8 その他( )

### < 望ましい公園 >

(すべての方におたずねします)

問2 あなたは、どのような公園を利用したいと思いますか？

## テーマ2 公衆トイレについて

公衆トイレは屋外での活動になくてはならない施設です。現在、新宿区には道路上や公園内などに約150か所の区立の公衆トイレがあります。区は、衛生面、安全面、バリアフリーに配慮した公衆トイレづくりに取り組んでいます。

今回、公衆トイレに関するご意見やお考えをお聴きし、今後の公衆トイレづくりの参考にしていきます。

### < 公衆トイレの利用 >

問3 あなたは、地域や公園内の公衆トイレを利用しますか。(○は1つ)

- |          |             |           |
|----------|-------------|-----------|
| 1 よく利用する | 3 あまり利用しない  | → (問3-1へ) |
| 2 時々利用する | 4 まったく利用しない |           |

### < 公衆トイレを利用しない理由 >

(問3で「3 あまり利用しない」「4 まったく利用しない」に○をされた方におたずねします)

問3-1 地域や公園内の公衆トイレを利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |                                 |
|--------------------|---------------------------------|
| 1 トイレ内が汚い          | 8 手洗い場や鏡などの設備が十分でない             |
| 2 トイレ内が暗い          | 簡易トイレだから                        |
| 3 トイレ内に段差があり利用しづらい | 9 多目的トイレ(障害者や子連れの人が利用できる)が少ないから |
| 4 便器数が少ない          | 10 男女兼用だから                      |
| 5 トイレ(建物)の数が少ない    | 11 その他( )                       |
| 6 トイレ(建物)の場所がわからない |                                 |
| 7 治安上不安を感じる        |                                 |

### < 公衆トイレの形式 >

(すべての方におたずねします)

問4 あなたは、どちらの公衆トイレの形式を利用しますか(したいですか)。(○は1つ)

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1 洋式トイレ | 2 和式トイレ | 3 どちらでもよい |
|---------|---------|-----------|

(問4で「1 洋式トイレ」と回答した方(○はいくつでも))

- |                   |
|-------------------|
| 1 使い慣れているから       |
| 2 足や腰に負担が少ないから    |
| 3 和式トイレは床が汚れているから |
| 4 その他( )          |

(問4で「2 和式トイレ」と回答した方(○はいくつでも))

- |                       |
|-----------------------|
| 1 使い慣れているから           |
| 2 洋式トイレは便座が不潔な感じがするから |
| 3 洋式トイレは便座が冷たいから      |
| 4 その他( )              |

問5 公衆トイレについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

--

### テーマ3 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

区は、歌舞伎町を、「誰もが安心して楽しめるまち」へと再生することを目指し、地元や関係機関との連携・協働により、犯罪インフラの除去と環境美化、歌舞伎町からの大衆文化の創造と発信、健全で魅力あふれるまちづくりなど、これら総合的な対策の推進に取り組んでいます。

違法風俗や暴力団をただ排除するだけでなく、新たなまちの担い手を呼び込み、歌舞伎町を、愛着を持ち誇れるような、大衆文化・娯楽の発信の拠点にしていこうというのが、「歌舞伎町ルネッサンス」です。

この活動の中で現在、シネシティ広場の活用や「新宿放送局（インターネット放送局）」のサテライトスタジオ開局、吉本興業（株）東京本部の誘致、コミュニティショップ「ふらっと新宿」の開店などに積極的に取り組んでいます。

今回、歌舞伎町について、皆様のご意見をうかがい、今後の歌舞伎町の再生に役立てていきたいと考えています。

#### < 歌舞伎町への来街意向 >

問6 あなたは、歌舞伎町へ行ってみたいと思いますか。（○は1つ）

1 行ってみたい	2 行きたくない	3 わからない
↓	↓	↓
(問6-1へ)	(問6-2へ)	(問7へ)

#### < 歌舞伎町へ行ってみたい理由 >

(問6で「1 行ってみたい」に○をされた方におたずねします)

問6-1 行ってみたい理由は何ですか。（○は3つまで）

1 安全なまちになったと思うから	7 劇場、映画館等、楽しめる施設があるから
2 歌舞伎町の変化を見てみたいから	8 おいしい店があるから
3 楽しいイベントがあるから	9 賑やかで楽しそうなまちだから
4 新たな興味を引き出してくれそうだから	10 歌舞伎町に思い出があるから
5 日本の代表的な繁華街だから	11 その他 ( )
6 猥雑なにぎわいが好きだから	12 わからない

< 歌舞伎町へ行きたくない理由 >

(問6で「2 行きたくない」に○をされた方におたずねします)

問6-2 行きたくない理由は何ですか。(○は3つまで)

1 治安が悪いというイメージがあるから	7 人が多く、騒々しいから
2 客引きが多く、一人で歩くには怖いから	8 子どもを連れていく場所ではないから
3 風俗店など、いかかわしい店が多いと感じるから	9 若い人向けのまちというイメージがあるから
4 魅力がないから	10 地元の人でない方が多いから
5 雑然としているから	11 その他 ( )
6 不潔感があるから	12 わからない

< 以前と比較した歌舞伎町の印象 >

(すべての方におたずねします)

問7 以前と比較した歌舞伎町の印象について、ア～オそれぞれについてお答えください。  
(それぞれ○は1つ)

	思う	思わない	わからない
ア イメージは向上しましたか	1	2	3
イ 安全になったと思いますか	1	2	3
ウ きれいになったと思いますか	1	2	3
エ 文化の発信が盛んになったと思いますか	1	2	3
オ 賑わいのあるまちになったと思いますか	1	2	3

< “大衆文化の創造と発信のまち” となるために有効な取り組み >

☆歌舞伎町の再生のためには、違法行為の取り締まりや防犯パトロールなどの安全・安心のまちづくりとあわせて、文化の創造・発信の取り組みを行っていくことが重要です。

問8 歌舞伎町を「風俗のまち」から「大衆文化・娯楽のまち」へと変えていくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。(○は2つまで)

1 歌舞伎町の公園・路上を活用したイベント（オープンカフェ、路上ライブ）の開催
2 建物や道路空間を活用したアート空間の創出（イルミネーション、オブジェ・作品の展示）
3 歌舞伎町情報の発信（フリーペーパー、インターネットサイト）
4 劇場・映画館・ホール・展示場等の文化芸術施設の充実
5 文化芸術活動への公共施設（道路、公園、区役所等）の開放
6 文化芸術活動を担う事業者の誘致と活性化
7 その他 ( )

**問9** 歌舞伎町を交流とにぎわいのあるまちにするため、様々なイベントを開催していきたいと考えています。あなたが見に行きたい・参加したいと思う歌舞伎町でのイベントはどのようなものですか。(○は3つまで)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 ファッション・ショー | 9 格闘技のイベント       |
| 2 オープンカフェ    | 10 国際交流のイベント     |
| 3 お笑いのイベント   | 11 物産展など地域交流イベント |
| 4 フリーマーケット   | 12 写真展・作品展       |
| 5 映像・映画のイベント | 13 大道芸           |
| 6 演劇のイベント    | 14 音楽や演劇などの発表の場  |
| 7 音楽のイベント    | 15 シンポジウム        |
| 8 スポーツのイベント  | 16 その他 ( )       |

**問10** 歌舞伎町ルネッサンスについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

## テーマ4 区民に望まれる図書館

これからの区立図書館は、従来の読書支援に加え、区民が日常生活の中で必要とする様々な情報を提供する情報センターサービス機能を強化し、「地域や区民にとって役に立つ図書館」づくりを目指していきます。

現在、区立図書館は、『新宿区立図書館基本方針（中間のまとめ）』を策定し、「地域や区民にとって役に立つ図書館」を実現するための課題と方策について検討を進めています（同封資料参照）。今回、区立図書館の利用状況や図書館のサービスについてお聴きし、今後の図書館サービスの向上に役立てていきます。

### < 区立図書館の利用 >

問11 あなたは、区立図書館を定期的に利用しますか。（○は1つ）

1 定期的に利用する	2 必要に応じて不定期に利用する	3 ほとんど利用しない
↓		↓
利用の頻度はどのくらいですか		(問11-3へ)
1 ほとんど毎日	4 2週間に1日	
2 週2～3日	5 年に数日	
3 週1日		

(問11で「1 定期的に利用する」「2 必要に応じて不定期に利用する」に○をされた方におたずねします)

問11-1 主に利用する区立図書館はどこですか。（○は1つ）

1 中央図書館 (こども図書館含む)	4 西落合図書館	8 角筈図書館
2 四谷図書館	5 戸山図書館	9 大久保図書館
3 鶴巻図書館	6 北新宿図書館	10 中央図書館区役所分室 (区政情報センター)
	7 中町図書館	

(問11で「1 定期的に利用する」「2 必要に応じて不定期に利用する」に○をされた方におたずねします)

**問11-2** どのような目的で区立図書館を利用しますか。(○はいくつでも)

- 1 図書を借りるため
- 2 図書を館内で閲覧するため
- 3 図書を利用して調べ物をするため
- 4 図書館主催の行事(映画会、講演会、おはなし会、工作会等)に参加するため
- 5 視聴覚資料(音楽CDやビデオテープ、DVD)を借りるため
- 6 視聴覚資料を館内で視聴するため
- 7 予約した本を受け取りに行くため
- 8 友人などとの待ち合わせのため
- 9 その他 ( )

(問11で「3 ほとんど利用しない」に○をされた方におたずねします)

**問11-3** 区立図書館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 本や雑誌は買うか、人から借りて読むから
- 2 魅力ある図書がないから
- 3 図書をさがすのが面倒だから
- 4 利用手続きが面倒だから
- 5 借りた図書を返却するのが面倒だから
- 6 開館時間中に行くことができないから
- 7 近くに図書館がないから
- 8 施設が古く、雰囲気良くないから
- 9 施設が高齢者や障害者に配慮されていないから
- 10 あまり本を読まないから
- 11 必要な情報は図書館以外で得ているから
- 12 その他 ( )



## テーマ5 新宿区職員の人材育成（求められる職員像）について

新宿区は、地域の特性を生かした区民本位の区政運営を目指しています。そのような区政運営を行うためには、分権時代にふさわしい政策形成能力を持ち、区民とともにまちづくりを担っていただける職員を育成することが急務であり、区は、現在、人材育成基本方針の見直しに取り組んでいます。

ここでは、区民の方が職員に何を期待し、何を求めているかをお聴きし、新たな人材育成基本方針の策定に役立てていきたいと考えています。

### < 区の窓口の利用について >

問15 過去1年以内に、区役所や区の施設等の窓口に出かけたことがありましたか。  
(○は1つ)

1 ある → (問15-1へ)                      2 ない → (問16へ)

(問15で「1 ある」に○をされた方におたずねします)

問15-1 どのような用件で出かけましたか。(○はいくつでも)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 証明書等の交付 | 5 会議等への出席 |
| 2 各種手続き   | 6 苦情・要望   |
| 3 相談      | 7 その他 ( ) |
| 4 区の施設の利用 |           |

(問15で「1 ある」に○をされた方におたずねします)

問15-2 新宿区職員への対応の印象をおうかがいします。

ア～クそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

	良い	まあまあ 良い	普通	やや悪い	悪い	わから ない
ア 身だしなみ	1	2	3	4	5	6
イ 挨拶や声かけ	1	2	3	4	5	6
ウ 言葉づかい	1	2	3	4	5	6
エ 動作、表情	1	2	3	4	5	6
オ 相手の話を聴く姿勢	1	2	3	4	5	6
カ 説明のわかりやすさ	1	2	3	4	5	6
キ 職場全体の印象 (応対者以外の職員)	1	2	3	4	5	6
ク 窓口対応の総合評価	1	2	3	4	5	6

< 区の電話対応について >

問 16 過去1年以内に、区役所や区の施設に電話をかけたことがありましたか。

(○は1つ)

1 ある	→	ア 職員はすぐに電話に出ましたか。
		1 すぐに出た 2 すぐに出なかった 3 覚えていない
2 ない	→	イ 電話に出た職員は部署や名前を名乗りましたか。
		1 名乗った 2 名乗らなかった 3 覚えていない

(問16で「1 ある」に○をされた方におたずねします)

問 16-1 電話対応の印象をおうかがいします。

ア～オそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	良い	まあまあ 良い	普通	やや悪い	悪い	わから ない
ア 声の印象	1	2	3	4	5	6
イ 言葉づかい	1	2	3	4	5	6
ウ 相手の話を聴く姿勢	1	2	3	4	5	6
エ 説明のわかりやすさ	1	2	3	4	5	6
オ 電話対応の総合評価	1	2	3	4	5	6

< 求められる職員像 >

問 17 現在、区の職員に特に不足していると思われる能力や資質は何だと思えますか。

また、これからの区政を担っていくうえで、区の職員に特に求められる能力や資質は何だと思えますか。アとイにそれぞれ3つまで選んで番号をご記入ください。

(選択する番号がアとイで重複しても可)

ア 不足していると思われる能力や資質

イ これから特に求められる能力や資質

1 区民の立場で考え実行する姿勢 2 新宿をわがまちとして思う姿勢 3 社会変化を的確に捉え、政策に反映していく能力 4 新宿区に合った政策を企画立案する能力 5 人や資金などの資源を最適に活用する能力 6 さまざまな立場の意見を調整する能力 7 区民にわかりやすく説明する能力 8 豊富な知識と専門的な知識を身につけていること 9 さまざまな危機を予防し対応する能力 10 わからない
--

問18 その他、新宿区の職員の人材育成について、ご意見・ご要望があればご記入ください。

---

アンケートへのご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、返信用封筒にて9月14日(金)までにご返送ください。

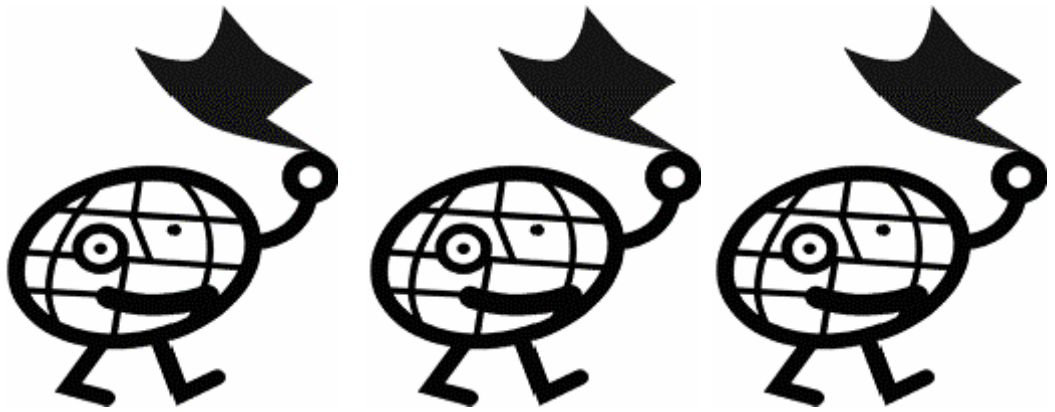
その他、区政についてご意見がありましたら、ご記入下さい。  
ただし、ここでご記入いただいたご意見については、個別に回答することはできませんので、ご了承ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区区長室区政情報課広聴係 電話 5273-4065 (直通)

# 第3回



第3回モニターアンケート・テーマ

- 1 「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～
- 2 成年後見制度

<回答者の属性>

ご回答いただいた調査結果を統計処理する際に必要ですので、ご記入下さい。

(1) あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) あなたの年齢(満年齢)を次の中からお選びください。(○は1つ)

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1 18～24歳 | 5 40～44歳 | 9 60～64歳  |
| 2 25～29歳 | 6 45～49歳 | 10 65～69歳 |
| 3 30～34歳 | 7 50～54歳 | 11 70～74歳 |
| 4 35～39歳 | 8 55～59歳 | 12 75歳以上  |

(3) あなたのご職業を次の中からお選びください。(○は1つ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 商工・サービス業の自営     | 8 サービス職・技能職・労務職 |
| 2 商工・サービス業の家族従業者  | 9 パート・アルバイト     |
| 3 自由業(医師、弁護士等)    | 10 専業主婦(主夫)     |
| 4 会社・団体役員         | 11 学生           |
| 5 会社・団体管理職(部課長以上) | 12 その他( )       |
| 6 専門技術職           | 13 無職           |
| 7 事務職             |                 |

(4) 現在のあなた自身について、次の中からお選びください。(○は1つ)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 単身者                | 5 子どもがいる(一番上が高・大学生) |
| 2 子どものない夫婦           | 6 子どもがいる(一番上が学校を卒業) |
| 3 子どもがいる(一番上が小学校入学前) | 7 生計を別にした子どもがいる     |
| 4 子どもがいる(一番上が小・中学生)  | 8 その他( )            |

(5) あなたの世帯にはあなた以外に高齢者（概ね65歳以上の方）はいらっしゃいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない
------	-------

(6) あなたのお住まいの地域をお選びください。（○は1つ。地域は表紙の回答者欄に記載されています）

1 四谷	5 大久保	9 柏木
2 笹筒町	6 戸塚	10 角筈・区役所
3 榎町	7 落合第一	
4 若松町	8 落合第二	

## テーマ1 「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～

今、区では、区民が安心して心豊かに住み続けられる新宿区を実現していくため、平成20年度からの新宿区の進むべき方向性を明らかにする新たな基本構想と総合計画を策定しています。(同封資料参照)

総合計画では基本構想に定める「めざすまちの姿」の実現にどのくらい近づけたかを測定するための成果指標を設けます。成果指標とは、行政活動の結果、目的に照らしてどのような成果があったかを示すものです。

今回は、新宿区のまちに対する印象や日常生活の中で感じている意識、行動などについてお聴きし、この成果指標の設定に役立てていきます。

### 基本目標Ⅰ 区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち

#### < コミュニティへの参加 >

問1 あなたは、現在、地域のコミュニティ活動やボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

- 1 現在参加している
- 2 以前参加したことがあるが、現在は参加していない
- 3 参加したことがない

→ それはどんな活動ですか。  
(○はいくつでも)

- 1 地区協議会
- 2 自治会・町会
- 3 サークル・同好会・高齢者クラブ
- 4 子ども会・青少年団体・育成会
- 5 学校や保育園・幼稚園などの保護者会
- 6 スクール・習い事・趣味のグループ
- 7 ボランティア団体・NPO
- 8 スポーツ・レクリエーション団体
- 9 インターネットを介したコミュニティ
- 10 その他 ( )

## 基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

### < 人権意識 >

問2 新宿のまちは、性別や障害の有無、信条や職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認めあうまちだと思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	2 そう思わない	3 わからない
--------	----------	---------

### < 男女共同参画 >

問3 あなたは社会の中で、男女が平等だと思いますか。次のア～キの分野それぞれについて、1～5の中から1つを選んで○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が優遇さ れている	男性の方が優遇さ れているかといえ ば	平等である	女性の方が優遇さ れている	女性の方が優遇さ れているかといえ ば
ア 家庭生活で	1	2	3	4	5
イ 職場で	1	2	3	4	5
ウ 学校教育の場で	1	2	3	4	5
エ 政治の場で	1	2	3	4	5
オ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
カ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5
キ 地域活動の場で	1	2	3	4	5

### < 健康 >

問4 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

1 良い	4 あまり良くない
2 まあ良い	5 良くない
3 どちらともいえない	

< 生涯学習 >

問5 あなたは、現在、スポーツ、学習活動を継続的に行っていますか。  
(○は1つ)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 行っている | 2 行っていない |
|---------|----------|

< 地域連携による教育 >

問6 新宿のまちは、学校・家庭・地域が協力して子どもの教育に取り組んでいるまちだと思いますか。(○は1つ)

- |        |          |         |
|--------|----------|---------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

**基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち**

< 地域福祉 >

問7 あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのよう  
に推進していくのが良いと思いますか。(○は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う |
| 2 区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う  |
| 3 区の責任で取り組むのが良いと思う        |

< 障害福祉 >

問8 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。  
(○は1つ)

- |        |          |         |
|--------|----------|---------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

< 生きがい >

問9 あなたは、現在どのようなことに生きがいを感じていますか。(○はいくつでも)

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1 職業・仕事              | 7 友人・仲間とすごすこと |
| 2 町会・自治会・子ども会などの地域活動 | 8 家族との団らん     |
| 3 ボランティア活動等          | 9 孫や子どもの成長    |
| 4 趣味                 | 10 親の世話や介護    |
| 5 スポーツ               | 11 その他 ( )    |
| 6 勉強・習い事             | 12 特にない       |

## < 防災対策 >

問10 あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する場所がどこにあるか知っていますか。(〇は、ア、イ、ウにそれぞれ1つ)

<b>ア 一時集合場所</b> ※ 避難場所に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所	1 知っている	2 知らない
<b>イ 第一次避難所</b> ※ 住居を失った人が一時的に生活する場所	1 知っている	2 知らない
<b>ウ 広域避難場所</b> ※ 大震災時の大火災から生命を守るのに必要なスペースのある大規模公園、緑地等をいい、都が指定している。(新宿御苑、戸山公園一帯、中央公園一帯など)	1 知っている	2 知らない

## < 安全な日常生活 >

問11 あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。(〇は1つ)

1 不安を感じる	4 不安を感じない
2 少し不安を感じる	5 わからない
3 あまり不安を感じない	

問12 あなたは、犯罪の起こりにくい、安全・安心のまちにするためにどのような取り組みが有効だと思えますか。(〇は3つまで)

1 住民一人一人の防犯意識の啓発	6 落書き消去活動
2 地域の見守り体制の強化	7 防犯講習会等への参加
3 地域住民による自主防犯パトロール	8 その他 ( )
4 防犯カメラ、防犯ベル等の設置	9 わからない
5 地域安全マップの作成(危険箇所の点検)	

## < 安心な消費生活 >

問13 あなたは、悪質商法や消費者問題に対して関心がありますか。(〇は1つ)

1 非常に関心がある	4 まったく関心がない
2 少し関心がある	5 わからない
3 あまり関心がない	

## 基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち

### < 安全で快適な道路 >

問14 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。  
(○は1つ)

- |        |          |         |
|--------|----------|---------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

## 基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

### < 美しいまちづくり >

問15 あなたは、新宿区内のまちなみや景観は良いと思いますか。(○は1つ)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 良い        | 4 あまり良くない |
| 2 まあまあ良い    | 5 良くない    |
| 3 どちらともいえない |           |

問16 あなたは、これからの新宿の景観づくりで、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 地域のシンボルとなる建築物や樹木の保全 | 5 道路、河川、公園などの公共施設の整備 |
| 2 環境と調和のとれた建築物        | 6 街並みと調和のとれた看板や広告物   |
| 3 電柱や電線の地中化           | 7 その他 ( )            |
| 4 みどりの豊かさ             | 8 特にない               |

### < 地域特性をふまえたまちづくり >

問17 新宿のまちは、地域の土地利用の特性をふまえたまちづくりが行われていると思いますか。(○は1つ)

- |        |          |         |
|--------|----------|---------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

## 基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

### <文化・芸術>

問 18 あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。(○は1つ)

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 3 どちらともいえない | 5 まったく関心がない |
| 2 少し関心がある  | 4 あまり関心がない  |             |

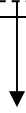
(問18で「1 非常に関心がある」「2 少し関心がある」に○をされた方におたずねします)

問 18-1 あなたが、関心があるのはどのようなものですか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 史跡 (小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など)   |
| 2 歴史的建造物 (絵画館・早稲田大学の演劇博物館など)           |
| 3 由来のある町名 (高田馬場・笹塚町など)                 |
| 4 歴史的な坂や橋 (神楽坂・夏目坂・面影橋など)              |
| 5 絵画・彫刻など文化財 (善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など)  |
| 6 祭り・年中行事 (高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など) |
| 7 郷土史                                  |
| 8 伝説・民話 (太田道灌の山吹の里など)                  |
| 9 伝統工芸 (江戸小紋など)                        |
| 10 その他 ( )                             |

**問19** あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術に触れる機会がありますか。(○は1つ)

1 よくある	2 まあまあある	3 あまりない	4 まったくない
--------	----------	---------	----------



(問19で「1 よくある」「2 まあまあある」に○をされた方におたずねします)

**問19-1** あなたが、関心があるものは何ですか。(○はいくつでも)

1 クラシック音楽 (オーケストラ・オペラ・合唱など)
2 ポピュラー音楽 (ロック・ポップス・ジャズなど)
3 邦楽 (長唄・義太夫など)
4 歌謡曲 (演歌・民謡など)
5 美術 (絵画・彫刻など)
6 工芸 (陶芸・染色など)
7 映画・ビデオ
8 写真
9 演劇・ミュージカル
10 バレエ・ダンス
11 伝統芸能 (歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など)
12 芸能 (落語・漫才・講談など)
13 華道・茶道・書道
14 文芸 (文学・俳句・短歌など)
15 漫画・アニメーション
16 その他 ( )

## テーマ2 成年後見制度

成年後見制度は認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が低下した場合でも、地域で安心して生活を続けられるようにすることを目的とした制度で、「介護保険制度」と並んで高齢化社会に備える大切な制度です。

しかし、制度は整備されたものの、実際の相談や利用に結びついていないという現状があります。

最近では、認知症になった人や一人暮らしの高齢者などをねらった強引な訪問販売、リフォームの詐欺、振り込め詐欺等の被害が問題になっています。東京都内には、認知症高齢者等この制度の潜在的な対象者は20万人以上いるといわれていますが、実際の利用者は1万1千人余りです。

新宿区では、平成19年7月に「新宿区成年後見センター」を開設し、成年後見制度に関する事業を総合的に実施し、制度の利用促進を図っているところです。

ここでは、区民の皆さまに成年後見制度に関する意識や利用意向等をお聞きするとともに、制度の運用体制について、お伺いします。

### ●成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などによって、物事を判断する能力が十分でない方（「本人」）について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人・保佐人・補助人」）を選ぶことで、本人の意思を尊重し、その人らしい生活のために、法律面や生活面で支援するしくみです。（同封パンフレット参照）

成年後見制度には、**法定後見制度**と**任意後見制度**の2種類があります。

#### （法定後見制度）

すでに本人の判断能力が不十分な場合に、配偶者または四親等内の親族などの申立により、家庭裁判所が後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）を選任する制度です。

#### （任意後見制度）

本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が不十分な状態になった場合に備えて、自らが選んだ代理人（任意後見人）に、自分の生活、療養看護や財産管理についてどのような支援をしてもらうのかを、あらかじめ、公証人役場で契約して決めておく制度です。

＜成年後見制度の認知度＞

問20 あなたは、成年後見制度をご存知ですか。(○は1つ)

- 1 名前も知っているし、内容も知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった
- 3 まったく知らなかった

問21 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

- |   |                    |   |
|---|--------------------|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 すでに利用している</li><li>2 すぐに利用したい</li><li>3 必要になったら利用したい</li></ol> | (問21-2、<br>問21-3へ) | <ol style="list-style-type: none"><li>4 利用は考えていない</li><li>5 わからない</li></ol> |
|---|--------------------|---|

(問21で「4 利用は考えていない」に○をされた方におたずねします)

問21-1 ご利用を考えていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自分でできるから
- 2 家族がいるから
- 3 友人などが協力してくれるから
- 4 後見人になってくれる人がいないから
- 5 知らない人に後見人になってほしくないから
- 6 後見人に守ってもらうほどの財産がないから
- 7 手続きや利用にお金がかかるから
- 8 手続きが面倒だから
- 9 手続きや利用の方法がわからないから
- 10 利用することによる利益・不利益がわからないから
- 11 判断能力が低下したことを知られたくないから
- 12 その他 ( )
- 13 特に理由はない

(問21で「1 すでに利用している」「2 すぐに利用したい」「3 必要になったら利用したい」に○をされた方におたずねします)

問21-2 あなたは、成年後見制度を利用する際、どのような人に後見人になってほしいと思いますか。すでに利用している人もお答えください。(○はいくつでも)

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家
- 4 民生委員など身近な地域の住人
- 5 公的機関(社会福祉協議会など)
- 6 その他 ( )
- 7 特にいない
- 8 わからない

(問21で「1 すでに利用している」「2 すぐに利用したい」「3 必要になったら利用したい」に○をされた方におたずねします)

**問21-3** あなたが、成年後見制度で、将来利用したいと思う(利用している)ものは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 財産保全・管理(通帳・印鑑・現金の保管等)
- 2 日用品の購入・支払い
- 3 電気やガス等の公共料金の支払い、税金の支払い
- 4 各種行政手続(年金、介護保険等)
- 5 介護施設・病院等への入所・入院手続
- 6 福祉サービスの利用手続(ヘルパーの手配等)
- 7 自己所有不動産の処分
- 8 自己所有不動産の管理
- 9 その他( )
- 10 わからない

**問22** あなたは、成年後見制度がより多くの人に利用されるために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 情報提供や普及啓発を充実させること
- 2 相談場所が身近にあること
- 3 費用の負担が少ないこと
- 4 後見人等になる人の要件が緩和されること
- 5 申し立てをする人の要件が緩和されること
- 6 プライバシー保護が徹底されていること
- 7 手続が簡単にできるようになること
- 8 その他( )
- 9 わからない

### ●新宿区成年後見センター

区は、平成19年7月、新宿区社会福祉協議会内に、「新宿区成年後見センター」を開設し、利用の案内や区民の方からの相談を行っています。

新宿区成年後見センターでは、月曜～金曜の一般相談の他、週3日(月・水・金)弁護士・司法書士・社会福祉士の専門家による専門相談(予約制)を行っています。

**問23** あなたは、新宿区成年後見センターをご存知でしたか。(○は1つ)

- 1 名前も知っているし、どんなことをしているかも知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが、どんなことをしているかは知らなかった
- 3 まったく知らなかった

**問24** あなたは、センターの相談窓口を利用したいと思いますか。(○は1つ)

- |   |              |   |           |
|---|--------------|---|-----------|
| 1 | すでに利用したことがある | 4 | 利用は考えていなる |
| 2 | すぐに利用したい     | 5 | わからない     |
| 3 | 必要になったら利用したい |   |           |

**問25** あなたは、新宿区成年後見センターの相談にどのようなこと望みますか。  
(○はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 地域の身近なところ（たとえば区役所・出張所など）で相談できるようにしてほしい    |
| 2 | 平日の日中以外（時間外や休日）でも相談できるようにしてほしい            |
| 3 | 常時、相談に応じてくれる専門員（弁護士等）を配置してほしい             |
| 4 | 定期的に相談会や制度説明会を開催してほしい                     |
| 5 | 外出して相談できない場合には、自宅まで訪問してほしい                |
| 6 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| 7 | 特にない                                      |
| 8 | わからない                                     |

アンケートへのご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、返信用封筒にて10月12日（金）まで  
にご返送ください。

その他、区政についてご意見がありましたら、ご記入下さい。  
ただし、ここでご記入いただいたご意見については、個別に  
回答することはできませんので、ご了承ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区区長室区政情報課広聴係 電話 5273-4065 (直通)

平成 19 年度 新宿区区政モニターアンケート  
平成 20 年 3 月発行

印刷物作成番号
---------

2007-8-2001
-------------

(発行) 新宿区区長室区政情報課広聴係

新宿区歌舞伎町 1-4-1

電話 03-5273-4065 (直通)

FAX 03-5272-5500

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。  
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。



古紙配合率100%  
白色度70%再生紙を使用しています